

基本操作

検索

ルート探索

ルート案内

登録・編集操作

設定操作

VICS・各種情報

通信

音声操作

スケジュール管理

付録

Navigation Book

HDD Navigation Map TypeII Vol.9

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

ルートの設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。（操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。）

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを切って本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報や建物・道路などの形状は実際と異なる場合があります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

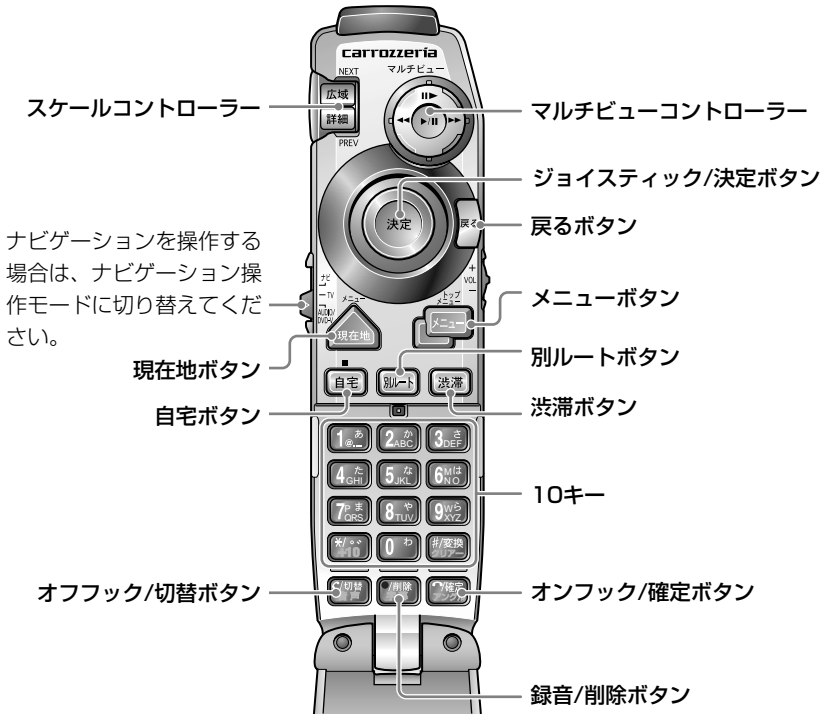
表記	意味
ご注意	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
メモ	メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
[]	リモコンや本体などについているボタンを表します。 例：CD再生中に [AUDIO MENU] を押す
斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：検索のしかたは、「場所を探す」(29P) を参照してください。
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

メモ
本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

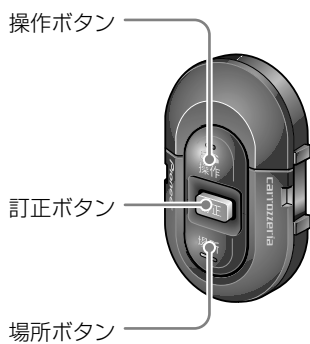
リモコンの各ボタンの表記

お手持ちのリモコンで、ボタンの位置などを確認してください。

リモコン



音声認識コントローラー



目次

はじめに			
安全にお使いいただくために	2	ジャンルで探す	31
安全走行のために	3	住所で探す	32
走行中はナビゲーションの		電話番号で探す	33
操作をしない	3	緯度・経度で探す	33
交通規則に従って走行する	3	(緯度経度検索)	33
本書の見かた	4	マップコードで探す	34
本書の表記のしかた	4	(マップコード検索)	34
リモコンの各ボタンの表記	5	周辺施設を探す	35
リモコン	5	観光エリアから探す	37
音声認識コントローラー	6	マイリストから探す	38
		(マイリスト検索)	38
		登録地、履歴から探す	
		(登録地検索、	
		サーチバック検索)	39
		詳細情報を見る	39
		スクロール画面にする	40
基本操作			
基本的な地図画面の見かたと操作	12	ルート探索	
地図画面の見かた	12	行き先までのルートを探索させる	41
地図画面の表示方法を変える	16	学習ルート探索	43
地図を動かす (スクロール)	18	VICs情報を考慮したルート探索	
地図のスケールを変える	19	(渋滞考慮ルート探索)	43
地図を左右に回転させる	20	回避エリアを考慮した	
地図を見る角度を変える	21	ルート探索	43
現在地画面の見えかたを登録する		ルートを確認する	44
(ビューメモリー)	21	ルートプロフィールで確認する	44
有料道路の施設情報を見る	22	ルートスクロールで確認する	44
メニュー操作	25	他のルートを選ぶ	46
基本的な操作のしかた	25	ルートを詳細に設定する	47
スタートメニュー	26	立寄地を設定する	47
ショートカットメニュー	27	乗り降りIC (インターチェンジ)	
ダイレクトキー	28	を設定する	48
		登録道をルートに組み込む	
		(登録道指定ルート)	49
		出発地を指定する	50
検索			
場所を探す	29		
検索方法の種類	29		
地図で探す	29		
名称で探す	30		

自宅に帰るルートを探索させる	51
簡単にルートを探索させる (クイックルート探索)	52
ドライブプランを立てる	53
ドライブプランを作成する	53
ドライブプランを実行する	57
ドライブプランを実行中	58
ドライブプランを編集する	59
ドライブプランを確認する	59
ドライブプランを消去する	60

ルート案内

ルートを案内させる	61
ルート案内を開始する	61
過去に通った道などを 優先して案内させる (ルートアドバイザー)	67
ルート上の渋滞を案内させる (渋滞オートガイド)	67
渋滞を自動的に考慮する (渋滞考慮オートリルート)	68
案内中のルートを確認する	68
条件を変えてルートを設定 し直す (ルート再探索)	70
ルート上の目的地や立寄地を 編集する	70
目的地や立寄地の位置を 修正する	72
ルート上に乗り降りIC (インターチェンジ) を 指定する	73
ルート上に登録道を組み込む	73
現在案内中のルートとは別の ルートを探索する (全ルート再探索)	74
ルート上の立寄地を先送りする	74
ルート案内中の操作	75
ルート上の渋滞・規制情報を 表示させる	75
ルート案内を中止する	75

登録・編集操作

地点の登録	76
自宅を登録する	76
現在地を登録する	77
探した場所を登録する	77
登録地の編集	78
登録地リストを並べ替える	78
登録地の名称を変更する	79
登録地のよみを変更する	80
登録地の電話番号を変更する	80
登録地のマークを変更する	80
登録地の画像を変更する	82
登録地の効果音を変更する	84
登録地の探索条件を変更する	86
登録地をグループに振り分ける	86
登録地の位置を変更する	87
自宅に変更する	88
登録地を消去する	88
登録地のグループ名を 変更する	90
ロゴマークの登録・編集	91
ロゴマークを表示させなくする	91
ロゴマークの位置を修正する	93
ロゴマークを登録する	94
その他のデータの登録・編集	98
通りたい道路を登録する	98
登録道を編集する	99
回避したい場所を登録する	101
回避エリアを編集する	102
携帯電話情報を消去する	104
ルートの学習内容を消去する	105
検索履歴を消去する	106
走行軌跡を消去する	106
オートリルート履歴を 編集する	107
登録リルート地点を編集する	109
マイリストを消去する	110
オービスデータを 消去するには	111

設定操作

機能設定 112

設定を変更する 112

設定内容の詳細 113

その他の設定 123

ロゴマークを表示させる 123

ロゴマークの表示を
ON/OFFする 124

10キーをカスタマイズする 124

短縮ダイヤルを設定する 130

音量と画面を調整する 131

自車位置のずれを修正する 132

画面の背景を
カスタマイズする 133

VICS・各種情報

VICS情報の利用 136

VICSとは 136

地図上でVICS情報を見る 138

文字情報を見る 141

図形情報を見る 142

センター情報を見る 143

放送局を選ぶ 143

各種情報の利用 146

FM文字放送を見る 146

気象情報を見る
(ウェザーライブ) 147

ハードウェア情報を見る 154

通信

インターネット 160

インターネットとは 160

インターネットを
利用するまで 160

プロバイダを設定する 162

ウェブページを見る 169

画面を操作する 170

画面が正しく
表示されないとき 173

ホームページに戻る 173

URLを入力して
ウェブページを見る 173

ブックマークする 174

履歴を操作する 178

表示したウェブページを
保存する 181

接続を解除する 182

インターネットの基礎知識 183

Eメール 185

Eメールを利用する前に 185

メール環境を設定する 185

メールを送信する 186

アドレス帳を使う 192

定型文を使う 195

シグネチャー（署名）を
登録する 197

メールを受信する 198

添付ファイルを操作する 203

ポイントパーティー 205

初期登録を行う 205

ポイントパーティーを
開始する 206

ポイントパーティーの
設定を変更する 207

ポイントパーティーに
参加する 210

メンバーの位置情報を
表示する 212

ポイントパーティーを
終了する 213

携帯電話 214

携帯電話を利用する前に 214

携帯電話で通話するときは 214

携帯電話を使う 215

音声操作			
音声操作のポイント	224		
発話を正しく認識させるには	224		
キャラクタの案内	225		
音声操作の流れ	225		
発声の特徴を学習させる (音声認識話者学習)	229		
場所を探す	231		
周辺施設を探す	231		
住所で探す	232		
電話番号で探す	232		
登録した場所を探す	233		
最近探した場所を探す	233		
施設名で探す	234		
自宅へ帰るルートを探索する	234		
目的地の地図を見る	234		
基本操作をする	235		
音声認識語	235		
ルートの設定と案内	237		
音声認識語	237		
VICS情報を確認する	239		
音声認識語	239		
電話をかける	240		
登録した場所にかける	240		
電話番号を発話してかける	240		
携帯電話にかける	241		
メモリダイヤルでかける	241		
フリーダイヤルにかける	242		
リダイヤルでかける	242		
テレビ・ビデオを操作する	243		
音声認識語	243		
DVDを操作する	245		
音声認識語	245		
CDやMP3ディスクを操作する	246		
音声認識語	246		
ミュージックサーバーを操作する	247		
音声認識語	247		
MDを操作する	249		
音声認識語	249		
ラジオを操作する	250		
音声認識語	250		
その他の操作をする	251		
音声認識語	251		
音声操作の設定を変える	252		
ボイスヘルプ	252		
オーディオミュート	252		
話者学習していない人が 使うときは	252		
検索できるジャンルの種類	253		
ジャンル名の指定のしかた	253		
施設名で場所を探す場合の 対象ジャンル	255		
スケジュール管理			
ドライブスケジュールを管理する (ドライブスケジューラー)	256		
スケジュールを作成する	256		
毎日、毎週、毎月、毎年で スケジュールを作成する	258		
スケジュール実行時の 確認画面	259		
スケジュールを確認する	259		
スケジュールの実行を場所で 指定する	260		
スケジュールリストを見る	261		
スケジュールの日時または 場所を変更する	262		
スケジュールを消去する	262		
スケジュールを一括消去する	263		
車両情報を管理する	264		
エンジンオイルなどの 交換時期を設定する	264		
車検・任意保険・免許更新の 期日を設定する	265		
お知らせの確認画面	266		
車両情報を設定する	266		

付録

文字の入力操作	267	DVD/CD/MP3ディスク	297
1. 文字種を切り替える	267	ミュージックサーバー	298
2. 全角・半角を切り替える	268	ヘルプネット	298
3. 文字を入力する	268	ETC	300
4. 無変換、変換を行う	268	画面が動かなくなった場合は	301
5. 文字入力を終了する	268	頻繁にシステムエラーが	
漢字表から入力する	269	発生する場合は	301
文字を削除する	269	センサーメモリーの	
スペースを空ける	269	リセットについて	302
文字を挿入する	270	センサー学習状況のリセットが	
改行する	270	必要な場合	302
定型文を入力する	270	センサー学習状況の	
PCカードの操作	271	リセットのしかた	302
PCカードに保存する	271	ナビゲーションのしくみ	303
PCカードから読み込む	273	現在地がわかるしくみ	303
PCカードから消去する	274	測位の精度を高めるための	
PCカードをフォーマットする	275	しくみ	304
ETCの操作	276	誤差について	306
利用履歴を確認する	276	その他の情報	310
前納料金を設定する	277	検索におけるデータベースに	
前納料金の設定をクリアする	278	について	310
ヘルプネットの操作	279	ルートに関する注意事項	311
通報する	279	VICS情報に関する注意事項	313
システムの点検	280	予報に関する注意事項	313
ヘルプネット機能の消去	282	アメダス情報について	314
修理後の確認操作	282	詳細市街地図収録エリア	
困ったときには	283	について	315
操作ガイドを見る	283	オービスポイントについて	318
故障かなと思ったら	284	バックカメラを組み合わせる	318
共通項目	284	ナビゲーションの2画面表示	319
ナビゲーション	286	かな漢字変換できる記号	319
DVD	290	機能設定一覧	321
CD/MP3ディスク	292	地図表示	321
MP3ファイル	292	ルート・案内	322
ミュージックサーバー	294	VICS・FM多重	323
エラーメッセージと対処方法	295	その他	323
共通項目	295	索引	325
ナビゲーション	295	メニュー索引	325
		用語索引	328
		地図記号一覧	339

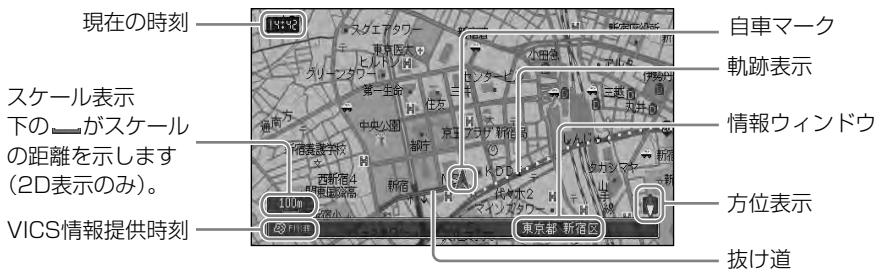
基本的な地図画面の見かたと操作

地図画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車（自車）の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」（15P）があります。

■ 現在地画面

ノーマルビュー



メモ

- 方位表示の赤い三角が北を示します。
- 進行方向が常に上にくるように地図が回転します（ヘディングアップ）。
地図の回転のしかたは変更できます。
→「設定を変更する」（112P）
- 軌跡表示は、今までに通った約230km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 情報ウィンドウの「市区町村名」は地図のスケールが10m～50mの詳細市街地図収録エリアの場合、市区町村、住所名、丁目が表示されます。（詳細市街地図収録エリア外は市区町村、ドライバーズビュー、シティハイウェイマップは都道府県と市区町村が表示されます。）
- 情報ウィンドウの「市区町村名」は地図のスケールが100m～1kmの場合、都道府県と市区町村が表示されます。
- 情報ウィンドウの「市区町村名」は地図のスケールが2km以上の場合は表示されません。
- 情報ウィンドウは「市区町村名」以外にも「緯度経度」「走行道路名」（走行道路名称表示）「AV情報」の切り替えができます。
→「設定を変更する」（112P）
- 場所によっては、情報ウィンドウの「市区町村名」が表示されないところもあります。
- スカイビューなどの3D地図では、スケールが200m以下の詳細表示のとき立体ランドマークを表示させることができます。
立体ランドマーク表示は、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」（112P）
- 通信中（ウェザーライブで気象情報を見ているときなど）は、交差点案内図などの情報は表示されません。地図表示はノーマルビュー、またはスカイビューになります。
- 現在の時刻は、GPS衛星から受信した電波に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。
- 道幅5.5m未満の道路（細街路）以外を走行しているときは、細街路および抜け道は表示されません。

現在地画面を表示させる

1 【現在地】を押す

現在地の地図が表示されます。地図には、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。



メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていないときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は過去の現在地（最後に測位したところ）が表示されます。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向と異なる場合があります。
- 現在地画面が表示されているときに【現在地】を押すと、登録したスケールとアングルで表示されます。(→21P)

走行すると表示される画面

交差点に近づく

交差点の手前300mに近づく、場所により通過する交差点名と方面案内表示、さらに直進・右左折を案内するレーン情報が表示されます。



メモ

- 方面案内表示は、実際の標識と異なる場合があります。
- 方面案内表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)

駐車場に入ると

データが収録されている大規模駐車場に入ると、入口、出口、エレベーターの位置などがわかる駐車場マップが表示されます。



メモ

- 駐車場マップは、4mスケールで表示されます。スケールコントローラーで8mスケールに変更することもできます。
- 駐車場マップの表示のさせかたは、「オート」、「マニュアル」のいずれかに変更できます。→「設定を変更する」(112P)

有料道路を走行すると

都市高速ではシティハイウェイマップに、都市間高速ではハイウェイモードに地図の表示方法が切り替わります。

メモ

- 表示方法を自動切り替えに変更できます。→「設定を変更する」(112P)

抜け道があると

ハードディスク内に収録されている抜け道情報が紫色に道塗りされ、点滅して表示されます。

メモ

- 抜け道表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)
- 10m~200mスケールで表示されます。

セーフティインフォメーション

運転の状況に応じて音声で案内を行います。

リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
踏切案内	この先、踏切です。ご注意ください。
合流方向案内	この先、左からの合流があります。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	300m先、右折専用レーンがあります。ご注意ください。
ライト点灯案内	まもなく、日が暮れます。ライトの確認をしてください。
県境案内	〇〇県に入ります。
有料道注意地点	ここからおよそ〇〇km先までは、十分運転に注意してください。

メモ

- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 右左折専用レーン案内では、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- 有料道注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ案内されます。
- セーフティインフォメーションは、それぞれON/OFFできます（合流方向案内と県境案内、有料道注意地点は、まとめてON/OFFします）。
→「設定を変更する」(112P)

■スクロール画面

ノーマルビュー

現在地から十字カーソル
を結んだ線



現在地から十字カーソル
位置までの直線距離

十字カーソル位置の地名

地図画面の見かた

メモ

- 十字カーソルは、画面の中心に表示されます（2D表示）。
- スクロール中は、画面の上下左右にスクロール方面表示が表示されます。200m以下のスケールでは市区町村名が、500m～1kmスケールでは都道府県名が表示されます。2km以上のスケールでは地名は表示されません。（場所によっては、上下左右いずれかのスクロール方面表示が表示されない場合があります。）
- スクロール方面表示は、ノーマルビュー、スカイビュー、ツインビュー、ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャーで表示されます。
- スクロール画面では、交差点の名称、レーン案内、方面案内、交差点拡大図は表示されません。
- ドライバーズビューやシティハイウェイマップでウィンドウマップ（→17P）を表示しない設定にしている場合も、スクロール中はウィンドウマップが表示されます。
- スクロール方面表示やウィンドウマップの表示は、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」（112P）
- スクロール画面は、2D（ノーマルビュー）に固定できます。
→「設定を変更する」（112P）

■サイドマップ表示

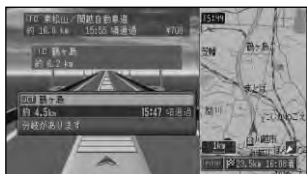
ハイウェイモード表示、および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側にサイドマップが表示されます。サイドマップは、直前に選択されていた表示方法とスケールで表示され、進行方向が常に上になるように地図が回転します（ヘディングアップ）。

メモ

- サイドマップのスケールは変更できます。
- 場所を探すリスト画面のサイドマップは、2D表示のノースアップ固定です（「周辺施設を探す」からルート周辺を探す場合は、ヘディングアップです）。
- 直前にツインビュー（→18P）で表示されていた場合は左画面の表示方法とスケールで、ドライバズビュー（次ページ）、シティハイウェイマップ（次ページ）で表示されていた場合はウィンドウマップの表示方法とスケールで表示されます。

ハイウェイモード、情報画面

ハイウェイモードや情報画面では、現在地のサイドマップが表示されます。



リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている場所がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地からの距離が表示されます。



■地図表示の向き

地図表示の向きは、次の2種類があります。

ヘディングアップ

「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転する。（工場出荷時の設定）

ノースアップ

「北」が常に上になるように表示される。

メモ

- 地図表示の向きは変更できます。
→「設定を変更する」(112P)
- ショートカットメニューの「ノースアップ」から操作することもできます。

■ノースアップ選択時の表示方法

地図表示の向きをノースアップにした場合は、進行方向が広く見えるように表示されます（ノースアップフロントワイド）。

メモ

ノースアップフロントワイドは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)

地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 マルチビューコントローラーを押す

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 マルチビューコントローラーを左右に倒して、表示方法を選ぶ



メモ

ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

3 マルチビューコントローラーを押す

選んだ表示方法で表示されます。

メモ

ビュー切り替えメニューが表示されている間(約8秒間)に押してください。

表示方法の種類

●ノーマルビュー

通常の地図(平面の地図)で表示されます。

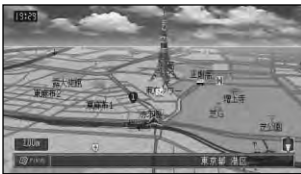


詳細市街地図収録エリアでは、10m~50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



●スカイビュー

上空から見てのような地図が表示されます。



詳細市街地図収録エリアでは、10m~50mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます(スカイシティマップ)。



メモ

- 地図を見る角度は変更できません。
→「地図を見る角度を変える」(21P)
- シティマップ、スカイシティマップ表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)

●ドライバーズビュー

ドライバーの視線から見たような地図が表示されます。

信号やお店などの目印となる建物が立体的に表示されます。(一部の地域では表示されないことがあります。)

また、画面内にノーマルビューの地図が表示されます(ウィンドウマップ)。



都市高速走行中はリアルな地図表示、さらに走行に役立つ有料道路の情報が表示されます(シティハイウェイマップ)。



メモ

- ウィンドウマップ表示は、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」(112P)
- シティハイウェイマップの自動表示は、変更できます。→「設定を変更する」(112P)
- ウィンドウマップとして表示される地図は、スケール変更、回転、スクロールができます。ルート案内中は「オートアングルチェンジ」機能により、視点を自動的に変化させることができます。→「設定を変更する」(112P)
- シティハイウェイマップに表示される車線色や建物などについては、実際のものと異なる場合があります。実際の交通規則に従って走行してください。
- 「シティハイウェイウィンドウマップ」の設定を「高速マップ」(→114P)にしている場合は、シティハイウェイウィンドウマップに路線番号が表示されます。(都市高速のみ)

●ツインビュー（2画面表示）

画面が左右に2分割され、左画面にはスカイビュー、右画面にはノーマルビューで地図が表示されます。詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。



メモ

- 左画面の地図は、スクロール、回転、角度の変更などができます。
- 右画面の地図には常に自車位置が表示され、地図のスケールを変更できます。
→ 「地図のスケールを変える」(次ページ)

●ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。前方の有料道路施設までの距離や料金、分岐方向などが表示されます。右側にはサイドマップが表示されます。
→ 「サイドマップ表示」(16P)

出口施設*



前方の有料道路施設

前方の次の有料道路施設

※ルートが設定されているとき、表示されます。「有料道路 (a) → 一般道 (b) → 有料道路 (c)」というルート設定では、(a) の出口施設が表示されます。

メモ

- 有料道路の施設情報を見ることができます。→ 「有料道路の施設情報を見る」(22P)
- ハイウェイモードの自動表示は、変更できます。→ 「設定を変更する」(112P)
- ハイウェイモードに表示される内容は、実際と異なる場合があります。

地図を動かす

ジョイスティックを倒した方向に地図が動きます（スクロール）。

1

地図を動かしたい方向へジョイスティックを倒す

ジョイスティックを倒し続けている間、地図は動き続け、画面の上下左右にスクロール方面表示が表示されます。



ジョイスティックから手を離すと、現在地からの直線距離などが表示されるスクロール画面になります。



メモ

- ジョイスティックを倒したまま、さらに「決定」を押し続けると、スクロールのスピードが速くなります（ハイパースクロール）。
- 走行中は、ジョイスティックを倒すと、自動で画面の約半分がスクロールします。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。
- スクロール方面表示は、ON/OFF できます。
→ 「設定を変更する」(112P)
- スクロールは、2D(ノーマルビュー)に固定できます。
→ 「設定を変更する」(112P)

地図のスケールを変える

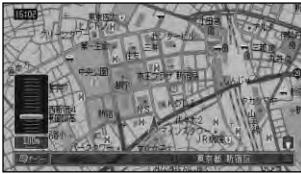
10m~500kmまでの範囲で地図のスケールを変えることができます。

■地図を詳しく/広い範囲を見る

- 1 スケールコントローラーを「**広域**」または「**詳細**」側に倒す
スケールバーが表示され、スケールレベルを確認できます。

広域 地図が縮小表示され、広い範囲を見ることができる。

詳細 地図が拡大表示され、詳しく見ることができる。



メモ

- スケールコントローラーを倒すたびに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケールが変わります。
- スケールコントローラーを倒し続けると、スケールが連続して変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

地図を2画面（ツインビュー）で表示している場合

スケールコントローラーを倒すと、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えるには

- 1 マルチビューコントローラーを押す
スケールの変更ができる状態になります（ビュー切り替えメニュー）。
- 2 スケールコントローラーを倒してスケールを変更する
- 3 「**決定**」を押す
変更後のスケールが登録されます。

■市街地図を表示させる

詳細市街地図収録エリアでは、10m~50mスケールのときに詳細な市街地図を表示させることができます。

詳細市街地図収録エリアは、「**詳細市街地図収録エリアについて**」(315P)を参照してください。

ノーマルビューでの市街地図（シティマップ）

各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。



メモ

- シティマップ表示は、ON/OFFできます。
→ 「**設定を変更する**」(112P)
- シティマップが表示できる地域と表示できない地域の境では、シティマップの表示できない地域の地図には何も表示されないことがあります。不具合ではありません。

スカイビューでの市街地図（スカイシティマップ）

代表的なビルなどの建物が立体表示され、自動車マークを隠す位置にある建物は、自動車マークが見えるように透かし表示されます。（ある程度手前に来ると、表示されなくなります。）

10m～25mスケールの場合、ビルが名称が画面内に1つ表示されます。このほか10m～50mスケールでは、一方通行などの詳しい情報が表示されます。



メモ

- スカイシティマップ表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)
- すべての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際とは異なる場合があります。
- スカイビュー、スカイシティマップではスケールが200mまで、登録した場所に設定した立体ランドマーク（3Dマーク）（→81P）が表示されます。

地図を左右に回転させる

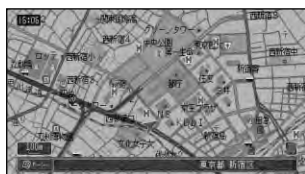
地図を左右に回転させて、違う方向から地図を見ることができます。

1 マルチビューコントローラーを左または右に倒す

マルチビューコントローラーを倒し続けている間、地図は回転し、方位表示は北を示す矢印に変わります。

左に倒す 地図の左側が上に向く

右に倒す 地図の右側が上に向く



メモ

- 走行中に操作すると、90°単位で回転します。
- 地図を回転させると地図の向きが固定され、走行しても自動的に回転しません。自動的に回転させるには、手順2を実行してください。

2 回転した地図を元に戻すには、[現在地] を押す

現在地画面に戻り、方位表示が矢印からひし形に戻ります。

地図を見る角度を変える

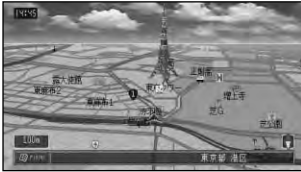
スカイビューでは、地図を見る角度を変えることができます。

1 マルチビューコントローラーを上または下側に倒す

上側に倒す 地図を見る角度が浅くなる（遠くまで見渡せる地図になる）

下側に倒す 地図を見る角度が深くなる（上から見下ろした地図になる）

上側に倒した場合



下側に倒した場合



メモ

- ツインビューの右画面、ドライバーズビューのウィンドウマップは、角度を変えるできません。
- ツインビューの左画面とウェザーライブ画面では、マルチビューコントローラーを倒すと、表示方法（ノーマルビュー/スカイビュー）の切り替えになります。
- ドライバーズビュー、シティハイウェイマップでは、ドライバーズアングル（ドライバーの視線）とスカイアングル（見下ろした地図）の2段階に切り替えられます。
- 走行中は操作できません。（シティハイウェイマップ表示中は操作できます。）

現在地画面の見かたを登録する

表示方法ごとに、地図画面のスケールと地図を見る角度を登録しておくことができます（ビューメモリー）。

メモ

10キーに「ビューのスケールとアングルを登録する」を割り当ててください。

→「10キーをカスタマイズする」(124P)

1 現在地画面のとき、「ビューのスケールとアングルを登録する」が割り当てられた10キーを押す

現在のスケールと地図を見る角度が登録されます。



以降、現在地画面で「[現在地]」を押すと、登録されたスケールと角度で地図が表示されます。



メモ

- ハイウェイモードは登録できません。
- 2D地図では、地図を見る角度は登録できません。
- 地図を左右に回転させているときは、「[現在地]」を押すと現在地画面に戻ります。もう一度「[現在地]」を押すと、登録されたスケールと角度で表示されます。
- スクロール画面のときは、現在地画面のスケールと角度に戻ります。

有料道路の施設情報を見る

有料道路走行中にハイウェイモードに切り替わると、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。

ハイウェイモードでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り替わります。また、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見することも可能です。

メモ

- 有料道路に入ると自動的にハイウェイモードに切り替わります。
ハイウェイモードの自動表示は、変更できます。→「設定を変更する」(112P)
- 有料道路によっては、自動的にハイウェイモードに切り替わらないことがあります。

1 マルチビューコントローラーを押す
ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 マルチビューコントローラーを左右に倒して、「ハイウェイモード」を選ぶ



3 マルチビューコントローラーを押す
ハイウェイモードになり、有料道路の施設情報が表示されます。



メモ

ビュー切り替えメニューが表示されている間(約8秒間)に押し続けてください。



ジョイスティックを上(▲)に倒すと、次の施設情報が表示されます。
[現在地]を押すと、現在向かっている施設情報が表示されます。



カーソル

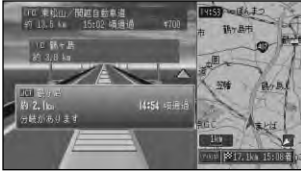
上下(▲、▼)方向にジョイスティックを倒すと、その先の施設を見ることができます。

メモ

- ルートを設定した場合は、ルートの道塗りもされます。
- 通常の地図表示に戻すには、マルチビューコントローラーで切り替えます(→16P)。
- 有料道路出口のおよそ1km手前になると、有料出口の案内が表示され、自動的に通常の地図表示に戻ります。
- ジャンクションやインターチェンジなどの有料道路に併設されている施設を通過して有料道路を降りる場合は、有料道路を降りるまでハイウェイモードで表示されます。一般道に入ると、通常の地図表示に戻ります。
- 有料道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り替えが間に合わないことがあります。
- 次の有料道路施設が近くなると、施設情報で表示される距離が長くなったり短くなったりすることがあります。

ジャンクションの分岐先の情報を見るには

- 1 ハイウェイモードでジョイスティックを上へ倒し、ジャンクションを選んで【決定】を押す



- 2 施設情報が見たい分岐先を選んで【決定】を押す



分岐先の施設情報が表示されます。



メモ

- 分岐から100施設先まで見ることができます。
- 「地図表示」を選んで【決定】を押すと、ジャンクションがある地点の地図が表示されます。【戻る】を押すと、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。（地図をスクロールさせるとメニュー画面に戻りません。）

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

- ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）
- 身障者用トイレ
- レストラン
- ショッピングコーナー
- 仮眠休憩所
- 案内所
- 風呂
- ファクシミリ
- 郵便ポスト
- キャッシュサービス

メモ

表示される情報は、8種類までです。9種類以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9番目以降は表示されません。

料金表示について

- 有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。
→「車両情報を設定する」(266P)

有料道路の施設情報を見る

都市高速走行中のハイウェイモード (シティハイウェイマップ)

都市高速では、ドライバーが目にする風景そのままを描き出したような地図が表示され、わかりにくいランプやジャンクションはイラスト表示されます。

ルート案内中は「オートアングルチェンジ」機能により、視点を自動的に変化させることができます。また、ドライバーズアングルとスカイアングルをマルチビューコントローラーで切り替えることができます(→21P)。ドライバーズアングルでは、ナビゲーションが認識する車線と走行中の車線が異なる場合は、車線変更を促す表示をさせることができます。

→「車線変更促し表示」(63P)



メモ

- シティハイウェイマップに切り替わった場合、ウィンドウマップのスケールは自動的に1kmスケールで表示されます。
- シティハイウェイマップの自動表示、オートアングルチェンジ、車線変更促し表示は、変更できます。
→「設定を変更する」(112P)
- ドライバーズアングルでは、ルートの道塗りはされません。

VICS情報受信中のハイウェイモード

VICS情報を受信しているときは、道路の混雑状況が施設間の距離を4等分して表示されます。これらの表示は、車が施設に近づくにつれて1つずつ消えていきます。混雑状況の各色の意味は以下のとおりです。

水色 順調

橙 混雑

赤 渋滞

灰色 情報なし、または不明



メモ

施設間で交通規制があるときは、マークで表示されます。

メニュー操作

基本的な操作のしかた

メニューから項目を選んで実行する、これが操作の基本です。
メニュー操作では、次のボタン類を使用します。

【メニュー】 スタートメニュー画面を表示させる。
メニュー画面のときに押すと、地図画面に戻る。

ジョイスティック 上下に倒して項目を選択する。
左右に倒してスタートメニューとサブメニューを移動する。

マルチビューコントローラー 上下に倒してメニューの最上位、または最下位の項目を選択する。
左右に倒してスタートメニューとサブメニューを移動する。

【決定】 選択を確定し、サブメニューまたは実行画面を表示させる。

【戻る】 直前のメニュー、または地図画面に戻る。

【現在地】 地図画面に戻る。

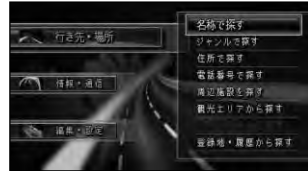
1 地図画面のとき、【メニュー】を押す

スタートメニューが表示されます。スタートメニューの右側に、選択されている項目のサブメニューが表示されます。



2 ジョイスティックを上下に倒してメニュー項目を選び、【決定】を押す

サブメニューの項目が選択できる状態になります。



3 ジョイスティックを上下に倒して項目を選び、【決定】を押す

選んだ項目を実行する画面が表示されます。



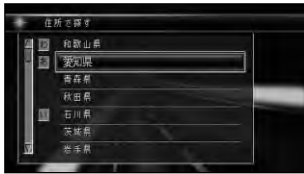
■リスト表示の画面操作

リストの項目をすべて表示できないときは、画面の左側にスクロールバーが表示されます。

隠れている項目を表示するには、ジョイスティックを上下に倒して画面をスクロールさせます。



スクロールバー



都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、マルチビューコントローラーを上下に倒すと、リストは次のインデックスに送られます。(例えば、「あ」から「い」へ送られます。) また、マルチビューコントローラーを左右に倒すと、リストは1画面ごとに送られます。その他のリストでは、マルチビューコントローラーを上下左右に倒すと、リストは1画面ごとに送られます。

メモ

リスト項目の文字が表示可能な領域を超える場合は、超えた分の文字は表示されません。

スタートメニュー

スタートメニューには、ナビゲーションに関するメニューが機能ごとに用意されています。

地図画面のとき [メニュー] を押すと、スタートメニューが表示されます。

「行き先・場所」

このメニューでは、場所を検索することができます。



- 名称で探す (→30P)
- ジャンルで探す (→31P)
- 住所で探す (→32P)
- 電話番号で探す (→33P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- 観光エリアから探す (→37P)
- マイリストから探す (→38P)
- 登録地、履歴から探す (→39P)

「情報・通信」

このメニューでは、ドライブに役立つ各種情報、携帯電話、インターネットなどを利用することができます。



- VICS情報 (→136P)
- LIVEリンク (→149P)
- 携帯電話 (→214P)
- インターネット (→160P)
- FM文字放送 (→146P)
- 操作ガイド (→283P)
- ハードウェア情報 (→154P)
- ヘルプネット (→279P)

メモ

ヘルプネットをご利用になるには、HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」(別売)が必要です。

「編集・設定」

このメニューでは、データの編集や本機に関する各種設定を行います。



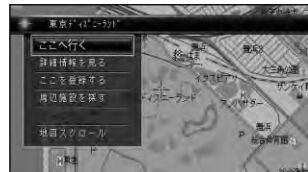
- ドライブプラン (→53P)
- ドライブスケジューラー (→256P)
- 車両メンテナンス (→264P)
- ルート編集 (→68P)
- データ編集 (→78P)
- ログマーク表示設定 (→123P)
- 各種設定 (→112P)

ショートカットメニュー

十字カーソル位置または現在地に対して、利用頻度の高い機能(ルート探索や場所の登録など)がショートカットメニューとして割り当てられています。

ショートカットメニューを使用すると、通常メニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。

現在地画面またはスクロール画面のとき[決定]を押すと、ショートカットメニューが表示されます。



- クイックルート探索 (→52P)
- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ルートを編集する (→68P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

メモ

ショートカットメニューを表示させるときの画面によって、表示されるメニューが異なる場合があります。

ダイレクトキー

リモコンの10キー、[自宅]、[別ルート]、[渋滞] を総称して、「ダイレクトキー」といいます。ダイレクトキーを押すと、割り当てられた機能がワンタッチで動作します。

また、10キーにお好みの機能を割り当てることができます。

→「10キーをカスタマイズする」(124P)

[0]	電話番号で探す	→33P
[1]	「10キーカスタマイズ一覧表示」	→126P
[2]	FMのオンエア連動表示をON/OFFする	→147P
[3]	「次の案内地を見る」	→65P
[4]	「ルート編集」	→68P
[5]	「渋滞オートガイドをON/OFFする」	→67P
[6]	「その他の設定」	→120P
[7]	「地図表示の設定」	→113P
[8]	「ルート・案内の設定」	→115P
[9]	「VICS・FM多重の設定」	→118P
[*/^ °]	「ロゴマークをON/OFFする」	→124P
[#/変換]	「周辺検索マークをON/OFFする」	→36P
[自宅]	自宅へのルート探索（自宅が登録されていないときは、自宅登録）	→51P
[別ルート]	別ルート探索	→74P
[渋滞]	渋滞案内	→75P

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所（行き先、立寄地などの目的地）を探すことから始まります。

目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

検索方法の種類

さまざまな状況に応じて場所を探せるように、以下のような検索方法が用意されています。

●地図で探す（→このページ）

地図上で直接探す場合

●名称で探す（→次ページ）

施設の名称がわかっている場合

●ジャンルで探す（→31P）

各種施設をジャンルで探す場合

●住所で探す（→32P）

住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で探す（→33P）

目的地の電話番号がわかっている場合

●緯度経度で探す（→33P）

目的地の緯度と経度がわかっている場合

●マップコードで探す（→34P）

目的地のマップコードがわかっている場合

●周辺施設を探す（→35P）

現在地および十字カーソル周辺の施設、ルート周辺の施設を探す場合

●観光エリアから探す（→37P）

観光エリアから施設を探す場合

●マイリストから探す（→38P）

あらかじめインターネットで取得した場所のリストから探す場合

●登録地、履歴から探す（→39P）

すでに地点登録されている場所を探す場合
また、過去に検索した場所から探す場合

地図で探す

地図上で直接探します。

1 ジョイスティックで地図をスクロールさせ、目的地を十字カーソルに合わせる



2 [決定] を押す

以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く（→41P）
- 詳細情報を見る（→39P）
- ここを登録する（→77P）
- 周辺施設を探す（→35P）
- ノースアップ（→16P）
- 地図スクロール（→40P）

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

- 1 **【メニュー】 - 「行き先・場所」 - 「名称で探す」を選んで【決定】を押す**



文字の入力画面が表示されます。

- 2 **ジョイスティックで探したい場所の名称を入力する**

→「文字の入力操作」(267P)

メモ

- 名称は、ひらがなで14文字まで入力できます。(ひらがな以外の文字種に切り替えることはできません。)
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゜)や半濁音(゚)の入力は不要です。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、ジャンルやエリア(都道府県など)での絞り込みが可能になります。
- 部分一致検索(入力した文字が含まれる場所をすべて検索)では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に完全一致検索(入力した文字と完全に一致する場所を検索)を行います。
- 部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている件数は、入力した文字の横に表示されます。
- 検索対象が10件以下になると、自動的にリストが表示されます。

- 3 **「候補表示」を選んで【決定】を押す**



入力した文字の検索結果の候補がリスト表示され、画面右側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。



メモ

- 「ジャンル」を選んで【決定】を押すと、ジャンルによる絞り込みができます。
- 「エリア」を選んで【決定】を押すと、エリア選択のリストが表示され、地域(都道府県、市区町村)による絞り込みができます。

- 4 **探している施設を選んで【決定】を押す**

施設付近の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く(→41P)
- 詳細情報を見る(→39P)
- ここを登録する(→77P)
- 周辺施設を探す(→35P)
- ノースアップ(→16P)
- 地図スクロール(→40P)

メモ

- 地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。このような場合は、その旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 検索された地図のほとんどがノースアップになっているため、多くの場合、「ノースアップ」を選択することができません。

ジャンルで探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

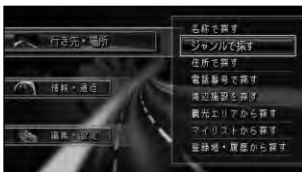
検索できるジャンル

- 交通機関
- 文化スポット
- 公共施設
- 自動車関連施設
- 金融機関
- その他の店
- 宿泊施設
- 病院
- グルメスポット
- 教育施設
- プレイスポット
- その他
- スポーツスポット
- テーマ(テーマ別検索)

メモ

自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所までのルートを探るときは、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

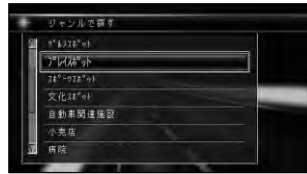
【メニュー】 - 「行き先・場所」 - 「ジャンルで探す」を選んで【決定】を押す



ジャンルのリストが表示されます。

2

探している施設のジャンルを選んで【決定】を押す



3

さらに細かく施設のジャンルを選んで【決定】を押す



メモ

ジャンルによって、さらに細かく絞り込むことができます。

4

探している施設を選んで【決定】を押す

施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。



施設付近の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

つづく→

メモ

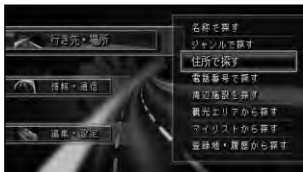
- 地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。このような場合は、その旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 地図上の位置と検索後に表示される位置が異なることがあります。(例えば、有料道路の上下線でそれぞれのサービスエリアが離れている場合は、各サービスエリアの中間地点が検索結果として採用されます。)このような場合でも、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが正しく探索されます。(ルート探索時の位置データが表示用の位置データとは別に用意されています。)したがって、その施設を目的地にしたり、登録したりする場合は、表示された位置から地図をスクロールさせずに次のメニューにお進みください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1

【メニュー】 - 「行き先・場所」 - 「住所で探す」を選んで【決定】を押す



都道府県の一覧が表示されます。

2

都道府県を選んで【決定】を押す

3

市区町村を選んで【決定】を押す

メモ

「主要部」を選んで【決定】を押すと、選んだ都道府県の代表地点(役所)の地図が表示されます。

4

地名(丁目)を選んで【決定】を押す

番地入力画面が表示されます。

メモ

「主要部」を選んで【決定】を押すと、選んだ市区町村の代表地点の地図が表示されます。

5

ジョイスティックまたは10キーで番地を入力する

→「文字の入力操作」(267P)

メモ

番地を入力しないで「入力終了」を選ぶと、丁目の代表地点の地図が表示されます。

6

「入力終了」を選んで【決定】を押す

入力した住所を中心とする地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

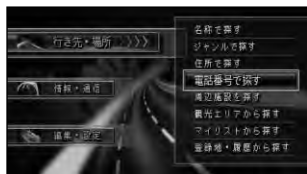
メモ

入力した番地が該当データにない場合は、代表地点が表示されます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

- 1 【メニュー】－「行き先・場所」－「電話番号で探す」を選んで【決定】を押す



電話番号の入力画面が表示されます。

メモ

電話番号の入力画面から、緯度経度検索(次項)またはマップコード検索(次ページ)の画面に切り替えることができます。

2 ジョイスティックまたは10キーで電話番号を入力する

→「文字の入力操作」(267P)

メモ

- 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。「入力終了」を選んで【決定】を押すと、その時点で入力された番号で検索が始まります。
- ダイヤルQ2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する場所が登録されている場合は、検索できます。
- 10桁まで入力できます。(090、080、070、050で始まる電話番号は11桁)
- タウンページに登録されているフリーダイヤル(0120-〇〇)は、検索できます。



自動的に検索が始まり、該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

メモ

- 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、局番に該当する市区町村の代表地点の地図が表示されます。局番が複数の地域にまたがっている場合は、いずれかの市区町村の代表地点が表示されます。
- 地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。このような場合は、その旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。

緯度経度で探す

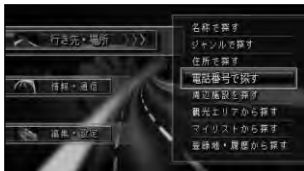
行き先の緯度と経度を入力して探すことができます。(緯度経度検索)

メモ

- 緯度、経度で検索できる範囲は日本近辺です。
- 本機は日本測地系に対応しています。

つづく→

1 [メニュー] - 「行き先・場所」 - 「電話番号で探す」を選んで [決定] を押す



「電話番号で探す」画面が表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

マップコードで探す

行き先のマップコードを入力して探すことができます。(マップコード検索)

2 「緯度経度」を選んで [決定] を押す



緯度、経度の入力画面が表示されます。

マップコードとは

- 場所の位置データに1~10桁の番号を割り当て、これらの番号で場所を特定できるようにしたものです。住所では特定できない場所でも特定できるという利点があります。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。



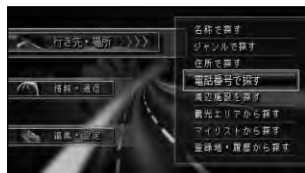
メモ

電話番号検索に戻るには「電話番号」を、マップコード検索に切り替えるには「マップコード」を選んでください。

3 ジョイスティックまたは10キーで緯度と経度を入力する

→「文字の入力操作」(267P)
15桁のコードをすべて入力すると自動的に検索が始まり、該当する地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

1 [メニュー] - 「行き先・場所」 - 「電話番号で探す」を選んで [決定] を押す



「電話番号で探す」画面が表示されます。

2 「マップコード」を選んで [決定] を押す



マップコードの入力画面が表示されます。



メモ

電話番号検索に戻るには「電話番号」を、緯度経度検索に切り替えるには「緯度経度」を選んでください。

3 ジョイスティックまたは10キーでマップコードを入力する

→「文字の入力操作」(267P)

10桁入力後自動的に検索が始まり、マップコードに該当する場所の地図が表示されます。



メモ

- 「入力終了」を選んで「決定」を押すと、その時点で入力されたコードを元に検索が始まります。
- マップコード検索では、地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。

4 ジョイスティックで地図をスクロールさせて目的地を探す

5 「決定」を押す

以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→このページ)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

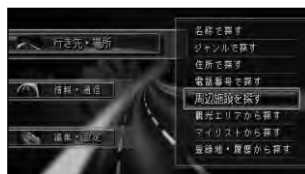
周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地や十字カーソル周辺の施設を探すことができます。

メモ

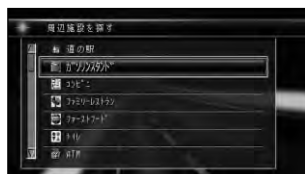
- ショートカットメニューの「周辺施設を探す」から操作することもできます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンドを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: 🚗)と利用できない施設(例: 🚫)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 駐車場は車両設定の設定内容が考慮され、検索されます。利用できない駐車場は🚫と表示されます。(実際の車両制限と異なる場合があります。)
- 特定のデパートの提携駐車場を検索することもできます。駐車場の詳細選択の中から目的のデパート提携駐車場名を選びと、その周辺の提携駐車場を探せます。(デパート提携駐車場検索)

1 「メニュー」－「行き先・場所」－「周辺施設を探す」を選んで「決定」を押す

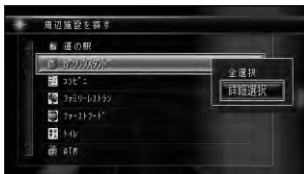


施設のリストが表示されます。

2 探している施設を選んで「決定」を押す



3 「全選択」または「詳細選択」を選んで [決定] を押す



施設のリスト表示の方法を選択するメニューが表示されます。

「全選択」すべての関連施設が表示される

「詳細選択」施設がさらに分類表示される

- 「全選択」を選んだときは、手順5の画面が表示されます。手順5に進んでください。
- 「詳細選択」を選んだときは、以下の画面が表示されます。

4 探している詳細施設を選んで [決定] を押す



5 施設を選んで [決定] を押す

施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設が表示されます。



メモ

- コンビニでは、酒（酒）・タバコ（☞）を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ルートが設定済みでかつ自車がルート上にある場合は、ルート周辺で検索します。自車の周辺で探す場合は「自車周辺で探す」を選びます。
- スケールを変更すると、施設を中心とした地図が変わります。



以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→前ページ)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

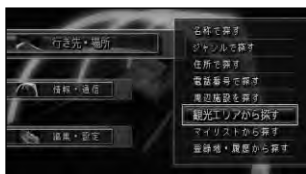
メモ

- 検索後は地図にロゴマークが表示されます。再度周辺施設を探す、または本機の電源を入れ直す（エンジンをかけ直す）と、消去されます。
- 10キーカスタマイズで「周辺検索マークをON/OFFする」を10キーのいずれかに割り当てると、10キーに割り当てた「周辺施設を探す」によって表示されたロゴマークを消去することができます。→「ロゴマークの表示をON/OFFする」(124P)
- 自車周辺で探す場合は、自車位置または十字カーソルから約16km四方の最大100件が検索されます。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方から最大100件が検索されます。

観光エリアから探す

観光エリアから、「見る」「遊ぶ」「食べる」「買う」の観点で探すことができます。

1 「メニュー」－「行き先・場所」－「観光エリアから探す」を選んで【決定】を押す

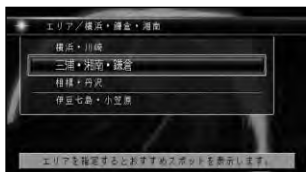


「観光エリアから探す」画面が表示されます。

2 観光エリアを選んで、【決定】を押す



3 詳細な観光エリアを選んで、【決定】を押す



施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設が表示されます。

4 探している施設を選んで、【決定】を押す

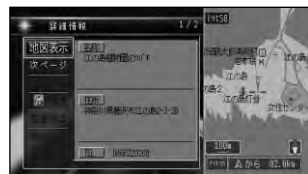


[◀] [▶] で「見る」「遊ぶ」「食べる」「買う」のジャンルを切り替えることができます。

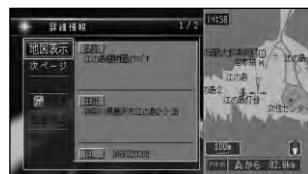
メモ

各ジャンルは季節などを考慮したおすすり順に施設をリスト表示します。

選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。



5 「地図表示」を選んで、【決定】を押す



メモ

- 詳細情報画面で「画像」を選ぶと、施設に関する画像が表示されます。「次ページ」を選ぶと、施設の詳細な情報が表示されます。
→「詳細情報を見る」(39P)
- 「発信」は選択できません。

以下のショートカットメニューが表示されます。

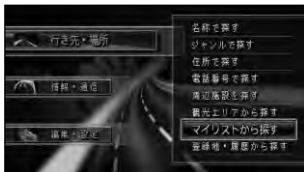
- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→39P)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

マイリストから探す

インターネットで取得したデータから場所を探すことができ、その場所の現況の詳細情報の確認や行き先とすることができます。(マイリスト検索)

インターネットの操作方法は、「画面を操作する」(170P)を参照してください。

1 【メニュー】 - 「行き先・場所」 - 「マイリストから探す」を選んで【決定】を押す

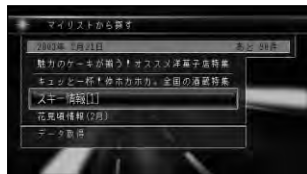


「マイリストから探す」画面が表示されます。

メモ

- データが取得されていない場合、携帯電話が接続されていれば「マイリストから探す」を選択することができます。携帯電話が接続されていないときは、選択できません。携帯電話を接続し、通信接続設定を行ってください。→「プロバイダを設定する」(162P)
- 携帯電話が接続されているときは、「マイリストから探す」画面で「データ取得」を選択できます。選択すると、ブラウザ画面が表示され、データを取得することができます。ブラウザ画面の「ネットワークに接続しますか？」に対して「いいえ」を選んだときは、「マイリストから探す」画面に戻ります。

2 探している施設のリストを選んで【決定】を押す



3 探している施設を選んで【決定】を押す

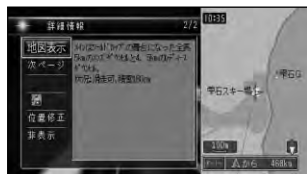
施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。



メモ

地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。

4 「地図表示」を選んで【決定】を押す



メモ

詳細情報画面で「画像」、「発信」を選ぶと、さらに詳細な情報にアクセスできます。

→「詳細情報を見る」(次ページ)

5 ジョイスティックで地図をスクロールさせて目的地を探す

地図の中心でない場合、地図をスクロールさせて目的地を探してください。

地図の中心の場合は、スクロールさせず手順6に進みください。

6 [決定]を押す

施設付近の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- ここへ行く (→41P)
- 詳細情報を見る (→このページ)
- ここを登録する (→77P)
- 周辺施設を探す (→35P)
- ノースアップ (→16P)
- 地図スクロール (→40P)

メモ

手順5以降の操作をすると、[戻る]を押しても詳細情報画面には戻りません。

再度詳細情報を見るには、始めから操作をやり直してください。

登録地、履歴から探す

すでに登録されている場所から探す(登録地検索)、過去に検索した場所や目的地とした場所から探す(サーチバック検索)ことができます。「登録地・履歴から探す」を選ぶと、はじめに登録地リストが表示されます。履歴から探す場合は、登録地リスト内にある「履歴から探す」を選択してください。

操作手順は、「ジャンルで探す」(31P)と同じです。

メモ

- 登録地が1件もないときは「履歴から探す」が表示されます。
- 履歴が1件もないときは「履歴から探す」は選択できません。
- 登録地のリストは並べ替えることができます。リストの表示中に「並べ替え」を押してください。→「登録地リストを並べ替える」(78P)
- 履歴に300件まで保存されます。消去したい場合には、→「検索履歴を消去する」(106P)

詳細情報を見る

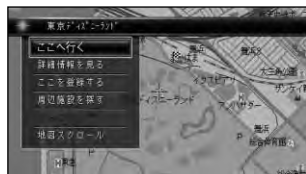
検索した場所の詳細情報を見ることができます。

1 場所を探す

→29P

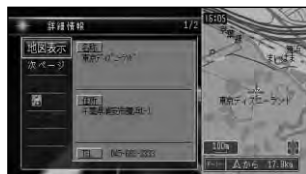
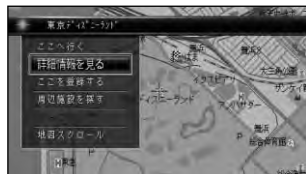
2 [決定]を押す

ショートカットメニューが表示されます。

**メモ**

建物の情報を見することもできます。

→「建物の絵に合わせたとき」(次ページ)

3 「詳細情報を見る」を選んで[決定]を押す

つづく→

メモ

- 「画像」を選んで「決定」を押すと、その場所に設定された画像が表示されます。
- 「次ページ」が表示されているときは、詳細情報に続きがあることを示しています。続きを見る、または前ページに戻るときには、「次ページ」を選んで「決定」を押してください。（詳細情報の右上にページ数が表示されます。）
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、「発信」を選んで「決定」を押してください。→「地図に登録された電話番号にかける」(217P)
- 「地図表示」を選んで「決定」を押すと、詳細情報を表示している地点の地図が表示されます。
- 登録地または履歴から場所を探した場合（→前ページ）は、「消去」が表示されます。「消去」を選んで「決定」を押すと、その地点は登録または履歴から削除されます。

■建物の絵に合わせたとき

シティマップ（→19P）、スカイシティマップ（→20P）、ドライバーズビュー（→17P）のウィンドウマップでは、建物の情報を見ることができます。

- 1 グレー以外の色で表示されている建物の絵に十字カーソルを合わせて「決定」を押す
ショートカットメニューが表示されます。
- 2 「詳細情報を見る」を選んで「決定」を押す
建物の詳細情報が表示されます。

■ロゴマークに合わせたとき

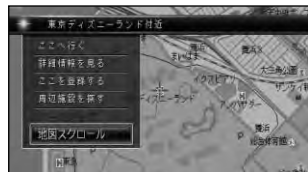
十字カーソルをロゴマークに合わせてショートカットメニューを表示させたときは、ロゴマークを表示している施設の移動（→93P）やロゴマークを表示させなくする（→91P）ことができます。

■目的地、立寄地、出発地に合わせたとき

十字カーソルを目的地、立寄地、出発地に合わせてショートカットメニューを表示させたときは、ルート確認ができます。
→「案内中のルートを確認する」(68P)

スクロール画面にする

検索した場所の地図画面を、スクロール画面にすることができます。

1 場所を探す
→29P2 「決定」を押す
ショートカットメニューが表示されます。3 「地図スクロール」を選んで「決定」を押す
スクロール画面になります。

行き先までのルートを探させる

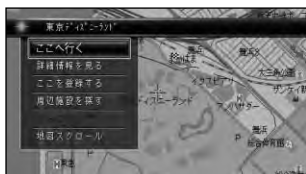
検索した場所を「行き先」として設定すると、現在地から行き先までのルートが探索され、ルート案内画面が表示されます。

1 場所を探す →29P

2 「決定」を押す

ショートカットメニューが表示されます。

3 「ここへ行く」を選んで「決定」を押す



行き先までのルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。
(「ルート探索基準」(→116P)、「有料道路使用条件」(→117P)に従い、始めに1本のルートが探索されます。)



すでにルート設定されている場合は、「目的地」、「立寄り地」を選ぶメニューが表示されます。どちらかを選んで進めてください。

メモ

- 出発地、目的地、立寄り地(→47P)付近では、道幅5.5m未満の細街路を含めてルート探索し、道塗りをを行います(ドア To ドア探索)。
- 「他のルート」を選択すると、6本のルートから選ぶことができます(→46P)。
ただし、以下の場合には複数のルートは探索できません。(「ルート探索基準」(→116P)「有料道路使用条件」(→117P)に従い、ルートが1本だけ探索されます。)
 - 立寄り地を設定した(→47P)
 - 登録道を使用してルートを探した(→49P)
 - 乗り降りIC(インターチェンジ)を指定した(→48P)
 - 「自宅」を押してルートを探した(→51P)
 - 音声操作でルートを探した(→231P)
- 行き先が有料道路付近にあるときは、その旨を確認する画面が表示されることがあります。「一般道路」または「有料道路」を選んで「決定」を押してください。
- 有料道路によっては、料金が表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されることがあります。
- ショートカットメニューの「ここへ行く」から立寄り地を追加した場合、最初に立ち寄るルートとして探索します。

ルート案内開始画面の見かた

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

IC (インターチェンジ) 表示

利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

メニュー表示

1本だけのルート探索では、「他のルート」(→46P)は選択できません。



ルート表示

現在選ばれているルートが概略表示されます。

情報表示

現在選ばれているルートの総距離、所要時間、料金が表示されます。

ルート案内開始画面のメニュー

- 案内開始 (→61P)
- ルート確認 (→44P)
- 他のルート (→46P)
- 詳細ルート設定 (→47P)

探索条件

最初にルート探索させる条件は、「ルート探索基準」(→116P)や「有料道路使用条件」(→117P)で設定された条件となります。「他のルート」の場合は、「ルート探索基準」、「有料道路使用条件」で設定された条件で2本、「有料道路使用条件」の異なる設定で2本、「ルート探索基準」で設定されていない条件で2本が、探索条件となります。→「他のルートを選ぶ」(46P)

メモ

- 「ルート確認」、「詳細ルート設定」の表示に時間がかかることがあります。
- 情報表示の料金は、車両設定により設定された有料道路料金区分で表示されます。→「車両情報を設定する」(266P)

学習ルート探索

いつも通る道をもとにルート探索に考慮させることができます。

メモ

- 学習ルート探索は、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」(112P)
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

VICIS情報を考慮したルート探索（渋滞考慮ルート探索）

VICIS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮したルート探索ができます。

メモ

- VICIS用ビーコンユニットを接続していないときは、交通規制のみを考慮したルート探索になります。
- VICIS情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索ができないことがあります。
- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)

回避エリアを考慮したルート探索

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルート探索します。

→「回避したい場所を登録する」(101P)

メモ

回避エリアを考慮したルート探索は、ON/OFFできます。

→「設定を変更する」(112P)

ルートを確認する

設定されたルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、行き先までのルートをクリック表示させることができます。

ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）などの情報を確認できます。

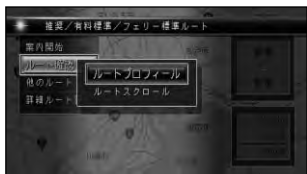
1 行き先を設定する →41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「ルート確認」を選んで「決定」を押す

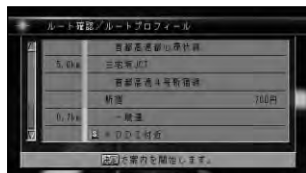


3 「ルートプロフィール」を選んで「決定」を押す



ルートプロフィール画面が表示されます。

4 「戻る」を押す



ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

ルートプロフィール画面で「決定」を押すと、ルート案内が始まります。

ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。

1 行き先を設定する →41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「ルート確認」を選んで「決定」を押す

3 「ルートスクロール」を選んで「決定」を押す



ルートスクロール画面が表示されます。

4 ジョイスティックを上下に倒して画面をスクロールさせる



メモ

- ジョイスティックを上倒すとルート前方に、下倒すとルートの後方に画面がスクロールします。
- ジョイスティックを倒し続けると、自動スクロールします。走行中は、1画面分動いたところで自動スクロールが停止します。

5 【戻る】を押す

ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

ルートスクロール画面で【決定】を押すと、ルート案内が始まります。

他のルートを選ぶ

通常のルート探索では、異なる条件によって6本のルートが探索されます。この中から、お好みのルートを選ぶことができます。

メモ

音声で行き先を設定したり、立寄地、乗り降りIC（インターチェンジ）、登録道を設定した場合は、ルートは1本のみ探索され、「他のルート」は選択できません。

1 行き先を設定する →41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「他のルート」を選んで [決定] を押す



ルートの候補を選択する画面が表示されます。

各ルートの探索条件は、「ルート探索基準」(→116P)、「有料道路使用条件」(→117P) の設定により変わります。

3 リストから設定したいルートの条件を選んで [決定] を押す



ルートが変更され、ルート案内開始画面に戻ります。

ルートを詳細に設定する

行き先までのルートの途中に、立ち寄りしたい場所や乗り降りしたいIC（インターチェンジ）などを設定することができます。

メモ

ルートを詳細に設定すると、ルートは1本のみ探索され、「他のルート」は選択できません（出発地指定は除く）。

立寄地を設定する

行き先までのルートの途中に立ち寄りしたい場所（立寄地）を設定します。

1 行き先を設定する →41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「詳細ルート設定」を選んで【決定】を押す



3 「立寄地指定」を選んで【決定】を押す



立寄地指定画面が表示されます。

4

「追加」を選んで【決定】を押す



立寄地の探しかたを選択する画面が表示されます。

5

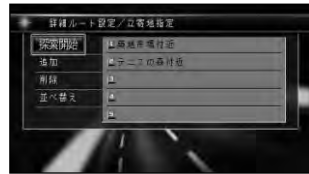
立寄地の探しかたを選んで【決定】を押す

検索のしかたは、「場所を探す」(29P)を参照してください。

6

立寄地の地点、および地名を確認して【決定】を押す

立寄地指定画面に戻り、立寄地の地名がリスト上に表示されます。



さらに立寄地を追加したいときは、手順4~6を繰り返します。

メモ

立寄地は5か所まで設定できます。ただし、登録道（→49P）を使用する場合は、登録道の最初と最後が立寄地として扱われるため、設定できる立寄地は3か所になります。また、乗り降りICの入口と出口のICを指定した場合も同様です。

つづく→

7 「探索開始」を選んで [決定] を押す

立寄地を通るルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

- 複数の立寄地を指定した場合は、リストの並び順（追加した順）に立寄地を通るように、ルートが探索されます。
- 「削除」、「並び替え」を選ぶと、立寄地を編集できます。
→「ルート上の目的地や立寄地を編集する」(70P)

乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

メモ

- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルート of 全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 行き先を設定する

→41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「詳細ルート設定」を選んで [決定] を押す

3 「乗降IC指定」を選んで [決定] を押す



乗降IC指定画面が表示されます。

4 「入口IC指定」または「出口IC指定」を選んで [決定] を押す



入口IC指定または出口IC指定のリスト画面が表示されます。

指定を解除する

「指定解除」を選ぶと、「入口・出口」、「入口のみ」、「出口のみ」のいずれかを選択してインターチェンジの指定を解除することができます。

5 入口または出口となるインターチェンジを選んで [決定] を押す

指定したインターチェンジを通るルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

- 乗り降りICは、現在指定されているインターチェンジを除いて前後3つの中から指定できます。ただし、ジャンクション（JCT）は含まれません。
- ジャンクション（JCT）を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

登録道をルートに組み込む

よく使う近道などをあらかじめ登録しておき(→98P)、その道路をルートに組み込むことができます。(登録道指定ルート)

1 行き先を設定する →41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「詳細ルート設定」を選んで「決定」を押す

3 「登録道指定」を選んで「決定」を押す



登録道指定画面が表示されます。
登録道がすでに指定されている場合「登録道指定解除」となります。

4 リストから、組み込みたい登録道を選んで「決定」を押す



指定した登録道を含む地図が表示されます。

5 選んだ登録道を確認して「決定」を押す

ジョイスティックを上にも倒すと登録道上のルートの前方に、下にも倒すと登録道上のルートの後方に画面がスクロールします。



選択した登録道を追加したルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

- 登録道は1本だけ組み込むことができます。
- 登録道は、すでに指定されている立寄地の後に追加されます。
- 登録道を逆方向にたどるルートは設定できません。
- 登録道を組み込んだ場合、通常よりモルト探索に時間がかかります。
- 登録道の走行中は、渋滞や交通規制は考慮されません。
- 登録道の最初と最後が立寄地として扱われるため、指定できる立寄地の数は3か所になります。
- 登録道に到達する前にオートリルートが行われた場合、登録道の入口までのルートが再探索されます。[別ルート]を押した場合は、登録道の前後を再探索します。
- 登録道の走行中にリルート(オートリルートを含む)すると、登録道を使用しないルートが探索されることがあります。
- 登録道の走行中にリルートすると、ルート探索に時間がかかることがあります。
- 登録道の走行中は、渋滞考慮オートリルートおよびルートアドバイザーは動きません。

出発地を指定する

現在地以外の場所をルートの始点（出発地）に指定して、その場所から行き先までのルートを探索させることができます。

1 行き先を設定する →41P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート案内開始画面のメニューから「詳細ルート設定」を選んで「決定」を押す

3 「出発地指定」を選んで「決定」を押す



出発地指定画面が表示されます。

出発地がすでに指定されている場合「出発地指定解除」となります。

4 出発地の探しかたを選んで「決定」を押す

→「場所を探す」(29P)



指定した出発地を含む地図が表示されます。

5 十字カーソルに出発地を合わせて「決定」を押す



指定した出発地から行き先までのルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

出発地を指定してルート探索した後に出発地指定を解除しても、出発地の旗のマークは指定解除前の位置に残ることがありますが、自転車位置からのルート探索となります。

自宅に帰るルートを探させる

自宅が登録されているときは、簡単な操作で自宅へ帰るルートを探させることができます。

1 現在地画面が表示されている状態で【自宅】を押す

「登録地のルート探索条件」(→117P)、「ルート探索基準」(→116P)、「有料道路使用条件」(→117P)に従い、ルートが1本だけ探索されます。

メモ

- 自宅が登録されていないときに【自宅】を押すと、自宅を登録する画面になります。
- スクロール画面では操作できません。



メモ

案内中のルートがあるときは、自宅までのルートを探してもよいか確認する画面が表示されます。

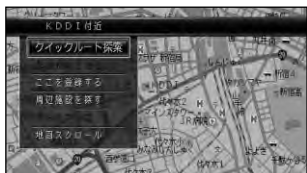
簡単にルートを探させる

過去に探したことがある場所に行きたいときは、簡単な操作でルートを探させることができます。(クイックルート探索)

1 現在地画面が表示されている状態で [決定] を押す

ショートカットメニューが表示されます。

2 「クイックルート探索」を選んで [決定] を押す



検索履歴が50件までリスト表示され、画面右側には選択されている場所を中心とする地図が表示されます。

メモ

スクロール画面では「クイックルート探索」は表示されません。

3 行きたい場所を選んで [決定] を押す



以降の操作手順は「行き先までのルートを探させる」(41P)と同じです。

ドライブプランを立てる

指定した出発日時、出発地、同行者、目的地などをもとにプランを作成し、設定日時になると自動で実行し、ドライブの行程管理をします。(ドライブプラン)

メモ

- 1日1件で10日分(10件)のドライブプランを作成できます。

ドライブプランを作成する

出発日時、出発地、同行者、目的地など指定し、ドライブプランを作成します。

- 1 **【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「ドライブプラン」を選んで【決定】を押す**

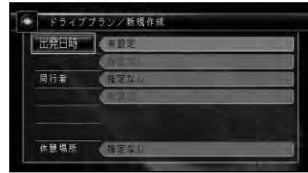


ドライブプラン新規作成画面が表示されます。

メモ

ドライブプランが設定されていると、ドライブプランリストが表示されます。「新規作成」を選んで【決定】を押してください。

- 2 **「出発日時」を選んで【決定】を押す**



カレンダー画面が表示されます。

- 3 **ドライブプランを設定したい日付を選んで【決定】を押す**



時間入力画面が表示されます。

メモ

- 本日の日付に緑のかけっこ ([]) が付きます。
- ドライブプランが設定されている日付には、橙色の下線が付きます。
- 「前月」、「今月」、「次月」を選んで【決定】を押すと、月送りされます。
- ドライブプランが設定されている日付を選ぶと、「既にドライブプランが設定されています。」とメッセージが表示され、カレンダー画面に戻ります。
- 過去の日付を選ぶと、「指定された日は過ぎていたため設定できません。」とメッセージが表示され、カレンダー画面に戻ります。

つづく→

- 「設定終了時」はプラン作成後、すぐ実行する場合に選んでください。「設定終了時」を選んで「決定」を押すと、ドライブプラン新規作成画面に戻ります。その場合、「出発地」は「指定なし」になります。手順8にお進みください。

4 ドライブプランの実行時刻を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



メモ

- 過去の時間を入力すると、「指定された時刻を過ぎています。」とメッセージが表示され、時間入力画面に戻ります。
- 10分単位で入力してください。

5 「入力終了」を選んで「決定」を押す



ドライブプラン新規作成画面に戻ります。

6 「出発地」を選んで「決定」を押す



7 出発地を選んで「決定」を押す



「自宅」、「指定なし」、「検索」のいずれかを選んで「決定」を押してください。

「自宅」 登録してある自宅を出発地として設定します。

「指定なし」 「出発日時」で設定した日時になった地点を出発地として設定します。

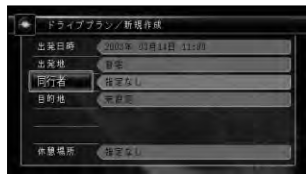
「検索」 出発地を検索します。
→ 「場所を探す」(29P)

出発地が設定されると、ドライブプラン新規作成画面に戻ります。

メモ

自宅が登録されていない場合は「自宅」は選べません。

8 「同行者」を選んで「決定」を押す



9 同行者を選んで「決定」を押す

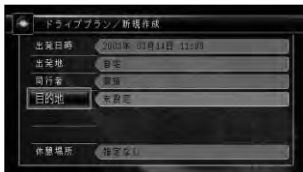


「恋人」、「家族」、「友達」、「指定なし」のいずれかを選んで「決定」を押してください。同行者が設定されると、ドライブプラン新規作成画面に戻ります。

メモ

- 同行者を設定しなくてもプランは作成できます。
- 同行者を設定しておく、「観光エリアから探す」で検索する場合、同行者に適したスポットをおすすめします。

10 「目的地」を選んで「決定」を押す



目的地の探しかたを選択する画面が表示されます。

メモ

- すでに目的地が設定されている場合は、目的地の名称が表示されます。
- 目的地は最大10件まで追加できます。

11 目的地の探しかたを選んで「決定」を押す



- 検索のしかたは、「場所を探す」(29P)を参照してください。
- 「観光エリアから探す」で検索する場合、エリアを絞っていくと「自動選択」、「手動選択」を選ぶメニューが表示されます。「自動選択」では、おすすめのスポットが自動で3地点（絞られたエリア内の「見る」「遊ぶ」から2地点、「食べる」から1地点）選択されます。

12 「滞在時間」を選んで「決定」を押す



メモ

- 滞在時間を設定しておく、滞在時間を考慮したプランを作成します。（滞在時間を設定しなくてもプランは作成できます。）
- 「画像」を選んで「決定」を押すと、施設に関する画像が表示されます。
- 「次ページ」を選んで「決定」を押すと、詳細情報のページ切り替えができます。
- 「地図表示」を選んで「決定」を押すと、地図をスクロールして目的地の位置を変更することができます。

13 滞在時間を入力する

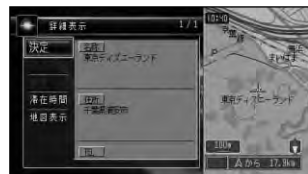
→「文字の入力操作」(267P)

メモ

10分単位で入力してください。

14 「入力終了」を選んで「決定」を押す

15 「決定」を選んで「決定」を押す



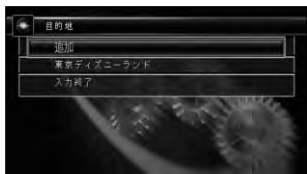
目的地設定画面が表示されます。

さらに目的地を追加する場合は、手順16にお進みください。目的地を追加しない場合は、手順20にお進みください。

つづく→

16

「追加」を選んで「決定」を押す



17

「おすすめ自動選択」または「おすすめスポット」、「検索」を選んで「決定」を押す

「おすすめ自動選択」 最初に設定した目的地付近で、同行者を考慮した、おすすめスポットを2~3地点追加します。

「おすすめスポット」 最初に設定した目的地付近で、同行者を考慮した、おすすめスポットから検索できます。

「検索」 探しかたを選び、検索します。

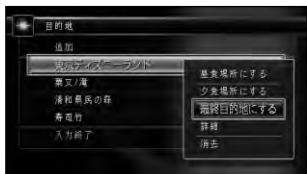
- それぞれの検索画面が表示されます。
→「場所を探す」(29P)
- 「おすすめ自動選択」は、目的地が2か所以上あると選択できなくなります。

18

手順16~17を繰り返し、必要な目的地を設定する

19

目的地を選んで「決定」を押し、目的内容を設定する



目的地に次のいずれかの目的内容を設定することができます。

- 昼食場所にする
- 夕食場所にする
- 最終目的地にする

メモ

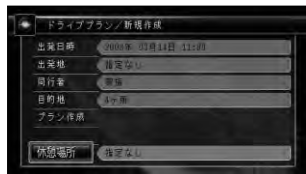
- 1つの目的内容を複数の目的地に設定することはできません。
- 目的内容を設定しなくてもプランは作成できます。
- 「詳細」を選んで「決定」を押すと、滞在時間を設定できます。
- 「消去」を選んで「決定」を押すと、消去できます。

20

「入力終了」を選んで「決定」を押すドライブプラン新規作成画面に戻ります。

21

「休憩場所」を選んで「決定」を押す



休憩場所のリストが表示されます。

メモ

- 休憩場所を設定しなくてもプランは作成できます。
- 休憩場所を設定しておけば、ドライブプラン実行中に2時間以上走行した時点で休憩を促し、選んだ施設を表示します。
- 次の目的地にすぐに到着できる場合は、休憩は促しません。

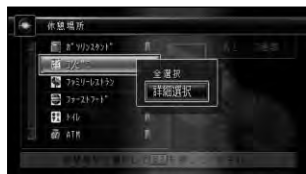
22

探したい休憩場所を選んで「決定」を押す

休憩場所のリスト表示の方法を選択するメニューが表示されます。

23

「全選択」または「詳細選択」を選んで「決定」を押す



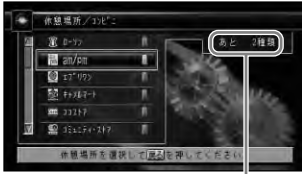
「全選択」 すべての関連施設が表示される

「詳細選択」 施設がさらに分類表示される

- 「全選択」を選んだときは、[戻る] を押し設定を終了させて、ドライブプラン新規作成画面に戻ります。
- 「詳細選択」を選んだときは、以下の画面が表示されます。

24

探したい詳細施設を選んで [決定] を押す



選択可能な残りの数

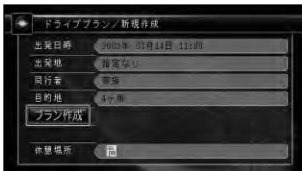
- 選ばれた休憩場所のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。
- 設定を終了させる場合は、[戻る] を押して休憩場所のリストを表示させ、さらに [戻る] を押してドライブプラン新規作成画面に戻ります。

メモ

- 再度 [決定] を押すと、ランプが消灯し、選択が解除されます。
- 他の休憩場所を選ぶには、[戻る] を押して休憩場所のリストに戻り、手順22～24を繰り返してください。

25

「プラン作成」を選んで [決定] を押す

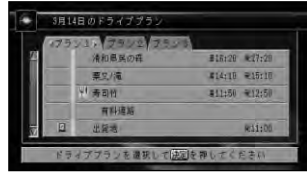


メモ

出発日時および目的地が設定されていないと「プラン作成」は選択できません。

26

ジョイスティックを左右に倒し、プランを選んで [決定] を押す



ドライブプランが作成され、地図画面に戻ります。

メモ

- プランは最大3つまで表示されます。
- プランが1つの場合は [決定] を押します。
- プラン作成に失敗した場合は、失敗した原因となった目的地に「X」が表示されます。[戻る] を押し、目的地を消去または変更してください。

ドライブプランを実行する

ドライブプランを実行する

作成したプランは、設定した日時に自動で実行されますが、以下の手順で任意に実行させることができます。

メモ

- 実行できるのは、設定した出発日時の当日のプランのみです。
- 前日のプランが終了していない場合は、実行できません。前日のプランを終了してから、実行してください。
- 設定した出発日時の当日にナビゲーションを起動すると、ドライブプラン実行確認のメッセージが表示されます。

1

[メニュー] - 「編集・設定」 - 「ドライブプラン」を選んで [決定] を押す

ドライブプランリスト画面が表示されます。

2 実行させるドライブプランを選んで [決定] を押す



3 「実行」を選んで [決定] を押す



実行を確認するメッセージが表示されます。

メモ

ドライブプラン作成時に設定した出発日時の当日でない場合は、「実行」は表示されません。

4 [決定] を押す


ドライブプランが実行されます。

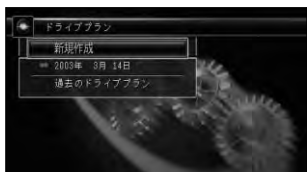
メモ

ルートが設定されている場合は、そのルートは消去されて、ドライブプランが実行されます。

ドライブプランを実行中

作成されたドライブプランを元に次のスポットを順次、探索しながらドライブプランの行程を管理していきます。また、ドライブプランの行程上、現在どの位置にいるのかを見ることができます。

実行中のドライブプランには、ドライブプランリストに  が表示されます。



メモ

- 実行中のドライブプランの内容を確認することができます。→「ドライブプランを確認する」(次ページ)
- ドライブプラン実行中に、他にルートを設定すると、ドライブプランは終了します。再度実行を行うと、到着していない目的地からプランを再開します。

ドライブプラン行程管理では以下の場合にメッセージを表示し、プランの変更や休憩などを促します。

- 時間の遅れ
- 営業時間などに間に合わない場合
- 2時間連続走行した場合

メモ

- 営業時間は実際と異なる場合があります。
- 目的地に到着しても、駐車場が遠いなどの理由で次のスポットの探索が行われない場合があります。その場合は、目的地を次へ送ってください (→次項)。

■ 目的地を次へ送る

複数の目的地が設定してある場合、次の目的地に送ることができます。

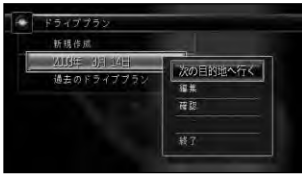
1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ドライブプラン」を選んで [決定] を押す

ドライブプランリストが表示されます。

2 実行中のドライブプランを選んで [決定] を押す



- 3** 「次の目的地へ行く」を選んで
[決定] を押す



ルート探索されます。

■ドライブプランを終了する

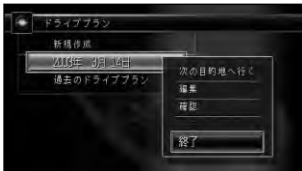
実行中のドライブプランを終了します。

- 1** [メニュー] - 「編集・設定」 -
「ドライブプラン」を選んで [決定] を押す

ドライブプランリストが表示されます。

- 2** 実行中のドライブプランを選んで [決定] を押す

- 3** 「終了」を選んで [決定] を押す



終了を確認するメッセージが表示されます。

メモ

再度「実行」を選んで [決定] を押すと、到着していない目的地からプランを再開します。

ドライブプランを編集する

作成済みのドライブプランの編集や過去のドライブプランを再利用することができます。

- 1** [メニュー] - 「編集・設定」 -
「ドライブプラン」を選んで [決定] を押す

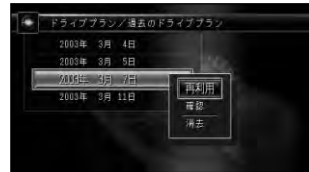
ドライブプランリスト画面が表示されます。

- 2** 編集したいドライブプランを選んで [決定] を押す

メモ

- 過去のドライブプランを再利用したい場合は「過去のプラン」を選んで [決定] を押し、再利用したいドライブプランを選んでください。
- 実行中または中断（終了）しているドライブプランは、「目的地」、「休憩場所」のみ編集できます。ただし、到着済みの目的地を消去することはできません。

- 3** 「編集」または「再利用」を選んで [決定] を押す



以降の操作手順は、「ドライブプランを作成する」(53P) と同じです。

ドライブプランを確認する

ドライブプランの内容を確認することができます。

- 1** [メニュー] - 「編集・設定」 -
「ドライブプラン」を選んで [決定] を押す

ドライブプランリスト画面が表示されます。

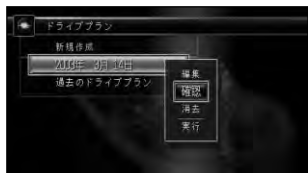
- 2** 確認したいドライブプランを選んで [決定] を押す

メモ

過去のドライブプランを確認したい場合は「過去のプラン」を選んで [決定] を押し、確認したいドライブプランを選んでください。

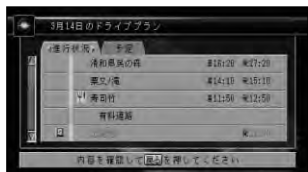
つづく→

3 「確認」を選んで「決定」を押す



ドライブプランの内容が表示されます。

4 内容を確認したら「戻る」を押す



メモ

実行中のドライブプランでは、進行状況と予定を確認できます。

ドライブプランを消去する

不要になったドライブプランを消去することができます。

1 【メニュー】－「編集・設定」－「ドライブプラン」を選んで「決定」を押す

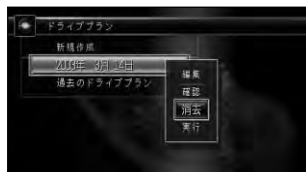
ドライブプランリスト画面が表示されます。

2 消去したいドライブプランを選んで「決定」を押す

メモ

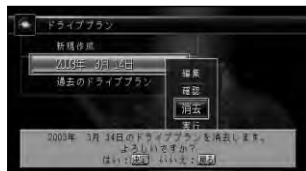
- 過去のドライブプランを消去したい場合は「過去のプラン」を選んで「決定」を押し、消去したいドライブプランを選んでください。
- 実行中のドライブプランは消去できません。いったん終了してから、消去してください。
→「ドライブプランを終了する」(前ページ)

3 「消去」を選んで「決定」を押す



消去を確認するメッセージが表示されます。

4 「決定」を押す



選択したドライブプランが消去され、ドライブプランリスト画面に戻ります。

ルートを案内させる

行き先までのルート設定（→41P）が終了したら、ルート案内に従って出発します。

ルート案内を開始する

1 ルート案内開始画面のメニューから「案内開始」を選んで「決定」を押す

ルート情報が音声案内され、ルート案内ができる状態になります。



2 設定されたルート上を走行する

走行を始めると自動的にルート案内が始まり、目的地に近づくともルート案内は終了します。

メモ

- ルート案内開始画面表示中にパーキングブレーキを解除して走行を始めると、選ばれているルートの案内を開始します。
- VICS情報（→136P）を受信しているときは、VICS情報の内容が到着予想時刻に反映されます。
- 場所によっては、方面案内とレーンの情報が表示されないことがあります。

- 場所によっては、行き先付近や出発地・立寄地付近まで、ルートが道塗りされないことがあります。ルート探索について、「ルートに関する注意事項」（311P）を参照してください。
- 交差点どうしの間が350m以内の複合交差点では、交差点案内図が（現在地画面に戻ることなく）連続して表示されます。
- 場所によっては、交差点案内図が表示されないことがあります。
- 画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内図は表示されません。
- 表示される到着時刻は、目的地に到着する推定時刻です。
- 通信中（ウェザーライブで気象情報を取得しているときなど）は、交差点案内図などの情報は表示されません。地図表示はノーマルビュー、またはスカイビューになります。
- ルート案内中に新しいルート候補が見つかったと、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れます（ルートアドバイザー）。500m（有料道：1.5km）走行する間に新しいルートまたは元のルートを選んでください（→67P）。

■画面表示による誘導・案内

誘導・案内

ルートインフォメーション



メモ

- ルートインフォメーションは、ON/OFF できます。
→「設定を変更する」(112P)
- 交差点通過中に交差点名が表示されると、ルートインフォメーションの表示が暗くなります。

案内地に近づく

案内地の手前300mに近づく、ドライバーズビューとなり、交差点の曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

ドライバーズビュー



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、ドライバーズビュー/拡大図の変更ができます。
→「設定を変更する」(112P)
- ドライバーズビューの場合、オートアングルチェンジにより、スカイアングルになります。
- オートアングルチェンジは、ON/OFF できます。
- 拡大図の場合、交差点内で目印となるロゴマークはロゴマークのまわりを \odot が点滅します。
- 拡大図の場合、通過したルートの道塗りは消去されます。
- 「交差点案内表示」の設定が「拡大図」(→116P)になっていても、地図の表示方法がドライバーズビューやシティハイウェイマップになっているときは、交差点案内表示はドライバーズビューまたはシティハイウェイマップになります。

都市高速の入口に近づく

ルート上の都市高速入口の手前300mに近づく、イラストが表示されます。(都市高速入口イラスト表示)



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づく

ルート上の有料道路分岐の手前2kmに近づくとき、ルートの進行方向の方面名称を表示します。手前1kmになると、都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。(分岐イラスト表示)

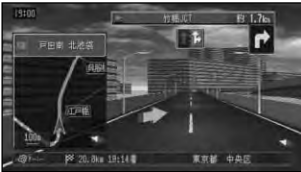


メモ

- シティハイウェイマップの場合、オートアングルチェンジにより、スカイアングルになります。
- オートアングルチェンジは、ON/OFFできます。

車線変更促し表示

シティハイウェイマップ表示中に推奨レーンと走行レーンが異なる場合、車線変更を促す矢印が表示されます。



メモ

- 走行状況などにより、正しく車線変更促し表示が表示されない場合があります。また、誤って表示される場合もあります。
→「車線変更促し表示について」(309P)
- シティハイウェイマップの地図の角度をマルチビューコントローラーでスカイアングルに変更しているとき(→21P)は、表示されません。

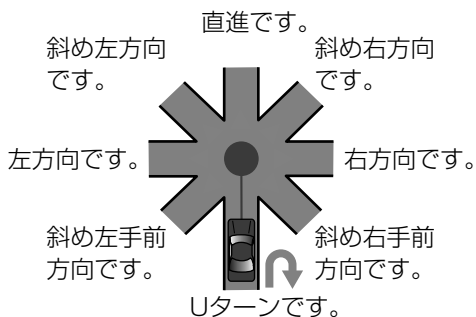
有料道路の入口や出口の料金所に近づくときETCユニット「ND-ETC6」(別売)などを接続している場合、**ETCの情報を受信したときは**、ETCの利用可能/利用不可能と料金が音声案内され、料金はメッセージも表示されます。

■音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で右のように案内されます。



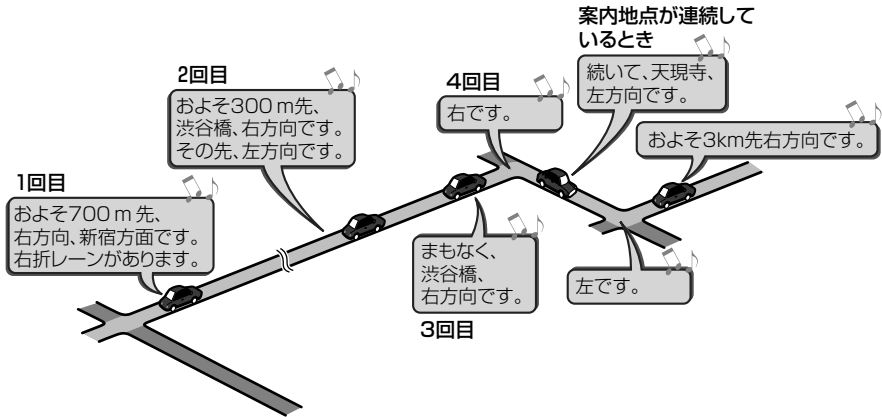
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ〇〇m先、左方向、練馬方面です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、〇〇インター、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、〇〇料金所です。
ETC情報案内	ETCが利用可能です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。〇〇が目印です。

メモ

- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- ETCを利用するためには、本機にETCユニットを接続する必要があります。
- ETC情報案内は、情報提供施設からの情報により案内が行われます。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。



立寄地が近づいたら

立寄地の約500m手前に近づくと、「およそ500m先、立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路を走行しているときは

ルート上の有料道路分岐の手前2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また、都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

メモ

- 料金案内では、有料道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。
→「車両情報を設定する」(266P)

音声案内を聞き逃した場合

10キーの[3]を押すと、次の案内地点の音声案内が流れ、次の案内地点の地図が表示されます。(案内地点に交差点拡大図がある場合は、拡大図も表示されます。)

メモ

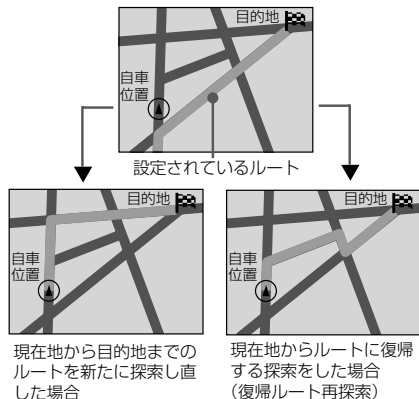
ボタンの割り当ては変更できません。

→「10キーをカスタマイズする」(124P)

■ルートから外れた場合

自動的にルートを再設定させる

案内中のルートから外れた場合、ドライバーが道を間違えたのか、それともドライバーが現状のルートを嫌ったのかを判断し、自動的にルートを設定し直すこと（再探索）ができます（オートリルート）。



メモ

- 全ルート再探索と復帰ルート再探索の判断は、オートリルートを繰り返した回数およびルートから外れた場所の進入角度、走行している道路の有効性などをもとに行われます（インテリジェントリルート）。
- 自車マークがルートから外れた場合は、30m以上走行したところでオートリルートが働きます。
- オートリルートは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)
- オートリルートがOFFの状態で大幅にルートを外れた後にオートリルートをONにした場合で、かつ元のルートに復帰するには効率が悪いと判断されたときは、全ルートが再探索されます。この場合、元のルートとは異なるルートが設定されることがあります。
- オートリルートがOFFの状態でもルートを再設定するには、ルートを再探索してください。→「条件を変えてルートを設定し直す」(70P)

■次の案内地点が見えるスケールに自動的に変更する

ルート案内中、次の案内地点が地図に表示されるように、地図のスケールを自動的に変更させることができます（オートフリーズーム）。オートフリーズームを設定すると、案内地点までの距離が離れているときは地図のスケールが大きくなり、案内地点に近づいたときは地図のスケールが小さくなります。

メモ

- オートフリーズームは、最大500m、最小50mのスケールを自動的に変更します。
- 次の案内地点が遠い場合は、スケールが変更されないことがあります。案内地点に近づくと、適切なスケールに変更されます。
- 目的地案内後に本機の電源を入れ直す（エンジンをかけ直す）と、地図は登録されたスケールで表示されます。→「現在地画面の見えかたを登録する（ビューメモリー）」(21P)
- オートフリーズームは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)

過去に通った道などを優先して案内させる（ルートアドバイザー）


ルート案内中に、登録道、過去に案内ルートから外れて通ったオートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道データなどを元に、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、元のルートと登録道や過去に通った道、抜け道などを考慮したルートが表示されます。

- 1** 新しいルートが表示された状態で、リモコンの【決定】、または音声認識コントローラーの【操作】 / 【場所】 を押す



過去に通った道や抜け道などが考慮された、新しいルートが設定されます。

メモ

- 新しいルートと元のルートが選択できる間（一般道：500m、有料道路：1.5km）は、画面に「あと〇〇mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内が始まります。
- リモコンの【戻る】 / 【現在地】 / 【メニュー】、または音声認識コントローラーの【訂正】を押すと、元のルート案内に戻ります。
- 走行画面は分岐地点への進入方向を上にして、500mスケールを上限とした分岐地点、合流地点が同時に表示できるスケールになります（500mスケールで分岐地点と合流地点を同時に表示できない場合は、合流地点は表示されません）。
- 案内地が連続している場合は、働かないことがあります。
- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかに有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 差がない場合は「0」のみが表示されます。
- 新ルートは、 で表示されます。
- ルートアドバイザーによって考慮される情報を選んだり、OFFにしたりすることができます。
→ 「設定を変更する」(112P)

ルート上の渋滞を案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内させることができます（渋滞オートガイド）。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは、渋滞オートガイドが働かないことがあります。
- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。
→ 「設定を変更する」(112P)

渋滞を自動的に考慮する

VICS情報の渋滞や規制情報をもとに、自動的に渋滞などを考慮してルートを再探索させることができます（渋滞考慮オートリルート）。ルート案内中に新しいルートが見つかり、「渋滞考慮オートリルートを行いました。」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートが表示されます。


1 新しいルートが表示された状態で、リモコンの**【決定】**または音声認識コントローラーの**【操作】 / 【場所】**を押す



渋滞や規制が考慮された、新しいルートが設定されます。

メモ

- VICS用ビーコンユニットを接続しているときは、ビーコンおよびFM多重情報による渋滞が考慮されます。VICS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送による規制情報のみ考慮されます。
- VICS情報が取得できないときなどは、渋滞考慮オートリルートが働かないことがあります。
- 新しいルートと元のルートが選択できる間（一般道：500m、有料道路：1.5km）は、画面に「あと〇〇mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内が始まります。

- リモコンの**【戻る】** / **【現在地】** / **【メニュー】**、または音声認識コントローラーの**【訂正】**を押すと、元のルート案内に戻ります。
- 走行画面は分岐地点への進入方向を上にして、500mスケールを上限とした分岐地点、合流地点が同時に表示できるスケールになります（500mスケールで分岐地点と合流地点を同時に表示できない場合は、合流地点は表示されません）。
- 案内地付近では、渋滞考慮オートリルートは働きません。
- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかに有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 差がない場合は「0」のみが表示されます。
- 新ルートは、で表示されます。
- 渋滞考慮オートリルートは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)

案内中のルートを確認する

案内中のルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、行き先までのルートをスクロール表示させたりすることができます。また、行き先までの設定地点をリスト表示させることやデモ走行もできます。

メモ

現在地画面のショートカットメニュー、「ルートを編集する」から操作することもできます。

■ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）などの情報を確認できます。

- 1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す



ルート編集画面が表示されます。

- 2 「ルート確認」を選んで [決定] を押す
 - 3 「ルートプロフィール」を選んで [決定] を押す
- ルートプロフィール画面が表示されます。
以降の操作手順は「ルートプロフィールで確認する」(44P) と同じです。

■ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。

- 1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す
- ルート編集画面が表示されます。
- 2 「ルート確認」を選んで [決定] を押す
 - 3 「ルートスクロール」を選んで [決定] を押す
- ルートスクロール画面が表示されます。
以降の操作手順は「ルートスクロールで確認する」(44P) と同じです。

■設定地点リストを確認する

目的地、立寄り地、出発地をリスト表示させて地図で確認することができます。

- 1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す
- ルート編集画面が表示されます。
- 2 「ルート確認」を選んで [決定] を押す
 - 3 「設定地点リスト」を選んで [決定] を押す
- 設定地点がリスト表示され、画面右側には選択されている地点を中心とする地図が表示されます。
- 4 リストから確認したい地点を選んで [決定] を押す
- 選んだ地点の地図が表示されます。
- 5 [戻る] を押す
- 直前の画面に戻ります。
- メモ**
[決定]、[現在地]、[メニュー] を押すと、直前の画面には戻りません。

案内中のルートを確認する

■デモ走行

設定したルートをデモ走行する機能です。

- 1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す
- ルート編集画面が表示されます。
- 2 「ルート確認」を選んで [決定] を押す
 - 3 「デモ走行開始」を選んで [決定] を押す
- メモ**
デモ走行は繰り返し行われます。デモ走行を終了するときは、手順3で「デモ走行終了」を選んでください。

条件を変えてルートを設定し直す

設定されているルートを、探索条件を変えて再探索させることができます（ルート再探索）。

メモ

ショートカットメニューの「ルートを編集する」から操作することもできます。

- 1 【メニュー】－「編集・設定」－「ルート編集」を選んで【決定】を押す
ルート編集画面が表示されます。

- 2 「ルート再探索」を選んで【決定】を押す



探索条件のメニューが表示されます。

- 3 お好みの探索条件に変更する



- 4 「探索開始」を選んで【決定】を押す
新しい条件でルート探索が開始されます。

メモ

- ルートを走行中でも、再探索できます。ただし、走行中のルートと同じルートが設定されることがあります。
- すでに通過した立寄地は、ルートを再設定しても考慮されません。

ルート上の目的地や立寄地を編集する

立寄地を追加または削除したいときは、立寄地を編集してルートを設定し直すことができます。

メモ

- ショートカットメニューの「ルートを編集する」から操作することもできます。
- ショートカットメニューの「ここへ行く」→「立寄地」から立寄地を追加することもできます（41P）。

立ち寄りたい場所を追加する

ルート設定後に立ち寄りたい場所を設定することができます。

- 1 【メニュー】－「編集・設定」－「ルート編集」を選んで【決定】を押す
ルート編集画面が表示されます。

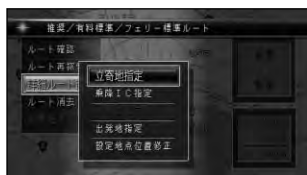
- 2 「詳細ルート設定」を選んで【決定】を押す



詳細ルート設定メニューが表示されます。

条件を変えてルートを設定し直す／ルート上の目的地や立寄地を編集する

3 「立寄地指定」を選んで【決定】を押す



立寄地指定画面が表示されます。
以降の操作手順は「立寄地を設定する」(47P)と同じです。

■立寄地を並べ替える

ルート設定後に立寄地に立ち寄る順番を、出発地からの距離順や任意の順番に変更することができます。

1 【メニュー】－「編集・設定」－「ルート編集」を選んで【決定】を押す

ルート編集画面が表示されます。

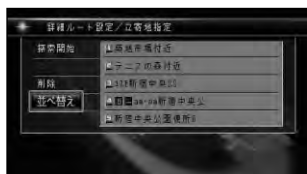
2 「詳細ルート設定」を選んで【決定】を押す

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 「立寄地指定」を選んで【決定】を押す

立寄地指定画面が表示されます。

4 「並べ替え」を選んで【決定】を押す



設定方法を指定するメニューが表示されます。

5 設定方法を選んで【決定】を押す



「オート」 出発地からの距離順になるように自動的に並べ替える

「マニュアル」 立ち寄る順番を指定する

「オート」を選択した場合は、手順8に進んでください。

6 立ち寄りたい順番に立寄地を選んで【決定】を押す

手順6を繰り返して、すべての立寄地を指定してください。

立寄地がすべて指定されると、確認のメッセージが表示されます。

7 【決定】を押す



立寄地指定画面に戻り、立寄地の並び順が変更されてリストに表示されます。

8 「探索開始」を選んで【決定】を押す

ルートが設定し直され、案内開始画面に戻ります。

メモ

- 登録道または乗り降りIC(インターチェンジ)が指定されているときは、「オート」は選択できません。
- 登録道の始点と終点の間に立寄地を追加することはできません。

■立寄地を削除する

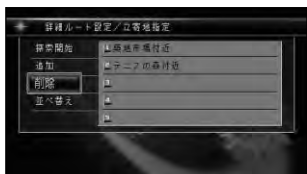
ルート設定後に立寄地を削除することができます。

1 【メニュー】 - 【編集・設定】 - 【ルート編集】を選んで【決定】を押す
ルート編集画面が表示されます。

2 「詳細ルート設定」を選んで【決定】を押す
詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 「立寄地指定」を選んで【決定】を押す
立寄地指定画面が表示されます。

4 「削除」を選んで【決定】を押す
立寄地のリストが表示されます。



5 削除したい場所を選んで【決定】を押す



削除確認画面が表示されます。

6 【決定】を押す
立寄地指定画面に戻り、削除した場所を除く立寄地のリストが表示されます。

メモ

登録道の始点と終点のいずれか一方を削除すると、両方が削除されます。

7 「探索開始」を選んで【決定】を押す

ルートが設定し直され、案内開始画面に戻ります。

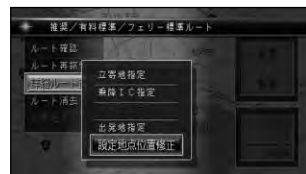
目的地や立寄地の位置を修正する

ルート設定後に目的地や立寄地の位置を修正することができます。

1 【メニュー】 - 【編集・設定】 - 【ルート編集】を選んで【決定】を押す
ルート編集画面が表示されます。

2 「詳細ルート設定」を選んで【決定】を押す
詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 「設定地点位置修正」を選んで【決定】を押す



設定地点位置修正画面が表示されます。

4 修正したい地点を選んで【決定】を押す



設定地点周辺の地図が表示されます。

5 十字カーソルを目的の場所に合 わせて [決定] を押す



ルートが設定し直され、案内開始画面に戻ります。

ルート上に乗り降りIC (インターチェンジ) を指定する

ルート上で有料道路を使用するときは、入口と出口のインターチェンジを指定し直すことができます。

メモ

- ショートカットメニューの「ルートを編集する」から操作することもできます。
- 指定されたインターチェンジは、立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す

ルート編集画面が表示されます。

2 「詳細ルート設定」を選んで [決定] を押す

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 「乗降IC指定」を選んで [決定] を押す

以降の操作手順は「乗り降りIC (インターチェンジ) を指定する」(→48P)と同じです。

ルート上に登録道を組み込む

複雑な抜け道やよく使う近道などをあらかじめ登録しておき(→98P)、その道路をルートに組み込むことができます。

メモ

ショートカットメニューの「ルートを編集する」から操作することもできます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す

ルート編集画面が表示されます。

2 「詳細ルート設定」を選んで [決定] を押す

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 「登録道指定」を選んで [決定] を押す

以降の操作手順は「登録道をルートに組み込む」(→49P)と同じです。

現在案内中のルートとは別のルートを探査する

現在案内中のルートとは異なるルートを再探索させることができます。次の立寄地、または行き先までのルートを探査し直します（全ルート再探索）。

1 ルート案内中に【別ルート】を押す

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました。」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートが表示されます。

メモ

- 自転車マークが探索したルートを行きたくない、別ルート探索は動きません。
- 新しいルートが見つからなかったときは、「別ルートは見つかりませんでした。元ルートで案内します。」と音声案内が流れます。


2 リモコンの【決定】または音声認識コントローラーの【操作】/【場所】を押す



新しいルートで案内されます。

メモ

- 新しいルートと元のルートが選択できる間（一般道：最大500m、有料道路：最大1.5km）は、画面に「あと〇〇mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内が始まります。

- リモコンの【戻る】/【現在地】/【メニュー】、または音声認識コントローラーの【訂正】を押すと、元のルート案内に戻ります。
- 走行画面は分岐地点への進入方向を上にして、500mスケールを上限とした分岐地点、合流地点が同時に表示できるスケールになります（500mスケールで分岐地点と合流地点を同時に表示できない場合は、合流地点は表示されません）。
- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかに有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 差がない場合は「0」のみが表示されます。
- 新ルートは、で表示されます。

ルート上の立寄地を先送りする

ルート案内中に次の立寄地を取り消して、ルートを設定し直すことができます。

メモ

ショートカットメニューの「ルートを編集する」から操作することもできます。

1 【メニュー】 - 【編集・設定】 - 【ルート編集】を選んで【決定】を押す

ルート編集画面が表示されます。

2 「立寄地送り」を選んで【決定】を押す

現在地から行き先、または取り消された次の立寄地を含む行き先までのルートが設定されます。

ルート案内中の操作

ルート上の渋滞・規制情報を表示させる

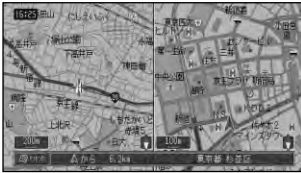
ルート上に渋滞や混雑・規制が発生したときは、その場所を表示させることができます。

メモ

- 渋滞情報表示は、設定によっては渋滞発生時に渋滞が表示されないことがあります。
- 渋滞情報の表示のさせかたは変更できます。→「設定を変更する」(112P)

1

ルート案内中に[渋滞]を押す
渋滞・規制している場所が左画面に、
現在地画面が右画面に2画面で表示され、
現在地から渋滞・規制している場所までの距離、
渋滞の場合は渋滞の長さ、
渋滞を抜けるまでにかかる参考時間、
規制の場合は規制の内容と原因などが音声案内されます。



自転車から次に近い渋滞・規制を案内させるには

もう一度[渋滞]を押します。(5か所まで案内させることができます。) 渋滞・規制案内の5か所目を見ている、またはこれ以上渋滞・規制案内が見つからないときに[渋滞]を押すと、現在地画面に戻ります。

メモ

- 渋滞・規制している場所の画面は、2D表示、200mスケールで表示されます。
- ルート上に渋滞や混雑、規制がないときは、現在地が表示されたまま渋滞や混雑、規制のないことが音声案内されます。

- 渋滞・規制案内の表示中に渋滞・規制情報が更新されたときは、[渋滞]を押すと現在地画面に戻ります。
- 渋滞・規制情報により、音声案内されない内容もあります。
- ルートが設定されていない場合は、周辺の規制情報のみが表示されます。→「規制情報を表示させる」(140P)

2

[現在地]を押す

現在地画面に戻ります。

ルート案内を中止する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

メモ

ショートカットメニューの「ルートを編集する」から操作することもできます。

1

[メニュー] - 「編集・設定」 - 「ルート編集」を選んで [決定] を押す

ルート編集画面が表示されます。

2

「ルート消去」を選んで [決定] を押す



確認のメッセージが表示されます。

3

[決定] を押す

案内中のルートが消去され、地図画面に戻ります。

地点の登録

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

メモ

- 自宅を除き、最大200か所まで登録できます。登録した地点が200か所で、新たに登録したいときは、リストから不要な場所を消去してください。→「登録地を消去する」(88P)
- その場所の名称が自動的に登録されます。施設名や周辺の地域などの代表地名が特にない場合は、登録した時刻が名前になります。
- 登録すると、地図上に虫ピンのマークが表示されます。
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の編集」(78P)

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、ワンタッチで自宅へのルートが設定できます。
→「自宅に帰るルートを探させる」(51P)

1 ジョイスティックで自宅の位置を十字カーソルに合わせる

→「地図を動かす」(18P)

2 [自宅] を押す

自宅として登録するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

3 [決定] を押す



十字カーソルに合わせた地点が自宅として登録されます。

メモ

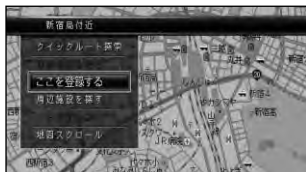
- 自宅の登録後に[自宅]を押すと、自宅までのルート探索が始まります。
- [自宅] ボタンによるルート探索は、上記の操作で登録された地点が対象になります。
- 自宅を登録すると、「自宅」という名前と「じたく」というよみが自動的に入力されます(本機は、上記の操作で登録された地点を自宅として認識します)。
- 自宅を登録した地点には、自宅マークが表示されます。
- 通常の登録地として登録した地点を自宅に変更することができます。→「自宅に変更する」(88P)
- 自宅の位置は変更できます。→「登録地の位置を変更する」(87P)

現在地を登録する

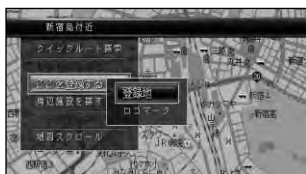
ドライブで訪れた場所をその場で登録しておく、次回そこへ行くときに簡単にルート設定できます。

1 現在地画面で**【決定】**を押す
ショートカットメニューが表示されます。

2 「**ここを登録する**」を選んで**【決定】**を押す



3 「**登録地**」を選んで**【決定】**を押す



登録内容表示画面が表示されます。

4 **【メニュー】**を押す



現在地が登録され、地図画面に戻ります。

メモ

名称などは自動的に登録されますが、あとで変更することができます。
→「登録地の編集」(次ページ)

探した場所を登録する

あらかじめ気に入った場所を登録しておく、ドライブの計画を立てたり、ルート設定するときに役立ちます。

1 場所を探す
→29P

2 **【決定】**を押す
ショートカットメニューが表示されます。

3 「**ここを登録する**」を選んで**【決定】**を押す

4 「**登録地**」を選んで**【決定】**を押す
登録内容表示画面が表示されます。

5 **【メニュー】**を押す
探した場所が登録され、地図画面に戻ります。

メモ

名称などは自動的に登録されますが、あとで変更することができます。
→「登録地の編集」(次ページ)

登録地の編集

登録地に関する情報（名称、よみ、電話番号、マーク、画像、効果音、方向、探索条件、グループ、位置）を変更したり、登録地を消去したりすることができます。地点を新規登録する場合は、「地点の登録」（76P）を参照してください。

メモ

自宅として登録された登録地は、「よみ」、「グループ」は変更できません。さらに、自宅登録から通常の登録地への変更はできません。

登録地リストを並べ替える

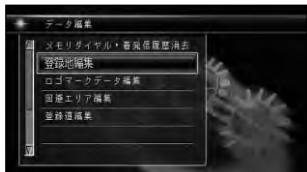
リストに表示される登録地は、日時順、よみ順、マークごとに並べ替えることができます。

登録地リストを並べ替える

1 「メニュー」 - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで「決定」を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「登録地編集」を選んで「決定」を押す



登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで「決定」を押す



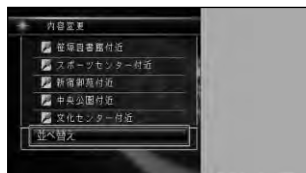
登録地点のリストが表示されます。

メモ

「PCカード」を選んで「決定」を押すと、登録地をPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

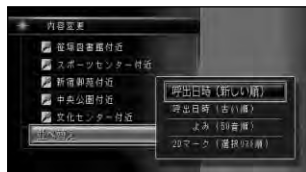
→「PCカードの操作」（271P）

4 「並べ替え」を選んで「決定」を押す



並べ替えの方法を選択するメニューが表示されます。

5 並べ替えの方法を選んで「決定」を押す



「呼出日時 (新しい順)」 登録または呼び出しの新しい順に並べ替えます。

「呼出日時 (古い順)」 登録または呼び出しの古い順に並べ替えます。

「よみ (50音順)」 よみ順に並べ替えます。

「2Dマーク (選択リスト順)」 マークごとに選択（選択リスト順）リスト順に並べ替えます。

メモ

- リストの表示をよみに切り替えることができます。表示を変更するには「オフック/切替」を押します。もう一度押すと、名称表示に戻ります。

- グループは常に登録地点の後に表示されます。上記の操作をしてもグループの並びは変わりません。
- グループ内の登録地の並べ替えもできます。

登録地の名称を変更する

登録時に付けられた名称を変更することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

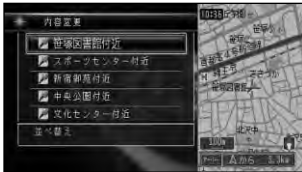
2 「登録地編集」を選んで [決定] を押す

登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで [決定] を押す

登録地点のリストが表示されます。

4 名称を変更したい地点を選んで [決定] を押す



登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。
- リストの表示をよみに切り替えることができます。表示を変更するには [オフフック/切替] を押します。もう一度押すと、名称表示に戻ります。

5 「名称」を選んで [決定] を押す



文字の入力画面が表示されます。

6 ジョイスティックで変更したい名称を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



メモ

名称は、全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。

7 「入力終了」を選んで [決定] を押す

変更した登録地の名称が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

メモ

- [戻る] を押して、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、「入力終了」は選べません。

8 [メニュー] を押す
地図画面に戻ります。

メモ

名称が入力されていないとき [現在地] または [メニュー]、[戻る] を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

登録地のよみを変更する

音声操作で登録地を呼び出すには、登録地に設定されている「よみ」が使われます。

登録地のよみを覚えやすいものに変更して、音声操作を使いやすくすることができます。

操作手順については、「登録地の名称を変更する」(前ページ)を参照してください。

メモ

- 全角で20文字まで登録できます。
- 音声操作を使用しないときは、よみの設定は不要です。
- 「ん〇〇」「っ〇〇」などの日本語として発声できないよみは付けしないでください。
- 「げんざいち」などの音声認識語と同じよみは付けしないでください。誤動作の原因になります。

登録地の電話番号を変更する

電話番号を設定しておくことで、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

操作手順については、「登録地の名称を変更する」(前ページ)を参照してください。

メモ

ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。

登録地のマークを変更する

地図上に表示される登録地のマークを変更することができます。

■2Dマークを変更する

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

2 「登録地編集」を選んで [決定] を押す
登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで [決定] を押す
登録地点のリストが表示されます。

4 マークを変更したい地点を選んで [決定] を押す
登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「2Dマーク」を選んで [決定] を押す



2Dマークのリスト画面が表示されます。

6 ジョイスティックで変更したいマークを選んで [決定] を押す



変更した登録地のマークが保存され、登録内容表示画面に戻ります。

7 [メニュー] を押す 地図画面に戻ります。

■登録した場所の名称を地図上に表示させる

以下のマークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマッピング）。



このマークを設定する

■3Dマーク（立体ランドマーク）を変更する

3Dマークは、スカイビューなどの3D地図でスケールを200m以下にしたときに表示されるマークです。

メモ

- 3Dマークを設定していないときは、2D地図と同じマークが表示されます。
- 3Dマークが表示されない500m以上のスケールでは、2D地図と同じマークが表示されます。
- 3Dマークを狭いエリアに数多く登録すると、3D地図表示のスクロールなどの反応が遅くなります。
- 3Dマーク表示はON/OFFできます。

→「設定を変更する」(112P)

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

2 「登録地編集」を選んで [決定] を押す

登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで [決定] を押す

登録地点のリストが表示されます。

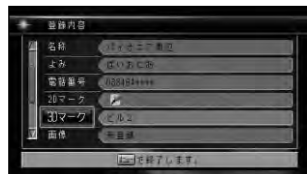
4 マークを変更したい地点を選んで [決定] を押す

登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「3Dマーク」を選んで [決定] を押す



3Dマークのリスト画面が表示されます。

6 ジョイスティックで変更したいマークを選んで [決定] を押す

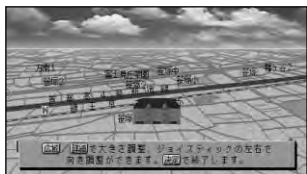


変更した登録地のマークが保存され、地図画面が表示されます。

メモ

地図画面は100mスケールで表示されます。

7 スケールコントローラーとジョイスティックで、3Dマークの大きさと向きを設定して [決定] を押す



変更した登録地のマークの大きさと向きが保存され、登録内容表示画面に戻ります。

スケール コントローラー	3Dマークの大きさを 変更する (5段階に変更 することができ ます。)
ジョイ スティック	3Dマークの向き を変更する
マルチビュー コントローラー	地図を回転する

8 [メニュー] を押す 地図画面に戻ります。

登録地の画像を変更する

登録地に画像を設定しておく、自車が登録した場所に近づいたとき、設定された画像を表示させることができます。

また、デジタルカメラなどで撮影した画像を設定することもできます(デジカメリンク)。

メモ

- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。

- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。
- 半角で255文字(全角で127文字)以内、表示形式が「ファイル名+.jpg」の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が200を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が200以下になるように、PCカード内の画像ファイルを削除してください。
- PCカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。
- 画像ファイルのサイズは2048 × 1536ドットまで表示できます。画像ファイルのサイズによって、ナビゲーションに表示される大きさは多少異なります。
- 登録地の画像表示はON/OFFできます。
→「設定を変更する」(112P)

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

2 「登録地編集」を選んで [決定] を押す

登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで [決定] を押す

登録地点のリストが表示されます。

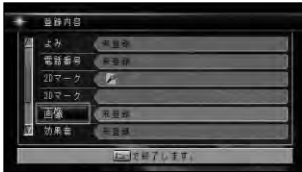
4 画像を変更したい地点を選んで [決定] を押す

登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「画像」を選んで [決定] を押す



画像のリスト画面が表示され、画面の右側で選択されている画像を確認できます。

メモ

PCカードをセットしている場合は、PCカード内の画像もリストに表示されます。

6 ジョイスティックで変更したい 画像を選んで [決定] を押す



変更した登録地の画像が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

7 [メニュー] を押す 地図画面に戻ります。

ご注意

画像の設定（または変更）操作をした直後は、本機の電源（エンジン）を切ったり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

メモ

ハードディスクの容量が足りないときは、保存できなかった旨のメッセージが表示されます。

画像の現れかた

- 画像の設定された登録地が自転車から500m以内に近づくと、画像が表示されます。
- 自転車から500m以内に登録地が複数ある場合は、最も近い場所の画像が表示されます。約20秒経過すると、次に近い場所の画像が表示されます。
- 登録地が自転車から500m以上離れたとき、またはリモコンの [戻る] か音声認識コントローラーの [訂正] を押すと、画像が消えます。
- 登録地の画像表示よりも、ETC、ルート、VICsの割込表示が優先されます。
- 画像がいったん消えると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さない（エンジンをかけ直さない）と画像は表示されません。

登録地の効果音を変更する

効果音を設定すると、登録した場所に自車が近づいたときに効果音が鳴ります。また、自車が近づく方向も指定できます。注意を要する場所に設定しておくくと便利です。

効果音を変更する

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

2 「登録地編集」を選んで [決定] を押す

登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで [決定] を押す

登録地点のリストが表示されます。

4 効果音を変更したい地点を選んで [決定] を押す

登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「効果音」を選んで [決定] を押す



効果音のリスト画面が表示されます。

6 ジョイスティックで変更したい効果音を選んで [決定] を押す



7 「設定」を選んで [決定] を押す



変更した登録地の効果音が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

メモ

「確認」を選んで [決定] を押すと、選んだ効果音が鳴ります。

8 [メニュー] を押す

地図画面に戻ります。

効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自車から500m以内に近づくと、効果音が鳴ります。
- 自車から500m以内に登録地が複数ある場合は、最も近い場所の効果音が鳴ります。終了すると、次に近い場所の効果音が鳴ります。
- 効果音が鳴っているときにリモコンの「戻る」か音声認識コントローラーの「訂正」を押すと、効果音が止まります。
- 登録地の効果音よりも、ETC、ルート、VICISの音声案内が優先されます。
- いったん効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さない（エンジンをかけ直さない）と同じ場所の効果音は鳴りません。
- 「あいさつ」を選ぶと、時刻によって音が変わります。

■方向を指定する

メモ

効果音が設定されていないと、方向指定を設定することはできません。

1 「メニュー」－「編集・設定」－「データ編集」を選んで[決定]を押す

2 「登録地編集」を選んで[決定]を押す

登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで[決定]を押す

登録地点のリストが表示されます。

4 方向指定を変更したい地点を選んで[決定]を押す

登録内容表示画面が表示されます。

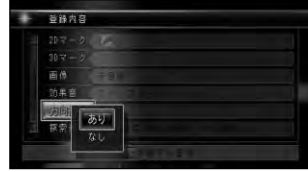
メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「方向指定」を選んで[決定]を押す



6 「あり」を選んで[決定]を押す



メモ

- 「効果音」を設定しただけの場合は「なし」に設定されています。
- 方向指定をしない場合は「なし」に設定してください。

7 ジョイスティックで進入方向を合わせる



30°の幅で、15°単位（24段階）で調整できます。

メモ

登録地が有料道路付近にあるときは、その旨を確認する画面が表示されることがあります。「一般道路」または「有料道路」を選んで[決定]を押してください。

8 [決定]を押す

変更した効果音の方向指定が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

9 「メニュー」を押す
地図画面に戻ります。

登録地の探索条件を変更する

登録した場所を行き先（または立寄地）にした場合、ここで設定した条件でそこまでのルートが探索されます。ルート設定時に探索条件を選択する手間が省けます。

メモ

登録地の探索条件は使う/使わないの設定ができます。→「設定を変更する」(112P)

1 「メニュー」－「編集・設定」－「データ編集」を選んで【決定】を押す

2 「登録地編集」を選んで【決定】を押す
登録地編集画面が表示されます。

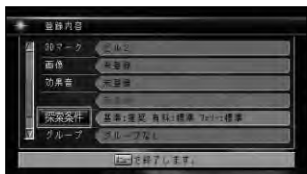
3 「内容変更」を選んで【決定】を押す
登録地点のリストが表示されます。

4 探索条件を変更したい地点を選んで【決定】を押す
登録内容表示画面が表示されます。

メモ

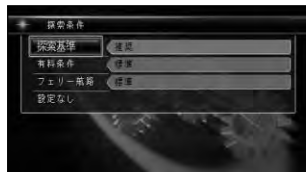
- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「探索条件」を選んで【決定】を押す



探索条件の選択画面が表示されます。

6 ジョイスティックで変更したい探索条件を選んで【決定】を押す



「探索基準」 推奨、距離優先、幹線優先

「有料条件」 標準、回避

「フェリー航路」 標準、優先、回避

「設定なし」

7 「戻る」を押す
変更した登録地の探索条件が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

8 「メニュー」を押す
地図画面に戻ります。

登録地をグループに振り分ける

登録地をグループ分けして、目的別に整理することができます。登録地が増えれば増えるほど、ルート設定時などに登録地を見つけやすくなります。

1 「メニュー」－「編集・設定」－「データ編集」を選んで【決定】を押す

2 「登録地編集」を選んで【決定】を押す
登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで【決定】を押す
登録地点のリストが表示されます。

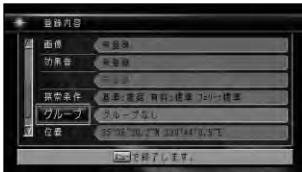
4 グループに振り分けたい地点を選んで【決定】を押す

登録内容表示画面が表示されます。

メモ

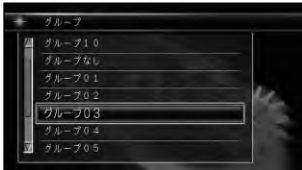
- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「グループ」を選んで【決定】を押す



グループのリスト画面が表示されます。

6 ジョイスティックで振り分けたいグループを選んで【決定】を押す



グループに振り分けた登録地が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

メモ

- 購入直後のグループ名は「グループ01」～「グループ10」です。
- グループ名は変更できます。
→「登録地のグループ名を変更する」(90P)
- グループ分けしないときは、「グループなし」を選んでください。

7 【メニュー】を押す

地図画面に戻ります。

登録地の位置を変更する

登録地の位置を修正することができます。

1 【メニュー】－【編集・設定】－【データ編集】を選んで【決定】を押す

2 「登録地編集」を選んで【決定】を押す

登録地編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで【決定】を押す

登録地点のリストが表示されます。

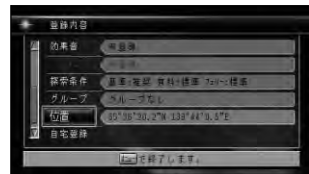
4 位置を変更したい地点を選んで【決定】を押す

登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 「位置」を選んで【決定】を押す



登録地を中心とする地図画面が表示されます。

つづく→

- 6** ジョイスティックで新たに登録したい位置を十字カーソルに合わせて [決定] を押す



変更した登録地の位置が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

- 7** [メニュー] を押す
地図画面に戻ります。

自宅に変更する

登録地を自宅に変更することができます。

メモ

- この操作をすると、よみだけが「じたく」と変更されます。
名称については、変更操作が必要です。
→「登録地の名称を変更する」(79P)
- すでに自宅が登録されている場合は、「自宅が登録されています。上書きしてもよろしいですか？」とメッセージが表示されます。[決定] を押すと上書き保存されます。(前の自宅データは消去されます。)

- 1** [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

- 2** 「登録地編集」を選んで [決定] を押す
登録地編集画面が表示されます。

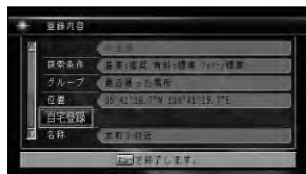
- 3** 「内容変更」を選んで [決定] を押す
登録地点のリストが表示されます。

- 4** 自宅に変更したい地点を選んで [決定] を押す
登録内容表示画面が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

- 5** 「自宅登録」を選んで [決定] を押す



自宅として保存され、登録内容表示画面に戻ります。

- 6** [メニュー] を押す
地図画面に戻ります。

登録地を消去する

地点の登録が200件に達したとき、新たな地点を登録するには、登録済みの地点を消去しなければなりません。また、不要になった登録地は随時消去してください。

- 1** [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

- 2** 「登録地編集」を選んで [決定] を押す
登録地編集画面が表示されます。

3 「消去」を選んで「決定」を押す



消去するデータの範囲を選択するメニューが表示されます。

4 「データ選択」または「全データ」を選んで「決定」を押す



「データ選択」選択した登録地が消去される

「全データ」すべての登録地（グループ内の登録地を含む）が消去される

メモ

- 「データ選択」を選んだときは、登録地点のグループリストが表示されます。登録地が1つもグループ分けされていない場合は、登録地点リストが表示されます。手順6に進んでください。
- 「全データ」を選んだときは、手順7に進んでください。

5 グループを選んで「決定」を押す

選んだグループの登録地点リストが表示されます。

メモ

- グループ分けされていない登録地を削除するときは、「グループなし」を選んでください。自宅は「グループなし」に振り分けられています。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。
- 登録地リストまたはグループ内の登録地リストは、「並べ替え」を押すと並べ替えることができます。→「登録地リストを並べ替える」(78P)

6 消去したい登録地を選んで「決定」を押す



選んだ登録地にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべての登録地が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したい登録地を選んで「決定」を押してください。

7 「メニュー」を押す

確認画面が表示されます。

8 「決定」を押す



登録地が消去され、地図画面に戻ります。

登録地のグループ名を変更する

わかりやすいグループ名に変更しておくのと、登録地を見つけやすくなります。

メモ

購入直後のグループ名は「グループ01」～「グループ10」です。

1 **【メニュー】**－**【編集・設定】**－**【データ編集】**を選んで**【決定】**を押す

2 **【登録地編集】**を選んで**【決定】**を押す

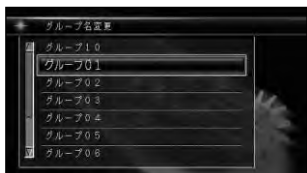
登録地編集画面が表示されます。

3 **【グループ名変更】**を選んで**【決定】**を押す



登録地点のグループリストが表示されます。

4 名称を変更したいグループを選んで**【決定】**を押す



文字の入力画面が表示されます。

5 ジョイスティックで変更したい名称を入力する

→「文字の入力操作」(267P)



メモ

- 名称は、全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。
- 「グループなし」は変更できません。

6 **【入力終了】**を選んで**【決定】**を押す

変更したグループの名称が保存され、グループリスト画面に戻ります。

メモ

- **【戻る】**を押して、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、「入力終了」は選べません。

7 **【メニュー】**を押す

地図画面に戻ります。

メモ

名称が入力されていないとき**【現在地】**または**【メニュー】**を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

ロゴマークの登録・編集

施設の開業、閉業、移転などに合わせて、地図画面に表示されるロゴマークを登録したり、編集したりすることができます。(ランドマークリライタブル)

ロゴマークについて、次の操作ができます。

- 表示させなくする（非表示にする）（→このページ）
- 非表示にしたロゴマークを再び表示させる（→このページ）
- 位置の修正（→93P）
- 修正した位置を元に戻す（→93P）
- 登録（→94P）
- 登録したロゴマークの位置を修正する（→95P）
- 登録したロゴマークの詳細情報（マークなど）を変更する（→96P）
- 登録したロゴマークを消去する（→97P）

ロゴマークを表示させなくする

本機が用意しているロゴマークを表示させなくする（非表示にする）ことができます（最大200件）。

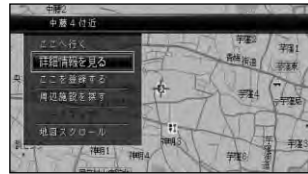
閉業した施設のロゴマークを消したいときなどに、この操作をします。非表示にしたロゴマークは再び表示させることができます。

■ロゴマークを非表示にする

- 1** 場所を探す
→「周辺施設を探す」(35P)、「ロゴマークを表示させる」(123P)

- 2** ジョイスティックで非表示にしたいロゴマークを十字カーソルに合わせて**「決定」**を押す
ショートカットメニューが表示されます。

- 3** 「詳細情報を見る」を選んで**「決定」**を押す



詳細情報画面が表示されます。

- 4** 「非表示」を選んで**「決定」**を押す



選んだロゴマークが消去され、地図画面に戻ります。

■非表示にしたロゴマークを再び表示させる

非表示にしたロゴマークを再び表示させます。

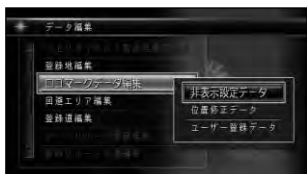
- 1** [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで**「決定」**を押す
データ編集画面が表示されます。

つづく→

2 「ロゴマークデータ編集」を選んで「決定」を押す



3 「非表示設定データ」を選んで「決定」を押す



4 「非表示設定解除」を選んで「決定」を押す



ロゴマークの非表示が設定されている地点のリストが表示されます。

メモ

「PCカード」を選んで「決定」を押すと、非表示データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

→ 「PCカードの操作」(271P)

5 ロゴマークを再び表示させたい地点のデータを選んで「決定」を押す



選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべてのデータが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいデータを選んで「決定」を押してください。

6 「メニュー」を押す
非表示データの解除を確認するメッセージが表示されます。

7 「決定」を押す



選んだデータの非表示が解除され、地図画面に戻ります。

ロゴマークが表示されていることを確認してください。

ロゴマークの位置を修正する

本機が用意しているロゴマークの位置を修正することができます（最大200件）。

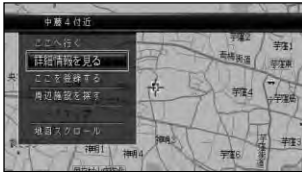
移転した施設のロゴマークの位置を修正したいときなどに、この操作をします。移動したロゴマークは元の位置に戻すことができます。

■ロゴマークの位置を修正する

1 場所を探す
→「周辺施設を探す」(35P)、「ロゴマークを表示させる」(123P)

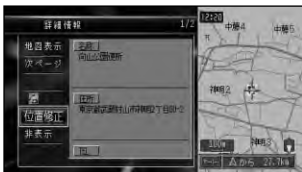
2 ジョイスティックで位置を修正したいロゴマークを十字カーソルに合わせて[決定]を押す
ショートカットメニューが表示されます。

3 「詳細情報を見る」を選んで[決定]を押す



詳細情報画面が表示され、画面右側には選択されているロゴマークの地点を中心とする地図が表示されます。

4 「位置修正」を選んで[決定]を押す



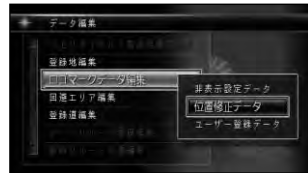
5 ジョイスティックで新たに登録したい位置を十字カーソルに合わせて[決定]を押す
ロゴマークの位置が保存され、地図画面に戻ります。

■修正したロゴマークの位置を元に戻す
修正したロゴマークの位置を元の位置に戻します。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで[決定]を押す
データ編集画面が表示されます。

2 「ロゴマークデータ編集」を選んで[決定]を押す

3 「位置修正データ」を選んで[決定]を押す



4 「位置修正解除」を選んで[決定]を押す



ロゴマークの位置が修正されている地点のリストが表示されます。

メモ

「PCカード」を選んで[決定]を押すと、位置修正データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

→「PCカードの操作」(271P)

5 ロゴマークの位置を元に戻したい地点のデータを選んで [決定] を押す



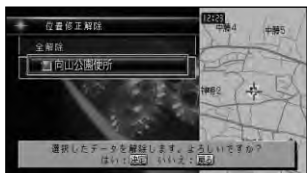
選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで [決定] を押すと、すべてのデータが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいデータを選んで [決定] を押ししてください。

6 [メニュー] を押す 位置修正の解除を確認するメッセージが表示されます。

7 [決定] を押す



選んだデータの位置修正が解除され、地図画面に戻ります。ロゴマークの位置が元に戻っていることを確認してください。

ロゴマークを登録する

本機が用意しているロゴマークとは別に、ロゴマークを登録することができます（最大200件）。

新たに開業した施設のロゴマークを表示させたいときなどに、この操作をします。登録したロゴマークは、「ユーザー登録データ」として扱われます。

■ ロゴマークを登録する

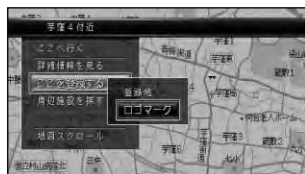
1 場所を探す →29P

2 [決定] を押す ショートカットメニューが表示されます。

3 「ここを登録する」を選んで [決定] を押す

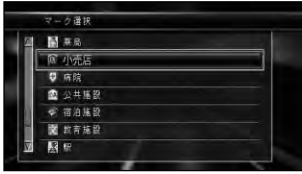


4 「ロゴマーク」を選んで [決定] を押す



施設の選択リストが表示されます。

5 ロゴマークを登録したい施設を選んで [決定] を押す



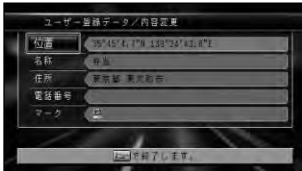
選んだ施設に使用できるロゴマークのリストが表示されます。

6 登録したいロゴマークを選んで [決定] を押す



登録内容表示画面が表示されます。選んだロゴマークに詳細なロゴマークがある場合は、次に詳細なロゴマークを選び [決定] を押します。

7 [メニュー] を押す



ロゴマークが登録され、地図画面に戻ります。

メモ

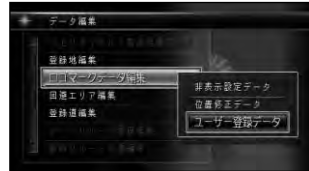
名称などは自動的に登録されますが、あとで変更することができます。→「登録したロゴマークの詳細情報を変更する」(次ページ)

登録したロゴマークの位置を修正する

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す
データ編集画面が表示されます。

2 「ロゴマークデータ編集」を選んで [決定] を押す

3 「ユーザー登録データ」を選んで [決定] を押す



4 「内容変更」を選んで [決定] を押す



登録されているデータのリストが表示されます。

メモ

「PCカード」を選んで [決定] を押すと、ユーザー登録データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

→「PCカードの操作」(271P)

つづく→

5 編集するデータを選んで [決定] を押す



登録内容表示画面が表示されます。

6 [位置] を選んで [決定] を押す



地図画面が表示されます。

7 ジョイスティックで新たに登録したい位置を十字カーソルに合わせて [決定] を押す



変更した位置が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

8 [メニュー] を押す

地図画面に戻ります。

■登録したロゴマークの詳細情報を変更する

登録したロゴマークの詳細情報のうち、名称、住所、電話番号を変更することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「ロゴマークデータ編集」を選んで [決定] を押す

3 「ユーザー登録データ」を選んで [決定] を押す

4 「内容変更」を選んで [決定] を押す

登録されているデータのリストが表示されます。

5 編集するデータを選んで [決定] を押す

登録内容表示画面が表示されます。以降の操作手順は、「登録地の名称を変更する」(79P) と同じです。

■登録したロゴマークのマークを変更する

登録したロゴマークのマークを変更することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す
データ編集画面が表示されます。

2 「ロゴマークデータ編集」を選んで [決定] を押す

3 「ユーザー登録データ」を選んで [決定] を押す

4 「内容変更」を選んで [決定] を押す
登録されているデータのリストが表示されます。

5 「マーク」を選んで [決定] を押す
登録内容表示画面が表示されます。
以降の操作手順は、「ロゴマークを登録する」(94P) と同じです。

■登録したロゴマークを消去する

登録したロゴマークは消去することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す
データ編集画面が表示されます。

2 「ロゴマークデータ編集」を選んで [決定] を押す

3 「ユーザー登録データ」を選んで [決定] を押す

4 「消去」を選んで [決定] を押す
以降の操作手順は、「登録道を消去する」(101P) と同じです。

その他のデータの登録・編集

通りたい道路を登録する

通りたい道路を100本まで登録しておくことができます。(登録道)
登録道は、ルート探索時に組み込むことやルートアドバイザーに使用することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「登録道編集」を選んで [決定] を押す



3 「新規登録」を選んで [決定] を押す

新規登録画面が表示されます。

4 登録する道の探しかたを選んで [決定] を押す



5 登録する道を探す
→ 「場所を探す」 (29P)

6 ジョイスティックで登録したい道路を十字カーソルに合わせて [決定] を押す



選ばれている道路は紫色で表示されます。

メモ

選んだ道路が有料道路付近にあるときは、有料道路上にあるかどうかを確認する画面が表示されることがあります。「一般道路」か「有料道路」を選んで [決定] を押してください。

7 ジョイスティックを倒して通る道を選び [決定] を押してすべて指定する

道路は、交差点で区切られた範囲ごとに、進みたい順にひとつずつ指定していきます。

指定済みの道路は黄色で表示されます。

ジョイスティックの操作方法

上に倒す 前進する

下に倒す 後退する

右に倒す 交差点で候補の道を選択する

左に倒す 交差点で候補の道を選択する

メモ

地図のスケールを変更すると、選びやすくなります。→「地図のスケールを変える」(19P)

8

登録したい道路を指定したら [決定] を押す



最初に指定した道路付近の地名が表示され、登録されます。

メモ

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。→次項の「登録道を編集する」
- 交差点から交差点までを1本の道路として、一度に300本まで指定できます。ただし、場合によっては、300本まで指定できないことがあります。
- 一方通行の道路は、逆方向の指定はできません。
- 登録道の走行中は、渋滞や交通規制は考慮されません。
- 登録道を指定する画面では200mから10mスケールまで選ぶことができます。また、100m未満のスケールでは市街地図が表示されません。

登録道を編集する

登録時に自動的に設定される登録道の名称やよみを変更したり、登録道を消去することができます。

登録道の内容を変更する

登録道の内容のうち、名称、よみを変更することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「登録道編集」を選んで [決定] を押す

登録道編集画面が表示されます。

3 「内容変更」を選んで [決定] を押す



登録道のリストが表示されます。

メモ

「PCカード」を選んで [決定] を押すと、登録道をPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

→「PCカードの操作」(271P)

4 内容を変更したい登録道を選んで [決定] を押す



登録内容表示画面が表示されます。

5 「名称」または「よみ」を選んで [決定] を押す



文字の入力画面が表示されます。

6 ジョイスティックで変更したい 名称またはよみを入力する →「文字の入力操作」(267P)



メモ

名称は全角で20文字（半角で40文字）まで、よみは全角で20文字まで入力できます。

7 「入力終了」を選んで [決定] を 押す

変更した登録道の名称が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

メモ

- [戻る] を押して、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、「入力終了」は選べません。

8 [メニュー] を押す 地図画面に戻ります。

メモ

名称またはよみが入力されていないとき [現在地] または [メニュー] を押すと、変更前の状態に戻ります。

■登録道を確認する

登録道を地図画面で確認することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「登録道編集」を選んで [決定] を押す

登録道編集画面が表示されます。

3 「確認」を選んで [決定] を押す

登録道のリストが表示されます。

4 確認したい登録道を選んで [決定] を押す

地図画面が表示されます。

5 ジョイスティックを倒して、設定されている登録道をなぞるように地図をスクロールさせる



メモ

前進する場合はジョイスティックを上、後退する場合は下に倒します。ジョイスティックをしばらく倒し続けると、自動スクロールします。

6 確認を終えたら [戻る] を押す

登録道のリストに戻ります。

■登録道を消去する

登録道を消去することができます。

- 1 **「メニュー」** - **「編集・設定」** - **「データ編集」** を選んで **「決定」** を押す

データ編集画面が表示されます。

- 2 **「登録道編集」** を選んで **「決定」** を押す

登録道編集画面が表示されます。

- 3 **「消去」** を選んで **「決定」** を押す



登録道のリストが表示されます。

- 4 消去したい登録道を選んで **「決定」** を押す



選んだ登録道にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべての登録道が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したい登録道を選んで「決定」を押してください。

- 5 **「メニュー」** を押す
確認画面が表示されます。

- 6 **「決定」** を押す



登録道が消去され、地図画面に戻ります。

メモ

案内中のルートに登録道が組み込まれており、かつまだその登録道を通過していない場合は、案内中のルートが再探索されます。

回避したい場所を登録する

工事中の道路や渋滞しがちな道路などの通りたくない場所（回避エリア）を、5か所まで登録しておくことができます。

回避エリアを登録しておく、これらの場所を通らないようにルートを探索させることができます。

- 1 **「メニュー」** - **「編集・設定」** - **「データ編集」** を選んで **「決定」** を押す

データ編集画面が表示されます。

- 2 **「回避エリア編集」** を選んで **「決定」** を押す



- 3 **「新規登録」** を選んで **「決定」** を押す

新規登録画面が表示されます。

回避したい場所を登録する

4 回避エリアの探しかたを選んで [決定] を押す



5 回避エリアを探す →「場所を探す」(29P)

6 回避エリアの地点および地名を 確認して [決定] を押す 地図画面が表示されます。

7 ジョイスティックとスケールコ ントローラーで、場所とスケ ールを合わせて [決定] を押す

- スケールを変更すると、指定範囲が変化します。
- 指定範囲の中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。



メモ

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。→次項の「回避エリアを編集する」
- 回避エリアは紫色で表示されます。
- 回避エリアの設定はON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)
- 最大で800m四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート探索時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが探索されることがあります。

- 回避エリアの設定が「ON」(117P)で、かつ案内中のルートがある場合は、案内中のルートが再探索されます。

回避エリアを編集する

登録時に自動的に設定される回避エリアの名称を変更したり、回避エリアを消去することができます。

■回避エリアの名称を変更する

回避エリアの名称を変更することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「回避エリア編集」を選んで [決定] を押す

回避エリア編集画面が表示されます。

3 「名称変更」を選んで [決定] を押す



回避エリアのリストが表示されます。

4 名称を変更したい回避エリアを 選んで [決定] を押す



文字の入力画面が表示されます。

5 ジョイスティックで変更したい 名称を入力する

→「文字の入力操作」(267P)



メモ

名称は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

6 「入力終了」を選んで【決定】を 押す

変更した回避エリアの名称が保存され、地図画面に戻ります。

メモ

- [戻る] を押して、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、「入力終了」は選べません。

■回避エリアを確認する

回避エリアを地図画面で確認することができます。

1 【メニュー】－「編集・設定」－ 「データ編集」を選んで【決定】 を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「回避エリア編集」を選んで【決 定】を押す

回避エリア編集画面が表示されます。

3 「確認」を選んで【決定】を押す

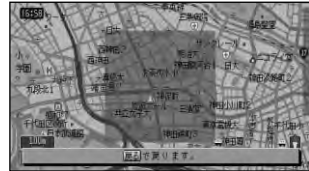


回避エリアのリストが表示されます。

4 確認したい回避エリアを選んで 【決定】を押す

地図画面に回避エリアが表示されます。

5 確認を終えたら【戻る】を押す



回避エリアのリストに戻ります。

■回避エリアを消去する

回避エリアを消去することができます。

1 【メニュー】－「編集・設定」－ 「データ編集」を選んで【決定】 を押す

データ編集画面が表示されます。

つづく→

2 「回避エリア編集」を選んで「決定」を押す

回避エリア編集画面が表示されます。

3 「消去」を選んで「決定」を押す



回避エリアのリストが表示されます。

4 消去したい回避エリアを選んで「決定」を押す



選んだ回避エリアにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

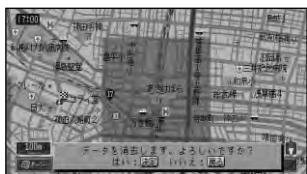
メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべての回避エリアが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したい回避エリアを選んで「決定」を押してください。

5 【メニュー】を押す

確認画面が表示されます。

6 「決定」を押す



回避エリアが消去され、地図画面に戻ります。

メモ

回避エリアの設定が「ON」(117P)で、かつ案内中のルートがある場合は、案内中のルートが再探索されます。

携帯電話情報を消去する

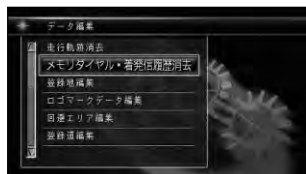
不要になったメモリダイヤルや発信履歴、着信履歴を消去することができます。

メモリダイヤルの保存方法は、「メモリダイヤルの読み込み」(218P)を参照してください。

1 【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで「決定」を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「メモリダイヤル・着発信履歴消去」を選んで「決定」を押す



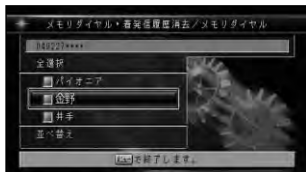
メモリダイヤル・着発信履歴消去画面が表示されます。

3 消去したい電話番号のある項目を選んで「決定」を押す



メモリダイヤルまたは発信履歴のリストが表示されます。

4 消去したい電話番号を選んで [決定] を押す



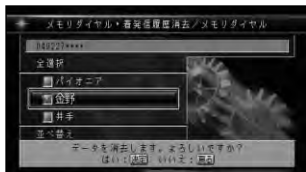
選んだ電話番号にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 「全選択」を選んで [決定] を押すと、すべての電話番号が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したい電話番号を選んで [決定] を押ししてください。
- メモリダイヤルでは「並べ替え」を選んで [決定] を押すと、「グループ番号 (昇順)」、「よみ (50音順)」、「メモリ番号 (昇順)」に電話番号を並べ替えることができます。

5 [メニュー] を押す 確認画面が表示されます。

6 [決定] を押す



電話番号が消去され、地図画面に戻ります。

ルートの学習内容を消去する

本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索します（「学習ルート探索」が「ON」のとき→117P）。したがって、他に効率のよい道が見つかって、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

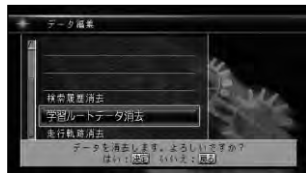
データ編集画面が表示されます。

2 「学習ルートデータ消去」を選んで [決定] を押す



確認画面が表示されます。

3 [決定] を押す



学習ルートが消去され、地図画面に戻ります。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴に300件まで保存されていきます。

検索履歴の内容を消去することができます。

1 【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで【決定】を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「検索履歴消去」を選んで【決定】を押す



検索履歴のリストが表示されます。

3 消去したい場所を選んで【決定】を押す



選んだ場所にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで【決定】を押すと、検索した場所がすべて選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したい検索した場所を選んで【決定】を押してください。

4 【メニュー】を押す

確認画面が表示されます。

5 【決定】を押す



検索履歴から選んだ場所が消去され、地図画面に戻ります。

メモ

詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(39P)

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

1 【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで【決定】を押す

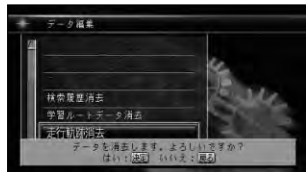
データ編集画面が表示されます。

2 「走行軌跡消去」を選んで【決定】を押す



確認画面が表示されます。

3 【決定】を押す



走行軌跡が消去され、地図画面に戻ります。

メモ

「走行軌跡自動消去」を「自宅付近」「電源OFF時」にすると、走行軌跡を自動的に消去できます。→「設定を変更する」(112P)

オートリルート履歴を編集する

オートリルート (→66P) が働くと、探索されたルート (リルート) はオートリルート履歴に保存され (300件まで)、ルートアドバイザー (→67P) で使用されます。300件を超えた場合は、使用されない期間が長いオートリルート履歴から順番に消去されます。

オートリルート履歴の編集操作では、オートリルート履歴を登録したり (登録リルート地点)、ルートアドバイザーで使用したくないオートリルート履歴を消去したりすることができます。

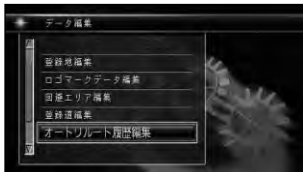
■オートリルート履歴をリルート地点として登録する

消去したくないオートリルート履歴を200件まで登録することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「オートリルート履歴編集」を選んで [決定] を押す



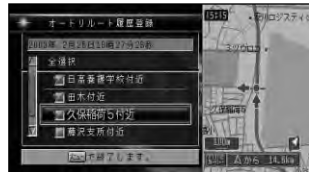
オートリルート履歴編集画面が表示されます。

3 「登録」を選んで [決定] を押す



オートリルート履歴がリスト表示されます。

4 登録するオートリルート履歴を選んで [決定] を押す



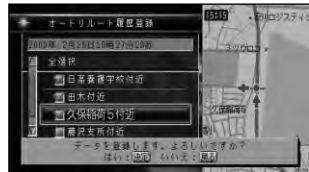
選んだオートリルート履歴にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

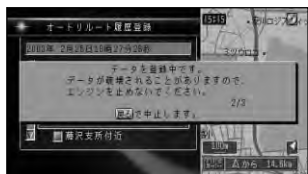
- 「全選択」を選んで [決定] を押すと、すべてのリルート履歴が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいオートリルート履歴を選んで [決定] を押してください。
- 200件を超える選択はできません。

5 [メニュー] を押す
登録確認画面が表示されます。

6 [決定] を押す



つづく→



選んだオートリルート履歴がリルート地点として登録され、地図画面に戻ります。

メモ

リルート地点として登録されたオートリルート履歴は、この編集操作で表示されるオートリルート履歴のリストから消去されます。

■オートリルート履歴を消去する

オートリルート履歴を消去することができます。

1 **「メニュー」 - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで「決定」を押す**

データ編集画面が表示されます。

2 **「オートリルート履歴編集」を選んで「決定」を押す**

オートリルート履歴編集画面が表示されます。

3 **「消去」を選んで「決定」を押す**



オートリルート履歴がリスト表示されます。

4 **消去するリルート履歴を選んで「決定」を押す**



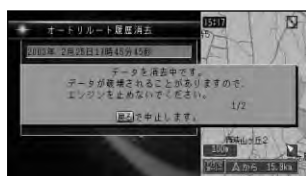
選んだリルート履歴にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべてのオートリルート履歴が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいオートリルート履歴を選んで「決定」を押してください。

5 **「メニュー」を押す**
消去確認画面が表示されます。

6 **「決定」を押す**



選んだオートリルート履歴が消去され、地図画面に戻ります。

登録リルート地点を編集する

登録されたリルート地点は、オートリルート履歴のルートと同様にルートアドバイザー（→67P）で使用されます。

登録リルート地点の編集操作では、登録したリルート地点の名称を変更したり、ルートアドバイザーで使用したくないリルート地点を消去したりすることができます。

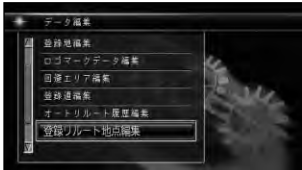
■登録リルート地点の名称を変更する

登録されているリルート地点の名称を変更することができます。

1 【メニュー】－「編集・設定」－「データ編集」を選んで【決定】を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「登録リルート地点編集」を選んで【決定】を押す



登録リルート地点編集画面が表示されます。

3 「変更」を選んで【決定】を押す



登録されているリルート地点がリスト表示されます。

4 名称を変更したいリルート地点を選んで【決定】を押す



文字の入力画面が表示されます。

5 ジョイスティックで変更したい名称を入力する

→「文字の入力操作」(267P)

メモ

名称は全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。

6 「入力終了」を選んで【決定】を押す

変更したリルート地点の名称が保存され、地図画面に戻ります。

メモ

- [戻る] を押して、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、「入力終了」は選べません。

■登録リルート地点を消去する

登録されているリルート地点を消去するには、以下のようにします。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「登録リルート地点編集」を選んで [決定] を押す

登録リルート地点編集画面が表示されます。

3 「消去」を選んで [決定] を押す

登録されているリルート地点がリスト表示されます。



4 消去するリルート地点を選んで [決定] を押す

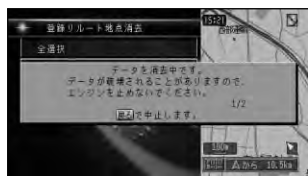
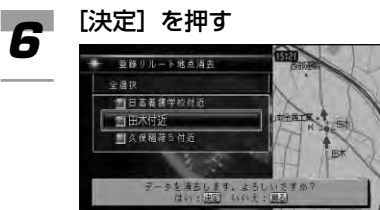


選んだリルート地点にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで [決定] を押すと、すべてのリルート地点が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいリルート地点を選んで [決定] を押してください。

5 [メニュー] を押す
消去確認画面が表示されます。



選んだリルート地点の登録が抹消され、地図画面に戻ります。

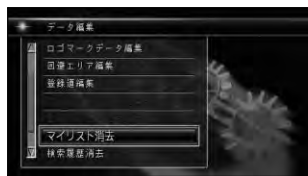
マイリストを消去する

インターネットで取得したマイリストのデータを消去することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで [決定] を押す

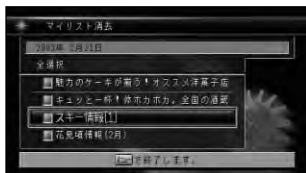
データ編集画面が表示されます。

2 「マイリスト消去」を選んで [決定] を押す



登録されているマイリストのデータがリスト表示されます。

3 消去するマイリストのデータを選んで【決定】を押す



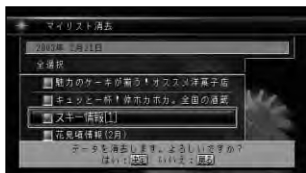
選んだマイリストのデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで【決定】を押すと、すべてのマイリストのデータが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいマイリストデータを選んで【決定】を押してください。

4 【メニュー】を押す 消去確認画面が表示されます。

5 【決定】を押す



マイリストが消去され、地図画面に戻ります。

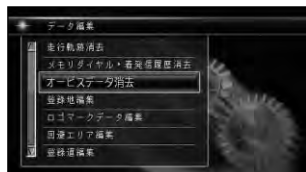
オービスデータを消去するには

別売のオービスROMで読み込ませたデータを消去するには、以下のようになります。

1 【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「データ編集」を選んで【決定】を押す

データ編集画面が表示されます。

2 「オービスデータ消去」を選んで【決定】を押す



3 【決定】を押す オービスデータが消去され、地図画面に戻ります。

機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の4つのメニューに分類されています。

- 地図表示 (→次ページ)
- ルート・案内 (→115P)
- VICS・FM多重 (→118P)
- その他 (→120P)

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更することができます。

1 【メニュー】 - 【編集・設定】 - 【各種設定】を選んで【決定】を押す
各種設定画面が表示されます。

2 「機能設定」を選んで【決定】を押す



ナビゲーションの機能設定画面が表示されます。

3 変更したい機能を選んでから設定項目を選び、【決定】を押す

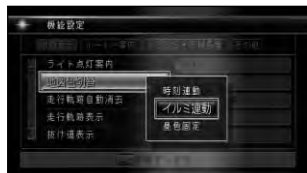
設定項目と現在の設定値がリスト表示されます。



ジョイスティック 機能を選ぶこと
左右 ができます。

ジョイスティック 設定項目を選ぶ
上下 ことができます。

4 メニューから設定値を選んで【決定】を押す



設定値が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 すべての変更を終えたら【メニュー】を押す

設定を終了して地図画面に戻ります。

設定内容の詳細

■地図表示

設定値の太字は、購入時の設定です。

項目名	内容	設定値
地図色切替	地図の配色が切り替わるタイミングを設定します。	「 時刻連動 」：日没/日出時刻連動で画面の配色が切り替わります。
		「イルミ連動」：スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り替わります。
		「 昼色固定 」：常に昼画面のままです。
走行軌跡自動消去	走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	「 自宅付近 」：自宅が登録されており、自宅から100m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
		「 電源OFF時 」：本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
		「 OFF 」：走行軌跡は自動消去しません。
走行軌跡表示	走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。
		「 OFF 」：走行軌跡は表示されません。
抜け道表示	抜け道を地図上に表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：抜け道が表示されます。
		「 OFF 」：抜け道が表示されません。
登録地画像表示	登録した場所に近づいたとき、詳細情報としてあらかじめ設定した画像を表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：登録した場所に近づいたとき、設定した画像が表示されます。
		「 OFF 」：登録地画像は表示されません。
立体ランドマーク表示	スカイビューなどの3D地図表示で、目印になる建物や登録地の3Dマークを立体ランドマークとして表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：立体ランドマークが3D地図上に表示されます。
		「 OFF 」：立体ランドマークは表示されません。
天気予報表示	天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内するかどうかを設定します。	「 ON 」：地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。
		「 OFF 」：地図上の天気予報表示、ルート設定時の天気予報は音声案内されません。

項目名	内容	設定値
スクロール方面表示	地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面案内を表示するかどうかを設定します。	「ON」：スクロール中、方面案内が表示されます。 「OFF」：方面案内は表示されません。
2D固定スクロール	スクロール時の画面をノーマルビュー固定にするかどうかを設定します。	「ON」：スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。 「OFF」：スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。
2D地図の回転	ノーマルビュー表示時の地図回転の方法を設定します。	「ヘディングアップ」：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。 「ノースアップ」：常に北が上になるように地図が表示されます。
ノースアップフロントワイド	ノースアップ時に自車位置を画面中心部より下げて、進行方向の状況を広く見る「フロントワイド」表示にするかどうかを設定します。(ノースアップが選ばれているときのみ、選択できます。)	「ON」：ノースアップフロントワイドが働きます。 「OFF」：ノースアップフロントワイドは働きません。
シティマップ	詳細市街地図収録エリアを100mスケールより詳細な地図で表示したとき、市街地図を表示するかどうかを設定します。	「ON」：市街地図が表示されます。 「OFF」：通常の地図が表示されます。
スカイシティマップ	市街地図をスカイビューなどの3D地図で表示したとき、建物を立体的に表示するかどうかを設定します。(シティマップがONのときのみ、選択できます。)	「ON」：市街地図の建物が立体的に表示されます。 「OFF」：市街地図の建物が平面的に表示されます。
ドライバーズビューウィンドウマップ	ドライバーズビューのとき、画面を分割して地図画面(ウィンドウマップ)を表示するかどうかを設定します。	「ON」：画面の左側にウィンドウマップが表示されます。 「OFF」：ウィンドウマップは表示されません。
シティハイウェイウィンドウマップ	シティハイウェイマップのウィンドウマップを表示するかしないか、また表示する場合にどの情報を表示するかを設定します。	「高速マップ」：都市高速道路のみが表示されます。 「通常マップ」：ノーマルビューで表示されます。 「OFF」：ウィンドウマップは表示されません。

項目名	内容	設定値
オートハイウェイマップ	有料道路に入った場合、自動的にハイウェイモード、シティハイウェイマップの地図を表示するかどうかを設定します。	「シティハイウェイマップ/ハイウェイモード」：都市高速道路以外ではハイウェイモード、都市高速道路ではシティハイウェイマップにします。
		「ハイウェイモード」：有料道路でハイウェイモードにします。
		「OFF」：ハイウェイモード、シティハイウェイマップにしません。現状の地図表示モードを維持します。
駐車場マップ	収録されている駐車場に入った場合、自動的に駐車場内の地図を表示するかどうかを設定します。	「オート」：駐車場マップが自動的に表示されます。
		「マニュアル」：駐車場マップはスケールコントローラーで表示させます。

■ルート・案内

設定値の太字は、購入時の設定です。

項目名	内容	設定値
オートフリーズーム	現在地と次の案内地点（または目的地）を常に画面内に表示しながら、自動的にズームアップするかどうかを設定します。	「ON」：オートフリーズームが働きます。
		「OFF」：オートフリーズームは働きません。
オートアングルチェンジ	ドライバーズビューやシティハイウェイマップを表示しているとき、見やすいアングルに自動で変更するかどうかを設定します。	「ON」：自動でアングルが変更されます。
		「OFF」：自動でアングルが変更されません。
車線変更促し表示	推奨レーンとナビゲーションが判断した走行レーンが異なる場合、車線変更を促す表示をします。（簡易ハイブリットや「ND-PG1」（別売）使用時、3Dハイブリッドセンサの初期学習が未終了時は、選択できません。）「学習状態」をリセットするか、「センサメモリ」を未学習のセンサメモリに切り替えるとOFFになります（→155P）。	「ON」：表示されます。
		「OFF」：表示されません。

項目名	内容	設定値
交差点案内表示	ルート案内時、交差点に近づいたときに表示される案内図の種類を設定します。	「 ドライバズビュー 」：交差点付近を立体的に表現した案内図が表示されます。
		「 拡大図 」：平面的な交差点拡大図が表示されます。
方面案内表示	一般道で大きな交差点に近づいたとき、道路標識のイラストを画面に表示して、方面案内を行うかどうかを設定します。	「 ON 」：交差点で方面案内が表示されます。
		「 OFF 」：方面案内は表示されません。
ルートインフォメーション	ルート設定時、ルートインフォメーション（→62P）を表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：ルート設定時に、ルートインフォメーションが表示されます。
		「 OFF 」：ルートインフォメーションは表示されません。
道のり・到着予想時刻表示	ルート設定時に表示される距離・到着予想時刻の対象となるポイントを設定します。	「 目的地 」：目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
		「 立寄地 」：次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
到着予想時刻速度（一般道）	一般道走行時の、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を設定します。	「 20km/h 」：平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 30km/h 」：平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 40km/h 」：平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
到着予想時刻速度（有料道）	有料道路走行時の、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を設定します。	「 60km/h 」：平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 80km/h 」：平均速度80km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 100km/h 」：平均速度100km/hとして到着予想時刻が計算されます。
ルート探索基準	ルートを探索させるとき、最初に探索させる基準を設定します。（設定後のルート探索から反映されます。）	「 推奨 」：おすすめの見準でルートが探索されます。
		「 距離優先 」：距離を優先してルートが探索されます。
		「 幹線優先 」：幹線道路を優先してルートが探索されます。

項目名	内容	設定値
有料道路使用条件	ルートを探索させるとき、最初に探索させる探索条件を設定します。 (設定後のルート探索から反映されます。)	「標準」：有料道路が、標準的な基準でルート探索されます。
		「回避」：有料道路をなるべく使用しないルートが探索されます。
フェリー航路使用条件	ルートの探索条件を設定します。探索されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。	「標準」：フェリー航路が標準的な基準で採用されます。
		「優先」：フェリー航路が優先的に採用されます。
		「回避」：フェリー航路をなるべく使用しないようにします。
登録地のルート探索条件	登録した場所を目的地や立寄地にしたとき、詳細情報として設定した探索条件をもとに、ルート探索を行うかどうかを設定します。	「使う」：登録した場所の詳細情報に設定された探索条件をもとに、ルート探索が行われます。
		「使わない」：詳細情報に設定された探索条件は使用されません。
回避エリア	ルート探索時、回避エリアを通らないルートを探るか、回避エリアを地図画面に表示するかどうかを設定します。	「ON」：回避エリアを通らないルートが探索され、回避エリアが地図画面に表示されます。
		「OFF」：回避エリアは考慮されません。また、回避エリアは地図画面に表示されません。
学習ルート探索	ルート探索時、学習したルートを考慮するかどうかを設定します(→43P)。	「ON」：学習したルートを考慮します。
		「OFF」：学習したルートを考慮しません。
渋滞考慮ルート探索	VICS情報や規制情報をもとに、渋滞を避けたルートを探るか、どうかを設定します(→43P)。	「ON」：渋滞を考慮したルートが探索されます。
		「OFF」：渋滞情報は考慮されません。
オートリルート	ルートから外れたとき、自動的にリルートを行うかどうかを設定します(→66P)。	「ON」：オートリルートが働きます。
		「OFF」：オートリルートは働きません。

項目名	内容	設定値
ルートアドバイザー	ルートアドバイザーに考慮される情報を設定することができます。	「登録道/リルート履歴/抜け道」：登録道、オートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道を考慮します。
		「登録道/リルート履歴」：登録道、オートリルート履歴、登録リルート地点を考慮します。
		「抜け道」：抜け道を考慮します。
		「OFF」：ルートアドバイザーは働きません。
渋滞考慮オートリルート	VICS情報をもとに、自動的に渋滞を考慮したリルートを行うかどうかを設定します（→68P）。	「ON」：渋滞を考慮したオートリルートが働きます。
		「OFF」：渋滞を考慮したオートリルートは働きません。

■VICS・FM多重

設定値の太字は、購入時の設定です。

項目名	内容	設定値
渋滞オートガイド	ルート案内時、ルート上の渋滞情報を自動で音声案内させるかどうかを設定します。	「ON」：ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
		「OFF」：ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。
VICS情報表示対象道路	VICS情報を表示する対象道路を設定します。	「 有料道・一般道 」：VICS情報をもとに、有料道・一般道の情報が表示されます。
		「 有料道のみ 」：VICS情報をもとに、有料道路の情報が表示されます。
		「 一般道のみ 」：VICS情報をもとに、一般道路の情報が表示されます。
		「表示しない」：VICS情報は表示されません。
渋滞情報表示	渋滞している道路の道塗りをするかどうかを設定します。（VICS情報表示対象道路が「表示しない」に設定されているときは選択できません。）	「ON」：道塗り表示されます。
		「OFF」：道塗り表示されません。
渋滞情報表示の点滅	渋滞している道路の道塗りを点滅させるかどうかを設定します。順調表示がONに設定されているときは、常に点滅します。（渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。）	「ON」：渋滞は常時点滅表示されます。
		「OFF」：渋滞は点滅表示されません。

項目名	内容	設定値
順調表示	交通状況が順調なことを示す「順調表示」を行うかどうかを設定します。(渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。)	「ON」：VICS情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。 「OFF」：順調表示はされません。
規制表示	交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。(VICS情報表示対象道路が「表示しない」に設定されているときは選択できません。)	「ON」：交通規制のVICS情報マークと規制区間が表示されます。 「OFF」：交通規制のVICS情報マークと規制区間は表示されません。
駐車場情報マーク表示	駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。(VICS情報表示対象道路が「表示しない」に設定されているときは選択できません。)	「ON」：駐車場のVICS情報マークが表示されます。 「OFF」：駐車場のVICS情報マークは表示されません。
区間旅行時間表示	区間旅行時間に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。(VICS情報表示対象道路が「表示しない」に設定されているときは選択できません。)	「ON」：旅行時間のVICS情報マークが表示されます。 「OFF」：旅行時間のVICS情報マークは表示されません。
ビーコン即時表示	受信したビーコンの情報をすぐに表示するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコンユニット接続時のみ有効です。	「文字・図形」：ビーコン情報が文字表示(レベル1)または図形表示(レベル2)のいずれかで案内されます。都市高速や一般道路の走行時は、この設定が便利です。 「図形」：ビーコン情報が図形表示(レベル2)のみで案内されます。都市間高速の走行時は、この設定が便利です。 「OFF」：ビーコン情報は案内されません。
ビーコン即時表示時間	ビーコン情報受信時に、画面上に情報を表示させておく時間を設定します。(ビーコン即時表示がOFFのときは選択できません。)	「5秒」：受信したビーコン情報が5秒間表示されます。 「10秒」：受信したビーコン情報が10秒間表示されます。 「15秒」：受信したビーコン情報が15秒間表示されます。

項目名	内容	設定値
FM多重チューナーの設定	内蔵のFM多重チューナーで何を受信するかを設定します。	「VICS」：VICS情報を受信します。 (FM文字放送の表示中を除きます。)
		「D-GPS」*：D-GPSを受信します。 (FM文字放送やFM VICSの文字・図形情報の表示中を除きます。)
		「FM多重」：FM文字放送を受信します。 (FM VICSの文字・図形情報の表示中を除きます。)
		「VICS/D-GPSダブル」*：VICSとD-GPSの両方を時分割受信します。 「VICS」に設定しているときよりも交通情報の更新が遅くなることがあります。

※D-GPSサービスは、2008年3月末日をもって終了しました(305P)。FM多重チューナーの設定は、「VICS」または「FM多重」を選択してご使用ください。

■その他

設定値の太字は、購入時の設定です。

項目名	内容	設定値
情報ウィンドウ	情報ウィンドウの表示内容を設定します。	「 市区町村名 」：現在地が市区町村名で表示されます。
		「 走行道路名 」：現在地が走行道路名で表示されます。(道路名がない場合は市区町村名が表示されます。)
		「 緯度経度 」：現在地が緯度経度で表示されます。
		「 AV情報 」：再生中のトラックタイトルなどが表示されます。(全角11文字、半角23文字)
AV画面割り込み表示	ソース画面表示中に交差点案内表示やビーコン情報を割り込ませて表示するかどうかを設定します。	「 交差点案内表示/ビーコン 」：交差点案内表示やビーコン情報が割り込み表示されます。
		「 交差点案内表示 」：交差点案内表示のみ割り込み表示されます。
		「 ビーコン 」：ビーコン情報のみ割り込み表示されます。
		「 OFF 」：割り込み表示されません。

メモ

「AV画面割り込み表示」は、以下の機種で選択できます。

AVIC-XH9/V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07、TV-W8/W88/W08

項目名	内容	設定値
バックカメラ連動	車のシフトレバーの動きとバックカメラ（VTR1）を連動させるかどうかを設定します。	「ON」：シフトレバーをR（リバース）に入れたとき、画面をバックカメラの映像に切り替えます。
		「OFF」：シフトレバーをR（リバース）に入れても、画面はバックカメラの映像に切り替わりません。
ボイスヘルプ	音声操作中、音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を常に表示するかどうかを設定します。	「オート」：音声操作中は、常にボイスヘルプが表示されます。（ただし走行中は表示されません。）
		「マニュアル」：“ボイスヘルプ”と発話した時点で、ボイスヘルプが表示されます。
音声認識話者学習	「音声認識話者学習」（229P）実施後に学習したデータを使用するかどうか、また、学習を継続するかどうかを設定します。	「ON」：学習したデータが音声認識に使用されます。学習も継続されます。
		「OFF」：学習したデータは音声認識に使用されません。また、学習も継続されません。
オーディオミュート	パイオニア製ミュート端子付きカーステレオと組み合わせているとき、自動的にオーディオの音量を下げるタイミングを設定します。	「ガイド・電話・認識」：ナビゲーションの音声案内中、通話中、音声操作中のどのタイミングでも、自動的にオーディオの音量が下がります。
		「電話・認識」：通話中、または音声操作中のタイミングで、自動的にオーディオの音量が下がります。
		「OFF」：オーディオミュートは働きません。

メモ

「バックカメラ連動」は、AVIC-V07MD/V07、TV-W08が接続されており、かつVTR1がONのときに設定できます。

バックカメラについては「バックカメラを組み合わせる」（318P）を参照してください。

項目名	内容	設定値
センサメモリ切替	センサーの学習結果が保存されるメモリーを切り替えます。	「メモリ1」：学習結果がメモリー1に保存されます。年間を通じて同じタイヤで走行する場合には設定を変える必要はありません。
		「メモリ2」：学習結果がメモリー2に保存されます。メモリー1とはサイズの異なるタイヤにしたとき（冬期にスタッドレスタイヤに交換した場合など）に選びます。
TV走査方式	本機に接続したワイドTVモニターの種類に応じて、走査方式を設定します。	「インターレース」：他社製ワイドTVモニターの接続時に設定します。
		「ノンインターレース」：パイオニア製ワイドTVモニターの接続時に設定します。また、他社製ワイドTVモニターを接続した場合、画面がぼやけて見にくいときに設定します。
有料道注意地点・ 県境案内	危険箇所や県境、合流地点で音声案内するかどうかを設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
踏切案内	踏切で音声案内するかどうかを設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
右左折専用レーン案内	直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
リフレッシュ案内	2時間連続使用で音声案内するかどうかを設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
ライト点灯案内	夕暮れのタイミングで音声案内するかどうかを設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
オービスポイント	道路上にあるオービスポイントを案内するかどうかを設定します。	「全ポイント」：すべての道路で、オービスポイントが案内されます。
		「有料道のみ」：有料道路走行中のみ、オービスポイントが案内されます。
		「一般道のみ」：一般道走行中のみ、オービスポイントが案内されます。
		「OFF」：オービスポイントは案内されません。

メモ

オービスポイントに関する操作、およびオービスポイントを案内させるには、別売のオービスROMが必要です。

その他の設定

ここでは、「機能設定」(112P) 以外の設定について説明します。

ナビゲーションの設定については、「機能設定」(112P) を参照してください。

ロゴマークを表示させる

さまざまな施設のロゴマーク(ランドマークリライタブル含む)を地図上に100種類まで表示させることができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「ロゴマーク表示設定」を選んで [決定] を押す


ロゴマーク表示設定画面が表示されます。

2 ロゴマークを表示させたい施設を選んで [決定] を押す

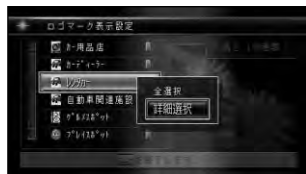


施設のリスト表示の方法を選択するメニューが表示されます。

メモ

選択されている施設はランプが点灯します。

3 「全選択」または「詳細選択」を選んで [決定] を押す



「全選択」 すべての関連施設が表示される

「詳細選択」施設がさらに分類表示される

- 「全選択」を選択したときは、手順5に進んでください。
- 「詳細選択」を選択したときは、以下の画面が表示されます。

4 ロゴマークを表示させたい施設を選んで [決定] を押す



選択可能な残りの数

選ばれた施設のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度 [決定] を押すと、ランプが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、[戻る] を押してロゴマーク表示設定画面に戻り、手順2~4を繰り返してください。

- 5** **【メニュー】**を押す
地図画面に戻ります。
—— 選択した施設のロゴマークが表示されていることを確認してください。



ロゴマークの表示をON/OFFする

「ロゴマークをON/OFFする」機能を任意の10キーに割り当てると、ワンタッチでロゴマーク表示をON/OFFできます。

10キーの割り当てかたは、「10キーをカスタマイズする」(次項)を参照してください。

メモ

- 「ロゴマークをON/OFFする」機能とは別に「周辺検索マークをON/OFFする」機能を10キーに割り当てると、周辺施設検索(→35P)で表示されるロゴマークをON/OFFできます。
- ロゴマークは編集することができます。
→「ロゴマークの登録・編集」(91P)

10キーをカスタマイズする

ダイレクトキーのうち、10キーに割り当てられた機能を変更することができます。

メモ

カスタマイズできるボタンは [0] ~ [9]、[*/* `], [#/変換] です。

購入直後の設定内容は、「ダイレクトキー」(28P)を参照してください。

- 1** **【メニュー】** - 「編集・設定」 - 「各種設定」を選んで**【決定】**を押す

各種設定画面が表示されます。

- 2** **「カスタマイズ」**を選んで**【決定】**を押す

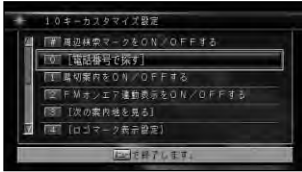


- 3** **「10キー」**を選んで**【決定】**を押す



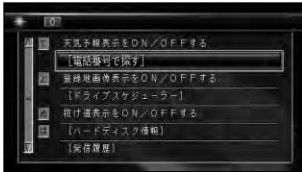
10キーカスタマイズ設定画面が表示され、各10キーに現在割り当てられている機能を確認できます。

4 割り当てを変更したい10キーを選んで【決定】を押す



設定できる機能の一覧がリスト表示されます。

5 新たに割り当てたい機能を選んで【決定】を押す



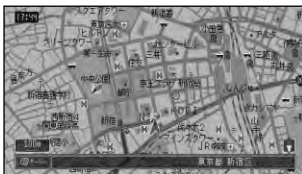
選んだ10キーへの機能割り当てが変更され、10キーカスタマイズ設定画面に戻ります。

メモ

引き続き変更したいときは、手順4~5を繰り返してください。

6 すべての変更を終えたら【メニュー】を押す

設定を終了して地図画面に戻ります。



車載のオートアンテナを上下させるには

車載のオートアンテナを、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して本機に接続すると、本機の電源ON/OFF(エンジンON/OFF)に連動してアンテナが上下します。

10キーに「オートアンテナをON/OFFする」機能を割り当てておくと、電源がON(エンジンがON)のときでもリモコン操作でアンテナを縮められるため、屋内や立体駐車場でのアンテナの破損を防ぐことができます。

メモ

アンテナブースターの電源をON/OFFする場合も同じ操作が必要です。

10キーに割り当て可能な機能一覧

五十音	機能	内容
あ	案内音量	音声案内の音量の調整画面が表示されます。
い	ETC利用履歴表示	ETC利用履歴を表示します。
	緯度経度で探す	緯度経度検索画面が表示されます。
う	ウェザーライブデータを取得する	ウェザーライブデータ取得画面が表示されます。
	右左折専用レーン案内をON/OFFする	右左折専用レーン案内をON/OFFします。
え	衛星測位状態	衛星測位情報画面が表示されます。
	AV画面割り込み表示を切り替える	AV画面割り込み表示が「交差点案内表示/ビーコン」、「交差点案内表示」、「ビーコン」、「OFF」の順に切り替わります。
	FMオンエア連動表示をON/OFFする	FM文字放送のオンエア連動表示をON/OFFします。(走行画面のみ使用可能)
	FM多重チューナー設定を切り替える	受信電波が「VICS」、「D-GPS」、「FM多重」、「VICS/D-GPSダブル」の順に切り替わります。
	FM文字放送	FM文字放送の画面が表示されます。
お	オートアングルチェンジをON/OFFする	オートアングルチェンジをON/OFFします。
	オートアンテナをON/OFFする	オートアンテナが上下します。
	オートハイウェイマップを切り替える	オートハイウェイマップが「シティハイウェイマップ/ハイウェイモード」、「ハイウェイモード」、「OFF」の順に切り替わります。
	オートフリーズームをON/OFFする	オートフリーズームをON/OFFします。
	オートリルートをON/OFFする	オートリルートをON/OFFします。
	音声認識話者学習をON/OFFする	音声認識学習使用をON/OFFします。
か	壁紙カスタマイズ	壁紙の設定を変えるメニューが表示されます。
き	規制表示をON/OFFする	交通規制のマーク表示をON/OFFします。
け	現在の時刻を読み上げる	現在の時刻が音声で読み上げられます。
	現在の日付を読み上げる	現在の日付が音声で読み上げられます。
こ	交差点案内表示を切り替える	交差点案内表示の設定が切り替わります。
	ここの雨量を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の雨量が表示されます。
	ここの花粉予報を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の花粉予報が表示されます。
	ここの気温を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の気温が表示されます。

五十音	機能	内容
こ	ここの紫外線予報を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の紫外線予報が表示されます。
	ここの週間天気予報を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の週間天気予報が表示されます。
	ここの積雪量を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の積雪量が表示されます。
	ここの天気予報を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の天気予報が表示されます。
	ここの天気を読み上げる	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の天気予報が読み上げられます。
	ここの日照時間を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の日照時間が表示されます。
	ここの風向・風速を見る	現在地、または十字カーソルに合わせた場所の風向・風速が表示されます。
し	自転車位置修正	自転車位置の設定画面が表示されます。
	自転車方位を反転する	自転車の向きが180° 変わります。
	シティマップをON/OFFする	詳細市街地図と通常地図の切り替え機能をON/OFFします。
	ジャンルで探す	ジャンル検索画面が表示されます。
	住所で探す	住所検索画面が表示されます。
	渋滞オートガイドをON/OFFする	渋滞オートガイドをON/OFFします。
	渋滞考慮オートリルートをON/OFFする	VICS情報に応じて自動的にリルートする機能をON/OFFします。
	渋滞考慮ルート探索をON/OFFする	VICS情報をもとに渋滞を避けてルート探索する機能をON/OFFします。
	渋滞情報表示の点滅をON/OFFする	渋滞表示の常時点滅表示をON/OFFします。
	渋滞情報表示をON/OFFする	渋滞している道路の道塗り表示をON/OFFします。
	周辺検索マークをON/OFFする	検索後のロゴマーク表示をON/OFFします。
	周辺施設を探す	周辺施設検索画面が表示されます。
	受話音量	通話音の調整画面が表示されます。
	順調表示をON/OFFする	交通状況の順調表示をON/OFFします。
	情報ウィンドウの表示を切り替える	情報ウィンドウの表示方法が「市区町村名」、「走行道路名」、「緯度経度」、「AV情報」の順に切り替わります。

五十音	機能	内容
す	スカイシティマップをON/OFFする	市街地図で3D表示のときの建物立体表示をON/OFFします。
	スケジュールリスト	スケジュールリストを表示します。
せ	接続状態	接続状態画面が表示されます。
	設定地点リスト	設定地点リストが表示されます。
	設定なし	機能は割り当てられません。
	センサ学習状況	センサー学習状況画面が表示されます。
そ	走行軌跡表示をON/OFFする	走行軌跡表示をON/OFFします。
	走行軌跡を消去する	走行軌跡が消去されます。
	その他の設定	その他の設定を変える画面が表示されます。
ち	地図表示の設定	地図の設定を変える画面が表示されます。
	着信音量	着信音量の調整画面が表示されます。
	着信履歴	着信履歴が表示されます。
つ	次の案内地を見る	次の案内地までの距離が音声案内され、拡大図が表示されます。
	2D地図の回転を切り替える	2D地図回転の方法が「ヘディングアップ」、「ノースアップ」のいずれかに切り替わります。
て	データ編集	登録地点の情報などのデータ編集画面が表示されます。
	10キーカスタマイズ一覧表示	10キーカスタマイズ画面が表示されます。
	10キーカスタマイズ設定	10キーカスタマイズ設定画面が表示されます。
	10キーカスタマイズを消去する	10キーカスタマイズを消去します。
	10キーカスタマイズを初期状態にする	10キーカスタマイズを初期状態にします。
	天気予報表示をON/OFFする	地図上への天気予報表示をON/OFFします。
と	電話番号で探す	電話番号検索画面が表示されます。
	登録地画像表示をON/OFFする	登録地の画像表示をON/OFFします。
と	ドライブスケジューラー	ドライブスケジューラー画面が表示されます。
ぬ	抜け道表示をON/OFFする	抜け道表示をON/OFFします。
は	ハードディスク情報	ハードディスク情報表示画面が表示されます。
	発信履歴	発信履歴が表示されます。
ひ	ビーコンの最新情報を見る	ビーコンの最新情報が表示されます。
	ビーコン文字図形表示を切り替える	ビーコン文字図形表示の設定が切り替わります。
	VICS情報表示対象道路を切り替える	VICS情報表示対象道路が「有料道・一般道」、「有料道のみ」、「一般道のみ」、「表示しない」の順に切り替わります。

五十音	機能	内容
ひ	VICS・FM図形情報	VICSの図形情報画面が表示されます。
	VICS・FM多重の設定	VICSの設定を変える画面が表示されます。
	VICS・FM文字情報	VICSの文字情報画面が表示されます。
	VICS・ビーコン図形情報	VICSビーコンの図形情報画面が表示されます。
	VICS・ビーコン文字情報	VICSビーコンの文字情報画面が表示されます。
	VICS・放送局選局	VICSの放送局を選局する画面が表示されます。
	ビューのスケールとアングルを登録する	現在の地図画面の表示方法（スケール、角度）が登録されます。
ふ	踏切案内をON/OFFする	踏切案内をON/OFFします。
ほ	ポイントパーティー	ポイントパーティーメニューが表示されます。
	方面案内表示をON/OFFする	方面案内表示をON/OFFします。
ま	マイリストから探す	マイリスト検索画面が表示されます。
	マップコードで探す	マップコードで探す画面が表示されます。
み	道のり・到着予想時刻表示を切り替える	距離と到着予想時刻の表示対象が「目的地」、「立寄り地」のいずれかに切り替わります。
め	名称で探す	名称検索画面が表示されます。
	メモリダイヤル	メモリダイヤル画面が表示されます。
ゆ	有料道注意地点・県境案内をON/OFFする	有料道注意地点、県境、合流地点案内をON/OFFします。
ら	ライト点灯案内をON/OFFする	ライト点灯案内をON/OFFします。
り	立体ランドマークをON/OFFする	立体ランドマークをON/OFFします。
	リフレッシュ案内をON/OFFする	リフレッシュ案内をON/OFFします。
る	ルート・案内の設定	ルートの設定を変える画面が表示されます。
	ルートアドバイザーの設定を切り替える	ルートアドバイザーの設定を切り替えます。
	ルートインフォメーションをON/OFFする	案内中のルートの詳細情報表示をON/OFFします。
	ルート消去	設定してあるルートが消去されます。
	ルートスクロール	ルートスクロール画面が表示されます。
	ルートプロフィール	ルートプロフィール画面が表示されます。
	ルート編集	ルート編集画面が表示されます。
ろ	ロゴマーク表示設定	地図上に表示させるロゴマークの選択画面が表示されます。
	ロゴマークをON/OFFする	地図上に表示させるロゴマークをON/OFFします。

短縮ダイヤルを設定する

登録地の電話番号やメモリダイヤルの電話番号を、短縮ダイヤルとして設定することができます。

1 [メニュー] - [編集・設定] - [各種設定] を選んで [決定] を押す

各種設定画面が表示されます。

2 「短縮ダイヤル設定」を選んで [決定] を押す

短縮ダイヤル設定画面が表示され、各10キーに現在割り当てられている登録地やメモリダイヤルの名称を確認できます。

メモ

- 名称が表示されていない番号は、割り当てがないことを示しています。
- 登録地またはメモリダイヤルが登録されていない場合は、「短縮ダイヤル設定」は選べません。

3 設定したい10キーを選んで [決定] を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

4 「登録」を選んで [決定] を押す



メモ

「消去」を選んで [決定] を押すと、選んだ10キーに割り当てられている短縮ダイヤル設定が消去されます。

5 「登録地選択」または「メモリダイヤル選択」を選んで [決定] を押す



登録地またはメモリダイヤルのリストが表示されます。

6 設定したい登録地またはメモリダイヤルを選んで [決定] を押す



選んだ10キーに短縮ダイヤルが割り当てられ、短縮ダイヤル設定画面に戻ります。

メモ

- 電話番号が設定されていない登録地は、選ぶことができません。
- 引き続き設定したいときは、手順3~6を繰り返してください。
- メモリダイヤルでは「並べ替え」を選んで [決定] を押すと、「グループ番号 (昇順)」、「よみ (50音順)」、「メモリ番号 (昇順)」に電話番号を並べ替えることができます。

7 すべての設定を終えたら [メニュー] を押す

設定を終了して地図画面に戻ります。

音量と画面を調整する

■ 音量を調整する

ルートの音声案内、受話、着信の音量を調整することができます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「各種設定」を選んで [決定] を押す

各種設定画面が表示されます。

2 「調整・補正」を選んで [決定] を押す



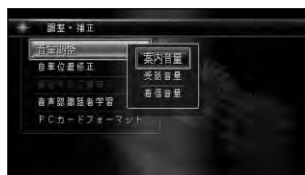
調整・補正メニューが表示されます。

3 「音量調整」を選んで [決定] を押す



音量調整の対象を選択するメニューが表示されます。

4 調整したい対象を選んで [決定] を押す



「案内音量」 音声案内の音量を調整する

「受話音量」 携帯電話の受話音量を調整する

「着信音量」 携帯電話の着信音量を調整する

音量調整の画面が表示されます。

5 ジョイスティックを上下左右に倒して音量を調整し、[メニュー] を押す



音量が記憶されます。

メモ

音量は24段階 (0~23) に調整できます。

■画面の表示位置を調整する

画面の表示位置のずれを調整するには、以下のようにします。

1 【メニュー】－【編集・設定】－【各種設定】を選んで【決定】を押す
各種設定画面が表示されます。

2 「調整・補正」を選んで【決定】を押す
調整・補正メニューが表示されます。

3 「画面表示位置補正」を選んで【決定】を押す



地図画面に切り替わり、画面上に枠が表示されます。

4 ジョイスティックを倒して枠で囲まれている画像が画面の中央にくるように調整し、【決定】を押す



画面の表示位置が記憶されます。

メモ

- 画面の表示位置をずらしすぎると、画面の一部が表示されなくなります。赤い枠を超えないように調整してください。
- 表示位置が自動的に調整されるバイオニア製のTVモニターと組み合わせたときは、このメニューは選べません。

■自転車位置のずれを修正する

マップマッチングは「車は道路上を走る」という考えかたを基本にしています。このため、地図上の道路データと実際の道路の形状が異なる場合や、複数の道路が近接している場合などでは、実際に走行している道路とは異なる位置に自転車マークが表示されることがあります。誤った位置に自転車マークが表示される場合は、正しい位置に修正してください。自転車位置修正は、必ず停車してから操作してください。

1 【メニュー】－【編集・設定】－【各種設定】を選んで【決定】を押す
各種設定画面が表示されます。

2 「調整・補正」を選んで【決定】を押す
調整・補正メニューが表示されます。

3 「自転車位置修正」を選んで【決定】を押す



地図画面が表示されます。

- 4** ジョイスティックで自車がいる
道路を十字カーソルに合わせて
[決定] を押す



- 5** ジョイスティックを左右に倒し
て自車マークの方位を合わせ、
[決定] を押す



自車位置が記憶されます。

画面の背景をカスタマイズ する

■ 画面の壁紙を変更する

画面の背景となる壁紙をお好みに合わせて変更することができます。(壁紙カスタマイズ) PCカードを利用してJPEG形式の画像を使うこともできます。

■ メモ

- PCカードにあるファイルは半角で255文字(全角で127文字)以内、表示形式が「ファイル名+.jpg」の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が200を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が200以下になるように、PCカード内の画像ファイルを削除してください。画像ファイルのサイズは2048×1536ドットまで表示できます。
- PCカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- プログレッシブJPEG形式の画像は使用できません。

1

【メニュー】 - 【編集・設定】 - 【各種設定】を選んで【決定】を押す

各種設定画面が表示されます。

2

「カスタマイズ」を選んで【決定】を押す



3

「壁紙」を選んで【決定】を押す



4

「壁紙の変更」を選んで【決定】を押す



壁紙が変更できる画面のリストが表示されます。

5

壁紙を変更する画面を選んで【決定】を押す



画像選択リストが表示されます。

6

画像を選んで【決定】を押す



画像の表示方法を選択するメニューが表示されます。

メモ

- PCカードがセットされているときは、PCカード内の画像ファイルも表示されます。
- 「カスタマイズの解除」を選んで【決定】を押すと、元の壁紙に戻ります。

7

壁紙の配置方法を選んで【決定】を押す

中央に配置



繰り返し



壁紙が決定され、手順5の画面に戻ります。引き続き他の画面の壁紙を設定することができます。

8

【メニュー】を押す

地図画面に戻ります。

■ 変更した壁紙をすべて元に戻す

メモ

画面ごとに元に戻すときは、「画面の壁紙を変更する」の手順5で「カスタマイズの解除」を選んでください。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「各種設定」を選んで [決定] を押す

各種設定画面が表示されます。

2 「カスタマイズ」を選んで [決定] を押す

3 「壁紙」を選んで [決定] を押す

4 「カスタマイズの解除」を選んで [決定] を押す



確認のメッセージが表示されます。

5 [決定] を押す



壁紙のカスタマイズが解除され、地図画面に戻ります。

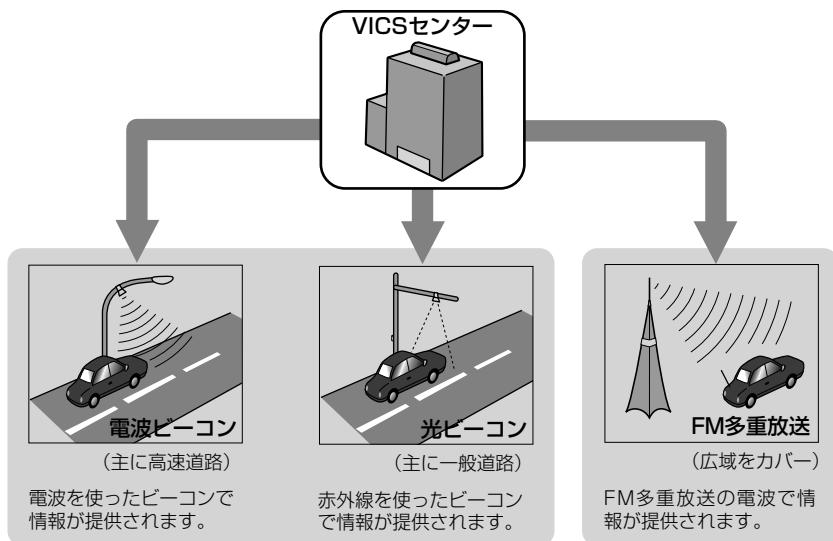
VICIS情報の利用

VICISとは

VICIS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICIS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見えることもできます。


■VICIS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICISセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報 (VICIS情報) が提供されます。



ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICIS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。本機にVICIS用ビーコンユニットを接続すると、ビーコンによるVICIS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICIS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICIS情報を受信できます。

 **vics** は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

■VICIS情報の表示形態

VICIS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICISセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル3：地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



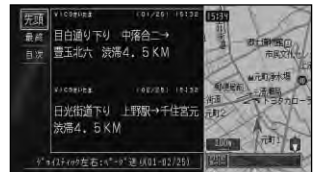
レベル2：簡易図形

簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル1：文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICIS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICISセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICIS情報マークで地図上に表示されます。

一般道路への表示

渋滞 赤色に白い縁取り

混雑 橙色に白い縁取り

順調 明るい青に白い縁取り

規制区間表示：黄色に黒い縁取り

通行止め：黒

有料道路への表示

渋滞 赤色に青い縁取り

混雑 橙色に青い縁取り

順調 明るい青に青い縁取り

規制区間表示：黄色に黒い縁取り

入口閉鎖・通行止め：黒



VICIS情報提供時刻表示

橙色 情報を受信してから5分未満の状態

青 情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態

-- -- 情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICIS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICIS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り替えてください。→「放送局を選ぶ」（143P）
- VICIS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。

VICIS情報マークの種類

VICIS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICIS情報マークの詳細を見ることが可能です。

- | | |
|---------------------------|------|
| 大型通行止め | 故障車 |
| 作業 | 路上障害 |
| チェーン規制 | 凍結 |
| 進入禁止 | 入口制限 |
| 通行止め・閉鎖 | 事故 |
| 工事中 | 入口閉鎖 |
| 片側交互通行 | 対面通行 |
| 車線規制 | 徐行 |
| 速度規制(数字は制限速度) | 気象 |
| 行事 | 災害 |
| 区間旅行時間 | 火災 |
| 原因なし | 駐車場閉 |
| 駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒) | |

「VICIS情報提供時刻表示」の内容

本機にVICIS用ビーコンユニットが接続されているときは、FM多重放送とビーコンのVICIS情報の提供時刻が同時に表示されます。(ビーコンの提供時刻は、レベル3の地図情報を受信してからしばらくすると更新されます。)

VICIS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送によるVICIS情報提供時刻が表示されます。(約5分ごとに更新されます。)

一度に受信・表示できる情報について VICIS用ビーコンユニットが接続されていない場合

地図上でVICIS情報を見るには、FM多重チューナーの設定を「VICIS」にしてください。

→「設定を変更する」/「FM多重チューナーの設定」(120P)

VICIS用ビーコンユニットが接続されている場合

ビーコンによるVICIS情報とFM多重放送によるVICIS情報が同時に表示されます。ただし、同じ道の情報がビーコンとFM多重放送の両方から提供されたときは、新しい情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(143P)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現地周辺のVICIS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICIS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができま。

■VICIS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICIS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

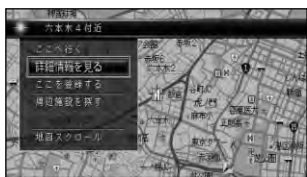
1 ジョイスティックでVICIS情報マークを十字カーソルに合わせて「決定」を押す



ショートカットメニューが表示されます。

つづく→

2 「詳細情報を見る」を選んで【決定】を押す



VICIS情報マークの詳細情報が表示されます。



【現在地】を押すと、地図画面に戻ります。

■ビーコン情報の自動表示

VICIS用ビーコンユニットが接続されているときは、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容が表示されます。(ビーコン文字図形表示)



表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。また、【戻る】を押して消すこともできます。

メモ

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。
- ビーコン情報の表示時間（ビーコン即時表示時間）は、変更できます。
→ 「設定を変更する」(112P)

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

【現在地】または【戻る】を押すと、地図画面に戻ります。

■規制情報を表示させる

周辺の規制情報を表示させることができます。

1 ルートが設定されていないとき、【渋滞】を押す

規制されている場所が左画面に、現在地画面が右画面に2画面で表示され、規制内容などが音声案内されます。



自車から次に近い規制を案内させるには

もう一度【渋滞】を押します。(5か所まで案内させることができます。) 規制案内の5か所目を見ている、またはこれ以上規制案内が見つからないときに【渋滞】を押すと、現在地画面に戻ります。

メモ

- 周辺に規制がないときは、規制がないことが音声案内されます。
- 規制案内の表示中に規制情報が更新されたときは、[渋滞]を押すと現在地画面に戻ります。
- 規制情報により、音声案内されない内容もあります。
- ルートが設定されている場合は、ルート上の渋滞情報が表示されます。
→「ルート上の渋滞・規制情報を表示させる」(75P)

2 [現在地]を押す

現在地画面に戻ります。

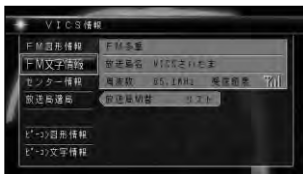
文字情報を見る

レベル1 (文字) で表示されるVICS情報を見るには、以下のようにします。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「VICS情報」を選んで [決定]を押す

VICS情報画面が表示されます。

2 「FM文字情報」または「ビーコン文字情報」を選んで [決定]を押す



「FM文字情報」 広域情報

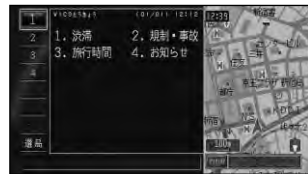
「ビーコン文字情報」 限定情報

VICS情報の内容を選択するメニューが表示されます。

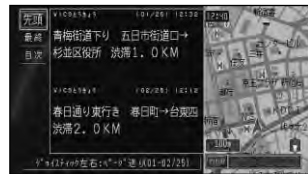
メモ

「ビーコン文字情報」は、VICS用ビーコンユニットが接続されていて情報があるときに選択できます。

3 見たい情報を選んで [決定] を押すか、情報の番号と同じ10キーを押す



渋滞や交通規制などに関する文字情報が表示されます。



メモ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、ジョイスティックを左右に倒してページを送ります。「先頭」/「最終」を選ぶと、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 「目次」を選ぶと、VICSメニューに戻ります。
- 「選局」を選ぶと、放送局を選局することができます。→「放送局を選ぶ」(143P)

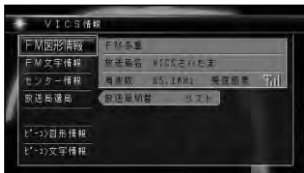
図形情報を見る

レベル2（簡易図形）で表示されるVICIS情報を見るには、以下のようにします。

1 「メニュー」－「情報・通信」－「VICIS情報」を選んで「決定」を押す

VICIS情報画面が表示されます。

2 「FM図形情報」または「ビーコン図形情報」を選んで「決定」を押す



「FM図形情報」 広域情報

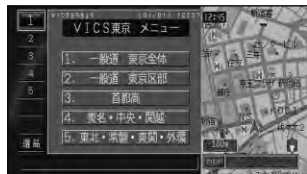
「ビーコン図形情報」 限定情報

VICIS情報の内容を選択するメニューが表示されます。

メモ

「ビーコン図形情報」は、VICIS用ビーコンユニットが接続されている情報があるときに選択できます。

3 見たい情報を選んで「決定」を押すか、情報の番号と同じ10キーを押す



渋滞や交通規制などに関する簡易図形情報が表示されます。



メモ

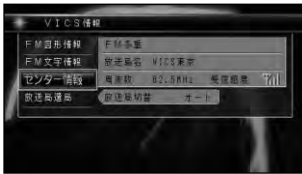
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、ジョイスティックを左右に倒してページを送ります。「先頭」/「最終」を選ぶと、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 「目次」を選ぶと、VICISメニューに戻ります。
- 「選局」を選ぶと、放送局を選局することができます。→「放送局を選ぶ」（次ページ）

センター情報を見る

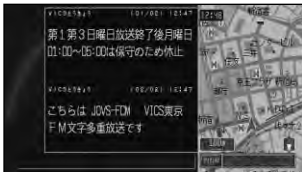
情報提供時刻の変更やお知らせなどのVICISセンターからの情報を見るには、以下のようにします。

- 1 「メニュー」 - 「情報・通信」 - 「VICIS情報」を選んで「決定」を押す
VICIS情報画面が表示されます。

- 2 「センター情報」を選んで「決定」を押す



VICISセンターからの情報が表示されます。



メモ

情報画面が複数のページにおよぶときは、ジョイスティックを左右に倒してページを送ります。「先頭」/「最終」を選ぶと、先頭ページ/最終ページが表示されます。

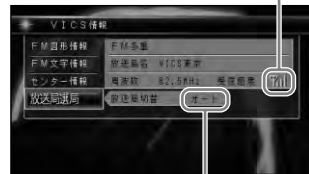
放送局を選ぶ

VICIS情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。

放送局の受信感度を確認する

- 1 「メニュー」 - 「情報・通信」 - 「VICIS情報」を選んで「決定」を押す
VICIS情報画面に、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。

受信感度表示



選局方法（オート/リスト/シーク/マニュアル）

受信感度表示は、バーの数が多いほど受信感度が良好であることを示します。バーが2本以下のときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

■自動的に放送局を選ぶ

- 1 「メニュー」－「情報・通信」－「VICIS情報」を選んで「決定」を押す

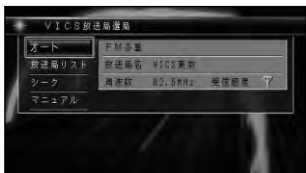
VICIS情報画面が表示されます。

- 2 「放送局選局」を選んで「決定」を押す



選局方法を選択するリストが表示されます。

- 3 「オート」を選んで「決定」を押す



最も受信感度のよい放送局が自動的に選択されます。

選局が終わると、VICIS情報画面に戻ります。

■リストから選ぶ

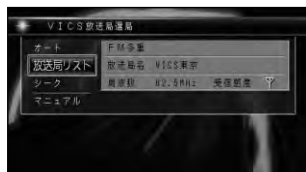
- 1 「メニュー」－「情報・通信」－「VICIS情報」を選んで「決定」を押す

VICIS情報画面が表示されます。

- 2 「放送局選局」を選んで「決定」を押す

選局方法を選択するリストが表示されます。

- 3 「放送局リスト」を選んで「決定」を押す



放送局のリストが表示されます。

- 4 放送局を選んで「決定」を押す



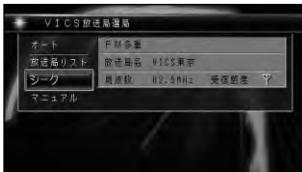
放送局が変更され、VICIS情報画面に戻ります。

■シークで選ぶ

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「VICIS情報」を選んで [決定] を押す
VICIS情報画面が表示されます。

2 「放送局選局」を選んで [決定] を押す
選局方法を選択するリストが表示されます。

3 「シーク」を選んで [決定] を押す



現在選択されている放送局が表示されます。

4 ジョイスティックを上下に倒す



自動的にチューニングが始まり、受信可能な放送局を受信したところで止まります。
希望の放送局が選択されるまで、この操作を繰り返します。

5 [決定] を押す



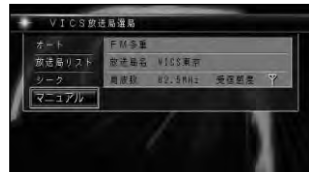
放送局が変更され、VICIS情報画面に戻ります。

■マニュアルで選ぶ

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「VICIS情報」を選んで [決定] を押す
VICIS情報画面が表示されます。

2 「放送局選局」を選んで [決定] を押す
選局方法を選択するリストが表示されます。

3 「マニュアル」を選んで [決定] を押す



現在選択されている放送局が表示されます。

4 ジョイスティックを上下に倒す



ジョイスティックを倒すごとに周波数が変化します。
希望の放送局が受信できるまで、この操作を繰り返します。

5 [決定] を押す



放送局が変更され、VICIS情報画面に戻ります。

- VICS情報表示中にFM文字多重放送を受信すると、放送内容が表示されるまでに時間がかかることがあります。また、FM文字多重放送の表示後に再びVICS情報を表示するときも同様です。
- FM文字多重放送を表示中は、VICS情報は更新されません。D-GPS情報を利用した測位も中断されます。
- FM文字多重放送を受信するために周波数を変更したときに、FM文字多重放送を終了すると、自動的にVICSの周波数に戻ります。(ただし、「FM多重チューナーの設定」を「FM多重」にしているときは、そのままの周波数になります。→「設定を変更する」(112P)

■番組内容を地図画面に表示させる

現在地画面で10キーの[2]を押すと、受信中のFM放送局の番組内容や曲名を表示させることができます(FM文字放送のオンエア運動)。



メモ

- 10キーへの「FMオンエア運動表示」機能の割り当ては変更できます。→「10キーをカスタマイズする」(124P)
- 本機をAVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07と組み合わせているときは、AVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07で受信している放送局のオンエア情報が表示されます。FM放送を受信していない、またはAVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07と組み合わせていないときは、本機で受信している放送局のオンエア情報が表示されます。

気象情報を見る

インターネット上の専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます(ウェザーライブ)。

メモ

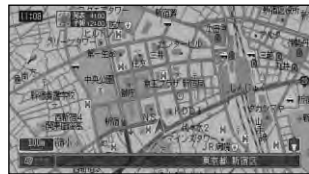
気象情報を見るためには、本機に携帯電話が接続されており、かつインターネットに接続可能な状態である必要があります。

■情報画面の種類

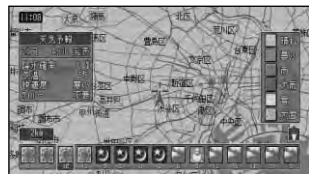
天気予報

天気予報のデータの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気が、マークで表示されます。(天気予報は3時間ごとに更新され、常に最新の天気予報が表示されます。)

また、スカイビューとドライバーズビュー、ツインビュー、ハイウェイモード表示では、空の色が天気予報に応じて変化します。



天気予報の詳細画面では、約2日分の予報を細かく見ることができます。



週間天気予報

一週間の予報を見ることができます。(ウェザーライブ週間天気予報)



季節予報 (紫外線予報、桜花粉予報)

各地域の紫外線や桜花粉などの季節ごとの情報を見ることができます。

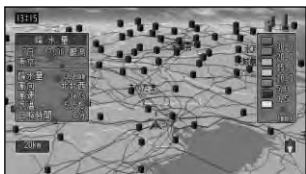


アメダス情報

十字カーソル位置に最も近いアメダス観測地点の情報が、文字と色分けされた四角形で表示されます。

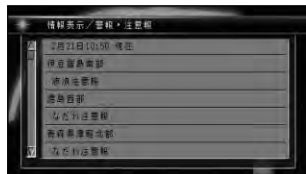


マルチビューコントローラーを上にして地図を見る角度を変えると、アメダス情報を色分けされた棒グラフで見ることができます。



警報・注意報

警報や注意報の発表時刻、該当地域、内容が表示されます。



気象情報が取得してあるときにルート設定すると

ルートを設定した直後に、「目的地付近の到着時刻頃の天気は晴れ、降水確率40%、気温25度の見込みです。」のように、目的地付近の到着予想時刻前後の天気が音声で案内されます。

メモ

- 専用サーバーには約2日間の3時間ごとの正時（降水確率、快適度、ワイパーの切り替えは6時間ごと）の天気予報データと、配信された日から1週間の週間天気予報データ、毎正時ごとに観測・配信されるアメダスデータ、警報・注意報データ、約1日間の（紫外線、桜花粉）の季節予報データが準備されています。天気予報データと季節予報データは毎日4:00と16:00、週間天気予報データは毎日11:00と17:00に発表される（株）ライブビジネスウェザーの天気予報と週間天気予報、季節予報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります）。
- データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 天気予報データ、週間天気予報データ、アメダス情報データ、警報・注意報データは、発表時刻から24時間経過すると本機から削除され、季節予報データは有効日時を過ぎると削除されます。表示させるには、もう一度専用サーバーからデータを取得してください。

- 専用サーバーによる天気予報、週間天気予報、季節予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。
- ウェザーライブ等の通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。
- (株) ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- 天気予報の表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(112P)
- 天気予報データ、週間天気予報データ、季節予報データについて、詳しくは「予報に関する注意事項」(313P)を参照してください。
- アメダス情報について、詳しくは「アメダス情報について」(314P)を参照してください。

■ 気象情報を取得する

メモ

気象情報を取得する場合は、携帯電話が接続され、通信接続設定が行われている必要があります。

→「プロバイダを設定する」(162P)

1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「LIVEリンク」を選んで【決定】を押す

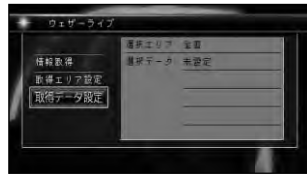
LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ウェザーライブ」を選んで【決定】を押す



ウェザーライブ画面が表示されます。

3 「取得データ設定」を選んで【決定】を押す



取得データの種類を選択するリストが表示されます。

4 取得したいデータの種類を選んで【決定】を押す

選ばれたデータの種類のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。



メモ

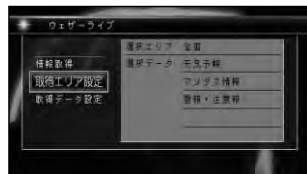
再度【決定】を押すと、ランプが消灯し、選択が解除されます。

5 【戻る】を押す

ウェザーライブ画面に戻ります。

6 「取得エリア設定」を選んで【決定】を押す

取得エリアを選択するリストが表示されます。

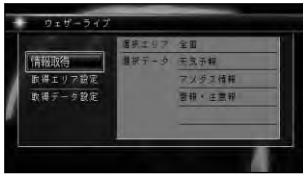


7 地域を選んで【決定】を押す

ウェザーライブ画面に戻ります。



8 「情報取得」を選んで[決定]を押す



気象情報の取得が始まります。気象情報の取得が終了すると、ウェザーライブ画面に戻ります。



メモ

- サーバー側から緊急のメッセージがあるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。
- プロバイダが未設定のときはメッセージが表示され、[決定]を押すと通信接続設定画面に切り替わります。→「プロバイダを設定する」(162P)

天気予報を見る

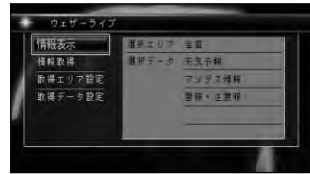
1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「LIVEリンク」を選んで[決定]を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ウェザーライブ」を選んで[決定]を押す

ウェザーライブ画面が表示されます。

3 「情報表示」を選んで[決定]を押す



情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 「天気予報」を選んで[決定]を押す



地図画面に天気予報が表示されます。

5 天気予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる

移動させた地域の予報を確認することができます。

十字カーソル位置の天気予報時刻、降水確率、気温、快適度、ワイパーの切り替え(雨や雪の量)

この色に合わせて地図が表示される。



現在の塗り分け、および降水確率、気温の対象となる予報時刻が囲まれる
十字カーソル位置の3時間ごとの予報

メモ

- 予報時刻を戻す/進めるには、[自宅] / [渋滞] を押します。
- 天気予報データがない地域は、地図が桃色で塗られます。
- 快適度は「暑い」、「やや暑い」、「快適」、「やや寒い」、「寒い」、「***」（不明の場合）の6段階で表示されます。
- ワイパーは「間欠」、「連続」、「高速」、「不要」、「***」（不明の場合）の5段階で表示されます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。

■ 週間天気予報を見る

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ウェザーライブ」を選んで [決定] を押す

ウェザーライブ画面が表示されます。

3 「情報表示」を選んで [決定] を押す

情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 「週間天気予報」を選んで [決定] を押す



地図画面に天気予報が表示されます。

5 天気予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる

移動させた地域の予報を確認することができます。

十字カーソル位置の天気予報時刻、降水確率
この色に合わせた地図が表示される。



画面に表示されている予報日が

十字カーソル位置の週間予報

メモ

- 予報日を戻す/進めるには、[自宅] / [渋滞] を押します。
- 週間天気予報データがない地域は、地図が桃色で塗られます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。
- 地図上には代表地点が■（明るい赤）で表示されます。十字カーソルが代表地点付近（20km以内）にある場合のみ、最高気温、最低気温が表示されます。
- 翌日の降水確率、気温は表示されません。

■ 季節予報を見る

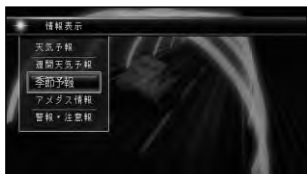
1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ウェザーライブ」を選んで[決定]を押す
ウェザーライブ画面が表示されます。

3 「情報表示」を選んで[決定]を押す
情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 「季節予報」を選んで[決定]を押す



季節予報の種類を選択するリストが表示されます。

5 見たい情報（「紫外線予報」など）を選んで[決定]を押す



地図画面に季節予報が表示されます。

6 季節予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる
十字カーソル位置付近の季節予報を確認することができます。



予報時刻 この色に合わせて地図が表示される。

メモ

- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。
- 杉花粉情報の表示画面で青色で塗られたエリアは予報提供エリア外になります。なお、杉花粉は沖縄地方や北海道地方ではほとんど観測されないため、現在は予報提供エリア外になっています。

■アメダス情報を見る

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「LIVEリンク」を選んで[決定]を押す
LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ウェザーライブ」を選んで[決定]を押す
ウェザーライブ画面が表示されます。

3 「情報表示」を選んで[決定]を押す
情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 「アメダス情報」を選んで[決定]を押す



データの種類を選択するリストが表示されます。

5 見たい情報を選んで「決定」を押す



地図画面にアメダス情報が表示されます。

メモ

降水量、積雪量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選ぶことができます。

6 アメダス情報を見たい場所まで地図をスクロールさせる

十字カーソル位置付近にあるアメダス観測地点の情報を文字で確認することができます。

(選んだ情報が、地図上に色分けされて表示されます。)



カーソル位置付近にあるアメダス観測地点のすべての情報が、文字で表示される

この色に合わせて地図が表示される。

メモ

- アメダスの文字情報では、「降水量」、「風向・風速」、「気温」、「日照時間」のいずれかを選ぶと、これらすべての情報が表示されます。「積雪量」を選ぶと、積雪量の情報だけが表示されます。
- 毎正時に観測された過去1時間以内のデータが配信されます。
- 降水量は0.5mm単位、気温は0.1℃単位、風向は16方位、風速は1m/s単位、日照時間は1分単位、積雪量は1cm単位で表示されます。
- 地図を10kmスケール以下で表示していたときは、自動的に20kmスケールに変わります(10kmスケール以下では表示できません)。
- マルチビューコントローラーを上方向に倒すと、立体表示されます。

警報・注意報を見る

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「LIVEリンク」を選んで「決定」を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ウェザーライブ」を選んで「決定」を押す

ウェザーライブ画面が表示されます。

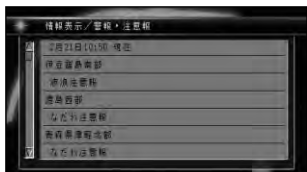
3 「情報表示」を選んで「決定」を押す

情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 「警報・注意報」を選んで[決定]を押す



警報・注意報画面が表示されます。



メモ

- 強風、濃霧、雷、大雪、着雪、洪水、低温などの警報および注意報を見ることができます。
- 地震および津波に関する情報は、取得することができません。

ハードウェア情報を見る

走行中の状態、各機器の接続状態、信号の状態などのハードウェアに関する情報を表示させることができます。

■衛星測位状態を見る

GPS衛星の受信状態を表示して、測位状態を確認することができます。

1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「ハードウェア情報」を選んで[決定]を押す

ハードウェア情報画面が表示されます。

2 「衛星測位状態」を選んで[決定]を押す

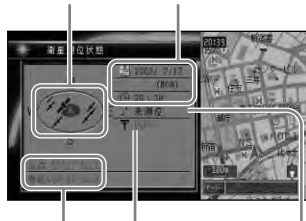


情報画面が表示されます。



衛星測位状態の読みかた

衛星位置表示 現在の日付/曜日/時刻



緯度・経度 D-GPSの状態 測位状態

衛星位置表示

自転車位置（赤い三角形のマーク）を中心に、現在電波を受信できているGPS衛星の位置が表示されます。円の中心付近から見ていろいろな方向の衛星の電波を受信できているときほど、正確な測位が可能です。測位に使われる衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できない衛星は黒で表示されます。

緯度・経度

現在地の緯度と経度が表示されます。測位できないときは、最後に測位したときの緯度と経度が表示されます。

測位状態

現在の測位状態が表示されます。「3次元測位」、「2次元測位」、「未測位」のように表示されます。

D-GPSの状態*

FM多重チューナーでD-GPS情報を受信すると、アンテナのマークが橙色で表示されます。(D-GPS情報が受信できない場合、黒で表示されます。) また、D-GPS情報を利用して測位しているときは「D-GPS」と黒で表示されます。(D-GPS情報を利用していないときは、灰色で表示されます。)

※D-GPSサービスは、2008年3月末日をもって終了しました(305P)。

メモ

GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

■ センサ学習状況を見る

センサの学習状況を画面上で確認することができます。

1

【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「ハードウェア情報」を選んで【決定】を押す

ハードウェア情報画面が表示されます。

2

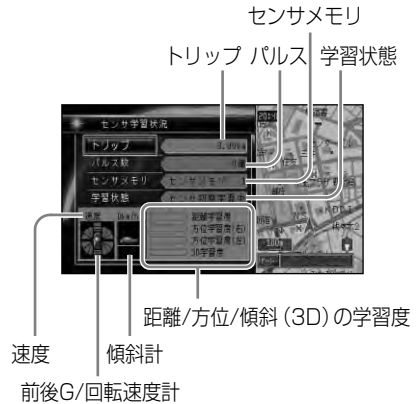
「センサ学習状況」を選んで【決定】を押す



▼
情報画面が表示されます。



センサ学習状況の読みかた



傾斜計

現在本機が認識している上り坂、下り坂が7段階(水平、上3段、下3段)で表示されます。

学習状態

現在の走行モード(3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード)、または「センサ初期学習中」が表示されます。

メモ

「学習状態」を選んで【決定】を押すと「リセット」が表示され、「リセット」を選んで【決定】を押すと、現在使用中のセンサーメモリーの学習がリセットされます。

前後G/回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。前後Gの強さ、左右の回転速度がそれぞれ7段階(前後各3段、左右各3段)で表示されます。

速度/トリップ/パルス数

現在本機が認識している速度、トリップ、パルス数の積算が表示されます。

メモ

「トリップ」または「パルス数」を選んで[決定]を押すと「リセット」が表示され、「リセット」を選んで[決定]を押すと、積算された数字がリセットされます。

センサメモリ

現在の学習結果を保存しているセンサーメモリです。「センサメモリ」を選び[決定]を押すと、センサーメモリ1とセンサーメモリ2が切り替わります。

距離/方位/傾斜(3D)の学習度

距離・方位(左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合が最高であることを表します。

ご注意

- 走行状態の確認は必ず同乗者が行き、運転者は運転に専念してください。
- 速度表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと異なることがあります。
- タイヤ交換やチェーン装着した場合、または悪路(雪道など)を走行してスリップした場合、タイヤの外径が変化したことを自動的に検出し、センサーの距離学習を再学習することがあります。センサー学習を再学習させたくない場合は、センサーメモリを切り替えてください。

メモ

- 電源コードの車速信号入力(ピンクリード線)が接続されていないときは、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出されません。
- 学習度およびトリップ、パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。

- センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- 本機の電源をOFF(エンジンをOFF)にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。
- 傾斜(3D)学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。電源コードの車速信号入力(ピンクリード線)が正しく接続されていないことが考えられます。車速信号入力の接続を確認してください。
- 機能設定の「車線変更促し表示」(→115P)をONにしているときは、「学習状態」をリセットするか、「センサメモリ」を未学習のセンサーメモリに切り替えると「車線変更促し表示」が「OFF」になります。

■接続状態を確認する

本機に接続されている各機器や配線が、正しく接続されているかどうかを確認することができます。

- 1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「ハードウェア情報」を選んで[決定]を押す

ハードウェア情報画面が表示されます。

- 2 「接続状態」を選んで[決定]を押す



▼
情報画面が表示されます。



接続状態の読みかた



車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発信音がして、数字とともに変化します。車速パルスの確認は、安全な場所で、低速（時速5km程度）で行ってください。

GPSアンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

アンテナのイラストは、GPS衛星の電波がどの程度の強さで受信されているかを示しています。バーの数が多いほど受信感度は良好です。バーの数が少ないときは、GPSアンテナの設置場所を電波の受信しやすい車のルーフやトランクリッドなどに変えてみてください。

車内に取り付けられているときは、必ず金属シートを使用してください。

取付け位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG（振動）」または「NG（取付け角）」と表示されたときは、『取付説明書』を参照して設置状態を確認してください。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11～15Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を確認してください。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション

イルミネーションの状態が表示されます。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。ライトの点灯/消灯が正しく表示されることを確認してください。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。

この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバース位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

※バックカメラを利用するときは必ず接続してください。接続しないと、バックカメラ映像に切り替わりません。

ビーコンユニット

VICS用ビーコンユニットの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、VICS用ビーコンユニットの接続状態を確認してください。

ETCユニット

ETCユニットの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、ETCユニットの接続状態を確認してください。

また、ETCのエラーを表示する場合もあります。「エラーメッセージと対処方法」をご覧ください。

■ハードディスク情報を確認する

ハードディスクの使用状況を確認することができます。

- 1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「ハードウェア情報」を選んで【決定】を押す

ハードウェア情報画面が表示されます。

- 2 「ハードディスク情報」を選んで【決定】を押す



情報画面が表示されます。



ハードディスク情報の見かた



容量表示

現在の空き容量が百分率（%）で表示されます。

メモ

- 空き容量とは、ユーザーデータ（プレイリスト、登録地、登録道など）が保存できる容量のことです。
- 10%程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

■ヘルプネット情報を見る

ヘルプネットを利用するための情報を確認することができます。

メモ

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」をインストールした場合のみ操作できます。

1

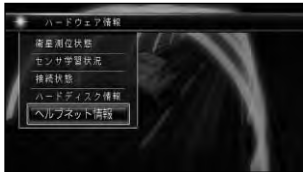
【メニュー】－「情報・通信」－
「ハードウェア情報」を選んで

【決定】を押す

ハードウェア情報画面が表示されます。

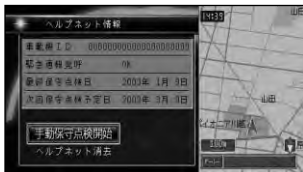
2

「ヘルプネット情報」を選んで
【決定】を押す



情報画面が表示されます。

ヘルプネット情報の見かた



車載機ID

ナビゲーション本体の車載機IDが表示されます。

緊急通報発呼

ヘルプネットを利用可能かどうかが表示されます。利用可能なときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、手動保守点検を行ってください。

最終保守点検日

自動保守点検を行った日付が表示されます。

次回保守点検予定日

次回に自動的に行われる自動保守点検の日付が表示されます。

メモ

手動保守点検およびヘルプネット消去の操作方法は、「ヘルプネットの操作」(279P)を参照してください。

インターネット

本機とデジタル携帯電話のみで、インターネットに接続することができます。この章では、本機につないだデジタル携帯電話を使ってインターネットに接続し、さまざまな情報を利用する方法を説明します。

インターネットに関する用語については、「インターネットの基礎知識」(183P)をご覧ください。

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータで構成されるネットワークのことです。当初はおもに学術情報を公開するために利用されていましたが、現在ではさまざまなジャンルの情報が提供されるようになり、必要な準備を整えれば誰でも利用できるまでに普及しています。

通常インターネットを利用する場合は、パソコンなどの情報端末と、これを電話回線に接続するための通信機器(データ通信機能を備えた電話機やモデムなど)を使います。電話回線を介してインターネットに接続し、情報をやりとりします。

このときインターネットへの接続サービスを提供し、インターネットへの窓口となるのが「インターネットサービスプロバイダ」(「プロバイダ」)です。利用者は自分の契約しているプロバイダに接続し、そこからインターネットに接続することになります。本機はインターネットを利用するための機能を備えています。本機に携帯電話をつないでインターネットに接続することにより、インターネット上で公開されている情報を利用することができるようになります。インターネットに関する基本的な知識については、「インターネットの基礎知識」(183P)を参照してください。

インターネットを利用するまで

本機でインターネットを利用するまでには、次の準備をします。

- 1 インターネットサービスプロバイダとの利用契約を行い、「接続ID」と「接続パスワード」などの情報を入力する

メモ

すでにプロバイダと契約している場合は、必要な情報がそろっているかどうかを確認します。

- 2 本機とデジタル携帯電話(9600bpsデータ通信機能に対応しているもの、または「cdmaOne™」携帯電話)を接続して利用できるようにする

本機と携帯電話の接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

メモ

- 接続すると、「携帯電話が接続されました。」と表示されます。
- 本機はPDCおよび「cdmaOne™」(CDMA2000 1Xを含む)携帯電話に対応しています。しかし機種によっては使用できない場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。詳しくはパイオニアホームページをご覧ください。
- 本機に「cdmaOne™」携帯電話を接続するためには、別売のcdmaOne™用アダプター「CD-H12」/「CD-H14」が必要です。

- 本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をつないだ場合、契約形態によっては携帯電話側で64kbps（高速）のパケット通信、または14.4kbps（標準）通信の両方を切り替えて利用できます。また、CDMA2000 1Xも標準/高速を切り替えて利用できます（最大144kbps）。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。
- 携帯電話側の車載設定によっては、常時照明がONになる機種があります。携帯電話のバッテリー切れの原因になりますので、携帯電話の仕様を確認の上ご使用ください。

3 プロバイダに接続するための設定を行う

メモ

- 本機では、2つのプロバイダを区別することができます。あらかじめ、それぞれのプロバイダについて接続設定をしておく必要があります。
- 接続設定は、メニューから設定する方法と、ブラウザ画面から設定する方法の2種類があります。
設定のしかたは、「プロバイダを設定する」(次ページ)を参照してください。

4 インターネットに接続し、情報を利用する

インターネットに接続してからの操作については、「ウェブページを見る」(169P)以降を参照してください。

メモ

- インターネットへの接続時間は、電話の受信状態や回線の混み具合によって異なります。
- 本機で表示できる画像データは、JPEG形式とGIF形式ですが、条件によっては表示できないことがあります。また、プラグインなどの利用を前提としたウェブページやSSLを使用しているウェブページは表示できません。
- ウェブページの運用・内容・情報の更新頻度などは、それぞれのウェブページの主催者によって異なります。情報提供の中断、URLの変更などは、各ウェブページ的主催者にお問い合わせください。
- 通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。（パケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話はパケット代で課金）
- 本機の電源ON/OFF（エンジンのON/OFF）に関係なく、携帯電話を接続したり、取り外したりすることができます。
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。（呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。）
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは動かなくなります。（携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON/OFF（エンジンのON/OFF）に連動します。）
- ナビゲーション本体から携帯電話への充電および給電は行われません。

プロバイダを設定する

インターネットを利用するには、インターネットへの接続会社（プロバイダ）に入会する必要があります。すでにプロバイダと契約している場合は、接続するための設定をします。

■ 接続先を選ぶ

本機では、2つのプロバイダを使い分けることができます。各プロバイダについて接続設定をしておく、利用状況に応じて接続先を切り替えることができるため、接続先を変えるたびに接続設定をやり直す必要がありません。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「各種設定」を選んで [決定] を押す

各種設定画面が表示されます。

2 「通信接続設定」を選んで [決定] を押す



通信接続設定画面が表示されます。

3 「接続先」を選んで [決定] を押す



プロバイダがリスト表示されます。

メモ

接続先が設定されていないと、「未設定」と表示されます。

4 使用するプロバイダを選んで [決定] を押す



■ 接続設定を行う（一覧から選ぶ）

メモ

ここで行う接続設定は、ブラウザ画面から設定する「接続環境」、「ブラウザ環境」にも反映されます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「各種設定」を選んで [決定] を押す

各種設定画面が表示されます。

2 「通信接続設定」を選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

3 「接続先」を選んで [決定] を押す

プロバイダがリスト表示されます。

4 接続設定を行う接続先を選んで [決定] を押す

メモ

設定済みの接続先を選択すると、前回設定した内容に上書き設定されるのでご注意ください。

5 「接続設定」を選んで「決定」を押す



接続先の探しかたを選択するメニューが表示されます。

6 「プロバイダリスト」を選んで「決定」を押す



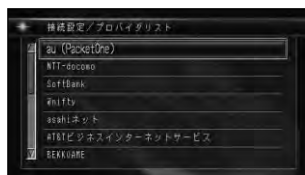
プロバイダがリスト表示されます。

メモ

- 加入しているプロバイダがリストにないときは、「戻る」を押して手順5の画面で「マニュアル」を選んでください。→「接続設定を行う(手動で行う)」(次ページ)
- 次のサービスまたは携帯電話会社に対応するプロバイダは下表のとおりです。

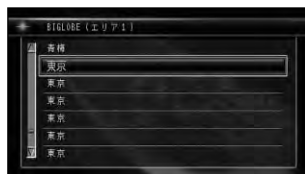
サービス	プロバイダリストの表示
NTTドコモのモペラ	「NTT-docomo」
au	「au (Packet One)」
SoftBank	「SoftBank」

7 加入しているプロバイダを選んで「決定」を押す



アクセスポイントがリスト表示されます。

8 接続先(アクセスポイント)を選んで「決定」を押す



接続IDと接続パスワードの入力を選択するメニューが表示されます。

メモ

- 「NTT-docomo」「au(Packet One)」「SoftBank」のアクセスポイントは「全国共通」と表示され、自動的に接続IDと接続パスワードが入力されます。「決定」を押して手順15に進んでください。

プロバイダを設定する

つづく→

9 「接続ID」を選んで[決定]を押す



接続IDの入力画面が表示されます。

10 プロバイダ入会時に発行された接続IDを入力する

→「文字の入力操作」(267P)



11 「入力終了」を選んで[決定]を押す

手順9の画面に戻ります。

メモ

[戻る]を押して、入力を終了することもできます。

12 「接続パスワード」を選んで[決定]を押す



接続パスワードの入力画面が表示されます。

13 プロバイダ入会時に発行された接続パスワードを入力する →「文字の入力操作」(267P)

14 「入力終了」を選んで[決定]を押す

手順9の画面に戻ります。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“*”で表示されます。
- 接続IDと接続パスワード以外の項目は自動的に入力されます。
- [戻る]を押して、入力を終了することもできます。

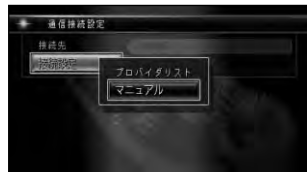
15 [メニュー]を押す 設定を終了して地図画面に戻ります。

■接続設定を行う(手動で行う)

メモ

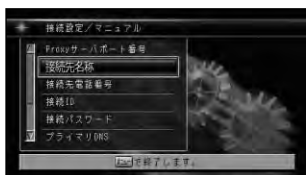
ここで行う接続設定は、ブラウザ画面から設定する「接続環境」、「ブラウザ環境」にも反映されます。

1 「接続設定を行う(一覧から選ぶ)」(162P)の手順6で「マニュアル」を選んで[決定]を押す



接続設定/マニュアル画面が表示されます。

2 設定する項目を選んで [決定] を押す



文字または数字の入力画面、項目によっては設定を選択するメニューが表示されます。

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「接続ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「接続パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	IPアドレス
「セカンダリDNS」	IPアドレス
「Proxyサーバ」	「使用する」、 「使用しない」

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“*”で表示されます。
- IPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192.168.2.255の場合は、「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバを使用する場合は、「使用する」を選択してください。ほかにポート番号などの設定が必要です。→「Proxyサーバの指定」(次ページ)

3 名称・数字を入力する(267P)、または設定を選択する

4 「入力終了」を選んで [決定] を押す

接続設定/マニュアル画面に戻ります。

メモ

[戻る] を押して、入力を終了することもできます。

5 手順2～4を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

6 [メニュー] を押す 設定を終了して地図画面に戻ります。

Proxyサーバーの指定

Proxyサーバ名称とポート番号は、加入したプロバイダの説明書をご覧ください。

1 「接続設定を行う（手動で行う）」（164P）の手順2で「Proxyサーバ」を選んで「決定」を押す

2 「使用する」を選んで「決定」を押す
接続設定/マニュアル画面に戻ります。

3 「Proxyサーバ名称」を選んで「決定」を押す
文字の入力画面が表示されます。

4 Proxyサーバの名称を入力する
→「文字の入力操作」（267P）

5 「入力終了」を選んで「決定」を押す
接続設定/マニュアル画面に戻ります。

メモ

「戻る」を押して、入力を終了することもできます。

6 「Proxyサーバポート番号」を選んで「決定」を押す
数字の入力画面が表示されます。

7 ポート番号を入力する
→「文字の入力操作」（267P）

8 「入力終了」を選んで「決定」を押す
メモ

「戻る」を押して、入力を終了することもできます。

9 「メニュー」を押す
設定を終了して地図画面に戻ります。


■ブラウザ画面から接続設定を行う

メモ

ここで言う接続環境の設定は、現在選ばれている接続先の接続設定に反映されます。

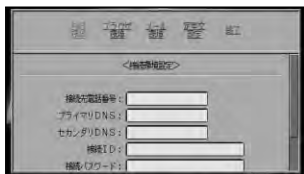
1 「メニュー」－「情報・通信」－「インターネット」を選んで「決定」を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「メニュー」を押す
メニューバーが表示されます。

3 （設定）を選んで「決定」を押す



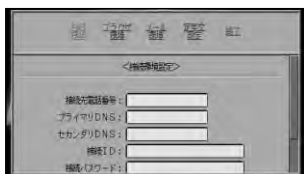
4 「接続環境」を選んで「決定」を押す
接続環境設定画面が表示されます。



メモ

「メニュー」を押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

5 設定する項目を選んで「決定」を押す



文字または数字の入力画面が表示されます。

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

項目	設定内容
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「プライマリDNS」	IPアドレス
「セカンダリDNS」	IPアドレス
「接続ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「接続パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード

メモ

- IPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192.168.2.255の場合は、「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように「*」で表示されます。

6

文字を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



7

「入力終了」を選んで[決定]を押す

接続環境設定画面に戻ります。

8

手順5～7を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

9

「実行」を選んで[決定]を押す



設定が保存されます。

メモ

「中止」を選んで[決定]を押すと、入力前の状態に戻ります。

10

「終了」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面に戻ります。

■ブラウザの環境設定

インターネットに接続するためのプロクシサーバーの設定、およびウェブページの画像データを読み込むかどうかの設定をします。

メモ

ここで行う接続環境の設定は、現在選ばれている接続先の接続設定に反映されます。

1

[メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

[メニュー]を押す

メニューバーが表示されます。

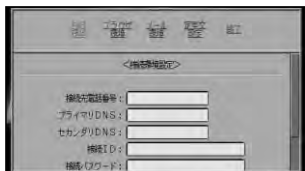
つづく→

3 (設定) を選んで [決定] を押す

接続環境設定画面が表示されます。

4 「ブラウザ環境」を選んで [決定] を押す

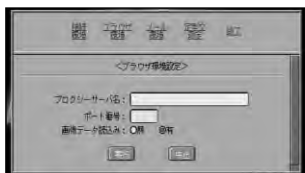
ブラウザ環境設定画面になります。



メモ

[メニュー] を押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

5 設定する項目を選んで [決定] を押す



文字または数字の入力画面が表示されます。

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

項目	設定内容
「プロキシサーバ名」	プロキシサーバの名称
「ポート番号」	プロキシサーバのポート番号
「画像データ読み込み」	「無」、「有」

6 文字を入力する → 「文字の入力操作」(267P)



メモ

- 画像データ読み込みは、「無」「有」のいずれかを選んで [決定] を押してください。
- 画像データ読み込みを「無」に設定すると、ウェブページを早く表示させることができます。

7 「入力終了」を選んで [決定] を押す

ブラウザ環境設定画面に戻ります。

8 手順5～7を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

9 「実行」を選んで [決定] を押す



設定が保存されます。

メモ

「中止」を選んで [決定] を押すと、入力前の状態に戻ります。

10 「終了」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面に戻ります。

ウェブページを見る

本機の通信機能を使って、インターネット上のさまざまなウェブページを閲覧することができます。

メモ

通信終了後は、必ず電話が切れたこと（回線の切断）を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

■インターネットに接続する

1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで【決定】を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 ジョイスティックで閲覧したいウェブページを選んで【決定】を押す



確認のメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで【決定】を押す



インターネットに接続され、選択したウェブページが表示されます。



メモ

- 表示されるウェブページによっては、読み込みに時間がかかることがあります。[別ルート]を押すと、読み込みを中止します。
- 5分以上操作やデータのやりとりが行われなかったときは、自動的に電話が切断されます。[決定]を押すと、[ネットワークに接続してもよろしいですか?]というメッセージが表示されます。再接続するには、「はい」を選んで【決定】を押してください。

「cdmaOne™」携帯電話使用によるデータ通信について

「cdmaOne™」携帯電話の使用によるパケット通信以外のデータ通信は、「PDC」携帯電話に比べて、通信時間がかかることがあります。また、パケットによる高速データ通信も可能ですが、条件によっては64kbps (CDMA2000 1X)は144kbps)の通信速度で通信できないことがあります。本機に「cdmaOne™」携帯電話を接続するためには、別売のcdmaOne™用アダプター「CD-H12」/「CD-H14」が必要です。割込通信サービスをご利用されている場合は、割込通信サービスをOFFにしてください。通信中に割り込みがあると、機能の一部が働かなくなることがあります。

【○○○○は表示できません】というメッセージが表示されたら

ウェブページによっては、画像が多い（画像データのサイズが大きい）ために、ブラウザに表示できないことがあります。このようなときは、画像の読み込みをしない設定にすると、表示できる場合があります。

→「ブラウザの環境設定」（167P）

サービス終了のお知らせ

「carrozzeria.com」、「TV番組表」、「MapFan Web」は、2010年3月31日をもってサービスを終了しました。

画面を操作する

表示されたページを見るだけでなく、パソコンのブラウザと同様に、リンク先のページを見たり、画面をスクロールさせることができます。

ブラウザの操作では、次のボタン類を使用します。

【メニュー】 メニューバーとステータスバーが表示され、表示されている状態で押すと消える。

ジョイスティック リンクや入力欄を選択する。
画面によっては、スクロールする。

【決定】 リンクや入力欄が選択されているときは、リンク先に移動したり、文字の入力画面が表示される。
回線未接続のときは、再接続の確認メッセージが表示される。

【別ルート】 リンクや入力欄が選択されているときは、選択が解除される。

詳細/広域 フレームが切り替わる。

**マルチビュー
コントローラー** 半ページ単位で画面がスクロールする。

【戻る】 直前のページに戻る。

【現在地】 地図画面に戻る。













メニューバーの各アイコンの働き、およびステータスバーの各表示の意味は以下のとおりです。

メニューバー



選択されているアイコン名

各アイコンの働きは次のとおりです。

-  URLを入力する。
-  ブックマークを付けたページや過去に表示したページの履歴が一覧表示される。
-  前のページに戻る。
-  次のページに進む。
-  読み込みを中止する。
-  現在のページを再読み込みする。
-  ホームページが表示される。
-  画面が保存される。
-  接続の設定やメールなどの各種設定を行う。
-  メール画面が表示される。
-  回線接続中のときは、回線が切断される
-  ナビゲーションに戻る。

ステータスバー



- URL
- 接続時間
- 読み込み中の表示
- 状態表示 (接続中/未接続)

■ リンク先のページを表示させる

1 ジョイスティックで下線の付いている文字を選んで[決定]を押す

メモ

下線の付いている文字には、指定された場所またはページへのリンクが設定されています。



リンク先のページが表示されます。



■ 画像に複数のリンクが設定されているとき (クリックブルマップ)

1 ジョイスティックでリンクが設定されている画像を選んで[決定]を押す

画像上にカーソルが表示されます。

2 ジョイスティックでカーソルをリンク位置に合わせて[決定]を押す

リンク先のページが表示されます。

■画面をスクロールさせる


ページ内の情報をすべて表示できないときは、画面の右側にスクロールバーが表示されます。

ページの隠れている部分を表示するには、ジョイスティックを上下に倒して画面をスクロールさせます。

メモ

マルチビューコントローラーを倒すと、半ページ単位でスクロールします。

■1つ前の画面を表示させる

[戻る] またはメニューバーの  (前ページ) を押すと、直前の画面に戻ります。



直前のページが表示されます



■ウェブページ上で文字を入力する

1 ジョイスティックで文字の入力欄を選んで[決定]を押す



文字の入力画面が表示されます。

2 文字を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



3 「入力終了」を選んで[決定]を押す

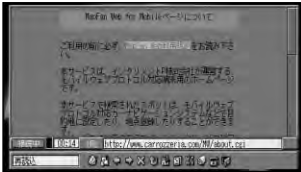
入力欄に文字が入力されます。

画面が正しく表示されないとき

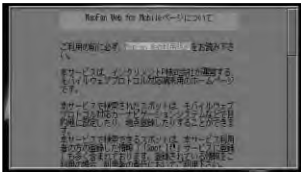
画面が正しく表示されないときは、現在のページのデータを再読み込みします。

1 **【メニュー】** を押す
メニューバーが表示されます。

2 **🔄 (再読み込み)** を選んで **【決定】** を押す



データが再度読み込まれ、画面が更新されます。



メモ

回線に接続されていないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。再接続するには、「はい」を選んで **【決定】** を押してください。

ホームページに戻る

リンク先のページから、ホームページに戻ります。

メモ

ホームページは変更できません。

1 **【メニュー】** を押す
メニューバーが表示されます。

2 **🏠 (ホーム)** を選んで **【決定】** を押す

ホームページに戻ります。



URLを入力してウェブページを見る

ウェブページのURLを入力して、ウェブページを表示させます。

1 **【メニュー】** - 「情報・通信」 - 「インターネット」 を選んで **【決定】** を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **【メニュー】** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **📄 (URL入力)** を選んで **【決定】** を押す

文字の入力画面が表示されます。

4 **URL** を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)

5 **【入力終了】** を選んで **【決定】** を押す

入力したURLのウェブページが表示されます。

メモ

回線に接続されていないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。再接続するには、「はい」を選んで **【決定】** を押してください。

入力したURLを修正する方法については、「文字を削除する」(269P)を参照してください。

ブックマークする


繰り返し閲覧するページをブックマークとして登録しておく、次回から簡単な操作でそのページを表示させることができます。


メモ


- 「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」の3つのグループが用意されており、いずれかのグループに登録できます（計50件まで）。
- URLが256文字を超えるウェブページは登録できません。
- ブックマークの操作画面で「別ルート」を押すと、確認のメッセージが表示されます。インターネット画面に戻るには、「はい」を選んで「決定」を押します。


ブックマークメニュー


ブックマークを操作するには、ジョイスティックでアイコンを選び「決定」を押します。各アイコンの動きは次のとおりです。


 (現在表示中のページをマークに追加)
表示中のウェブページをブックマークとして登録する。


 (新規作成)
URLを入力して、ウェブページをブックマークとして登録する。

 (並べ替え)
ブックマークを並べ替える。

 (取り込み)
ハードディスク内に保存されたブックマークを読み込む。

 (書き出し)
ブックマークを保存する。


 (削除)
ロックされていないブックマークをすべて削除する。

 (終了)
ブックマークの操作を終了する。

■表示中のウェブページをブックマークする


1 登録したいウェブページを表示させる
→前ページの「URLを入力してウェブページを見る」

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す




ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）が表示されます。

4  (追加) を選んで [決定] を押す




ブックマーク登録画面が表示されます。

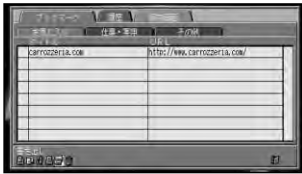
5 グループを選んで [決定] を押す
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。

6  (追加) を選んで [決定] を押す



ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）に、表示されていたウェブページのタイトルとURLが追加されます。

- 7**  (書き出し) を選んで [決定] を押す



表示されていたウェブページがブックマークとして保存されます。


■ウェブページのURLを入力してブックマークする

ウェブページのURLがわかっているならば、URLを入力して、登録することができます。


- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。
- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。
- 3**  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。
- 4**  (新規作成) を選んで [決定] を押す
ブックマーク登録画面が表示されます。
- 5** グループを選んで [決定] を押す
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。
- 6** タイトルまたは URL の入力欄を選んで [決定] を押す
文字入力画面が表示されます。

- 7** タイトルまたはURLを入力する
→ 「文字の入力操作」(267P)

- 8** 「入力終了」を選んで [決定] を押す

- 9**  (追加) を選んで [決定] を押す

ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) に、ウェブページのタイトルとURLが追加されます。

- 10**  (書き出し) を選んで [決定] を押す

URLを入力したウェブページがブックマークとして保存されます。

■ブックマークしたウェブページを見る

- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。
- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。
- 3**  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。
- 4** グループを選んで [決定] を押す
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。

つづく→

5 表示させたいウェブページを選んで [決定] を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

6 「呼び出し」を選んで [決定] を押す



メモ

「戻る」を選んで [決定] を押すと、ブックマークのリスト画面に戻ります。



選択したウェブページが表示されます。



■ブックマークを編集する

登録されているウェブページのタイトルとURLは変更することができます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す

ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4 グループを選んで [決定] を押す

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。

5 編集したいウェブページを選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

6 「編集」を選んで [決定] を押す



メモ

「戻る」を選んで [決定] を押すと、ブックマークのリスト画面に戻ります。

7 タイトルまたはURLの入力欄を選んで [決定] を押す

文字の入力画面が表示されます。


8 タイトルまたはURLを入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)

9 「入力終了」を選んで [決定] を押す

10 (追加) を選んで [決定] を押す

ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) に、新しく入力したタイトルまたはURLが表示されます。

- 11**  (書き出し) を選んで [決定] を押す
タイトルまたはURLの変更が保存されます。

■ブックマークを並べ替える

リストに表示されているブックマークを並べ替えます。


- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。
- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。
- 3**  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。
- 4** グループを選んで [決定] を押す
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。
- 5**  (並べ替え) を選んで [決定] を押す
メモ
 (並べ替え) を選んで [決定] を押すごとに、並べ替えの方法は次のように切り替わります。
- URL順 → タイトル順
← ロック優先 ← 日付順 ←

■ブックマークをロックする

この操作をすると、リストから削除されないようにブックマークがロック(保護)されます。

- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

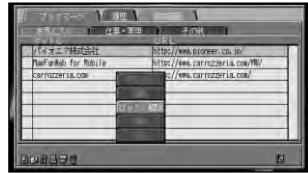
- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

- 3**  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

- 4** グループを選んで [決定] を押す
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。

- 5** ロックしたいウェブページを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。


- 6** 「ロック/解除」を選んで [決定] を押す



タイトルの左側に「鍵」が表示されます。

メモ

- 「ロック/解除」を選んで [決定] を押すごとに、ロックと解除が切り替わります。
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、ブックマークのリスト画面に戻ります。


- 7**  (書き出し) を選んで [決定] を押す
ブックマークがロックされます。

■ブックマークを削除する

登録したブックマークをリストから削除します。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー]を押す
メニューバーが表示されます。

3  (マーク&履歴)を選んで[決定]を押す
ブックマークのリスト(ブックマークタブの画面)が表示されます。


4 グループを選んで[決定]を押す
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」から選びます。


5 削除したいウェブページを選んで[決定]を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「削除」を選んで[決定]を押す





メモ

-  (削除)を選んで[決定]を押すと、ロックされていないウェブページがすべて削除されます。
- ロックされたブックマークを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「ブックマークをロックする」の手順6で、「解除」を選んで[決定]を押してください。)
- 「戻る」を選んで[決定]を押すと、ブックマークのリスト画面に戻ります。

7  (書き出し)を選んで[決定]を押す
ブックマークが削除されます。

■ブックマークのリストを変更前の状態に戻す

ブックマークの追加、編集、ロック(保護)、削除操作中の書き出し()前であれば、 (取り込み)を選んで[決定]を押すと、ブックマークを変更前の状態に戻すことができます。

履歴を操作する

一度表示させたウェブページは履歴に保存されます。履歴を操作することによって、再び表示させたり、ブックマークとして登録することができます。


メモ

- 本機の履歴機能は、インターネット機能使用中の履歴を保存するものです。「情報・通信」メニューから「インターネット」を操作し、この操作から抜けると、履歴は削除されます。
- 履歴の操作画面で「別ルート」を押すと、確認のメッセージが表示されます。インターネット画面に戻るには、「はい」を選んで[決定]を押します。

■過去に閲覧したウェブページを表示させる

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4 「履歴」を選んで [決定] を押す



履歴のリスト (履歴タブの画面) が表示されます。

5 表示させたいウェブページを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「呼び出し」を選んで [決定] を押す



選択したウェブページが表示されます。


メモ
「戻る」を選んで [決定] を押すと、履歴のリスト画面に戻ります。

■ブックマークに追加する

履歴リストのウェブページを登録することができます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

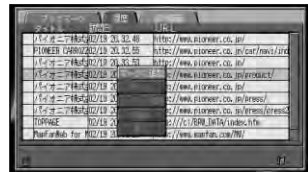
2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4 「履歴」を選んで [決定] を押す
履歴のリスト (履歴タブの画面) が表示されます。

5 ブックマークに追加したいウェブページを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「マークに追加」を選んで [決定] を押す





ブックマーク登録画面が表示されます。

7 タイトルまたは URL の入力欄を選んで [決定] を押す
文字入力画面が表示されます。

8 タイトルまたは URL を入力する
→ 「文字の入力操作」(267P)

9 「入力終了」を選んで[決定]を押す

10  (追加)を選んで[決定]を押す


11  (書き出し)を選んで[決定]を押す
選択したウェブページがブックマークとして保存されます。

履歴をロックする

この操作をすると、削除されないように履歴リストのウェブページがロック（保護）されます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

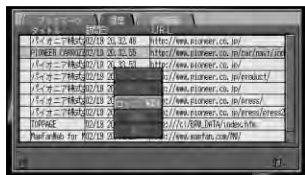
2 [メニュー]を押す
メニューバーが表示されます。

3  (マーク&履歴)を選んで[決定]を押す
ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）が表示されます。

4 「履歴」を選んで[決定]を押す
履歴のリスト（履歴タブの画面）が表示されます。

5 ロックしたいウェブページを選んで[決定]を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「ロック/解除」を選んで[決定]を押す



タイトルの左側に「鍵」が表示されます。

メモ

- 「ロック/解除」を選んで[決定]を押すごとに、ロックと解除が切り替わります。
- 「戻る」を選んで[決定]を押すと、履歴のリスト画面に戻ります。




履歴リストのウェブページがロック（保護）されます。

履歴を削除する

履歴リストからウェブページを削除します。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー]を押す
メニューバーが表示されます。

3  (マーク&履歴)を選んで[決定]を押す
ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）が表示されます。

4 「履歴」を選んで[決定]を押す
履歴のリスト（履歴タブの画面）が表示されます。

5 削除したいウェブページを選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

6 「削除」を選んで [決定] を押す



履歴が削除されます。

メモ

- **削除** (削除) を選んで [決定] を押すと、ロック (保護) されていないウェブページがすべて削除されます。
- ロックされた履歴を削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「履歴をロックする」の手順6で、「解除」を選んで [決定] を押してください。)
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、履歴のリスト画面に戻ります。

表示したウェブページを保存する

表示したウェブページを保存しておくと、見たいときに表示させることができます。

1 保存したいウェブページを表示させる

→ 「URLを入力してウェブページを見る」(173P)

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 **画面の保存** (画面の保存) を選んで [決定] を押す

保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

4 「はい」を選んで [決定] を押す



保存画面のリストが表示され、保存したウェブページのURLを確認できます。

メモ

- 「いいえ」を選んで [決定] を押すと、ウェブページに戻ります。
- ウェブページは合計約2Mbyteまで保存できます。

保存したウェブページを見る

メモ

保存の操作画面で [別ルート] を押すと、確認のメッセージが表示されます。インターネット画面に戻るには、「はい」を選んで [決定] を押します。


1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

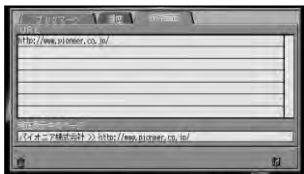
メニューバーが表示されます。

つづく→

3  (マーク&履歴) を選んで [決定] を押す
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

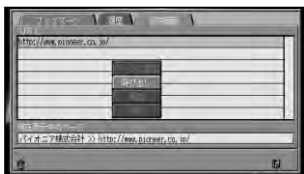
4 「保存画面」を選んで [決定] を押す
保存画面のリストが表示されます。

5 表示したいウェブページを選んで [決定] を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

6 「呼び出し」を選んで [決定] を押す



選んだウェブページが表示されます。

メモ


- 「マークに追加」と「削除」の操作方法は、履歴の操作と同じです。
→ 「履歴を操作する」(178P)
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、保存画面のリストに戻ります。

接続を解除する

■インターネットの接続を解除する

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (回線切断) を選んで [決定] を押す
接続が解除されます。

メモ


通信終了後は、必ず電話が切れたこと (回線の切断) を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

■ナビゲーション画面に戻る

インターネットを終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (ナビに戻る) を選んで [決定] を押す
インターネットを終了し、スタートメニューが表示されます。

メモ

通信終了後は、必ず電話が切れたこと (回線の切断) を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットの基礎知識

■インターネットってなに？

世界各国のコンピューターを相互に接続した、世界規模のコンピューターネットワークシステムです。

インターネットで最も利用されているサービスは、ウェブサイトの閲覧や情報発信、電子メールによるメッセージ交換です。

企業や個人がウェブサイトで発信した最新情報は、「ウェブブラウザ（ブラウザ）」というソフトウェアでいつでも閲覧できます。また、電子メールの利用により、送り先の時間帯や距離を意識することなく、メッセージをやりとりすることができます。

■プロバイダってなに？

「インターネット接続サービスプロバイダ」の略で、インターネットに接続する環境（電話回線や通信設備など）を一般の利用者に提供する企業や組織のことです。「インターネットプロバイダ」、「ISP」などと呼ばれることもあります。

利用者は、電話回線を通じてプロバイダに接続することで、その先のインターネットを利用することができます。

■インターネットを見ているときは費用がかかるの？

携帯電話が接続されている時間分だけ、携帯電話の通話料（パケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話はパケット代で課金）とプロバイダの接続料がそれぞれ課金されます。

携帯電話の通話料は通常の通話と同じ（携帯電話の事業者によっては、専用料金になることがあります）ですから、接続先（プロバイダのアクセスポイント）によって料金が異なります。ただし、海外のホームページを見たからといって、国際電話料が課金されるわけではありません。

■「http://」のhttpってなに？

インターネット上で、コンピューターどうしが各種情報を交換するために使用する共通のルールのことを「プロトコル」といいます。httpは、ウェブサイト（ウェブページ）の情報をやりとりするためのプロトコルで、Hyper Text Transfer Protocolの略です。ウェブブラウザはこのプロトコルを使ってウェブサイトからデータを受信し、その結果を画面に表示します。

■「URL」ってなに？

Uniform Resource Locatorの略で、インターネット上で情報のある場所を特定するための文字列のことです。URLには、情報の種類、サーバー名（ホスト名+ドメイン名）などの、インターネット上で情報を得るための文字列を記述します。

例えば、パイオニア株式会社のウェブページから情報を得るときは、URLを「http://pioneer.jp/」と指定します。

■「www」ってなに？

World Wide Webの略で、インターネット上に公開されているさまざまな情報を文字や画像で得ることができる情報システムです。

■「ブックマーク」ってなに？

繰り返し利用するウェブページを本機のブラウザに登録しておく機能のことです。パソコン用ブラウザの「ブックマーク」、「お気に入り」と同様の機能です。

繰り返しアクセスするウェブページを「ブックマーク」として登録しておくことで、毎回URLを入力する手間を省くことができます。

■「トップ画面」ってなに？

ウェブページに接続しようとするとき、最初に表示される画面のことです。

■メールアドレスってなに？

電子メールを送受信するときの宛先となる情報です。郵便物の住所に相当し、「my_name@mail.abcd.ne.jp」のような表記が「電子メールアドレス」です。

■「CGI」ってなに？

Common Gateway Interfaceの略で、ウェブページ上で文字などを入力した結果をページに反映させるための機能です。

例えば、ウェブページを見た人数を示す「カウンタ」や、ウェブページ上にメッセージを書き込んで閲覧できるようにする「掲示板」などで使われています。

■「SSL」ってなに？

Secure Socket Layerの略で、インターネット上で安全に情報をやりとりできるようにするための技術のひとつです。SSLを利用して作られているウェブページを見るためには、SSLに対応しているウェブブラウザを用意する必要があります。（本機では、これらのページを表示させることはできません。）

■「DNS」ってなに？

Domain Name Systemの略で、IPアドレスとドメイン名を対応させるシステムのことです。その管理を行うサーバーをDNSサーバーといいます。

■ドメイン名ってなに？

インターネットに接続されている機器を識別するための名前のことです。

■IPアドレスってなに？

インターネット上の通信規約であるIP (Internet Protocol) で使用されるネットワーク上の機器を特定するための番号のことです。

■Proxyサーバーってなに？

実際に情報を提供するサーバーの代わりに働くサーバーのことです。これにより実際のサーバーの負担を軽くして、情報の提供を早くすることができます。

Eメール

本機に携帯電話を接続して、Eメールを送受信することができます。

また、アドレス帳やメールに添付された画像ファイルの閲覧機能などが用意されています。

Eメールを利用する前に


Eメールを利用するには、プロバイダとの利用契約のほかに、以下の設定が必要です。

- メールアカウント
- メールパスワード
- POP3サーバー名
- SMTPサーバー名
- メールアドレス

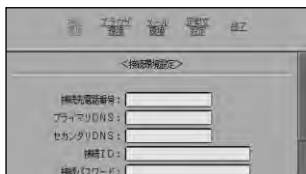
メール環境を設定する

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (設定) を選んで [決定] を押す
接続環境設定画面が表示されます。

4 「メール環境」を選んで [決定] を押す

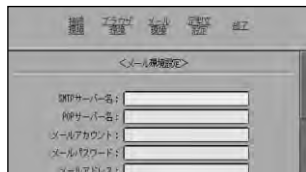


メール環境設定画面になります。

メモ

[メニュー] を押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

5 設定する項目を選んで [決定] を押す



文字の入力画面が表示されます。設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

項目	設定内容
「SMTPサーバー名」	プロバイダから指示されたサーバー名称
「POPサーバー名」	プロバイダから指示されたサーバー名称
「メールアカウント」	プロバイダから指示されたメールアカウント
「メールパスワード」	プロバイダから指示されたパスワード
「メールアドレス」	プロバイダから指示されたメールアドレス
「シグネチャー」	→「シグネチャー(署名)を登録する」(197P)
「サーバーにメールを残さない」	受信したメールをプロバイダのサーバーに残しておかないかどうかを設定

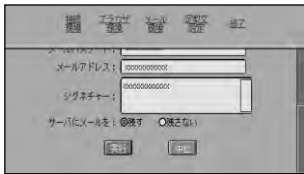
つづく→

6 文字を入力する
→「文字の入力操作」(267P)

7 「入力終了」を選んで[決定]を押す
メール環境設定画面に戻ります。

8 手順5～7を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

9 「実行」を選んで[決定]を押す



設定が保存されます。

メモ

「中止」を選んで[決定]を押すと、入力前の状態に戻ります。

10 「終了」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面に戻ります。

メールを送信する

メール送信の方法を説明します。

メールの送信には、以下の方法があります。


- メールを新規に作成して送る (→このページ)
- 未送信メールを送る (→188P)
- 送信したメールを編集して送る
- 送信メールのリストを使う (→189P)


メモ


メールの操作画面で[別ルート]を押すと、確認のメッセージが表示されます。インターネット画面に戻るには、「はい」を選んで[決定]を押します。


送信メールメニュー


送信メールメニューを操作するには、ジョイスティックでアイコンを選び[決定]を押します。各アイコンの動きは次のとおりです。

 (送信)
メールサーバーに接続して、送信リストのすべての未送信メールを送信する。

 (受受信)
メールを受信後、送信リストのすべての未送信メールを送信する。

 (新規メール作成)
メールを新規作成する。

 (並べ替え)
リストを並べ替える。

 (削除)
ロック(保護)されていない送信メールをすべて削除する。


 (終了)
メール送信の操作を終了する。

■メールを新規に作成して送る

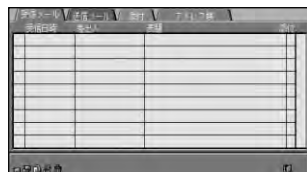
メールを作成してから送信する手順を説明します。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー]を押す
メニューバーが表示されます。

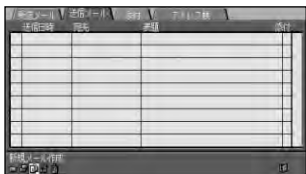
3  (Eメール)を選んで[決定]を押す
受信メールのリストが表示されます。

4 「送信メール」を選んで[決定]を押す



送信メールのリスト画面になります。

5 (新規メール作成) を選んで [決定] を押す



メール作成画面が表示されます。



6 入力する項目を選んで [決定] を押す

「表題」 「TO」 「CC」 「BCC」



「本文」

メモ

- 「TO」、「CC」、「BCC」 を選び [決定] を押すとアドレス帳が表示され、アドレスを選択することができます。
- 「表題」や「本文」には、定形文を入力することができます。
→ 「文字の入力操作」(267P)
- 「添付」を選び [決定] を押すと添付ファイルリストが表示され、添付ファイルを選択することができます。(→次ページ)
-  (シグネチャー) を選び [決定] を押すと、シグネチャー (署名) を挿入することができます。
-  (戻る) を選び [決定] を押すと、直前の画面に戻ります。
- 添付ファイル選択後は、ファイルの添付を取り消すことはできません。

7 文字を入力する

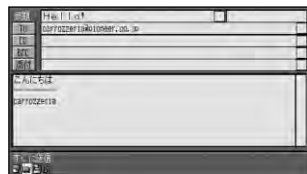
→ 「文字の入力操作」(267P)

8 「入力終了」を選んで [決定] を押す

メール作成画面に戻ります。


9 手順6～8を繰り返し、必要な項目をすべて入力する

10 (すぐに送信) を選んで [決定] を押す



メール送信が完了すると、送信メールのリスト画面に戻ります。

メモ

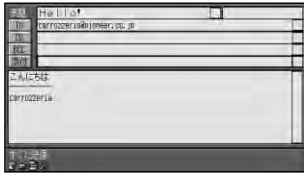
-  (あとで送信) を選び [決定] を押すと、作成済みのメールや作成途中のメールを送信せずに、未送信メールとして保存することができます。未送信メールは後から編集して送信することができます。
→次ページ
- 送信できるメールのサイズは16kbyteまでです。
- メール送信の操作をすると、自動的に電話をかけて送信し、終了後に電話を切ります。(メール送信時に回線が接続されているときは、終了後、電話は切りません。)
- 現在開いているメールのみ送信します。
- 送信したメールは、送信メールリストに保存されます。
- メール送信が完了しなかった場合は、メッセージが表示されます。

■ファイルを添付する

ファイルを添付する手順を説明します。

1 メール作成画面を表示する →187P

2 「添付」を選んで「決定」を押す



添付ファイルリストが表示されます。

3 添付するファイルを選んで「決定」を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

4 「添付を追加」を選んで「決定」を押す



ファイルが添付されます。

メモ

- 1件のメールにつき、10ファイルまで添付できます。
- 「開く」を選んで「決定」を押すと、ファイルを見ることができます。
- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、添付ファイルリスト画面に戻ります。

5 (戻る)を選んで「決定」を押す

メール作成画面に戻ります。

■未送信メールを送る

送信せずに保存したメールや、送信が完了しなかったメールを送信することができます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで「決定」を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー]を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール)を選んで「決定」を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 「送信メール」を選んで「決定」を押す

送信メールのリスト画面になります。

5 送信するメールを選んで「決定」を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

メモ

- 未送信メールには、送信日時 of 左側に「未」と表示されます。
- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。

6 「開く」を選んで「決定」を押す



メモ

宛先や、CC、BCC、表題、本文を選んで編集することができます。

7 (すぐに送信) を選んで [決定] を押す

メール送信の確認メッセージが表示されます。

以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(186P)と同じです。

メモ

TO (宛先) が入力されていないと、送信されません。

■送信メールのリストを使う

すでに送信したメールを開いたり、転送、ロック (保護)、削除したりすることができます。

送信したメールを確認する

送信メールリストのメールの内容を確認することができます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」 を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 「送信メール」 を選んで [決定] を押す

送信メールのリスト画面になります。

5 内容を確認したいメールを選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

6 「開く」 を選んで [決定] を押す



メモ

- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。
- 送信メールのリストに保存されるメールは25件までです。25件を超えると、メール作成することができません。不要なメールは削除してください。
→ 「メールを削除する」(191P)
- 送信メールのリストから開いたメールは、新たに未送信のメールとして編集して保存することができます。元の送信メールのリスト内のメールはそのまま残ります。

メールを転送する

送信メールリストのメールを転送することができます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」 を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 「送信メール」 を選んで [決定] を押す

送信メールのリスト画面になります。

- 5** 転送するメールを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

- 6** 「転送」を選んで [決定] を押す



以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(186P)と同じです。

メモ


- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。
- 題名の先頭に「FW:」が自動的に付きます。
- 引用する本文の最初には「Start of Forward Message」、最後には「End of Forward Message」が自動的に付きます。
- 添付ファイルも転送されます。

メールをロックする

この操作をすると、削除されないように送信メールリストのメールがロック（保護）されます。

- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

- 3**  (Eメール) を選んで [決定] を押す
受信メールのリストが表示されます。

- 4** 「送信メール」を選んで [決定] を押す
送信メールのリスト画面になります。

- 5** ロックしたいメールを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

- 6** 「ロック/解除」を選んで [決定] を押す



送信日時の左側に「鍵」と表示されます。

メモ

- 「ロック/解除」を選んで [決定] を押すごとに、ロックと解除が切り替わります。
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。




メールがロック（保護）されます。

宛先をアドレス帳に登録する

宛先をアドレス帳に登録することができます。

- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (Eメール) を選んで [決定] を押す
受信メールのリストが表示されます。

4 「送信メール」を選んで [決定] を押す
送信メールのリスト画面になります。

5 アドレス帳に登録したい宛先のメールを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「アドレス登録」を選んで [決定] を押す



以降の操作手順は、「アドレスを登録する」(次ページ)と同じです。

メモ


「戻る」を選んで [決定] を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。

メールを削除する

送信メールのリストから不要なメールを削除する手順を説明します。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3  (Eメール) を選んで [決定] を押す
受信メールのリストが表示されます。

4 「送信メール」を選んで [決定] を押す
送信メールのリスト画面になります。


5 削除したいメールを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「削除」を選んで [決定] を押す



確認のメッセージが表示されます。

メモ

-  (削除) を選んで [決定] を押すと、ロック (保護) されていない送信メールがすべて削除されます。
- ロックされたメールを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「メールをロックする」の手順6で、「解除」を選んで [決定] を押してください。)
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。

7 「はい」を選んで [決定] を押す



選んだメールが削除されます。

メモ

「いいえ」を選んで [決定] を押すと、送信メールのリスト画面に戻ります。

アドレス帳を使う

アドレス帳にアドレスを登録しておくと、メールを作成するたびにアドレスを1文字ずつ入力する手間が省けます。







メモ

アドレス帳の操作画面で [別ルート] を押すと、確認のメッセージが表示されます。インターネット画面に戻るには、「はい」を選んで [決定] を押します。

アドレス帳メニュー

アドレス帳メニューを操作するには、ジョイスティックでアイコンを選び [決定] を押します。

各アイコンの動きは次のとおりです。

-  (追加)
アドレスを新規登録する。
-  (読み込み)
アドレス帳データを読み込む。
-  (書き出し)
アドレス帳データを変更した場合、保存する。
-  (新規メール作成)
メールを新規作成する。
-  (削除)
ロック (保護) されていないアドレスをすべて削除する。
-  (終了)
アドレス帳の操作を終了する。

■アドレスを登録する


アドレスを新規登録するには、以下のようになります。

メモ


アドレスは100件まで登録できます。

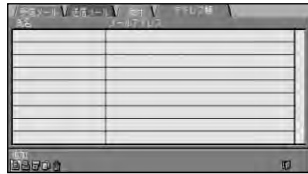
- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

- 3**  (Eメール) を選んで [決定] を押す
受信メールのリストが表示されます。

- 4** 「アドレス帳」を選んで [決定] を押す
アドレス帳画面になります。

- 5**  (追加) を選んで [決定] を押す




アドレスの編集画面が表示されます。

- 6** 氏名またはアドレスの入力欄を選んで [決定] を押す



文字の入力画面が表示されます。

メモ

 (戻る) を選び [決定] を押すと、直前の画面に戻ります。


- 7** 氏名またはアドレスを入力する
→ 「文字の入力操作」(267P)


メモ

氏名は全角で32文字 (半角で64文字) まで、アドレスは半角で256文字まで登録できます。

- 8** 「入力終了」を選んで [決定] を押す
アドレスの編集画面に戻ります。

- 9** 手順6~8を繰り返し、氏名とアドレスを入力する

10  (保存) を選んで [決定] を押す

11  (書き出し) を選んで [決定] を押す

入力した氏名とアドレスがアドレス帳に登録されます。


■アドレスを編集する

登録済みのアドレスを編集することができます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

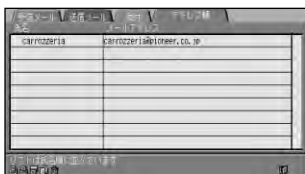
3  (Eメール) を選んで [決定] を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 「アドレス帳」を選んで [決定] を押す

アドレス帳画面になります。

5 編集したいアドレスを選んで [決定] を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

6 「編集」を選んで [決定] を押す



メモ

「戻る」を選んで [決定] を押すと、アドレス帳画面に戻ります。

7 氏名またはアドレスの入力欄を選んで [決定] を押す

文字の入力画面が表示されます。


8 氏名またはアドレスを入力する
→ 「文字の入力操作」(267P)

メモ


氏名は全角で32文字(半角で64文字)まで、アドレスは半角で256文字まで登録できます。

9 「入力終了」を選んで [決定] を押す
アドレスの編集画面に戻ります。

10 手順7~9を繰り返し、氏名とアドレスを編集する

11  (保存) を選んで [決定] を押す



12  (書き出し) を選んで [決定] を押す

氏名またはアドレスの変更が保存されます。

■アドレスをロックする

この操作をすると、削除されないようにアドレスがロック(保護)されます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

つづく→

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] を押す
受信メールのリストが表示されます。

4 「アドレス帳」を選んで [決定] を押す
アドレス帳画面になります。

5 ロックしたいアドレスを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「ロック/解除」を選んで [決定] を押す



氏名の左側に「鍵」と表示されます。

メモ

- 「ロック/解除」を選んで [決定] を押すごとに、ロック（保護）と解除が切り替わります。
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、アドレス帳画面に戻ります。

7 (書き出し) を選んで [決定] を押す
アドレスがロック（保護）されます。

■アドレスを削除する

アドレス帳から不要なアドレスを削除する手順を説明します。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す
メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] を押す
受信メールのリストが表示されます。

4 「アドレス帳」を選んで [決定] を押す
アドレス帳画面になります。

5 削除したいアドレスを選んで [決定] を押す
操作を選択するメニューが表示されます。

6 「削除」を選んで [決定] を押す

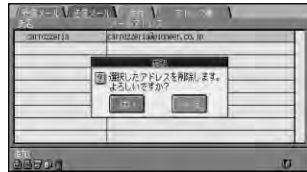


確認のメッセージが表示されます。

メモ

- (削除) を選んで [決定] を押すと、ロック（保護）されていないアドレスがすべて削除されます。
- ロック（保護）されたアドレスを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。（「アドレスをロックする」の手順6で、「解除」を選んで [決定] を押してください。）
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、アドレス帳画面に戻ります。

7 「はい」を選んで [決定] を押す



メモ

「いいえ」を選んで [決定] を押すと、アドレス帳画面に戻ります。

8 (書き出し) を選んで [決定] を押す
アドレスが削除されます。

■アドレスを変更前の状態に戻す

アドレスの登録、編集、ロック（保護）、削除操作中の書き出し（書き出し）前であれば、（読み込み）を選んで[決定]を押すと、アドレスは変更前の状態に戻ります。

定型文を使う

メールのタイトルや本文に定型文を使うと、効率よくメールを作成することができます。

→「メールを新規に作成して送る」(186P)

メモ

- 27種類の定型文が登録されています。

おはよう。	A Happy New Year!
こんにちは。	Merry Christmas!
こんばんは。	待っています。
お世話になっております。あとで連絡します。	
おつかれさま。	遅れます。
おやすみなさい。	電話をします。
よろしくお願いします。	待っててください。
OKです。	連絡ください。
NGです。	電話をください。
ありがとう。	メールをください。
ごめんなさい。	どこにいる？
わかりました。	何してる？
おめでとう！	元氣？
Happy Birthday!	

- 登録されている定型文を編集し、登録することができます。
- 定型文は、あらかじめ登録されている27種類を含めて、50件まで登録できます。
- 定型文設定画面で[メニュー]を押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

■定型文を登録する

定型文を登録するには、以下のようにします。

- 1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。
- 2 [メニュー]を押す
メニューバーが表示されます。
- 3 (設定)を選んで[決定]を押す
接続環境設定画面が表示されます。
- 4 「定型文設定」を選んで[決定]を押す



定型文設定画面になります。

- 5 「新規」を選んで[決定]を押す



定型文の入力画面が表示されます。

- 6 定型文の入力欄を選んで[決定]を押す



文字の入力画面が表示されます。

- 7** 定型文を入力する
→「文字の入力操作」(267P)

メモ

全角で32文字(半角で64文字)まで登録できます。

- 8** 「入力終了」を選んで[決定]を押す

定型文の入力画面に戻ります。

- 9** 「実行」を選んで[決定]を押す



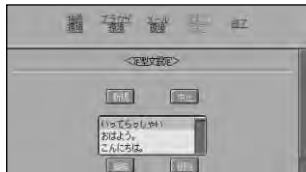
定型文が登録されます。

メモ

「戻る」を選んで[決定]を押すと、入力した内容は無効となり、定型文設定画面に戻ります。

- 5** 編集したい定型文を選んで[決定]を押す

- 6** 「編集」を選んで[決定]を押す



定型文の入力画面が表示されます。

- 7** 定型文の入力欄を選んで[決定]を押す

文字の入力画面が表示されます。

- 8** 定型文を入力する
→「文字の入力操作」(267P)

- 9** 「入力終了」を選んで[決定]を押す

定型文の入力画面に戻ります。

- 10** 「実行」を選んで[決定]を押す



編集した定型文が登録されます。

メモ

「戻る」を選んで[決定]を押すと、編集は無効となり、定型文設定画面に戻ります。


■ 定型文を編集する

定型文を編集することができます。

- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** [メニュー]を押す
メニューバーが表示されます。

- 3**  (設定)を選んで[決定]を押す

接続環境設定画面が表示されます。

- 4** 「定型文設定」を選んで[決定]を押す

定型文設定画面になります。

■ 定型文を削除する

定型文を削除する手順を説明します。

- 1** [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで[決定]を押す

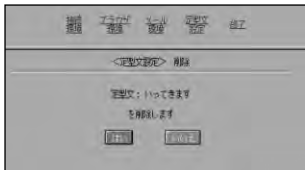
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2 **【メニュー】を押す**
メニューバーが表示されます。
- 3 **設定 (設定) を選んで【決定】を押す**
接続環境設定画面が表示されます。
- 4 **「定型文設定」を選んで【決定】を押す**
定型文設定画面になります。
- 5 **削除したい定型文を選んで【決定】を押す**
- 6 **「削除」を選んで【決定】を押す**



確認のメッセージが表示されます。

- 7 **「はい」を選んで【決定】を押す**



選んだ定型文が削除されます。

メモ

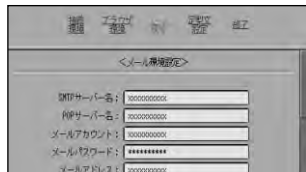
「いいえ」を選んで【決定】を押すと、定型文設定画面に戻ります。

シグネチャー (署名) を登録する

メール本文に署名を付けて送ることができます。

- 1 **【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで【決定】を押す**
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2 **【メニュー】を押す**
メニューバーが表示されます。
- 3 **設定 (設定) を選んで【決定】を押す**
接続環境設定画面が表示されます。
- 4 **「メール環境」を選んで【決定】を押す**
メール環境設定画面になります。



- 5 **シグネチャーの入力欄を選んで【決定】を押す**



文字の入力画面が表示されます。

- 6 **シグネチャーを入力する**
→ 「文字の入力操作」(267P)

- 7 **「入力終了」を選んで【決定】を押す**



メール環境設定画面に戻ります。

- 8 **「実行」を選んで【決定】を押す**
シグネチャーが登録され、インターネットのメニュー画面に戻ります。

メールを受信する

メール受信の操作をすると、新着メールがあれば受信メールのリストに表示されます。

受信メールのリストを操作して、メールを読んだり、返信・転送したりすることができます。

メモ

メールの操作画面で「別ルート」を押すと、確認のメッセージが表示されます。インターネット画面に戻るには、「はい」を選んで「決定」を押します。

受信メールメニュー

受信メールメニューを操作するには、ジョイスティックでアイコンを選び「決定」を押します。

各アイコンの動きは次のとおりです。



(受信)

メールサーバーに接続して、新着メールを受信する。



(送受信)

送信リストの未送信メールをすべて送信し、新着メールを受信する。



(新規メール作成)

メールを新規作成する。



(並べ替え)

リストを並べ替える。



(削除)

ロック (保護) されていない受信メールをすべて削除する。



(終了)

メール受信の操作を終了する。

■メールを受信する

新着メールを受信する手順を説明します。

1

【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで【決定】を押す


インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

【メニュー】を押す


メニューバーが表示されます。

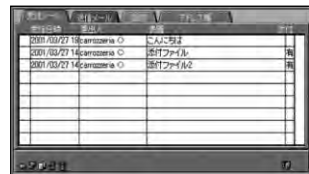
3

 (Eメール)を選んで【決定】を押す

受信メールのリストが表示されます。

4

 (受信)を選んで【決定】を押す



新着メールを受信します。

メモ

- メール受信の操作をすると、自動的に電話をかけて受信し、終了後に電話を切ります。(メール受信時に回線が接続されているときは、終了後、電話は切りません。)
- 1回の操作ですべての新着メールを受信します。
- 受信できる1件のメールのサイズは16kbyteまでです。16kbyteを超えた分は削除されます。(メールの末尾が削除されることがあります。)
- 1つの受信メールに添付されるファイル数は16件までです。また、添付ファイルの名前の文字数は64byteまでです。添付ファイルの件数または添付ファイルの名前の文字数がこれらの制限を越えた場合、このメールを含む残りのメールは受信できません。

- メール受信が完了すると、メッセージが表示されます。また、受信したメールは受信メールのリストに保存されます。
- メール受信が完了しなかった場合は、メッセージが表示されます。

■受信したメールを読む

受信メールのリストに保存されたメールを読む手順を説明します。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。


3 (Eメール) を選んで [決定] を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 読みたいメールを選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

メモ

- 受信日時の新しいメールから順に表示されます。 (並べ替え) を選んで [決定] を押すことに並べ替えの方法が次のように切り替わり、それぞれの方法でリストを並べ替えることができます。

差出人→表題→日付

- 受信メールのリストに保存されるメールは25件までです。25件を超えると、メール作成することができません。不要なメールは削除してください。

→「メールを削除する」(202P)

- 未読メールには、受信日時の左側に「未」と表示されます。

5





- 受信メールのリストからメールを選択して、返信・転送することができます。

「開く」を選んで [決定] を押す



選んだメールが開きます。

メモ

-  (前のメールを見る、次のメールを見る) を選んで [決定] を押すと、次のメールまたは前のメールが開きます。
-  (戻る) を選んで [決定] を押すと、直前の画面に戻ります。
- 「本文」欄にスクロールバーが表示されたときは、「本文」欄を選んでジョイスティックでスクロールさせます。スクロールを解除するには、[別ルート] を押してください。
- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。
- 添付ファイルがあるときは、受信メールリストの添付の欄に「有」と表示されます。
→「添付ファイルを開く」(203P)
-  (返信) を選んで [決定] を押すと、差出人に返信することができます (→次ページ)。
-  (転送) を選んで [決定] を押すと、他の宛先に転送することができます (→次ページ)。

■受信メールのリストを使う

受信したメールを返信・転送したり、保護、削除したりすることができます。

メールを返信する

受信したメールを差出人に返信する手順を説明します。

1 「[メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「[メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 返信するメールを選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

5 「[返信] を選んで [決定] を押す




「TO」に差出人のアドレスが自動的に入力されて、未送信メール作成の画面が表示されます。

以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(186P)と同じです。

メモ

- 「戻る」を選んで [決定] を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。
- 受信メールに複数の宛先が指定されているときは、宛先全員に返信することができます。

- 題名の先頭に「RE :」が自動的に付きます。
- 引用する本文の行頭に「>」が自動的に付きます。
- 添付ファイルは返信されません。
-  (返信) を選び [決定] を押して返信することもできます。

メールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送するには、以下のようになります。

1 「[メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで [決定] を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「[メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 転送するメールを選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。


5 「[転送] を選んで [決定] を押す



未送信メール作成の画面が表示されます。(本文はそのままコピーされます。)

以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(186P)と同じです。

メモ

- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。
- 題名の先頭に「FW:」が自動的に付きます。
- 引用する本文の最初には「Start of Forward Message」、最後には「End of Forward Message」が自動的に付きます。
- 添付ファイルも転送されます。
-  (転送) を選び「決定」を押して転送することもできます。

メールをロックする

この操作をすると、削除されないように受信メールリストのメールがロック（保護）されます。

1

【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで【決定】を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

【メニュー】を押す

メニューバーが表示されます。

3

(Eメール) を選んで【決定】を押す

受信メールのリストが表示されます。

4

ロックしたいメールを選んで【決定】を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

5

「ロック/解除」を選んで【決定】を押す



受信日時の左側に「鍵」と表示されます。

メモ

- 「ロック/解除」を選んで「決定」を押すごとに、ロックと解除が切り替わります。
- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。

宛先をアドレスに登録する

宛先をアドレス帳に登録することができます。

1

【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで【決定】を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

【メニュー】を押す

メニューバーが表示されます。

3

(Eメール) を選んで【決定】を押す

受信メールのリストが表示されます。

4

アドレス帳に登録したい宛先のメールを選んで【決定】を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

5

「アドレス登録」を選んで【決定】を押す



以降の操作手順は、「アドレスを登録する」(192P)と同じです。

メモ

- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。

メールを削除する

受信メールのリストから不要なメールを削除することができます。

1 「メニュー」 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで「決定」を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「メニュー」を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール)を選んで「決定」を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 削除したいメールを選んで「決定」を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

5 「削除」を選んで「決定」を押す



確認のメッセージが表示されます。

メモ

- **削除** (削除) を選んで「決定」を押すと、ロック (保護) されていない受信メールがすべて削除されます。
- ロックされたメールを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「メールをロックする」の手順5で、「解除」を選んで「決定」を押してください。)
- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。

6 「はい」を選んで「決定」を押す



選んだメールが削除されます。

メモ

「いいえ」を選んで「決定」を押すと、受信メールのリスト画面に戻ります。

添付ファイルを開く

受信したメールに添付されているファイルを開く手順を説明します。

メモ

テキストファイル、JPEG、GIF形式の画像ファイルを表示させることができます。

1 「メニュー」 - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで「決定」を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「メニュー」を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール)を選んで「決定」を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 添付の欄に「有」と表示されているメールを選んで「決定」を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

5 「開く」を選んで「決定」を押す

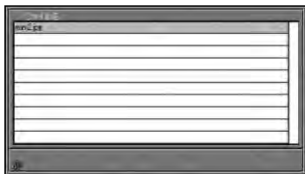
選んだメールが開きます。

6 「添付」を選んで「決定」を押す



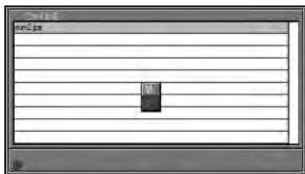
添付ファイルのリストが表示されます。

7 表示させたいファイルを選んで「決定」を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

8 「開く」を選んで「決定」を押す



選んだファイルが表示されます。

メモ

- (戻る) を選んで「決定」を押すと、直前の画面に戻ります。
- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

添付ファイル进行操作する

添付ファイルのリストを操作して、ファイルを開いたり、削除したりすることができます。

■添付ファイルを開く

添付ファイルリストのファイルを開くには、以下のようにします。

■メモ

- 受信したメールに添付されているファイルのみ操作できます。PCカード内に保存されているテキストファイルやJPEG形式の画像ファイルは操作することはできません。
- テキストファイル、JPEG、GIF形式の画像ファイルを表示させることができます。
- 添付ファイルは合計400kbyteまで保存できます。

1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「インターネット」を選んで「決定」を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで「決定」を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 「添付」を選んで「決定」を押す

添付ファイルのリストが表示されます。

5 表示させたいファイルを選んで「決定」を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

6 「開く」を選んで「決定」を押す

選んだファイルが表示されます。

■添付ファイルを削除する

添付ファイルのリストから不要な添付ファイルを削除することができます。

1 「メニュー」－「情報・通信」－「インターネット」を選んで「決定」を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「メニュー」を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで「決定」を押す

受信メールのリストが表示されます。

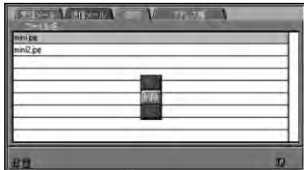
4 「添付」を選んで「決定」を押す

添付ファイルのリストが表示されます。

5 削除したいファイルを選んで「決定」を押す


操作を選択するメニューが表示されます。

6 「削除」を選んで「決定」を押す



確認のメッセージが表示されます。

メモ

-  (削除) を選んで「決定」を押すと、すべてのファイルが削除されます。
- 「戻る」を選んで「決定」を押すと、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

7 「はい」を選んで「決定」を押す



選んだファイルが削除されます。

メモ

「いいえ」を選んで「決定」を押すと、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

■並べ替える

添付ファイルをファイル名順に並べ替えることができます。

1 「メニュー」－「情報・通信」－「インターネット」を選んで「決定」を押す

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 「メニュー」を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで「決定」を押す

受信メールのリストが表示されます。

4 「添付」を選んで「決定」を押す

添付ファイルのリストが表示されます。

5 (並べ替え) を選んで「決定」を押す

ファイル名順に並べ替えられます。

ポイントパーティー

ポイントパーティーの機能を利用して、ドライブ中の車どうしてパーティーを組み、お互いの位置情報をサーバーを経由して交換することができます。パーティーを作った人がリーダーとなり、他のメンバーはリーダーのニックネームを指定してパーティーに参加します。

メモ

- ポイントパーティー等の通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。
- 通信ナビゲーション「AVIC-T1」を使用している車とポイントパーティーを組むこともできます。
- ニックネームは、通常はユーザーIDと同じですが、パイオニアホームページで変更することができます。
- リーダーがパーティーを作成中に圏外に出たり、操作途中で終了すると、ポイントパーティーが正常に動作しない場合があります。

初期登録を行う

ポイントパーティーをご利用になる上で、ユーザーIDと初期登録番号の入力が必要です。ユーザーIDと初期登録番号は、パイオニアホームページで取得してください。

- ユーザーID、初期登録番号の取得は、本機および携帯電話からは行えません。また、取得には製品のシリアル番号の入力が必要です。お手元に保証書発行兼お客様登録カードをご用意の上、取得操作を行ってください。
- 走行中は登録作業を行うことはできません。
- 初期登録の作業は、ご使用の携帯電話の電波状態が良い場所に停車して行ってください。登録中に通信が途切れると、登録が行えなくなることがありますので、ご注意ください。

1

「メニュー」→「情報・通信」→「LIVEリンク」を選んで[決定]を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

メモ

ポイントパーティーは、携帯電話が接続され、通信接続設定が行われている必要があります。

→「プロバイダを設定する」(162P)

2

「ユーザーID」を選んで[決定]を押す



ユーザーID入力画面が表示されます。

3

ユーザーIDを入力する

→「文字の入力操作」(267P)



メモ

入力文字数は半角で10文字です。

4

「入力終了」を選んで[決定]を押す

初期登録番号入力画面が表示されます。

5

初期登録番号を入力する

→「文字の入力操作」(267P)

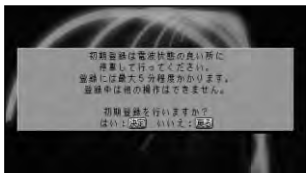


メモ

入力文字数は半角で8文字です。

6 「入力終了」を選んで [決定] を押す

7 [決定] を押す
ユーザーID、初期登録番号などをサーバーに送信します。



8 [決定] を押す



初期登録が終了します。

メモ

初期登録後ユーザーIDを忘れてしまった場合は、手順2で「ユーザーID」を選んで [決定] を押すと、ユーザーIDが表示されます。

ポイントパーティーを開始する

ポイントパーティーを開始するときには、リーダーとしてパーティーの開始を宣言します。

メモ

- パーティーにパスワードを設定することができます。
→「ポイントパーティーの設定を変更する」(次ページ)
- リーダーがパーティーを作成する場合、正常にパーティーを作成するまでパスワード設定を変更しないでください。作成をキャンセルしたり、電波状態の悪化などにより作成に失敗した場合には、パスワード設定を変更せずに再作成をしてください。

- リーダーの位置が数時間更新されないとパーティーが解散されます。
- メンバーの位置が数時間更新されないとそのメンバーはパーティーから外れます。

1 「メニュー」→「情報・通信」→「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

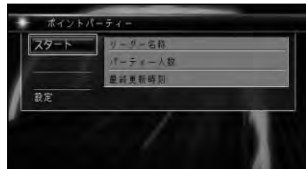
LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定] を押す



ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「スタート」を選んで、[決定] を押す



スタート画面が表示されます。

4 「パーティー作成」を選んで、[決定] を押す



パーティー開始のメッセージが表示され、地図画面に戻ります。



ポイントパーティーの設定を変更する

リーダーは、作成するポイントパーティーに対して、パスワードを設定できます。また、リーダーとメンバーは各自でウォッチ機能のON/OFFを設定したり、更新間隔を切り替えたり、メンバーの登録をすることができます。

■パスワードを設定する

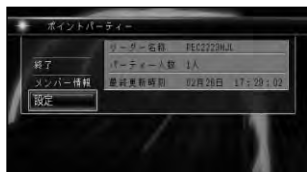
1 「メニュー」－「情報・通信」－「LIVEリンク」を選んで[決定]を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定]を押す

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「設定」を選んで、[決定]を押す



パーティー設定画面が表示されます。

4 「リーダーパスワード設定」を選んで、[決定]を押す



5 「ON」を選んで、[決定]を押す



リーダーパスワード設定画面が表示されます。

6 ジョイスティックでパスワードを入力する

→「文字の入力操作」(267P)



メモ

パスワードは半角で4～8文字まで入力できます。入力できる文字は、アルファベット(大、小)、数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)です。

7 「入力終了」を選んで、[決定]を押す



パーティー設定画面が表示されます。

メモ

以降、リーダーとして作成したポイントパーティーに、入力したパスワードが設定されます。

パスワードを解除するには

上記の手順5で、「OFF」を選んで[決定]を押します。

メモ

リーダーパスワードの設定されたポイントパーティーを作成した場合、「OFF」にしてもパスワードは解除されません。一度パーティーを終了してから、再度リーダーパスワードの設定されていない状態でパーティーを作成してください。

■ウォッチ機能のON/OFFを切り替える

ウォッチ機能をONにすると、ポイントパーティーに参加している車の位置を示す地図が設定した間隔（→次項）で割り込み画面として表示されます。



メモ

- 更新中は、画面右上に電話機のマークが表示されます。
- リーダーは、黄緑色の [] で囲まれて表示されます。

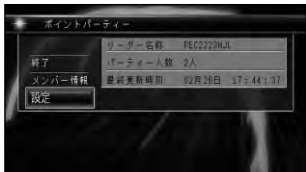
1 「メニュー」－「情報・通信」－「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定] を押す

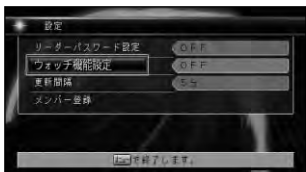
ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「設定」を選んで、[決定] を押す



パーティー設定画面が表示されます。

4 「ウォッチ機能設定」を選んで、[決定] を押す



5 「ON」を選んで、[決定] を押す



ウォッチ機能がONになります。

ウォッチ機能を解除するには上記の手順5で「OFF」を選び、[決定] を押します。

■ウォッチ機能の更新間隔を切り替える

1 「メニュー」－「情報・通信」－「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

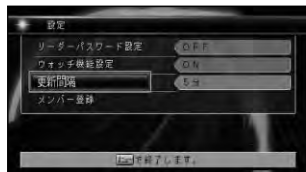
2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定] を押す

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「設定」を選んで、[決定] を押す

パーティー設定画面が表示されます。

4 「更新間隔」を選んで、[決定] を押す



- 5** 「5分」または「10分」、「15分」から選んで、[決定]を押す



更新間隔が変更されます。

■メンバーの登録

ニックネームに対し、名称を登録することができます。

メモ

- 最大100件まで登録できます。
- ニックネームは変更できるため、ニックネームが正しいか登録前に確認してください。

- 1** 「メニュー」→「情報・通信」→「LIVEリンク」を選んで [決定]を押す

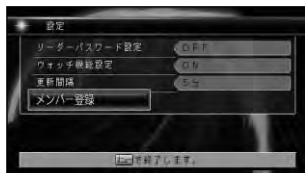
LIVEリンク画面が表示されます。

- 2** 「ポイントパーティー」を選んで、[決定]を押す

ポイントパーティーメニューが表示されます。

- 3** 「設定」を選んで、[決定]を押す
パーティー設定画面が表示されます。

- 4** 「メンバー登録」を選んで、[決定]を押す



- 5** 「新規登録」を選んで、[決定]を押す



メンバー新規登録画面が表示されます。

- 6** 名称またはニックネームの入力欄を選んで、[決定]を押す
文字の入力画面が表示されます。

- 7** ジョイスティックで名称またはニックネームを入力する
→「文字の入力操作」(267P)



メモ

- ニックネームは半角で4~20文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベットの大文字・小文字、数字、- (ハイフン)、_ (アンダーバー) です。
- 名称は全角で22文字 (半角で44文字) まで入力できます。

つづく→

8 「入力終了」を選んで、[決定]を押す



メンバー新規登録画面に戻ります。

9 手順5～8を繰り返し、名称またはニックネームを入力する



編集するには

上記の手順5で、「内容変更」を選んで[決定]を押し、変更したいメンバーを選び編集します。

消去するには

上記の手順5で、「消去」を選んで[決定]を押し、消去したいメンバーを選び消去します。

ポイントパーティーに参加する

リーダーが作成したポイントパーティーに参加するには、以下のように操作します。ひとつのポイントパーティーには、リーダーを含め10人まで参加できます。

メモ

- メンバーの位置が数時間更新されないとそのメンバーはパーティーから外れます。
- ニックネームは変更できるため、ニックネームが正しいかリーダーに確認してください。

1 「メニュー」→「情報・通信」→「LIVEリンク」を選んで[決定]を押す

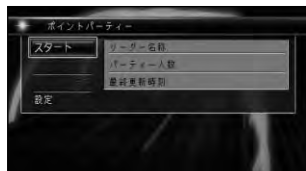
LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定]を押す



ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「スタート」を選んで、[決定]を押す



スタート画面が表示されます。

4 「パーティー参加」を選んで、 [決定]を押す



5 「ニックネーム」を選んで、 [決定]を押す



ニックネーム入力画面が表示されます。

メモ

「メンバーリスト」からリーダーの名称を選ぶことができます。

→ 「リーダー名をメンバーリストから選ぶには」(このページ)

6 ジョイスティックでニックネームを入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



7 「入力終了」を選んで、 [決定]を押す



「パーティーに参加できました。ポイントパーティーを開始します。設定された時間間隔で自動通信します。」と表示されます。

■パスワードが設定されているときは
パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。
リーダーの設定したパスワードを入力してください。

■リーダー名をメンバーリストから選ぶには

このページの手順5で、「メンバーリスト」を選んで[決定]を押します。表示される一覧からリーダー名を選び、[決定]を押してください。自動でリーダー名が入力されます。

■すでに10人が参加していたときは
「参加人数の制限を超えたため、パーティーに参加できませんでした。」と表示されます。他にもパーティーを作成しているリーダーがいる場合は、その名称を入力してパーティーに参加してください。

メンバーの位置情報を表示する

ポイントパーティーを組んでいるとき、パーティーのメンバーの位置を示す地図を表示させることができます。

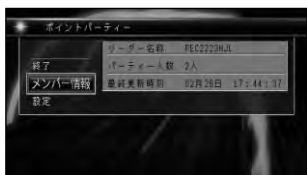
1 「メニュー」→「情報・通信」→「LIVEリンク」を選んで**[決定]**を押す

LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、**[決定]**を押す

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「メンバー情報」を選んで、**[決定]**を押す



4 確認方法を選んで**[決定]**を押す



「地図で確認」 全車が入るスケールで地図が表示される。

「リストで確認」 リストおよびサイドマップが表示される。リストからメンバーを選んで**[決定]**を押すと、そのメンバーの情報が表示される。

メンバー情報画面が表示されます。
(例：「地図で確認」)



メモ

- リーダーは、黄緑色の [] で囲まれて表示されます。
- メンバーリストにメンバーが登録されている場合は、メンバーリストの名称が表示されます。
- 更新時間とは、各メンバーの位置情報の取得時間です。
- スケール変更は、10m～500kmの範囲でできます。

ポイントパーティーを終了する

メモ

メニューからポイントパーティーを終了しないと、地図上のポイントパーティーのマークは消去されません。

■パーティーから抜ける

ポイントパーティーのメンバーとして参加している場合、パーティーから抜けるには以下のように操作します。

メモ

自分がリーダーの場合は、パーティーを抜けると、パーティーを解散します。

1 「メニュー」－「情報・通信」－「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

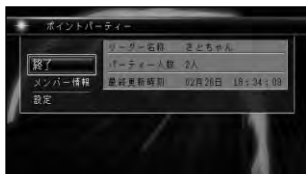
LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定]を押す

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「終了」を選んで、[決定]を押す

「ポイントパーティーを終了します。よろしいですか？」と確認画面が表示されます。



4 [決定]を押す

パーティーのメンバーではなくなり、ます。

■パーティーを解散する

ポイントパーティーのリーダーは、以下のよう操作してパーティーを解散することができます。

1 「メニュー」－「情報・通信」－「LIVEリンク」を選んで [決定] を押す

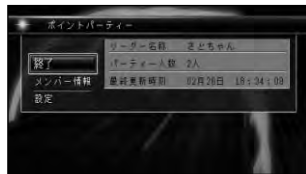
LIVEリンク画面が表示されます。

2 「ポイントパーティー」を選んで、[決定]を押す

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 「終了」を選んで、[決定]を押す

「ポイントパーティーを終了します。よろしいですか？」と表示されます。



4 [決定]を押す

パーティーが解散されます。

リーダーがパーティーを解散するとしばらくしてから（位置情報を更新したとき）パーティーのメンバーの画面には、「リーダーがパーティーを解散しました。ポイントパーティーを終了します。[決定] を押ししてください。」と表示されます。

携帯電話

デジタル携帯電話を接続すると、本機の通信機能を使うことができます。

携帯電話を利用する前に

通信機能を使うには、次の機器が必要です。

- データ通信に対応したデジタル携帯電話
- 「cdmaOne™」携帯電話の場合は、cdmaOne™用アダプター「CD-H12」/「CD-H14」(別売)をお使いください。

本機と携帯電話を接続すると、本機のリモコンや音声認識コントローラーで電話の発着信の操作ができます。また、音声認識用のマイクを通してハンズフリー通話もできます。携帯電話の接続のしかたについて、詳しくは『取付説明書』を参照してください。

メモ

- 接続すると、「携帯電話が接続されました」と表示されます。
- 本機は、PDCおよび「cdmaOne™」(CDMA2000 1Xを含む)携帯電話に対応しています。ただし、機種によっては使用できない場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。詳しくはパイオニアホームページをご覧ください。
- 通話終了後は、必ず電話が切れたこと(回線の切断)を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

- 本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話を接続すると、契約形態によっては携帯電話側で64kbps(高速)のパケット通信または14.4kbps(標準)通信の両方を切り替えて利用できます。また、CDMA2000 1Xも標準/高速を切り替えて利用できます(最大144kbps)。
- 接続する前に携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してください。
- 携帯電話側の車載設定によっては、常時照明がONになる機種があります。携帯電話のバッテリー切れの原因になりますので、携帯電話の仕様を確認の上ご使用ください。

携帯電話で通話するときは

ナビゲーション本体に携帯電話を接続してハンズフリー通話をするとき、携帯電話の着信音と通話相手の音声は、組み合わせたTVモニターの内蔵スピーカーまたはカーステレオのスピーカー、受光部付スピーカー(別売の「CD-TS36」)、ガイド音声用スピーカー(別売の「CD-TS36G」)から出力されます。これらのスピーカーから、ナビゲーションの音声案内が出力される設定でお使いください。

通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。→131P

メモ

- パケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をお使いで、インターネットの利用中に電話を着信した場合は、インターネットの接続は切断されます。通話終了後、インターネットを再接続してください。
- 本機の電源ON/OFF（エンジンのON/OFF）に関係なく、携帯電話をつないだり、取り外したりできます。
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、通話中のとき以外は携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。（呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。）
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは働かなくなります。（携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON/OFF（エンジンのON/OFF）に連動します。）
- ナビゲーション本体から携帯電話への充電および給電は行われません。
- 本機は、キャッチホンおよび三者通話サービスには対応していません。本機のリモコンではこれら进行操作できませんので、携帯電話側で操作してください。なお、キャッチホンや三者通話サービスのご利用中に本機のリモコンを操作すると、通話が切れることがあります。（キャッチホン、三者通話サービスの詳細は、携帯電話の説明書を参照してください。）
- 電話が着信すると“トゥルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がTVモニターの内蔵スピーカー、またはカーステレオのスピーカー、受光部付きスピーカー、ガイド音声用スピーカーから出力されないことがあります。

携帯電話を使う

ナビゲーション本体にデジタル携帯電話を接続すると、本機のリモコンで電話を操作できます。

ご注意

運転中は携帯電話の操作をしないでください。事故の原因になります。

携帯電話の接続のしかたについて、詳しくは『取付説明書』を参照してください。

電話をかける

- 1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで [決定] を押す
携帯電話のメニューが表示されます。

- 2 「ダイヤル発信」を選んで [決定] を押す



番号の入力画面が表示されます。

- 3 ジョイスティックまたは10キーで電話番号を入力する



つづく→

4 「発信」を選んで「決定」を押す



相手先に電話がかかり、通話できます。

メモ

以下の方法で発信することもできます。

- リモコンの「オフフック/切替」を押す。
- 音声認識コントローラーの「操作」を押す。
- 携帯電話でダイヤルし、携帯電話の「オフフック」ボタンを押す。

ただし、リモコンの10キーで電話番号を入力し、携帯電話の「オフフック」ボタンを押して発信することはできません。



通話中は、画面右上に電話機のマークが表示されます。



5 通話が終了したら「オンフック/確定」を押して、電話を切る

メモ

以下の方法で電話を切ることもできます。

- 音声認識コントローラーの「操作」を押す。
- 携帯電話の「オンフック」ボタンを押す。

■ショートカットダイヤルを使う

短縮ダイヤル、リダイヤル、メモリダイヤルをショートカットダイヤルと呼びます。

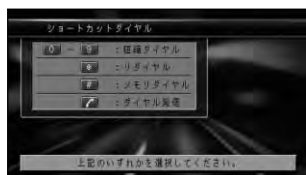
ショートカットダイヤルを使うと、通常よりも少ない操作で電話をかけることができます。

1 「オフフック/切替」を押す

ショートカットダイヤル画面が表示されます。

2 使用したいダイヤル方法に応じて、次のリモコンのボタンを押す

[0] ~ [9]	短縮ダイヤル
[* / ^]	リダイヤル
#[# / 変換]	メモリダイヤル
[オフフック/切替]	ダイヤル発信



メモ

- 短縮ダイヤルを使用するには、あらかじめ10キーに電話番号を割り当てておく必要があります。
→「短縮ダイヤルを設定する」(130P)
- 短縮ダイヤルは、設定されている番号のみ発信できます。
- リダイヤルは、発信履歴があるときは発信履歴、発信履歴がないときは着信履歴が表示されます。以降の操作手順は「通話の履歴から電話をかける」(221P)と同じです。
- メモリダイヤルは、メモリダイヤル呼び出し画面が表示されます。以降の操作手順は、「メモリダイヤルを使う」(219P)と同じです。

- ダイヤル発信は、通常のダイヤル方法です。
→「電話をかける」(215P)

■地図に登録された電話番号にかける

地図上の施設情報として電話番号が収録されている場合は、本機を電話帳として利用することもできます。また、登録した場所に電話番号が入力されていれば、登録地のリストから相手を選んで電話をかけることもできます。

ここでは、登録地のリストから電話をかける方法を説明します。

1 登録地のリストを表示させる →「登録地、履歴から探す」(39P)

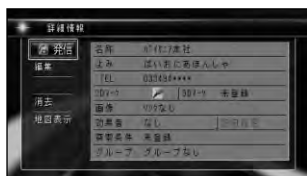
2 電話の相手先となる地点名を選び、[決定] を押す

ショートカットメニューが表示されます。

3 「詳細情報を見る」を選び [決定] を押す

詳細情報画面が表示されます。

4 「発信」を選び [決定] を押す



登録されている電話番号にダイヤルします。



■電話を受ける(ハンズフリー通話) 電話がかかってくる

本機と携帯電話を接続しているときは、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



メモ

- 登録地に入力されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。(画像が登録されているときは、画像も表示されます。)
- メモリダイヤル(→次ページ)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます。(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同じときは、登録地の名称が表示されます。)
- 1つの電話番号が複数の登録地に入力されている、または該当するデータがハードディスクに収録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。

かかってきた電話に出るには

電話がかかってきたときに【オフフック/切替】を押すと電話につながり、通話することができます。電話を切るには、【オンフック/確定】を押します。

メモ

以下の方法で電話に出る、または電話を切ることもできます。

- 音声認識コントローラーの【操作】を押す。
- 携帯電話の【オフフック】/【オンフック】ボタンを押す。

応答保留するには

電話がかかってきたときに「オンフック/確定」を押すと、応答保留することができます。応答保留中に「オフフック/切替」を押すと電話につながり、「オンフック/確定」を押すと電話が切れます。

メモ

- 音声認識コントローラーの「訂正」を押して、応答保留することもできます。応答保留中は「操作」を押すと電話につながり、「訂正」を押すと電話が切れます。
- 携帯電話の「オフフック」/「オンフック」ボタンも同様に使うことができます。

■メモリダイヤルから電話をかける

メモリダイヤル機能を使用するには、携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込みます。

メモリダイヤルの読み込み

携帯電話から最大500件のデータを本機に読み込むことができます。

携帯電話の接続のしかたについては、『取付説明書』を参照してください。

メモ

- 名前、よみ、TEL、グループ、メモリ番号のデータを読み込むことができます。
- 1つのメモリ番号に2つ以上の電話番号を登録できる携帯電話からデータを読み込むときは、いずれか1つの電話番号を読み込みます。
- 読み込んだデータはハードディスクに保存され、新しいデータを読み込むと上書き保存されます。
- メモリダイヤルは、編集することはできません。

メモリダイヤルの消去方法は、「携帯電話情報を消去する」(104P)を参照してください。

1

【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで「決定」を押す

携帯電話のメニューが表示されます。

2

「メモリダイヤル」を選んで「決定」を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

3

「読み込み」を選んで「決定」を押す



暗証番号の入力画面が表示されます。

メモ

すでにメモリダイヤルのデータが保存されている場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は「決定」を押してください。

4

暗証番号を入力する

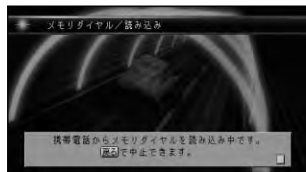
→ 「文字の入力操作」(267P)

5

「入力終了」を選んで「決定」を押す



データの読み込みが始まります。



読み込みが完了するとメモリダイヤルとして使用することができるようになります。

メモ

- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を次の2種類用意している場合があります。
 - 電話機本体の各種機能を操作するためのもの
 - 通信会社による各種サービスを一般電話から利用するためのもの（携帯電話契約時に登録した暗証番号）
- ご利用の携帯電話によっては、どちらの暗証番号を入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。
- 誤った暗証番号を入力すると、番号が違うことを知らせるメッセージが表示された後、暗証番号の入力画面に戻ります。
- 読み込み中に「戻る」を押すと読み込みは中止しますが、すでに読み込まれたデータは保存されます。
- 読み込みに失敗したときは、失敗を伝えるメッセージが表示されます。ケーブルの接続を確認して、もう一度やり直してください。
- 保存される情報の種類や文字数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- グループが登録されていないデータは、グループ番号「000」としてリストの最初に表示されます。

メモリダイヤルを使う

1

【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで【決定】を押す

携帯電話のメニューが表示されます。

2

「メモリダイヤル」を選んで【決定】を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

3

「呼び出し」を選んで【決定】を押す



メモリダイヤルのリストが表示されます。

4

電話をかけたい相手先を選んで【決定】を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

5

「発信」を選んで【決定】を押す



相手先に電話がかかり、通話できます。

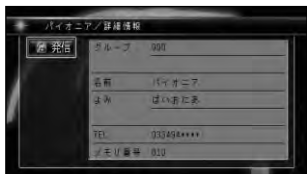


メモリダイヤルの詳細情報を見る

- 1 「メニュー」－「情報・通信」－「携帯電話」を選んで「決定」を押す
携帯電話のメニューが表示されます。
- 2 「メモリダイヤル」を選んで「決定」を押す
操作を選択するメニューが表示されます。
- 3 「呼び出し」を選んで「決定」を押す
メモリダイヤルのリストが表示されます。
- 4 詳細情報を確認したい相手先を選んで「決定」を押す
操作を選択するメニューが表示されます。
- 5 「詳細情報」を選んで「決定」を押す



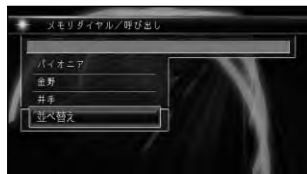
詳細情報画面が表示されます。



メモリダイヤルを並べ替える

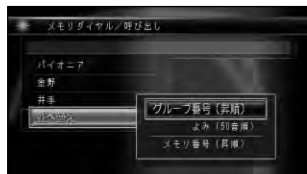
リストに表示されるメモリダイヤルは、グループ番号順、よみ順、メモリ番号順に並べ替えることができます。

- 1 「メニュー」－「情報・通信」－「携帯電話」を選んで「決定」を押す
携帯電話のメニューが表示されます。
- 2 「メモリダイヤル」を選んで「決定」を押す
操作を選択するメニューが表示されます。
- 3 「呼び出し」を選んで「決定」を押す
メモリダイヤルのリストが表示されます。
- 4 「並べ替え」を選んで「決定」を押す



並べ替えの方法を選択するメニューが表示されます。

- 5 並べ替えの方法を選んで「決定」を押す



- | | |
|---------------|-------------------|
| 「グループ番号 (昇順)」 | グループ番号の昇順に並べ替えます。 |
| 「よみ (50音順)」 | よみ順に並べ替えます。 |
| 「メモリ番号 (昇順)」 | メモリ番号の昇順に並べ替えます。 |

■通話の履歴から電話をかける

発信履歴または着信履歴から相手先を選んで電話をかけることができます。

メモ

- 発信履歴の履歴はそれぞれ10件まで自動的に保存され、10件を超えると、日付の古い履歴から順に消去されます。
- 履歴は任意に消去することができます。
→「携帯電話情報を消去する」(104P)

1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで【決定】を押す

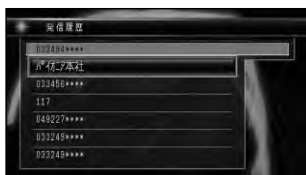
携帯電話のメニューが表示されます。

2 「発信履歴」または「着信履歴」を選んで【決定】を押す



発信履歴または着信履歴のリストが表示されます。

3 電話をかけたい相手先を選んで【決定】を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

メモ

番号非通知で着信した通話は「非通知」と表示されます。非通知の相手先に電話をかけることはできません。

4 「発信」を選んで【決定】を押す



相手先に電話がかかり、通話できます。



■履歴の詳細情報を見る

履歴から発信着信の日時、TEL、相手の名前を確認することができます。

1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで【決定】を押す

携帯電話のメニューが表示されます。

2 「発信履歴」または「着信履歴」を選んで【決定】を押す

発信履歴または着信履歴のリストが表示されます。

3 詳細情報を確認したい相手先を選んで【決定】を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

メモ

番号非通知で着信した通話は「非通知」と表示されます。

4 「詳細情報」を選んで [決定] を押す



▼
詳細情報が表示されます。



■電話番号から地点を登録する

携帯電話から転送した電話番号データをもとに、ハードディスクに収録されている該当データより場所を探して地点を登録することができます。

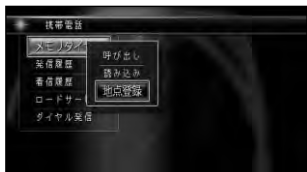
1 [メニュー] - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで [決定] を押す

携帯電話のメニューが表示されます。

2 「メモリダイヤル」を選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

3 「地点登録」を選んで [決定] を押す



メモリダイヤルのリストが表示されます。

4 地点登録したい相手先を選んで [決定] を押す



電話番号データをもとに相手先の所在地が検索され、地図画面が表示されます。

メモ

相手先の所在地が見つからないときはメッセージが表示された後、検索画面が表示されます。「場所を探す」(29P)を参照して、相手先の所在地を地図画面に表示させてください。

5 ジョイスティックで登録したい地点を十字カーソルに合わせて [決定] を押す



登録内容表示画面が表示されます。

6 [メニュー] を押す



相手先の所在地が登録され、地図画面に戻ります。

■ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどに遭ったときは、最寄りのJAFやカーレスキュー70のロードサービスに電話をかけることができます。

- 1 **【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「携帯電話」を選んで【決定】を押す**
携帯電話のメニューが表示されます。

- 2 **「ロードサービス」を選んで【決定】を押す**

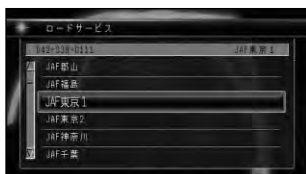


ロードサービスのリストが表示されます。

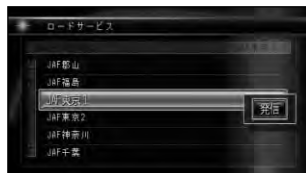
メモ

「カーレスキュー70」は、翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

- 3 **利用したいロードサービスを選んで【決定】を押す**



- 4 **「発信」を選んで【決定】を押す**



選択したロードサービスに電話がかけられ、通話できます。



音声操作のポイント

本機では、ほとんどの機能を音声で操作することができます。

音声で操作するときは、本機に発話を正しく認識させる必要があります。以下のポイントに留意しながら操作してください。

発話を正しく認識させるには

カーステレオの音量を下げる

発話以外の音は認識の妨げや誤認識の原因になります。例えば、ラジオからの音声が発話認識語と誤認識されることがあります。

メモ

パイオニア製ミュート端子付きカーステレオをお使いのときは、発話するときに音量を自動的に下げることができます。

自動車の窓は閉めておく

カーステレオの音と同様、風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になるため、自動車の窓は必ず閉めてください。

マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける

発話した声をマイクが十分に拾えるように、マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。発話時に姿勢を変えると、使いにくいだけでなく、安全な走行にも支障があります。これらの事情に十分留意して、マイクの取り付け位置を決めてください。

マイクの取り付けかたについては、『取付説明書』を参照してください。

はっきりと明瞭に発話する

早口になったり、口ごもったりしないように、はっきりと明瞭に発話してください。マイクが適切な位置に取り付けられていれば、大きな声を出す必要はありません。

音声認識語を正しく発音する

にごらない音をにごって発話すると、正しく認識されない原因になります。また、読みかたのルール（音声認識語）に従わない発話も正しく認識されないことがあります。

音声案内中は発話しない

本機から案内の音声や応答メッセージが出ているときは、発話しないでください。

発声の特徴を学習させる

音声の認識率を向上させるために、使用者の発声の特徴を学習させることをおすすめします。

→「発声の特徴を学習させる」(229P)

通常の音声操作中も学習を継続しています。一時的に使用者が異なるときは、「音声認識話者学習」(→121P)をOFFにしてください。

キャラクターの案内

音声操作できる状態になると、キャラクターが表示され、発話するタイミングを案内します。

メモ

日時によってキャラクターのコスチュームが変わります。

■発話するタイミング

“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。キャラクターが首をかしげていないときは、[場所] または [操作] を押すと、発話できる状態になります。



この状態のときに発話してください。



この状態のときは発話しないでください。認識できません。

操作に慣れるまでは、安全な場所に停車して、発話のタイミングをつかむ練習をしてください。

音声操作の流れ

音声操作では、音声認識コントローラーを使用します。各ボタンを操作するタイミングは次のとおりです。

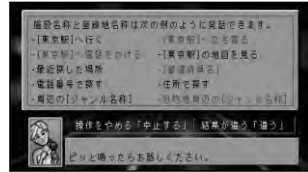
[操作] ナビゲーション操作、オーディオ操作を開始するとき

[場所] 場所の検索を開始するとき

[訂正] 直前の発話を取り消すとき

ここでは、場所を住所で探す方法を例に挙げ、音声操作の流れについて説明します。

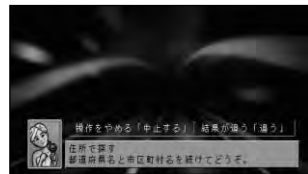
1 **[場所] を押す**
キャラクターが表示されます。



メモ

“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話できる状態になります。

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“住所で探す”とマイクに向かって発話する



発話が認識されると、発話した内容が画面に表示されます。

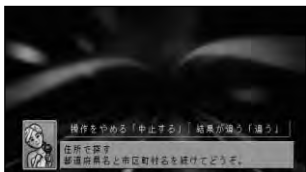
つづく→

メモ

本機が応答メッセージを返している間でも、[場所] を押すと発話できます。(応答メッセージが中断されて、“ピッ”と音が鳴ります。)

3

“ピッ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する



メモ

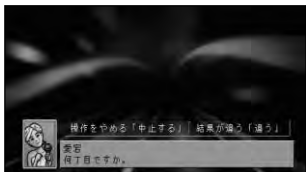
都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

4

“ピッ”と音が鳴ったら、住所名を発話する

5

“ピッ”と音が鳴ったら、地名(丁目)を発話する



目的地の地図が表示されます。



■基本的な始めかた

ボタン	音声認識語	説明ページ	
[場所]	〇〇 (施設名称)	→234P	
	〇〇 (施設名称) へ行く*	→234P	
	〇〇 (施設名称) へ立ち寄る*	→234P	
	〇〇 (施設名称) の地図を見る*	→234P	
	〇〇 (施設名称) へ電話をかける*	→234P	
	〇〇 (都道府県名) の施設	→234P	
	最近探した場所	→233P	
	登録した場所	→233P	
	〇〇 (登録地名称) へ行く*	→233P	
	〇〇 (登録地名称) へ立ち寄る*	→233P	
	〇〇 (登録地名称) へ電話をかける*	→233P	
	〇〇 (登録地名称) の地図を見る*	→233P	
	自宅へ帰る*	→234P	
	目的地の地図を見る*	→234P	
	住所で探す	→232P	
	電話番号で探す	→232P	
	周辺の〇〇 (ジャンル名/サブジャンル名)*	→231P	
	目的地周辺の〇〇 (ジャンル名/サブジャンル名)*	→231P	
	[操作]	基本操作	→235P
ルート操作		→237P	
VICS情報		→239P	
携帯電話		→240P	
その他の操作		→251P	
AV操作		テレビ	→243P
		ビデオ	→243P
		DVD	→245P
		CD・MP3ディスク	→246P
		ミュージックサーバー	→247P
	MD	→249P	
	ラジオ	→250P	

※1回の発話でルートを探索したり電話をかけたりすることができます (ダイレクトサーチ&オペレーション)。

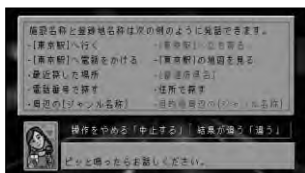
■ 音声操作の注意点

発話できる言葉がわからない場合

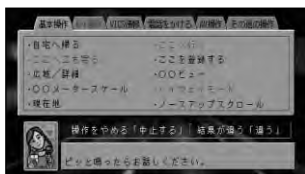
停車中に音声操作を開始すると、ボイスヘルプ（発話できる音声認識語の一覧）が表示されます。

〔場所〕と〔操作〕のどちらを押したかによって発話できる音声認識語は異なるため、ボイスヘルプに表示される内容も異なります。

〔場所〕を押したときのボイスヘルプ



〔操作〕を押したときのボイスヘルプ



メモ

〔操作〕に対応したボイスヘルプには、メニュータブが表示されます。

メニュータブの名前を発話するか、ジョイスティックを左右に倒すと、各メニューのボイスヘルプ表示に切り替わります。

操作に慣れるまでは、安全な場所に停車して、ボイスヘルプに表示された音声認識語を発話してください。

なお、走行中ボイスヘルプは表示されません。“ボイスヘルプ”と発話すると、発話できる音声認識語が読み上げられます。（停車中でも読み上げられます。）

メモ

- ボイスヘルプに表示される言葉以外にも、発話できる音声認識語があります。
- ボイスヘルプを見る必要がないときは、「ボイスヘルプ」を「マニュアル」に設定してください（→121P）。“ボイスヘルプ”と発話したときだけ表示されます。（走行中は読み上げのみです。）

発話が誤認識されたとき

「千葉県」、「滋賀県」、「佐賀県」のように他に発音が似ている地名を発話すると、誤認識されることがあります。このようなときは、〔訂正〕を押して発話し直してください。

メモ

- 誤認識された言葉は一時的に認識候補から外されるため、次回操作時に正しく認識されやすくなります。
- 〔訂正〕を押さずに“違う”と発話して、直前の発話を取り消すこともできます。

直前の操作を取り消したいとき

“違う”と発話してください。直前の画面に戻り、発話待ちの状態になります。

操作を途中でやめたいとき

“中止する”と発話してください。音声操作前の画面に戻ります。

メモ

リモコンの〔メニュー〕や〔現在地〕を押しても、音声操作を中止して音声操作前または現在地の画面に戻ります。

現在地画面にしたいとき

“げんざいち”と発話してください。現在地画面が表示されます。

「ここからはリモコンで操作してください」と表示されたとき

以降はリモコンで操作してください。

メッセージ表示中は、[訂正] を押すと直前の操作に戻ります。

ETCの音声案内が流れたら

本機にETCユニット「ND-ETC6」（別売）などを接続して、ETC（自動料金収受システム）を利用しているときは、高速道路の入口や出口付近などでETCの音声案内が流れます。

音声操作中にETCの音声案内が流れると、音声認識はいったん中断され、発話が受け付けられない状態になります。（キャラクタのイラストが一時的に縮小表示されます。）

ETCの音声案内が終了すると、音声操作が可能な状態に戻ります。キャラクタが表示されたら、[場所] または [操作] を押して音声操作を続けてください。

発声の特徴を学習させる

使用者の発声の特徴を学習させると、音声の認識率が向上します。（音声認識話者学習）

音声操作をご使用になる前に、発声の特徴を学習させることをおすすめします。

メモ

- 「発話を正しく認識させるには」（224P）を確認の上、正しく発話してください。
- 音声認識話者学習をしていない人が音声操作するときは、「音声認識話者学習」（→121P）をOFFにしてください。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「各種設定」を選んで [決定] を押す

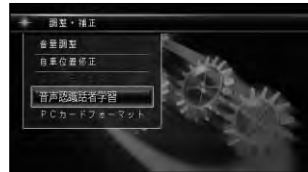
各種設定画面が表示されます。

2 「調整・補正」を選んで [決定] を押す



調整・補正メニューが表示されます。

3 「音声認識話者学習」を選んで [決定] を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

つづく→

4 「初期話者学習」を選んで〔決定〕を押す



音声認識話者学習画面が表示されます。

メモ

すでに学習した内容は消去され、新たに学習した内容が保存されます。

5 音声認識コントローラーの〔操作〕を押す

画面左下にキャラクターが表示され、話者学習が始まります。

メモ

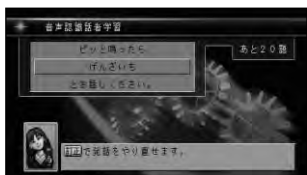
“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話を受け付けられる状態になります。

6 表示される語句を発話する



発話して発話が認識されると、画面上に次の語句が表示されます。引き続き発話してください。

画面右上には残りの語句の数が表示されます。



メモ

〔訂正〕または〔戻る〕を押すと、1つ前の語句に戻ります。

7 「終了しました。」と表示されたら〔操作〕を押す

今までに発話した語句から、発声の特徴を学習します。

学習終了後は、地図画面に戻ります。

■学習内容を消去する

学習内容を消去するには、手順4で「話者学習クリア」を選んで〔決定〕を押してください。

場所を探す

周辺施設を探す

周辺検索で近くのガソリンスタンドなどを探します。

1 【場所】を押して、次のいずれかを発話する

“周辺の○○ (ジャンル名)” 周辺の施設を探すとき

“目的地周辺の○○ (ジャンル名)” 目的地周辺の施設を探すとき

指定したジャンルのロゴマークが表示され、施設の名前とそこまでの距離が案内されます。

ジャンル名は、「検索できるジャンルの種類」(253P)を参照してください。

メモ

- “周辺の○○ (ジャンル名)” 検索では、ルート案内中かつ現在地画面のときはルート沿い、ルートが設定されていないときやスクロール画面のときは現在地または十字カーソル周辺の施設を検索します。
- 周辺の検索では、“ルート周辺の○ (ジャンル名)”、“一番近い○○ (ジャンル名)”と発話することもできます。
- “出光”などのサブジャンル名を発話することもできます。
- ATMのサブジャンル名を直接発話する場合は、“周辺の○○銀行ATM”と発話してください。
- 現在地/ルート沿い/目的地に最も近い施設から表示されます。

2

【場所】を押す
音声操作が再開されます。

3

“ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” ここまでのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” [操作] または [場所] を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる

“この地図を見る” この地図が表示される

“次の施設” 次の施設が表示される

“前の施設” 前の施設が表示される

“ルート周辺で探す” ルート沿いで探す

“自転車周辺で探す” 自転車周辺で探す

メモ

ルート案内中に“ここへ行く”と発話したときは、[操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

住所で探す

1 [場所] を押して、“住所で探す”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する

メモ

都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、住所名を発話する

メモ

- “主要部”と発話すると、そこまで発話した代表地点が表示されます。
- 政令指定都市では市と区を分けて発話できますが、市の後に“主要部”と発話することはできません。区まで発話した後に“主要部”と発話してください。
- 住所名から丁目を続けて発話することもできます。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、地名と丁目を発話する

地名の代表地点が表示されます。

メモ

同じ漢字でも地域によって読みかたが異なる地名については、すべての読みかたが登録されていないことがあります。発話が正しく認識されないときは、他の読みかたで発話してみてください。

例：四条→“しじょう”、“よんじょう”

電話番号で探す

1 [場所] を押して、“電話番号で探す”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する

メモ

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

個人宅の電話番号を発話したときは、訪問宅(個人宅)電話番号データが収録されていれば、その番号の地点、収録されていない場合は代表地点が表示されます。

電話番号が登録されている登録地やお店などの電話番号を発話したときは、手順4に進んでください。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” ここまでのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” [操作] または[場所] を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる

“この地図を見る” この地図が表示される

メモ

- 地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。このような場合は、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- ルート案内中に“ここへ行く”と発話したときは、[操作] または[場所] を押すと、ルートが探索されます。

登録した場所を探す

メモ

登録地のよみをもとに検索されます。よみが入力されていない場所は検索できません。よみの付けかたは、「登録地のよみを変更する」(80P)を参照してください。

1 「場所」を押して、“登録した場所”と発話する

登録した場所のよみの一覧が表示されます。

2 “ピッ”と音が鳴ったら、登録地名を発話する

メモ

よみの一覧が複数のページにおよぶときは、“次のページ”、“前のページ”と発話するかジョイスティックを左右に倒すとページ送りされます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” ここまでのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” [操作] または [場所] を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる

“ここの地図を見る” ここの地図が表示される

“ここへ電話をかける” 電話番号が登録されているときは、[操作] または [場所] を押すと、ここに電話がかかる

メモ

- “〇〇(登録地名よみ)へ行く”、“〇〇(登録地名よみ)へ立ち寄る”、“〇〇(登録地名よみ)へ電話をかける”、“〇〇(登録地名よみ)の地図を見る”と発話することもできます。

- 同じよみで登録された地点が2か所以上あるときは、候補が表示されます。[場所] を押して選択し、[操作] を押して決定してください。
- ルート案内中に“ここへ行く”、“〇〇(登録地名よみ)へ行く”と発話したときは、[操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

最近探した場所を探す

メモ

- 音声操作で検索し、最近探した場所のリストに残っている最新の25件が検索の対象になります。
- 20文字を超えるよみは認識されません。

1 「場所」を押して、“最近探した場所”と発話する

最近探した場所のよみの一覧が表示されます。

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“〇〇(場所のよみ)”と発話する

メモ

よみの一覧が複数のページにおよぶときは、“次のページ”、“前のページ”と発話するかジョイスティックを左右に倒すとページ送りされます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” ここまでのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” [操作] または [場所] を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる

“ここの地図を見る” ここの地図が表示される

“ここへ電話をかける” 電話番号の情報があるときは、[操作] または [場所] を押すと、ここに電話がかかる

メモ

ルート案内中に“ここへ行く”と発話したときは、[操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

施設名で探す

1 [場所] を押して、施設名 (“〇〇スキー場” など) を発話する

2 “ピッ” と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” ここまでのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” [操作] または [場所] を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる

“こここの地図を見る” こここの地図が表示される

“ここへ電話をかける” 電話番号の情報があるときは、[操作] または [場所] を押すと、ここに電話がかかる

検索可能な施設名のジャンルは「施設名で場所を探す場合の対象ジャンル」(255P) を参照してください。

メモ

- “〇〇 (施設名よみ) へ行く”、“〇〇 (施設名よみ) へ立ち寄る”、“〇〇 (施設名よみ) へ電話をかける”、“〇〇 (施設名よみ) の地図を見る” と発話することもできます。
- 都道府県名のよみを発話してから施設名を発話することもできます。
- ルート案内中に“ここへ行く”、“〇〇 (施設名よみ) へ行く” と発話したときは、[操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

自宅へ帰るルートを探る

1 [場所] を押して、“自宅へ帰る” と発話する

自宅までのルートが探索されます。

メモ

- 基本操作の手順で操作することもできます。→「基本操作をする」(次ページ)
- ルート案内中のときは、[操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

目的地の地図を見る

1 [場所] を押して、“目的地の地図を見る” と発話する

目的地の地図が表示されます。

メモ

天気予報データを取得しているときは、天気予報データが案内されます。

基本操作をする

[操作] を押して“基本操作”と発話後、または直接発話して操作します。

音声認識語

地図縮尺の変更

操作内容	発話内容
詳細な地図にする	“詳細”
広域の地図にする	“広域”
10mスケールの地図で表示する	“10メートルスケール”
25mスケールの地図で表示する	“25メートルスケール”
50mスケールの地図で表示する	“50メートルスケール”
100mスケールの地図で表示する	“100メートルスケール”
200mスケールの地図で表示する	“200メートルスケール”
500mスケールの地図で表示する	“500メートルスケール”
1kmスケールの地図で表示する	“1キロメートルスケール”
2kmスケールの地図で表示する	“2キロメートルスケール”
5kmスケールの地図で表示する	“5キロメートルスケール”

地図の表示方法の変更

操作内容	発話内容
ノーマルビューに切り替える*1	“ノーマルビュー”
スカイビューに切り替える*1	“スカイビュー”
ツインビューに切り替える*1	“ツインビュー”
ドライバーズビューに切り替える*1	“ドライバーズビュー” または “シティハイウェイマップ”
ハイウェイモードに切り替える (有料道路走行中のみ)	“ハイウェイモード”

※ 1 駐車場マップを表示しているときは変更できません。

地図の回転

操作内容	発話内容
地図を回転させて北上表示に固定し、スクロール画面にする	“ノースアップスクロール” または “ノースアップスクロールにする”、“ノースアップ”、“ノースアップにする”

自宅へ帰る

操作内容	発話内容
自宅へ帰るルートを検索する ^{※2}	“自宅へ帰る”

現在地またはスクロール画面の操作

操作内容	発話内容
検索した場所へ行くルートを探査する ^{※2}	“ここへ行く”
ルートに立寄地を追加する ^{※3}	“ここへ立ち寄る”
現在地または検索した場所を登録する	“ここを登録する”
現在地を表示する	“現在地”
登録したスケールとアングルにする	“登録したスケールにする”

※2 ルート案内中のときは、[操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

※3 [操作] または [場所] を押すと、立ち寄るルートが探索されます。

ルートの設定と案内

ルートが設定されているときに、[操作] を押して“ルート操作”と発話後、または直接発話して操作します。

■ルートを確認する

“ルートを確認”または“ルートプロフィール”と発話すると、ルートプロフィール画面に切り替わります。

以降は、リモコンを操作してルートプロフィールを確認してください。

音声認識語

探索条件を変えて再探索する

操作内容	発話内容
標準的な探索条件で探索するとき ^{*1}	“推奨”
距離優先で探索するとき ^{*1}	“距離優先”
幹線優先で探索するとき ^{*1}	“幹線優先”
別ルートを探索するとき ^{*1*2}	“別ルート”
有料道路を標準的に使いたいとき ^{*1}	“有料標準” または “高速標準”
有料道路をできるだけ使いたくないとき ^{*1}	“有料回避” または “高速回避”
フェリー航路を標準的に使いたいとき ^{*1}	“フェリー標準”
フェリー航路をできるだけ使いたいとき ^{*1}	“フェリー優先”
フェリー航路をできるだけ使いたくないとき ^{*1}	“フェリー回避”
登録道を使って探索するとき ^{*3*4}	“登録道を使う”
次の立寄地を飛ばすとき ^{*1}	“立寄地送り”

※1 [操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

※2 設定したルート上を一度も走行していないときは、操作できません。

※3 登録道は、すでに登録道を使用している場合、または立寄地を4か所以上設定している場合は使用できません。

※4 登録道名称を発話し [操作] または [場所] を押すと、ルートが探索されます。

次の案内を音声で聞く

操作内容	発話内容
次の案内地点の案内を音声で聞く	“次の案内”

ルートを確認する

操作内容	発話内容
ルートプロフィールでルートを確認する	“ルートプロフィール” または “ルートを確認”

ルートの消去

操作内容	発話内容
案内中のルートを消す ^{※5}	“ルート消去”

※5 “ルート消去” と発話後 [操作] または [場所] を押すと、ルートが消去されます。

VICIS情報を確認する

[操作] を押して“ビックス情報”と発話後、または直接発話して操作します。

■VICISの図形情報や文字情報を見る

“ビックスFM図形情報”または“FMレベルツー”と発話するとVICISの図形情報、“ビックスFM文字情報”または“FMレベルワン”と発話するとVICISの文字情報の画面に切り替わります。以降は、リモコンを操作してVICIS情報を確認してください。

■VICIS放送局を選局する

“ビックス放送局”と発話すると、「VICISの放送局名をどうぞ」と応答メッセージが返されます。“ビックス横浜”などの放送局名を発話すると、指定したVICIS放送局が選局されます。

メモ

- ビーコン情報を取得するには、VICIS用ビーコンユニットが必要です。
- VICIS放送局選局の設定を「オート」にしているときは、放送局の選局はできません。
- 「FM多重チューナーの設定」が「D-GPS」、「FM多重」のときは、選局できません。

音声認識語

VICIS図形・文字情報

操作内容	発話内容
FMの図形情報が知りたい	“ビックスFM図形情報” または “FMレベルツー”
FMの文字情報が知りたい	“ビックスFM文字情報” または “FMレベルワン”
ビーコンの図形情報が知りたい	“ビーコン図形情報” または “ビーコンレベルツー”
ビーコンの文字情報が知りたい	“ビーコン文字情報” または “ビーコンレベルワン”

VICIS放送局の選局

操作内容	発話内容
VICIS放送局を違う放送局に変えたい	“ビックス放送局” に続けて、VICIS放送局名を発話 (例: “ビックス横浜”)

渋滞案内

操作内容	発話内容
ルート上の先の渋滞・規制情報を知りたい	“渋滞案内” または “渋滞チェック”、“次の渋滞”
自車周辺の規制情報を知りたい (ルート設定なし)	“渋滞案内” または “渋滞チェック”、“次の渋滞”

電話をかける

携帯電話が接続されているときは、音声操作で電話をかけることができます。

登録した場所にかける

登録地に電話番号とよみが入力されているときは、音声操作で電話をかけることができます。

1 [操作] を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“登録地へ電話をかける”と発話する
登録した場所のよみの一覧が表示されます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、登録した場所の名前（よみ）を発話する

メモ

- 手順1～3の代わりに、[操作] または [場所] を押して、“〇〇（登録地のよみ）へ電話をかける”と発話することもできます。
- 同じよみで登録された地点が2か所以上あるときは、候補が表示されます。[場所] を押して選択し、[操作] を押して決定してください。
- よみの一覧が複数のページにおよぶときは、“次のページ”、“前のページ”と発話するかジョイスティックを左右に倒すとページ送りされます。

4 [操作] または [場所] を押す
登録地の電話番号が発信されます。

電話番号を発話してかける

電話番号を発話して電話をかけることができます。

1 [操作] を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“電話番号でかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、[操作] を押して、“電話番号でかける”“電話番号で電話をかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する

メモ

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

5 [操作] または [場所] を押す
発話した番号が発信されます。

携帯電話にかける

携帯電話の電話番号を発話して電話をかけることができます。

1 [操作] を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“携帯電話にかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、[操作] を押して、“携帯電話にかける”“PHSにかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、最初の3桁を発話する

メモ

080、090又は、最初の3桁を発話する。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、次の4桁を発話する

5 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

6 [操作] または [場所] を押す
発話した番号が発信されます。

メモリダイヤルでかける

携帯電話から本機に転送した番号（メモリダイヤル）に電話をかけることができます。

1 [操作] を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“メモリダイヤルでかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、[操作] を押して、“メモリダイヤルでかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、メモリダイヤルに割り当てられている名前（よみがな）を発話する

4 [操作] または [場所] を押す
選択したメモリダイヤルに割り当てられている番号が発信されます。

メモ

同じよみがなで登録されたメモリダイヤルが2つ以上あるときは、候補が表示されます。[場所] を押して選択し、[操作] を押して決定してください。

フリーダイヤルにかける

フリーダイヤルに電話をかけることができます。

1 [操作] を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“フリーダイヤルにかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、[操作] を押して、“フリーダイヤルにかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、0120の次の3桁を発話する

4 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの3桁を発話する

5 [操作] または [場所] を押す
発話した番号が発信されます。

リダイヤルでかける

発信履歴の最新の1件に電話をかけることができます。

リダイヤルで電話をかける手順を説明します。

1 [操作] を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“リダイヤル”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、[操作] を押して、“リダイヤル”と発話することもできます。

3 [操作] または [場所] を押す
リダイヤルが始まります。

テレビ・ビデオを操作する

AVIC-XH9またはAVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07、TV-W8/W88/W08を組み合わせているときは、テレビを操作することができます。

[操作] を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

- 組み合わせるTVモニターによっては、一部説明と動作が異なったり、動作しないことがあります。
- 本機のソースが“テレビ”になっていないときは、選局操作はできません。“テレビにする”と発話して、ソースをテレビにしてください。
- テレビ局名またはチャンネル番号を指定して選局できるのは、チャンネルリストに表示されるチャンネルだけです。
- TVモニター側でビデオやAUXに切り替わる設定になっていないときは、ビデオやAUXには切り替わりません。(AUXはAVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07の機能です。)

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをテレビにする	“テレビにする”
画面を切り替える	“画面を変える”または“画面切り替え”
ソースをビデオにする	“プイティアーールにする”または“ビデオにする”、“プイティアーール2にする”、“エーユーエックスにする”、“オキシャルにする”、“外部入力にする”
2画面表示にする	“2画面にする”または“ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする”または“ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除” ^{*1}
子画面表示にする ^{*1}	“子画面にする”または“ピーインピー”

※1 AVIC-XH9/V7MD/V7/V77MD/V77、TV-W8/W88の機能です。

選局操作

操作内容	発話内容
他のチャンネルに切り替える	“次のチャンネル” または “前のチャンネル”、“次の放送局” または “前の放送局”、放送局名を発話（例：“エヌエイチ ケー総合”）、チャンネル番号を発話（例：“4チャンネル”）
チャンネルリストを表示する ^{※2}	“チャンネルリスト” または “放送局リスト”
バンドを切り替える	“バンド切り替え” または “バンドを変える”

※2 チャンネルリスト表示後、[場所] を押して選局し、[操作] を押して決定してください。

DVDを操作する

DVDビデオを操作することができます。

[操作] を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがDVDになっていないときは、チャプター操作はできません。“DVDにする”と発話して、ソースをDVDにしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをDVDにする	“DVDにする”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除” ^{*1}
子画面表示にする ^{*1}	“子画面にする” または “ピーインピー”

※1 AVIC-XH9/V7MD/V7/V77MD/V77、TV-W8/TV-W88の機能です。

チャプター操作

操作内容	発話内容
チャプターを切り替える	“チャプターアップ” または “チャプターダウン” ^{*2}
タイトルを切り替える	“タイトルアップ” または “タイトルダウン”

※2 “チャプターダウン” は、チャプターの先頭に戻ります。

CDやMP3ディスクを操作する

音楽CDやCD-ROM/R/RWに記録されたMP3ファイルを操作することができます。
 【操作】を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがCDまたはMP3になっていないときは、選曲操作はできません。“CDにする”または“MP3にする”と発話して、ソースをCDまたはMP3にしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをCDにする	“CDにする” または “CDを聴く”
ソースをMP3にする	“MP3（エムピースリー）にする” または “MP3（エムピースリー）を聴く”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除” ^{※1}
子画面表示にする ^{※1}	“子画面にする” または “ピーインピー”

※1 AVIC-XH9/V7MD/V7/V77MD/V77、TV-W8/TV-W88の機能です。

選曲操作

操作内容	発話内容
トラックを指定して再生する ^{※2}	“○（1,2,3...）曲目を聴く”
トラックを切り替える	“トラックアップ” または “トラックダウン” ^{※3}
フォルダを切り替える ^{※2}	“フォルダーアップ” または “フォルダーダウン”

※2 MP3の機能です。

※3 “トラックダウン” は、曲の先頭に戻ります。

ミュージックサーバーを操作する

ミュージックサーバーに録音されている音楽を操作することができます。

[操作] を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

- 本機のソースがミュージックサーバーになっていないときは、選曲操作はできません。“ミュージックサーバーにする”と発話して、ソースをミュージックサーバーにしてください。
- CD録音中は、選曲操作はできません。

■プレイリストまたは曲を探す

“プレイリストを探す”または“曲を探す”と発話すると、“プレイリスト名をどうぞ”または“曲名をどうぞ”と応答メッセージが返されます。プレイリスト名または曲名を発話すると、指定したプレイリストまたは曲が再生されます。

メモ

- 同じよみのプレイリストまたは曲名が2つ以上あるときは、候補が表示されます。[場所] を押して選択し、[操作] を押して決定してください。
- PCカード内のMP3ファイルは、音声操作できません。
- 音声操作で選曲可能なプレイリストまたは曲の一覧が表示されます。よみの一覧が複数のページにおよぶときは、“次のページ”、“前のページ”と発話するかジョイスティックを左右に倒すとページ送りされます。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをミュージックサーバーにする	“ミュージックサーバーにする”または“ミュージックサーバーを聴く”
画面を切り替える	“画面を変える”または“画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする”または“ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする”または“ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除” ^{*1}
子画面表示にする ^{*1}	“子画面にする”または“ピーインピー”

※1 AVIC-XH9/V7MD/V7/V77MD/V77、TV-W8/W88の機能です。

選曲操作

操作内容	発話内容
プレイリストを探す*2	“プレイリストを探す” または “プレイリスト”
プレイリストを切り替える*3	“プレイリストアップ” または “プレイリストダウン”、“次のプレイリスト” または “前のプレイリスト”
トラックを指定して再生する*2 (トラックナンバーダイレクト指定)	“○ (1,2,3...) 曲目を聴く”
トラックを探す*2 *4	“曲を探す” または “トラックを探す”
トラックを切り替える*5	“トラックアップ” または “トラックダウン”*6
トラックタイトルを指定して再生する*2 *4 (トラックタイトルダイレクト指定)	“(トラックタイトルよみ)”

※2 ヒットチャートプレイ中は操作できません。

※3 ヒットチャートプレイ中は、同じチャートの違う年度に替わります。

※4 再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。

※5 ヒットチャートプレイ中は、再生中のチャート内にある次の曲、または前の曲を再生します。

※6 “トラックダウン” は、曲の先頭に戻ります。

MDを操作する

AVIC-V7MD/V77MD/V07MDを組み合わせると、MDを操作することができます。
 [操作] を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがMDになっていないときは、選曲操作はできません。“MDにする”と発話してソースをMDにしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをMDにする* ¹	“MDにする” または “MDを聴く”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、 “ピーインピー解除”* ²
子画面表示にする* ²	“子画面にする” または “ピーインピー”

※1 MDがセットされていないと認識できません。

※2 AVIC-V7MD/V77MDの機能です。

選曲操作

操作内容	発話内容
トラックを切り替える	“トラックアップ” または “トラックダウン”* ³

※3 “トラックダウン” は、曲の先頭に戻ります。

ラジオを操作する

AVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07を組み合わせると、ラジオを操作することができます。

[操作] を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがラジオになっていないときは、選局操作はできません。“ラジオにする”と発話してソースをラジオにしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをラジオにする	“ラジオにする” または “ラジオを聴く”
ソースを交通情報にする	“交通情報にする” または “交通情報を聞く”、“トラフィックインフォメーションを聞く”、“トラフィックインフォメーションにする”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピーを解除” ^{*1}
子画面表示にする	“子画面にする” または “ピーインピー” ^{*1}

※1 AVIC-V7MD/V7/V77MD/V77の機能です。

選局操作

操作内容	発話内容
AM放送とFM放送を切り替える	“AMにする” または “FMにする”、“AMを聴く”、“FMを聴く”、“AM”、“FM”
他の放送局に切り替える	“次の放送局” または “前の放送局”、“次のチャンネル”、“前のチャンネル”、放送局名を発話(例：“エヌエイチケー第1”)
放送局リストを表示する	“放送局リスト” または “チャンネルリスト” ^{*2}
バンドを切り替える	“バンド切り替え” または “バンドを変える”

※2 チャンネルリスト表示後、[場所] を押して選局し、[操作] を押して決定してください。

その他の操作をする

[操作] を押して“その他の操作”と発話後、または直接発話して操作します。

■気象情報を見る

気象状況を地図上に表示させることができます。予報データの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気が、マークで表示されます。(天気予報は3時間ごとに更新され、常に最新の天気予報が表示されます。)

音声認識語

気象情報

操作内容	発話内容
天気予報が見たい	“気象情報を取得する”

地図の回転

操作内容	発話内容
自車の方位を反転する	“自車方位を反転する”
2D地図の回転を切り替えたい	“2D地図の回転を切り替える”

現在の日付・時刻

操作内容	発話内容
現在の時刻が知りたい	“現在の時刻を読み上げる”
現在の日にちが知りたい	“現在の日付を読み上げる”

FMオンエア連動表示

操作内容	発話内容
FMオンエア連動表示をONしたい	“FMオンエア連動表示” または “FMオンエア連動表示オン”
FMオンエア連動表示をOFFしたい	“FMオンエア連動表示オフ”

ロゴマーク

操作内容	発話内容
周辺検索結果のロゴマークを消去したい	“周辺検索結果を消去する”
ロゴマークを表示させたい	“ロゴマーク表示” または “ロゴマーク表示オン”
ロゴマークを消去したい	“ロゴマーク表示オフ”

音声操作の設定を変える

ナビゲーションの利用状況に合わせて、音声操作に関する設定を変えることができます。

ボイスヘルプ

音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を、音声操作中に常に表示させるかどうかを設定します。(ただし走行中は表示されません。)

メモ

ボイスヘルプの設定は、「オート」と「マニュアル」を切り替えることができます。
→「設定を変更する」(112P)

オーディオミュート

本機をパイオニア製ミュート端子付きカーステレオと組み合わせると、カーステレオの出力からナビゲーションの音声案内が流れたり、オーディオミュートが働くようになります。

メモ

- オーディオミュートとは、音声操作時または携帯電話での通話時に、カーステレオの音量を自動的に下げる機能のことです。
- オーディオミュートのタイミングは変更できます。→「設定を変更する」(112P)
- AVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07、TV-W8/W88/W08が接続されているとき、またはAVIC-XH9では、オーディオメニューでオーディオミュートがかかったときの消音レベルを設定することができます。

話者学習していない人が使うときは

本機は、通常の音声操作中も使用者の発声の特徴を学習しています。したがって、音声認識話者学習(→229P)をしていない人が音声操作すると異なる発声の特徴が学習され、本来の使用者の発話が誤認識される原因になります。

話者学習していない人が音声操作するときは、「音声認識話者学習」(→121P)をOFFにしてください。

検索できるジャンルの種類

ジャンル名の指定のしかた

周辺施設を探すときは、次のジャンル名が発話できます。

メモ

- サブジャンル（“出光”、“セブンイレブン” など）を直接発話することもできます。
- ATMのサブジャンル名を直接発話する場合は、“周辺の〇〇銀行ATM”と発話してください。

ジャンル名	読みかた
駅	“えき”
ガソリンスタンド	“ガソリンスタンド” または “スタンド”、“ガソリン”、“サービスステーション”
コンビニ	“コンビニエンスストア” または “コンビニ”
ファミリーレストラン	“ファミリーレストラン” または “ファミレス”
ファストフード	“ファストフード” または “ファーストフード”
駐車場	“ちゅうしゃじょう”
カー用品店	“カーようひんてん” または “カーようひん”
カーディーラー	“カーディーラー” または “ディーラー”
スーパー	“スーパー”
家電店	“かでんてん” または “でんきや”
ディスカウントストア	“ディスカウントストア” または “ディスカウンター”
デパート	“デパート” または “ひゃっかてん”
衣料品店	“いりょうひんてん” または “ようふくや”
スポーツ用品店	“スポーツようひんてん” または “スポーツようひん”
ATM	“エーティエム”
都市銀行	“としぎんこう” または “ぎんこう”
地方銀行	“ちほうぎんこう”
第2地方銀行	“だいにちほうぎんこう”
その他金融機関	“そのたきんゆうきかん”
公共施設	“こうきょうしせつ”
グルメスポット	“グルメスポット” または “グルメ”、“しょくじ”
宿泊施設	“しゅくはくしせつ”
プレイスポット	“プレイスポット”

つづく→

ジャンル名	読みかた
スポーツスポット	“スポーツスポット” または “スポーツ”
文化スポット	“ぶんかスポット”
自動車関連施設	“じどうしゃかんれんしせつ”
その他の店	“そのたのみせ” または “おみせ”
病院	“びょういん”
トイレ	“トイレ”
レンタカー	“レンタカー”
おもちゃ屋	“おもちゃや” または “おもちゃてん”
ホームセンター	“ホームセンター”
薬局	“やっきょく”
教育施設	“きょういくしせつ”
道の駅	“みちのえき”

ジャンル名の指定のしかた

施設名で場所を探す場合の対象ジャンル

施設名で場所を探すときは、次のジャンルの施設名を発話してください。

全国で認識可能なジャンル	隣々接県まで認識可能なジャンル
フェリーターミナル	駅名
空港	高速施設
遊園地	キャンプ場
リゾート施設	動物園
ゴルフ場	植物園
スキー場	水族館
名所・旧跡	公園
城・城跡	競馬場
宿泊施設（ホテル、ビジネスホテル、旅館の一部）	競輪場
	競艇場
	オートレース場
	プラネタリウム・天文台
	野球場
	プール
	博物館
	美術館
	カー用品店
	牧場
	ホール
	展示場
	峠
	灯台
	温泉
	海水浴場

ドライブスケジュールを管理する

指定した時刻に、指定した機能を実行させることができます。(ドライブスケジューラー)

ドライブスケジューラーでは、次の機能を指定できます。

- ルート設定
- 周辺施設検索
- メッセージの表示
- DVD/CD/MP3の再生
- ミュージックサーバーの再生
- TVを見る
- ラジオ (FM/AM) を聴く
- MDの再生
- 設定済みスケジュールの再利用

ご注意

音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

メモ

- 最大100件までスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、指定した時刻にメッセージを表示する方法を説明します。

- 1 【メニュー】 - 【編集・設定】 - 「ドライブスケジューラー」を選んで【決定】を押す
ドライブスケジューラー画面が表示されます。

- 2 スケジュールを設定したい日付を選んで【決定】を押す



以下のボタンなどを使用します。

ジョイスティック	カーソル移動
マルチビューコントローラー	左 前月のカレンダー 右 次月のカレンダー
【別ルート】	画面左の項目と日付欄の間でカーソルを移動

メモ

- 本日の日付には、緑のかつこ ([]) が付きます。
- 「前月」、「今月」、「次月」を選んで【決定】を押すと、月送りされます。
- スケジュールが設定されている日付を選ぶと、その日のスケジュールリストが表示されます。「新規作成」を選んで【決定】を押してください。

- 3 ジョイスティックまたは10キーでスケジュールの実行時刻を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



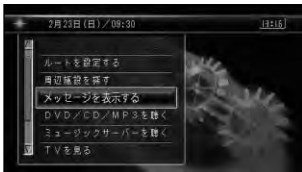
メモ

- 「〇〇時〇〇分」または「〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分」と入力します。
- 「〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分」と入力した場合は、設定した時間帯に電源をON（エンジンをON）したときにスケジュールが実行されます。
- 「起動時」を選んで［決定］を押すと、その日の最初に電源をON（エンジンをON）にしたときにスケジュールが実行されます。手順5に進んでください。
- 設定済みのスケジュールと同じ時刻を入力したときは、最後に設定したスケジュールが実行されます。

4 「入力終了」を選んで［決定］を押す

項目を選択するメニューが表示されます。

5 「メッセージを表示する」を選んで［決定］を押す



文字の入力画面が表示されます。

メモ

すでにメッセージが登録されているときは、「新規作成」を選んで［決定］を押してください。
また、登録済みのメッセージを選ぶことができます。

「メッセージを表示する」以外の項目を選んだときは、下表の「以降の操作」に従ってください。

項目	以降の操作
「ルートを設定する」	目的地・自宅を設定してルートを探ると、内容確認画面が表示されます。 → 「場所を探す」 (29P)
「周辺施設を探す」	探したい施設を指定すると、内容確認画面が表示されます。 → 「場所を探す」 (29P)
「DVD/CD/MP3を聴く」	内容確認画面が表示されます。
「ミュージックサーバーを聴く」	プレイリストまたはトラックを指定すると、内容確認画面が表示されます。
「TVを見る」*1	チャンネルを指定すると、内容確認画面が表示されます。
「FMを聴く」*2	放送局を指定すると、内容確認画面が表示されます。
「AMを聴く」*2	放送局を指定すると、内容確認画面が表示されます。
「MDを聴く」*3	内容確認画面が表示されます。
「スケジュールリストから選ぶ」	スケジュールリストが表示されます。スケジュールを選ぶと内容確認画面*4が表示されます。

- ※1 組み合わせたTVによっては動作しないことがあります。
- ※2 AVIC-V7MD/V7/V77MD/V77/V07MD/V07と組み合わせたとときの機能です。
- ※3 AVIC-V7MD/V77MD/V07MDと組み合わせたとときの機能です。MDが挿入されていないと選択できません。
- ※4 スケジュールを選ぶと、スケジュールの詳細確認画面が表示されます。「決定」を選ぶと、その設定済みスケジュールが選択され、内容確認画面が表示されます。

6

ジョイスティックでメッセージを入力する

→「文字の入力操作」(267P)



メモ

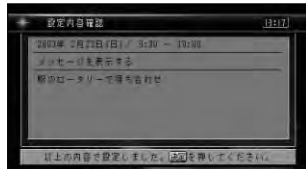
- メッセージは全角で30文字（半角で60文字）まで入力できます。
- メッセージは20件まで登録できます。20件を超えて登録しようとすると、一番古いメッセージの消去を確認する画面が表示されます。

毎日、毎週、毎月、毎年でスケジュールを作成する

7 「入力終了」を選んで「決定」を押す

設定内容確認画面が表示されます。

8 内容を確認して「決定」を押す



カレンダー画面に戻ります。



スケジュールが設定されると、橙色の下線が付きます。

9 「入力終了」を選んで「決定」を押す

地図画面に戻ります。

毎日、毎週、毎月、毎年でスケジュールを作成する

「スケジュールを作成する」(256P)の手順2で、「毎日」、「毎週」、「毎月」、「毎年」のいずれかを選び、最初に実行する日を決めます。

以降の操作手順は、「スケジュールを作成する」(256P)と同じです。

「毎日」 毎日、同じ時刻に指定した機能を実行する。

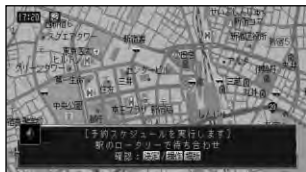
「毎週」 毎週、同じ曜日の同じ時刻に指定した機能を実行する。

「毎月」 毎月、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行する。

「毎年」 毎年、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行する。


スケジュール実行時の確認画面

スケジュールを実行する時刻になると、次のような確認のメッセージが表示されます。



メッセージに従って操作してください。

メモ

- 実行できなかったスケジュールがあると、が地図上に表示されます。
- 「場所指定」で設定した目的地、自宅が変更または消去された場合はスケジュールは実行されません。
- 指定期日にナビゲーションの電源がONになっていないなど、本機がスケジュールを実行できない状態にあった場合、スケジュールを実行しないことがあります。

スケジュールを確認する

日付からスケジュールの設定内容を確認することができます。

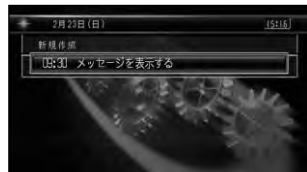
1 [メニュー] - [編集・設定] - 「ドライブスケジューラー」を選んで [決定] を押す
ドライブスケジューラー画面が表示されます。

2 確認したい日付を選んで [決定] を押す



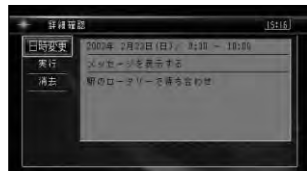
スケジュールのリストが表示されます。

3 確認したいスケジュールを選んで [決定] を押す



詳細確認画面が表示されます。

4 確認を終えたら [戻る] を押す



[戻る] を押し、前画面に戻してきます。

スケジュールの実行を場所で指定する

スケジュールの実行を、時刻ではなく、場所で指定することができます。指定した場所に近づくと、スケジュールが実行されます。

メモ

- 本機がスケジュールを実行できない状態にあったときは、実行しようとした時点から30分経過すると、実行可能な状態に戻ります（「自宅」、「目的地」以外）。
- 「メッセージを表示する」を設定した場合、指定した場所から500m以内に近づくとメッセージが表示されます。ただし、他に優先度の高いメッセージが表示されていた場合は、そのメッセージが消えてから表示されます。

新規作成する

1 「メニュー」 - 「編集・設定」 - 「ドライブスケジューラー」を選んで「決定」を押す
ドライブスケジューラー画面が表示されます。

2 「場所指定」を選んで「決定」を押す



場所を探す方法のリストが表示されます。

3 場所を探す方法を選んで「決定」を押す



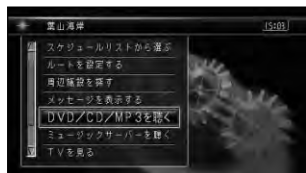
メモ

- 場所指定でスケジュールが作成されているときは、スケジュールのリストが表示されます。「新規作成」を選んで「決定」を押してください。
- 自宅が登録されている場合は「自宅」、ルートが設定されている場合は「目的地」が選べます。

4 場所を探す
→29P

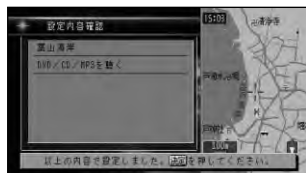
項目を選択するメニューが表示されます。

5 項目を選んで「決定」を押す
→「スケジュールを作成する」(256P)



設定内容確認画面が表示されます。

6 内容を確認し「決定」を押す



ドライブスケジューラー画面に戻ります。

7 「入力終了」を選んで「決定」を押す

地図画面に戻ります。

■ 設定内容を確認する

場所を指定して作成したスケジュールの設定内容を確認したり、場所の指定を変更することができます。

- 1 【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「ドライブスケジューラー」を選んで【決定】を押す

ドライブスケジューラー画面が表示されます。

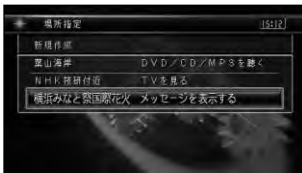
- 2 「場所指定」を選んで【決定】を押す



場所指定のスケジュールがあると、橙色の下線が付きます。

スケジュールのリストが表示されます。

- 3 確認したいスケジュールを選んで【決定】を押す



詳細確認画面が表示されます。

- 4 確認したら、【戻る】を押す



【戻る】を押して、前画面に戻していただきます。

メモ

- 「場所変更」を選んで【決定】を押すと、場所の指定を変更することができます。（「自宅」、「目的地」に設定したスケジュールは変更できません。）
- 「消去」を選んで【決定】を押すと、スケジュールが消去されます。

スケジュールリストを見る

過去および現在も設定されているスケジュールの実行履歴を確認したり、各スケジュールで指定されている機能を動作させることができます。

スケジュールリストを見る

- 1 【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「ドライブスケジューラー」を選んで【決定】を押す

ドライブスケジューラー画面が表示されます。

- 2 「スケジュールリスト」を選んで【決定】を押す



スケジュールがあると選択できるようになり、橙色の下線が付きます。スケジュールリストが表示されます。

つづく→

3 確認したいスケジュールを選んで [決定] を押す

実行済み (赤)、実行できず (青) を区別して表示します。



詳細確認画面が表示されます。

4 確認したら、[戻る]を押す [戻る]を押して、前画面に戻していただきます。

メモ

- 「実行」を選んで [決定] を押すと、指定された機能が実行されます。
- 「消去」を選んで [決定] を押すと、消去を確認するメッセージが表示されます。

スケジュールの日時または場所を変更する

日時指定の場合は日時、場所指定の場合は場所を変更することができます。

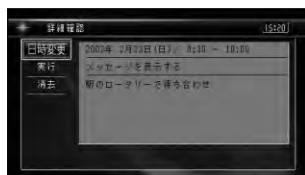
メモ

「自宅」、「目的地」に設定したスケジュールの「場所変更」はできません。

1 変更したいスケジュールの詳細確認画面を表示させる

→ 「スケジュールを確認する」 (259P)

2 「日時変更」または「場所変更」を選んで [決定] を押す



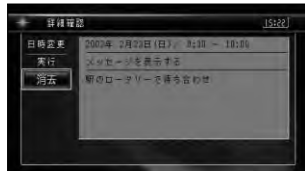
以降の操作手順は、日時指定の場合は「スケジュールを作成する」(256P)、場所指定の場合は「スケジュールの実行を場所で指定する」(260P) と同じです。

スケジュールを消去する

1 消去したいスケジュールの詳細確認画面を表示させる

→ 「スケジュールを確認する」 (259P)

2 「消去」を選んで [決定] を押す



消去を確認するメッセージが表示されます。

3 [決定] を押す

選択したスケジュールが消去され、ドライブスケジューラー画面に戻ります。

スケジュールを一括消去する

この操作では、次の項目ごとに、設定されている内容を一括消去することができます。

- スケジュール
- メッセージ

メモ

大事な設定は、PCカードに保存しておくことをおすすめします。

→「PCカードの操作」(271P)

1 「メニュー」 - 「編集・設定」 - 「ドライブスケジューラー」を選んで「決定」を押す

ドライブスケジューラー画面が表示されます。

2 「消去」を選んで「決定」を押す メニューを選択するリストが表示されます。

3 消去したい項目を選んで「決定」を押す

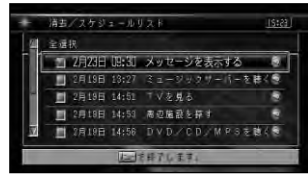


「スケジュールリスト」 すべてのスケジュールから選択できる。

「メッセージ」 登録したメッセージから選択できる。

スケジュールまたはメッセージのリストが表示されます。

4 消去したい内容を選んで「決定」を押す



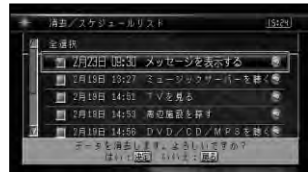
選んだ項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべての内容が選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または消去したい内容を選んで「決定」を押してください。

5 「メニュー」を押す 消去を確認するメッセージが表示されます。

6 「決定」を押す



選択した内容が消去され、地図画面に戻ります。



車両情報を管理する

車両メンテナンスでは、消耗品の交換時期や車検などの更新時期を設定しておく、交換または更新時期が近づいたことをお知らせするメッセージを表示させることができます。

また、車両設定では車両情報（車種による駐車制限や車両のサイズ）を入力することにより、車両に合った有料道路料金の表示や駐車場が検索されます。

エンジンオイルなどの交換時期を設定する

ここでは、エンジンオイルの交換時期を走行距離で管理する設定について説明します。

車両メンテナンスメニューでは、次の項目を管理することができます。

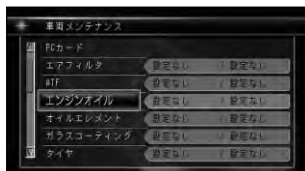
- エアフィルタ
- ATF
- エンジンオイル
- オイルエレメント
- ガラスコーティング
- タイヤ
- タイヤローテーション
- デフオイル
- バッテリー
- ブレーキパッド
- ブレーキフルード
- ボディコーティング
- マニュアルミッションオイル
- 冷却水/LLC
- ワイパーブレード
- 車検
- 任意保険
- 免許更新

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「車両メンテナンス」を選んで [決定] を押す
車両メンテナンス画面が表示されます。

2 「車両メンテナンス」を選んで [決定] を押す

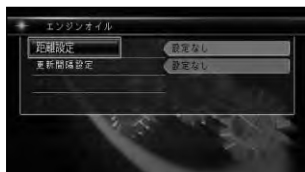


3 「エンジンオイル」を選んで [決定] を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

4 「距離設定」を選んで [決定] を押す



「距離設定」 走行距離を設定する

「更新期間設定」 更新期間を設定する

「更新」 次の設定に更新する

「設定クリア」 すべての設定を未設定状態にする

距離の入力画面が表示されます。

メモ

- 「距離設定」は、3Dハイブリッドモード（→155P）のときのみ選択できます。簡易ハイブリッドシステムにしているとき（車速パルス発生機「ND-PG1」接続時）は、選択できません。
- 「更新」は、「距離設定」または「更新期間設定」が設定されると選択できます。

5

距離を入力する

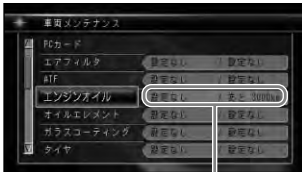
→ 「文字の入力操作」(267P)



6

「入力終了」を選んで「決定」を押す

車両メンテナンス画面に戻ります。



設定内容が表示されます。

車検・任意保険・免許更新の期日を設定する

ここでは、車検の更新期日を管理する設定について説明します。

1

【メニュー】 - 「編集・設定」 - 「車両メンテナンス」を選んで「決定」を押す

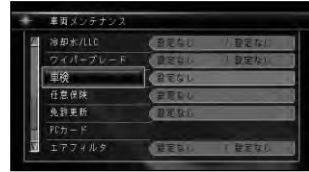
車両メンテナンス画面が表示されます。

2

「車両メンテナンス」を選んで「決定」を押す

3

「車検」を選んで「決定」を押す



操作を選択するメニューが表示されます。

4

「日付/更新期間設定」を選んで「決定」を押す



「日付/更新期間 日付と更新期間を設定する」

「更新」 次の設定に更新する

「設定クリア」 すべての設定を未設定状態にする

メモ

「更新」は、「日付/更新期間設定」が設定されると選択できます。

日付の入力画面が表示されます。

5

日付を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



6

「入力終了」を選んで「決定」を押す

更新期間を選択するメニューが表示されます。

つづく→

車検・任意保険・免許更新の期日を設定する

7 更新期間を選んで [決定] を押す



車両メンテナンス画面に戻ります。

お知らせの確認画面

車両メンテナンスを設定した期日が近づくと、本機の電源がON（エンジンがON）で、かつ走行画面にしているときに、次のようなお知らせのメッセージが表示されます。



メッセージに従って操作してください。

車両情報を設定する

車種による駐車制限や車両のサイズを設定すると、車両に合った有料道路料金の表示や駐車場が検索（周辺施設を探す）されます。

1 [メニュー] - 「編集・設定」 - 「車両メンテナンス」を選んで [決定] を押す

2 「車両設定」を選んで [決定] を押す



車両設定画面が表示されます。

3 設定する項目を選んで [決定] を押す



設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

「有料道路料金区分」	「中型車」「普通車」「軽自動車」から選ぶ
「駐車制限」	「3ナンバー」「RV」「1BOX」から選ぶ
「長さ」	車長を入力する
「幅」	車幅を入力する
「高さ」	車高を入力する

各項目設定後、車両設定画面に戻ります。

メモ

- 「有料道路料金区分」は、ルートが設定されている場合、または有料道路走行中は選択できません。
- 「設定クリア」を選んで [決定] を押すと、設定内容が消去されます。

文字の入力操作

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力する必要があります。

ここでは、メニュー操作中に表示される、文字または数字の入力画面の操作のしかたについて説明します。

メモ

英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が利用できます。

ただし、文字の入力を必要とする項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、「名称で探す」や登録地の「よみ」の場合、ひらがな入力以外は選べません。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

- 1.文字種を切り替える
- ↓
- 2.全角・半角を切り替える
- ↓
- 3.文字を入力する
- ↓
- 4.無変換、変換を行う
- ↓
- 5.文字入力を終了する

操作メニューと入力パレットの切り替えかた

[別ルート] を押すごとに、操作メニューと入力パレットの間をカーソルが移動します。



この間をカーソルが移動します

1.文字種を切り替える

- 1 ジョイスティックで「入力切替」を選んで [決定] を押す



文字種が表示されます。

- 2 文字種を選んで [決定] を押す

10キー操作

[オフフック/切替] を押す
文字種が切り替わります。

2. 全角・半角を切り替える

カタカナ、英字、数字、記号の全角または半角を選びます。

1 ジョイスティックで「全/半角」を選んで【決定】を押す

「全/半角」を選んで【決定】を押すごとに、全角と半角が切り替わります。

3. 文字を入力する

1 ジョイスティックで入力したい文字を選んで【決定】を押す



10キー操作

入力したい文字が表示された10キーを押して、【オンフック/確定】を押す

10キーに表示された文字を押すごとに切り替わり、入力されます
(あ…お→あ…お→あ、A…C→a…c→2→A)。

全文字入力後は、【オンフック/確定】を押してください。また、同一ボタンの文字を続けて入力する場合(“あい”など)は、1文字入力した後、【オンフック/確定】を押してください。

4. 無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

1 ひらがなを入力する場合は「無変換」、漢字を入力する場合は「変換」を選んで【決定】を押す

10キー操作

【オンフック/確定】を押す

ひらがなが、そのまま入力されます。

【#/変換】を押す

ひらがなが、漢字に変換されます。

2 ひらがなを変換する場合は、候補から漢字を選んで【決定】を押す

選んだ漢字が入力されます。

メモ

マルチビューコントローラーを左右に倒して、変換したい部分を選ぶことができます。(カーソルの左側が変換の対象です。)

5. 文字入力を終了する

メモ

「名称で探す」(30P)の場合は、「入力終了」は表示されません。

1 「入力終了」を選んで【決定】を押す

メモ

【戻る】を押しても文字入力を終了し、入力内容は記憶されます。

10キー操作

入力した文字が確定された状態(青字または黒字)で【オンフック/確定】を押す

漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字を入力します。

1 漢字表に切り替える

→ 「1.文字種を切り替える」
(267P)



2 ジョイスティックで漢字を選んで [決定] を押す

選んだ漢字が入力されます。

メモ

[◀] または [▶] を選んで [決定] を押すと、前のページまたは次のページが表示されます。

文字を削除する

1 マルチビューコントローラーを左右に倒して、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる



メモ

よみの場合は、マルチビューコントローラーでカーソルを移動させることはできません。

2 ジョイスティックで「削除」を選んで [決定] を押す



[決定] を押すごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

10キー操作

[録音/削除] を押す

カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。

スペースを空ける

1 ジョイスティックで「[]」を選んで [決定] を押す



文字を挿入する

- 1 マルチビューコントローラーを左右に倒して、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる



カーソルの左側に文字を挿入することができます。

メモ

カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

改行する

- 1 ジョイスティックで「**↵**」を選んで [決定] を押す



メモ

「**↵**」(改行)は、Eメールやシグネチャーを編集するときを使用できます。

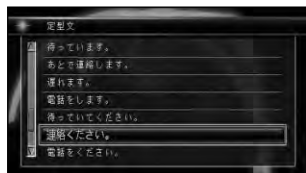
定型文を入力する

登録した定型文(195P)を引用することができます。

- 1 ジョイスティックで「定型文」を選んで [決定] を押す



定型文のリストが表示されます。



- 2 挿入する定型文を選ぶ

メモ

定型文は、Eメールを作成したり、定型文を編集するときを使用できます。

PCカードの操作

PCカードは工夫しだいでさまざまな用途に利用できます。例えば、大切なデータのバックアップや本機を使用している友人とのデータ交換などのように、本機をさらに活用するための補助記憶媒体として役立ちます。

ここでは、登録地や登録道、ロゴマークデータ、スケジュール、車両メンテナンスなどのデータをPCカードで管理するための、基本的な操作のしかたについて説明します。

メモ

- データをPCカードに保存することにより、数多くのデータを扱えるようになります。
- PCカードに保存できる件数は次のとおりです。

登録地点	最大で300グループ（1グループの上限は200地点）
登録道	最大で100グループ（1グループの上限は100件）
ロゴマークデータ	最大で100グループ（1グループの上限は200件）
スケジュール・車両メンテナンス	全てのスケジュール・メンテナンスデータを一括保存

- PCカードの容量によって、保存できる件数は変わります。

PCカードに保存する

- 1 「PCカード」の選べる画面を表示する



- 2 「PCカード」を選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。



- 3 「保存」を選んで [決定] を押す



つづく→

登録地の場合

登録地では保存範囲を選択するメニューが表示されます。「グループ内データ」、「全データ」、「自宅データ」のいずれかを選んで [決定] を押し、グループを選んで [決定] を押ししてください。

グループ内データ グループリストが表示され、選択したグループ内の登録地が保存される

全データ すべての登録地（グループ内の登録地を含む）が保存される

自宅データ 自宅のデータが保存される

メモ

- 「グループ内データ」を選んだときは、登録地点のグループリストが表示されます。登録地が1つもグループ分けされていない場合は、登録地点リストが表示されます。手順4に進んでください。
- 「全データ」を選んで [決定] を押し、すべての登録地（自宅は含まない）が1つのグループとして、PCカードに保存されます。グループ名は、登録した年月日、時間 + 「全データ」となります（例：2003年7月1日17：25全データ）。
- 「全データ」または「自宅データ」を選んだときは、手順5に進んでください。
- グループ分けされていない登録地を保存するときは、「グループなし」を選んでください。自宅は「グループなし」に振り分けられています。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

- 登録地リストまたはグループ内の登録地リストは、「並べ替え」を押すと並べ替えることができます。
→「登録地リストを並べ替える」(78P)

スケジュール・車両メンテナンスの場合
PCカードに保存されます。

4**保存したいデータを選んで [決定] を押す**

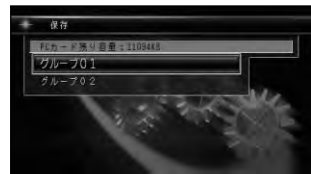
選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで [決定] を押し、すべてのデータが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいデータを選んで [決定] を押ししてください。

5**【メニュー】を押す**

PCカード内のグループリストが表示されます。

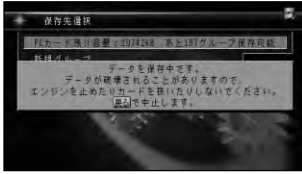
6**保存先のグループを選んで [決定] を押す**

グループ内データのリストとPCカード残り容量、保存可能件数が表示されます。

メモ

- 「新規グループ」を選んで [決定] を押し、文字の入力画面が表示されます。グループ名を入力してください (→267P)。
- 全角で20文字まで入力できます。

7 保存可能であることを確認して [決定] を押す



選んだPCカード内のグループに登録地が保存され、地図画面に戻ります。

ご注意

保存中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、PCカードを抜かないでください。

メモ

PCカードの容量が不足している、または保存可能件数を超えると、メッセージが表示され、保存することができません。

PCカードから読み込む

PCカードに保存されたデータを本機に読み込むことができます。

1 「PCカード」の選べる画面を表示する

2 「PCカード」を選んで [決定] を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

3 「読み込み」を選んで [決定] を押す



登録地、登録道、ロゴマークの場合登録地、登録道、ロゴマークではグループリストが表示されます。読み込みたいデータのあるグループを選んで [決定] を押す。

4 読み込みたいデータを選んで [決定] を押す



選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

つづく→

メモ

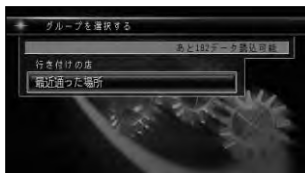
- 「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべてのデータが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいデータを選んで「決定」を押してください。
- 各データの読み込み可能件数は次のとおりです。読み込み可能件数を超えると、選択できなくなります。

登録地 ナビケーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて200か所

登録道 ナビケーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて100件

ロゴマークデータ ナビケーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて200件

5 [メニュー] を押す



登録地の場合

読み込みたい先のグループを選んで「決定」を押す。

ご注意

読み込み中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、PCカードを抜かないでください。

PCカードから消去する

不要になったPCカード内のデータを消去することができます。

1 「PCカード」の選べる画面を表示する

2 「PCカード」を選んで「決定」を押す

操作を選択するメニューが表示されます。

3 「消去」を選んで「決定」を押す



登録地、登録道、ロゴマークの場合登録地、登録道、ロゴマークではグループリストが表示されます。

4 消去したいデータのあるグループを選んで「決定」を押す



グループ内データのリストが表示されます。

5 消去したいデータを選んで「決定」を押す



選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

「全選択」を選んで「決定」を押すと、すべてのデータが選択され、メニューの表示が「全解除」に変わります。選択を解除するには、「全解除」または解除したいデータを選んで「決定」を押してください。

6**【メニュー】を押す**

消去を確認するメッセージが表示されます。

7**【決定】を押す**

選んだデータが消去され、地図画面に戻ります。

ご注意

消去中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、PCカードを抜かないでください。

メモ

PCカード内のデータを一括消去する場合は、PCカードをフォーマットしてください。

→「PCカードをフォーマットする」
（→このページ）

PCカードをフォーマットする

PCカードをフォーマット（初期化）すると、PCカード内のデータはすべて消去されます。

1**【メニュー】－「編集・設定」－「各種設定」を選んで【決定】を押す**

各種設定画面が表示されます。

2**「調整・補正」を選んで【決定】を押す**

調整・補正メニューが表示されます。

3**「PCカードフォーマット」を選んで【決定】を押す**

確認のメッセージが表示されます。

4**【決定】を押す**

PCカードがフォーマットされ、現在地画面に戻ります。

フォーマットを中止するときは、**【戻る】**を押してください。

ETCの操作

ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC6」（別売）などを接続する必要があります。

操作については、ETCユニットの取扱説明書と共にご覧ください。

メモ

- ETC (Electronic Toll Collection) とは、現在有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払いに代わる、新しい料金収受システムです。
料金所に設置されている路側アンテナと車両に装着した車載機との間で、無線通信を行って料金情報をやりとりします。このシステムによって、料金所をノンストップ・キャッシュレスで通過できます。
- ナビゲーション本体が修理中などの理由により動作できない場合は、ETCはご利用にならないでください。
- ETC特定区間の料金を考慮したメッセージの表示、および音声案内は行いません。

利用履歴を確認する

利用履歴を確認する

ETCカードが差し込まれている場合、新しい利用履歴から100件分を確認できます。

1 「メニュー」－「編集・設定」－「車両メンテナンス」を選んで [決定] を押す

2 「ETC情報」を選んで [決定] を押す



3 「利用履歴」を選んで [決定] を押す



4 「利用履歴」を確認する



前納料金を設定する

前納した料金を入力し、設定した金額以下になるとルート案内開始後やETCゲート通過後にお知らせすることができます。

メモ

- ETCゲートから有料道路に入り、ETCゲートから有料道路を出た場合に、前納料金より減算されます。したがって、ETCカードを料金所で手渡したり、他の車でETCカードを支払ったりした場合は、正しくお知らせできなくなります。設定をやり直してください。
- 期間限定特別割引やETC前払い割引サービスなどを受けている場合は、割引金額を加算したご利用できる金額を入力してください。

前納料金を入力する

- 1 「メニュー」－「編集・設定」－「車両メンテナンス」を選んで「決定」を押す
- 2 「ETC情報」を選んで「決定」を押す
- 3 「前納料金設定」を選んで「決定」を押す



- 4 ジョイスティックで前納した料金を入力する

→ 「文字の入力操作」(267P)



- 5 「入力終了」を選んで「決定」を押す
ETC情報画面に戻ります。

お知らせ金額を設定する

- 1 「メニュー」－「編集・設定」－「車両メンテナンス」を選んで「決定」を押す
- 2 「ETC情報」を選んで「決定」を押す
- 3 「お知らせ金額設定」を選んで「決定」を押す



- 4 ジョイスティックでお知らせする金額を入力する
→「文字の入力操作」(267P)



- 5 「入力終了」を選んで「決定」を押す
ETC情報画面に戻ります。

お知らせ画面が表示されたとき

お知らせは、ルート案内開始時やETC通過後に表示されます。確認画面の指示に従って操作してください。



メモ

お知らせ画面は約8秒間表示されます。

前納料金の設定をクリアする

前納料金設定、お知らせ金額設定をクリアすることができます。

- 1 「メニュー」－「編集・設定」－「車両メンテナンス」を選んで「決定」を押す
- 2 「ETC情報」を選んで「決定」を押す
- 3 「設定クリア」を選んで「決定」を押す



▼
確認画面が表示されます。

- 4 「決定」を押す



設定がクリアされ、ETC情報画面に戻ります。

ヘルプネットの操作

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」（別売）をインストールすると、利用することができます。操作については、ヘルプネットディスクの取扱説明書と共にご覧ください。

メモ

本機にcdmaOne™の携帯電話（パケット通信には非対応）を接続してヘルプネットに通報すると、車両や現在地情報を送信後、いったん電話が切れ、オペレーターからの呼び返し待ちになります。

通報する

エンジンスイッチがACCまたはONのときに緊急通報を開始します。

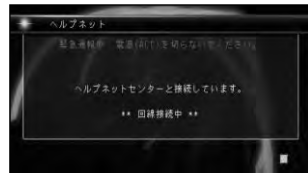
1 緊急事態が発生したら、「メニュー」－「情報・通信」－「ヘルプネット」を選んで**[決定]**を押す



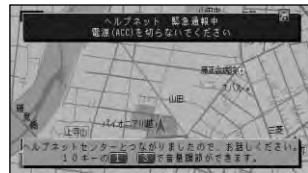
2

[決定] を押す

緊急通報をしていることや車両の現在の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。



その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。



つづく→

通報する

3

状況を説明する

オペレーターは着信データを見ながら通信者に応対します。また要請により最寄りの救援機関窓口へ電話回線を接続します。

通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。

メモ

自分から[オンフック]ボタンまたは[操作]により通話を切った場合でも、自動着信待ち(呼び返し待機)になります。

通話終了後、約10分間自動着信待ちの状態となります。このあいだにオペレーターや救援機関から電話がかかって来た場合は、自動的に電話回線がつながります。



メモ

- 自動着信待ち後オペレーターまたは救援機関から電話がかかって来た場合は、詳細な位置確認をします。
- オペレーターや救援機関との通話はハンズフリーまたは、携帯電話から行なえます。
- 緊急通報を行う際の電話料金はおお客様のご負担となります。
- 緊急通報開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。
- 呼び返し待機中はナビゲーションのメニュー操作は行なえません。

システムの点検

■自動保守点検

ヘルプネットサービスが正しく受けられるように、(株)日本緊急通報サービスが定める期間ごとに自動的に保守点検が行われます。

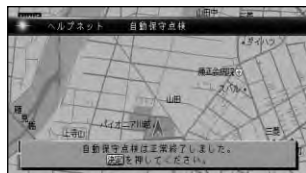
1

エンジンをかける

次回保守点検予定日以降に携帯電話を接続しエンジンをかけた場合、10分後に、自動的に自動保守点検が始まり、ヘルプネットオペレーションセンターに電話をかけます。



自動保守点検が終了すると、自動的に電話は切れます。



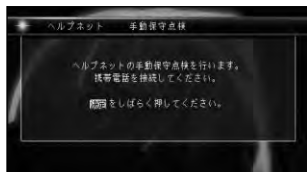
メモ

- 自動保守点検が行われる際の電話料金は、お客様のご負担となります。
- 自動保守点検は、電話を利用して行われます。このため、自動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
- 自動保守点検開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、約10分後に再び行われます。

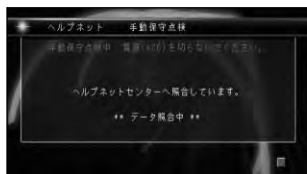
■手動保守点検

ヘルプネットに加入したとき（サービス開始操作）や退会したときは、以下の操作を行って、車載機の保守点検と緊急通報発呼の可（OK）/不可（NG）の確認をしてください。

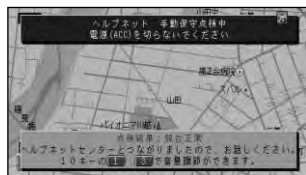
- 1 「メニュー」－「情報・通信」－「ハードウェア情報」を選んで
[決定] を押す
- 2 「ヘルプネット情報」を選んで
[決定] を押す
- 3 「手動保守点検」を選んで
[決定] を押す
- 4 [決定] をしばらく（手動保守点検が開始されるまで）押し続ける
手動保守点検が開始されます。画面の指示に従って、点検作業をすすめてください。



手動保守点検をしていることや車両の現在の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。

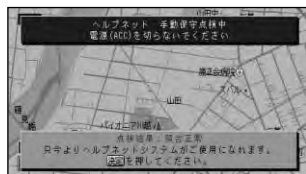


その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。



オペレーターと通話します。

通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。



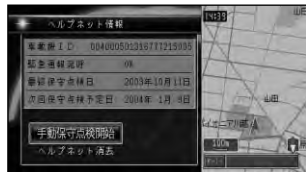
- 5 [決定] を押す

- 6 「メニュー」－「情報・通信」－「ハードウェア情報」を選んで
[決定] を押す

- 7 「ヘルプネット情報」を選んで
[決定] を押す

ヘルプネット情報画面が表示されます。

- 8 緊急通報発呼の可（OK）/不可（NG）を確認する



つづく→

ヘルプネットに加入した場合は (サービス開始操作)

「緊急通報発呼」が「OK」になっていることを確認してください。

ヘルプネットから退会した場合は

「緊急通報発呼」が「NG」になっていることを確認してください。

メモ

- 手動保守点検を行う際の電話料金は、お客様のご負担となります。
- 手動保守点検は、電話を利用して行います。このため、手動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
- 手動保守点検を開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。

ヘルプネット機能の消去

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」のインストールにより追加されたヘルプネット機能を消去します（アンインストール）。

メモ

ヘルプネット機能の消去は、「緊急通報発呼」が「NG」のときのみ可能です。「OK」のときはメッセージが表示されます。

- 1 「メニュー」－「情報・通信」－「ハードウェア情報」を選んで
[決定] を押す
- 2 「ヘルプネット情報」を選んで
[決定] を押す
- 3 「ヘルプネット消去」を選んで
[決定] を押す
- 4 [決定] を押す
ヘルプネット機能が消去されます。

修理後の確認操作

ナビゲーション本体を修理した場合、ヘルプネットに関する設定がリセットされ、そのままではヘルプネットを使うことができない場合があります。

修理後は必ずHELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」（別売）をインストールしてください。

手動保守点検、または車載機IDの契約変更手続きが必要になる場合があります。

困ったときには

操作ガイドを見る

操作ガイドには、基本操作や便利な使いかたをシミュレートする機能や、困ったときの対処方法を確認できる画面が用意されています。

ここでは、基本操作を確認する方法を例に挙げて説明します。

メモ

操作ガイドは操作を擬似的に実行するため、以下の制約があります。

- 次の操作ガイドを実行すると、ルートが設定されているときは、そのルートは消去されます。
 - ルートを設定するには
 - 立寄地点を設定するには
 - 設定したルートを確認するには
- 登録などに関する操作ガイドは、登録件数の上限を超えると、選択できなくなることがあります。
- 「近くの施設を探すには」を実行したときに自転車位置周辺にガソリンスタンドがないと、操作ガイドは途中で中止されます。

1 【メニュー】 - 「情報・通信」 - 「操作ガイド」を選んで【決定】を押す

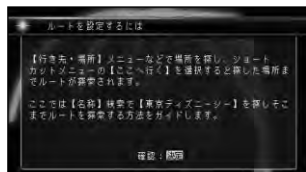
操作ガイドのメニュー画面が表示されます。



3 見たい項目を選んで【決定】を押す

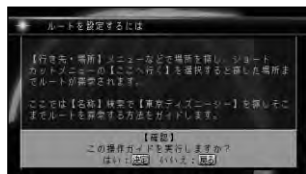
内容を説明する画面が表示されます。

4 【決定】を押す

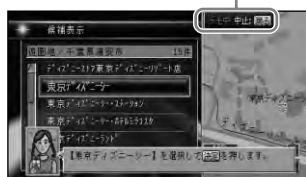


操作ガイドを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 【決定】を押す



操作ガイドが実行されます。
デモ中と表示されます



メモ

操作ガイドの説明は自動的に進みます。
説明を中断するには、[戻る]を押してください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
→『スタートブック』、『リセットのしかた』

それでも直らないときは

『スタートブック』のお客様登録カードとアフターサービスについての項目をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

■電源が入らない、動作しない

原因	処置
各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 →『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』、『リセットのしかた』

■リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作しない

原因	処置
電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。 →『スタートブック』、『リモコンの準備と使いかた』
リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。 →『スタートブック』、『リモコンの準備と使いかた』
リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。 →『スタートブック』、『リモコンの準備と使いかた』
電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 →『スタートブック』、『リモコンの準備と使いかた』
リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り替えてください。 →『スタートブック』、『リモコンの準備と使いかた』
リモコン設定スイッチが間違っている。	リモコン設定スイッチを正しく切り替えてください。 →『スタートブック』、『リモコンの準備と使いかた』

■エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がる

原因	処置
本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。

■音が出ない

原因	処置
接続が間違っている。	接続を確認してください。

■映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。
パーキングブレーキをかけていない。	→『取付説明書』

■音が小さい

原因	処置
接続した機器の音量を下げています。	接続した機器の音量を上げてください。
アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。

■音や映像がとぶ

原因	処置
本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。 →『取付説明書』

■バックカメラに切り替わらない

原因	処置
初期学習が終了していない。	初期学習が終了するまで、しばらく走行してください。
バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。→『取付説明書』
バックカメラ入力の設定がOFFになっている。	バックカメラ入力の設定をONにしてください。 →TVの『取扱説明書』

ナビゲーション

■自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。 →「衛星測位状態を見る」(154P) 車内に取り付けられている場合は、必ず金属シートを使用してください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 →「センサ学習状況を見る」(155P)
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。

■車のライトをONにしても夜画面に切り替わらない

原因	処置
車のライトと連動する設定になっていない。	「地図色切替」の設定を「イルミ連動」にしてください。 →「設定を変更する」(112P)
イルミ電源が正しく接続されていない。	接続を確認してください。 →『取付説明書』

■走行軌跡が表示されない

原因	処置
走行軌跡を表示しない設定になっている。	「走行軌跡表示」の設定を「ON」にしてください。 →「設定を変更する」(112P)

■3D学習度が表示されない

原因	処置
電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていない。	接続を確認してください。 →『取付説明書』

■TVモニターにナビゲーションの画像が映らない

原因	処置
ナビゲーション本体およびTVモニターの電源が入っていない。	TVモニターの電源を入れてください。 正しく確実に接続されているかどうか確認してください。 →『取付説明書』
TVモニターがナビゲーションの画面に切り替わっていない。	TVモニターをナビゲーションの画面に切り替えてください。

■映像が暗い

原因	処置
日没時刻が過ぎた。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。

■映像がゆれる

原因	処置
「TV走査方式」の設定が合っていない。	「TV走査方式」の設定を必要に応じて切り替えてください。 →「設定を変更する」(112P)

■ナビゲーションの音が出ない/音が小さい

原因	処置
音量を下げている。	「各種設定」の「調整・補正」で、受光部付スピーカー「CD-TS36」(別売)およびガイド音声用スピーカー「CD-TS36G」(別売)、TVモニター、カーステレオの音量を上げてください(→131P)。
音声ナビゲーションの音声に切り替わっていない。	TVモニターから音声を出力する場合は、TVモニターからナビゲーションの音声出力されるように、TVモニター側の設定を切り替えてください。

■誤差が大きくなった

原因	処置
TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして(→302P)、学習をやり直してください。

■インターネットなどの通信をするときのトラブル（デジタル携帯電話接続時）接続先に電話がかからない

原因	処置
接続先の電話番号が間違っている。	接続先の電話番号が正しく入力されているか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
携帯電話のコネクターの接続が間違っている。	コネクターの向きが逆になっていないかどうか確認してください。
携帯電話でダイヤルロックをかけたままになっている。	ダイヤルロックを解除してください。
携帯電話の電池が切れている、または携帯電話が故障している。	携帯電話を本機から外して、電話をかけることができるかどうか確認してください。
携帯電話がナビゲーションを接続できるように設定されていない。	携帯電話側の設定を、接続端子を使用できるように変更してください。

■途中で電話が切れてしまう

原因	処置
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
接続ID、接続パスワードが間違っている。	接続ID、接続パスワードを確認してください。とくに、数字の「0」（ゼロ）と英字の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」（アイ）などの区別や、英字の大文字/小文字の区別も確認してください。
プロバイダの接続項目が間違っている。	プライマリDNS、セカンダリDNSが正しく入力されているかどうかを確認してください（→165P）。
電話番号が間違っている。	プロバイダの電話番号は変更されることがあります。別のアクセスポイントを選んでください。 →「プロバイダを設定する」（162P） それでもうまくいかない場合は、プロバイダから送付された資料にある電話番号を入力してください。
PIAFS対応のアクセスポイントを指定している。	PIAFS (PHS Internet Access Forum Standard) に対応していないアクセスポイントに変更して接続できるかどうか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話が9600bpsのデータ通信に対応していない。	9600bpsのデータ通信に対応した、デジタル携帯電話をお使いください。（パケット通信に対応した「cdmaOne™」は最大64kbps、CDMA2000 1Xは最大144kbpsで使用できます。）
機種に対応していないデジタル携帯電話を接続している。	対応している携帯電話かどうか、パイオニアのホームページで確認するか、「パイオニアカスタマーサポート」にお問い合わせください。

■ウェブページが表示されない

原因	処置
指定したウェブページが混み合っている。	しばらくしてから再度接続してください。
URLが間違っている。	大文字と小文字の間違いや「.」と「、」、「」と「-」などの区別を確認してください。
DNSサーバーの設定が間違っている。	DNSサーバーの設定を確認してください。DNSサーバーの設定が正しくないと、ウェブページに接続できません。
Proxyサーバーの設定が間違っている。	Proxyサーバーの設定を確認してください。Proxyサーバーの設定が正しくないと、ウェブページに接続できません。
SSL対応のウェブページを表示しようとしている。	本機ではSSLを使用しているウェブページは表示できません。

■ウェブページが表示されるまでに時間がかかる

原因	処置
接続先のサーバーに接続が集中している。	しばらくしてから再度接続してください。

■画像データが表示されない

原因	処置
ブラウザの環境設定の「画像データ読み込み」が「無」になっている。	「ブラウザの環境設定」(→167P)の「画像データ読み込み」を「有」(画像を表示)にしてください。
画像のサイズが大きい。	サイズの大きい画像は表示できません。
本機では表示できない形式の画像(動画など)が使われている。	本機で表示できる画像データはGIF形式とJPEG形式のデータです。それ以外の画像データは表示できません。また、プラグインなどを必要とするデータも扱えません。
携帯電話の電波状態が安定しない。	電波状態が良い場所で停車して使用してください。

■ウェブページの文字が正しく表示されない

原因	処置
本機で使用できない文字コードが使われている。	海外のウェブページなどには、本機で使用できない文字コードが使われていることがあります。このような文字コードは正しく表示されません。
携帯電話の電波状態が安定しない。	電波状態が良い場所で停車して使用してください。

DVD

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」または「ALL」のディスクに交換してください。

■映像が見えない

原因	処置
走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
ナビゲーションの画面になっている。	[NAVI/AV] で画面を切り替えてください。

■音が出ない

原因	処置
静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。

■視聴制限のメッセージが表示され、再生できない

原因	処置
視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルの変更をしてください。 →『オーディオブック』、「視聴制限を設定する」

■視聴制限を解除できない

原因	処置
暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →『オーディオブック』、「視聴制限を設定する」
暗証番号を忘れてしまった。	[#/変換] を10回押し、暗証番号を解除します。 →『オーディオブック』、「視聴制限を設定する」

■音声言語、字幕言語が切り替えられない

原因	処置
複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。

■初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない

原因	処置
初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。

■アングルを切り替えて見ることができない

原因	処置
複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

■ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い

原因	処置
ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)

■(禁止マーク)が画面に出て操作できない

原因	処置
ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
ディスクの構造上対応できない操作をしている。	

■画面が止まり、操作を受け付けない

原因	処置
ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	[自宅] (■) を押してから、もう一度再生してください。

CD/MP3ディスク

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』、『再生できるディスクの種類』
2倍速で録音している。	録音を停止し、録音速度を等倍速録音にしてください。 →『オーディオブック』、『ミュージックサーバーに録音する』
CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

■CD再生中に、大きな雑音が出る/CDの再生が途中で止まる

原因	処置
CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。改善されれば、CDの不良です。
CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。

MP3ファイル

■CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない

原因	処置
ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。

■MP3ファイルを再生できない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスク、PCカードに交換してください。
256kbsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが256kbs以下で記録されたMP3ファイルにしてください。

■MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る/MP3ファイル再生中に音が出なくなる

原因	処置
MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROM、PCカードを再生しないでください。)

■聞きたいMP3ファイルが見つからない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスク、PCカードに交換してください。

■フォルダ名やファイル名が正しく表示されない

原因	処置
ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録したディスクに交換してください。

■MP3ファイル再生が、記録した順と異なる

原因	処置
MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されないことがあります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

■プレイリストが再生できない

原因	処置
プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 →『オーディオブック』、「再生しないプレイリストを設定する」
ポーズ（一時停止）がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 →『オーディオブック』、「再生を一時停止する」

■CDが録音されていない

原因	処置
CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →『オーディオブック』、「CD録音の制限について」

■プレイリストのタイトル情報が取得できない

原因	処置
電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』、「リセットのしかた」
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されないときは、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

ナビゲーション

メッセージ	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	途中に立寄地を設定してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
時間規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
行き先につながる案内対象道路がありません。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。	
回線の接続に失敗しました。	再度、操作してみてください。

メッセージ	原因	処置
ハードディスクに異常があります。販売店にご相談ください。	ドライブ不良のエラーが1時間以内に3回発生した。	販売店にご相談ください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	ナビゲーション本体の内部温度が異常に低い。	車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。
Cannot operate due to high temperature. Find a safe place to pull over, and turn power off to allow the system to cool down.	ナビゲーション本体の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。
データの受信待ちです。データの一部が取得できていません。	FM多重放送によるVICS情報がそろっていない、またはデータが不完全。	データが更新されるまで、しばらくお待ちください。
ビーコンが接続されていません。	VICS用ビーコンユニットの接続が正しくない。	ビーコンユニットの接続を確認してください。
現在は情報がありません。	ビーコンからのVICS情報を取得していない。	ビーコンからのVICS情報が更新されるまで、しばらくお待ちください。
データの一部を消去しないと読み込むことができません。データを消去してください。	PCカードから登録地を読み込もうとし、本機の最大登録数を超えそうな場合。	PCカードから読み込ませる登録地の数を減らしてから読み込んでください。
これ以上保存できません。	既存グループに制限以上のデータを保存しようとした。	「新規グループ」を選んで保存してください。
	新規グループが作れない。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で一部のデータが保存できませんでした。	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。
	PCカードの容量が不足している。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で画像の登録ができませんでした。	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。

DVD/CD/MP3ディスク

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生ができません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
高温、または低温のため、ディスクが再生できません。ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されないときは、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

ミュージックサーバー

メッセージ	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →『オーディオブック』『プレイリストを消去する』、『曲を消去する』
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

ヘルプネット

メッセージ	原因	処置
緊急通報には携帯電話が必要です。携帯電話を接続して下さい。	起動時に、携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話がロックされていますので、緊急通報が出きません。ロックを解除してください。	起動時に、携帯電話がロックされている。	携帯電話のロックを解除してください。
現在の携帯電話は緊急通報には使用できない機種です。取扱説明書をご参照ください。	起動時に、未対応機種の携帯電話が接続されている。	対応している携帯電話を接続してください。
携帯電話がロックされています。携帯電話のロックを解除の上、緊急通報を行ってください。	発信時に、携帯電話がロックされている。	携帯電話のロックを解除してください。
携帯電話が未対応機種のため、緊急通報はご利用になれません。最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	発信時に、未対応機種の携帯電話が接続されている。	対応している携帯電話を接続してください。
只今、通信エラーのため通報できませんでした。5秒後に再接続します(秒数はカウントダウン表示されます)。そのまま、お待ちください。	通信エラーでリトライ待ちをしている。	そのまま、お待ちください。
只今、圏外の為通報できませんでした。5秒後に再接続します(秒数はカウントダウン表示されます)。そのまま、お待ちいただくか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	圏外でリトライ待ちをしている。	そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。

メッセージ	原因	処置
只今、発信規制のため通報できませんでした。5秒後に再接続します（秒数はカウントダウン表示されます）。そのまま、お待ちいただくか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	携帯電話の発信規制のため、リトライ待ちをしている。	そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今の緊急通報は通信エラーのため、失敗しました。電話の状態をご確認の上、緊急通報を行うか、または最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	緊急通報に失敗した。	電話の状態をご確認の上、緊急通報を行うか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今の緊急通報は携帯電話が圏外のため、失敗しました。電話の状態を確認の上、緊急通報を行うか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	圏外のため、緊急通報に失敗した。	最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今の緊急通報は携帯電話が通信規制のため、失敗しました。電話の状態を確認の上、緊急通報を行うか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	携帯電話の発信規制のため、緊急通報に失敗した。	最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
現在、緊急通報は使用できません。 日本緊急通報サービスと契約済みの場合は車載機ID変更手続きを、解約中の場合は手動保守点検を行ってください。 取扱説明書を参照ください。 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。 実際の道路標識に従って走行してください。	修理により、車載機IDが変更されたため。	日本緊急通報サービスと契約済みの場合は、車載機ID変更手続きを行ってください。解約手続きの場合は、手動保守点検を行ってください。
現在、緊急通報は使用できません。 日本緊急通報サービスと契約中の場合は車載機ID変更手続きを、未契約の場合は手動保守点検を行ってください。 取扱説明書を参照ください。 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。 実際の道路標識に従って走行してください。	修理により、車載機IDが変更されたため。	契約手続き中の場合は、車載機ID変更手続きを行ってください。未契約の場合は、手動保守点検を行ってください。
現在、緊急通報は使用できません。 日本緊急通報サービスと契約後、手動保守点検を行ってください。	修理により、車載機IDが変更されたため。	「ハードウェア情報」 - 「ヘルプネット情報」画面に表示されている車載機IDと、契約申込み時に記載した車載機IDが異なる場合は、車載機ID変更手続きを行ってください。

ETC

エラーNo.	メッセージ	原因	処置
エラー01	ETCエラー01 ETCカードの挿入不良です。	ETCカードの挿入不良です。	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
エラー02	ETCエラー02 ETCカードのデータが読み出せませんでした。	[ETCカード挿入時] 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。	再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はお買上げの販売店にご相談ください。
		[利用時] 料金所にて車両の停止が案内(表示)される場合があります。	お買上げの販売店にご相談ください。
エラー03	ETCエラー03 挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して、再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はETCカード発行者(クレジットカード会社など)にご相談ください。
エラー04	ETCエラー04 ETC車載機が故障しています。	ETCユニットの故障です。	お買上げの販売店にご相談ください。
エラー05	ETCエラー05 挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して、再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はお買上げの販売店にご相談ください。
エラー06	ETCエラー06 料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買上げの販売店にご相談ください。
	ETCエラー06 ETCが登録されていません。	セットアップ(車両情報の登録)が行われていません。	お買上げの販売店にてセットアップを行ってください。
エラー07	ETCエラー07 料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買上げの販売店にご相談ください。
エラー09	ETCエラー09 ETC車載機が故障しています。	ETCユニットの故障です。	お買上げの販売店にご相談ください。
エラー10	ETCエラー10 ETC車載機が故障しています。	ETCユニットの故障です。	お買上げの販売店にご相談ください。

画面が動かなくなった場合は

安全な場所に停車し、一度エンジンを切って、ACC OFFの状態まで戻してください。そして、再度エンジンをかけ、本機の電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、ナビゲーション本体のリセットボタンを押してください。

頻繁にシステムエラーが発生する場合は

頻繁にエラーが発生しナビゲーションの電源が切れるときは、ナビゲーション本体のメモリーに不適切な内容が記録された恐れがあります。このようなときは、次の操作を実行してナビゲーション本体のメモリーをクリアしてください。（本機が自動で行う場合があります。）

エンジンをかけて本機の電源が入りオープニング画面が表示されている間、【現在地】と【渋滞】を同時に押し続ける

「本体メモリをすべてクリアします。しばらくお待ち下さい。」とメッセージが表示されます。

メモ

- この操作を実行すると、次の設定は消去されるか、または工場出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。

消去される： 機能設定、ルート、学習ルート、AV設定、通信接続設定

消去されない： 登録地、登録道、ドライブスケジューラー、車両メンテナンス、ランドマークリライタブル、音声認識話者学習、ブラウザ関連、受信メール、ウェザーライブ、メモリダイヤル、ミュージックサーバー、センサー学習、ヘルプネット、ETC

- 壁紙をカスタマイズしていたときは、すべて工場出荷時の状態に戻ります（→133P）。

センサーメモリーのリセットについて

センサー学習状態のリセットが必要な場合／センサー学習状態のリセットのしかた

古くなったタイヤを新しいタイヤと交換したり、夏用のタイヤと冬用のタイヤを交換した場合でも、自動的にセンサー学習を再学習するシステムを装備していますので、センサーメモリーをリセットする必要はありません。(走行状態によっては時間がかかる場合があります。) また、必要に応じて、走行状況の学習結果を保存するセンサーメモリー（学習メモリー）も切り替えられます。

メモ

- 「ND-PG1」接続時および簡易ハイブリッドモードでご使用の際は、自動的にセンサー学習の補正ができませんので、手動でリセットしてください。
- 悪路（雪道など）を走行してスリップした場合、自動的にセンサーの距離学習を再学習することがあります。センサー学習を再学習させたくない場合は、センサーメモリーを切り替えてください。

センサー学習状態のリセットが必要な場合

- 本機の設置場所を変更した場合
- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合
- 測位の誤差が大きくなった場合
- 「ND-PG1」接続時および簡易ハイブリッドモードでご使用の際にタイヤを交換した場合

センサー学習状況のリセットのしかた

1 必要に応じて学習メモリーを切り替える

→次項の「学習メモリーとは」

2 学習メモリーをリセットする

メモ

学習メモリーのリセットは「センサ学習状況」画面で行います。

→「ハードウェア情報を見る」
(154P)

学習メモリーとは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されている学習メモリーに蓄積されます。センサーメモリー1とセンサーメモリー2の2つが用意されています。

メモ

- センサーメモリー1とセンサーメモリー2のどちらを使用するかは、切り替えることができます。
→「センサ学習状況を見る」(155P)
- センサー学習状況は確認することができます。
→「センサ学習状況を見る」(155P)
- 学習メモリーをリセットすると、「車線変更促し表示」(→115P)の設定はOFFになります。

ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

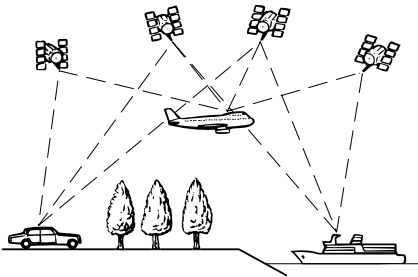
本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位の時よりも測位の誤差がやや大きくなる。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります。(高精度3Dハイブリッドシステム)

また、車速パルスの利用が困難な外国車やディーゼル車などでは、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）を接続することにより、3Dハイブリッドシステムを実現できます。(車種によっては、「ND-PG1」を接続できないこともあります。)

簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、傾斜計（Gセンサー）が車速パルスの代わりに車の移動距離の測定に使用されます。したがって、従来通りの水平方向のみの角度検出を行うハイブリッド測位となり、精度も低くなります。道路の傾斜の影響を受けるため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなる場合があります。

3Dハイブリッドセンサーの特長

● 高度差の測位も可能です

従来の平面的な測位の場合、立体交差や上下に有料道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは高速道路と一般道のどちらににいるのかの判断ができませんでした。

3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上下りも測位できるため、地図上は高速道路と一般道が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。

● ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します

山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、従来は自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。

3Dハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。

● 誤差の学習や補正を行います

- 3Dハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。

- 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。

- 走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

メモ

3Dハイブリッドセンサーは、GPS衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPSによる測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS受信状態で1時間程度走行すると、精度が回復します。

■D-GPSについて（サービスは終了しました）

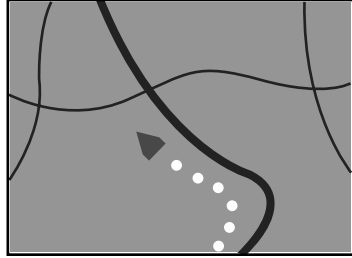
（株）衛星測位情報センター提供のD-GPSサービスは、2008年3月末日をもって終了しました。詳しくは、別添えの「カーナビゲーションにおけるD-GPSサービス終了のお知らせ」をご覧ください。

※本機内蔵のFM多重チューナーの設定（120P）は、「VICS」または「FM多重」を選択してご使用ください。

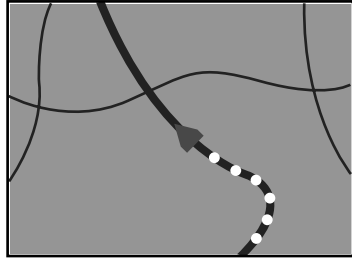
■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

■道路データについて

シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

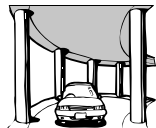
GPSや自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができます。ただし、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなる場合があります。

GPS測位不可による誤差

- 2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができません。
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができません。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

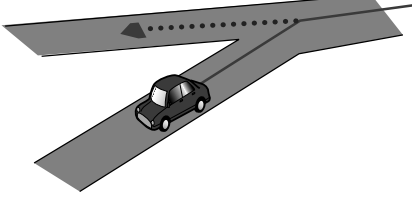
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - 車載のテレビで56チャンネル (UHF) を受信している。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS衛星自体による誤差

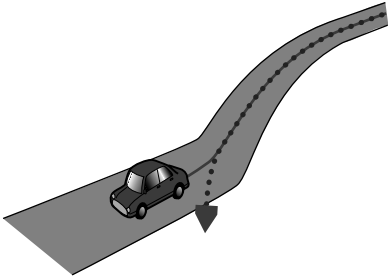
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3次元測位のときは、約10m～100mの誤差で現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。（GPS測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信したときに、最も良い精度が得られるようになっていきます。）
- GPS測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



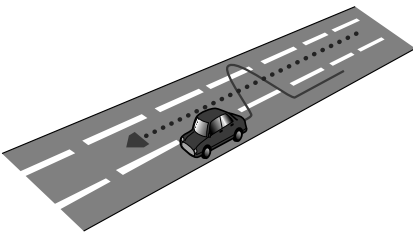
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



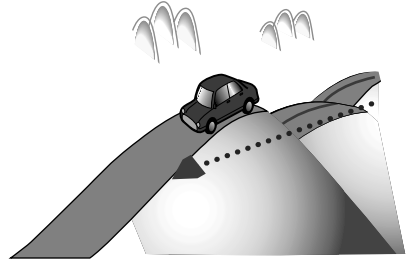
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



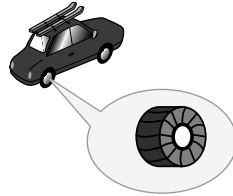
- 蛇行運転をした場合。



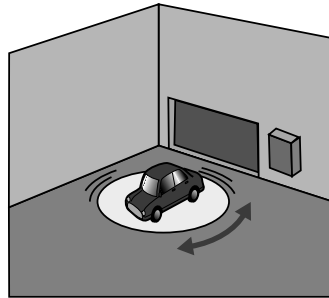
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



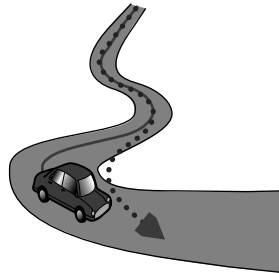
- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



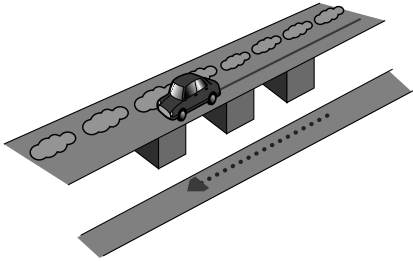
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



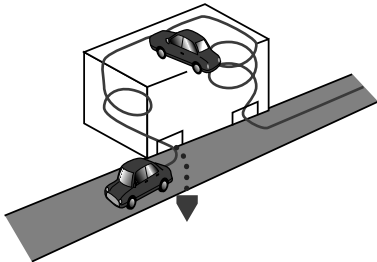
- ヘアピンカーブが続いた場合。



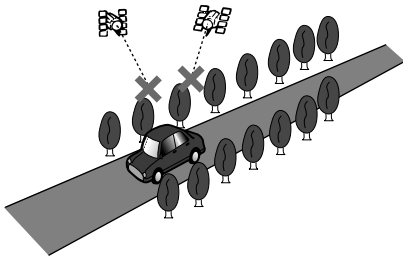
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



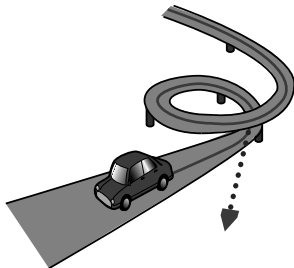
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



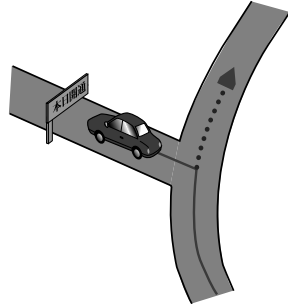
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



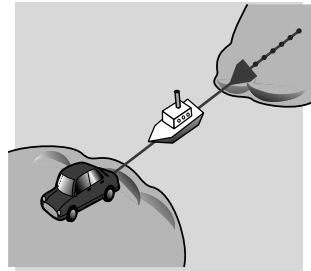
- ループ橋などを通った場合。



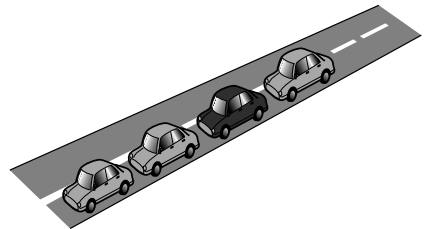
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



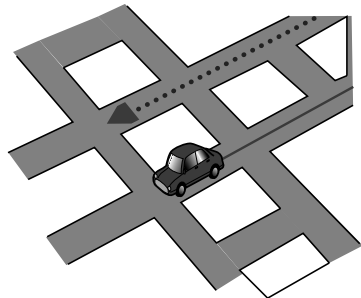
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

有料・高架道路での誤差について

有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3Dハイブリッドセンサーが勾配を検知します。本機はこの勾配の検知とディスクに収録されている道路の高さ（勾配）のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、勾配を検知しても道路の高さのデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

低速時の位置精度について

車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。その様な車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

駐車場マップについて

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムでは、位置精度が確保できない（上り下りの測位ができないなど）ため、正常に動作しません。
- 以下のような走行状況では、駐車場マップに切り替わらないことがあります。
 - しばらく右左折せずに長距離走行した後に進入した場合
 - Uターンするような方向で進入した場合
 - バック信号が接続されていない場合
 - 時速数km程度の低速で車速パルスが出力されない車種の場合
 - 収録されていない駐車場経由で進入した場合
 - 新設された入口から入場した場合

車線変更促し表示について

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムや「ND-PG1」（別売）を使用しているときは、位置精度が確保できないため動作しません。
- 以下のような走行状況では、正しく車線変更促し表示が表示されないことがあります。また、誤って表示されることもあります。
 - 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合
 - 蛇行運転をした場合
 - 振動の多い車の場合
 - 車線をまたいで走行した場合
 - 初期学習があまりすすんでいない場合
 - 車線変更禁止区間で車線変更した場合
 - ナビゲーション本体が正しく取り付けられていない場合

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

- 実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。そのような場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとしては、タウンページのデータと、訪問宅（個人宅）のデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、町村丁目レベルの代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのは、ATM・駐車場・コンビニ・ガソリンスタンドのみで、隔週休日・不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

メモ

本品に誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

ご注意

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索（登録道使用ルート、学習ルートを含む）は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。なお、シティマップに表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、シティマップ上でもルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 案内地点には、右左折や有料道路出口などを案内する音声自動的に設定されます。

ルート探索のしかた

- 出発地（自車位置）から最も近い、道路前方の交差点が第1案内地点となります。出発地を指定したときは、指定した地点から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方が第1案内地点になります。
 - 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
 - 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
 - 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
 - 回避エリアを登録しても、その場所が回避されないことがあります。
 - 渋滞考慮ルート設定、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
 - 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
 - 立寄地や登録道使用、乗り降りICの指定、および音声操作によるルート探索、自宅ボタンでの自宅ルート探索を行った場合、ルートは1本のみ探索されます。
 - 最長5,000km程度までルート探索できます。
 - 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
 - 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。
- ※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。(音声案内は継続されます。)

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「有料出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路が直交する交差点では、交差点拡大図の下から自転車マークが交差点内に現れます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自転車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向から現れます。
- 第1案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。

- 「行き先・場所」メニューからインターチェンジなどの有料道路施設を検索し、表示された地点を出発地としてルートを探した場合、料金が正しく表示されません。有料道路に乗る前の地点を出発地としてルートを探してください。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。
- 有料道路をまったく使用しないときは、「0円」と表示されます。

オートリルートについて

目的地、立寄地付近に時間規制があり、ルート設定時は通行できたが、走行中に通行不可となることがあります。このときオートリルートをする、ルート設定に失敗し、画面にはメッセージが表示されないため、オートリルートが働かなかったように見えます。この場合は、目的地、立寄地の場所を変更する必要があります。

ルートアドバイザーについて

- 登録道が設定されていても、案内地からの距離などの条件で働かないことがあります。また、登録した道を必ず使用するとは限りません。
- オートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道情報があっても、案内地からの距離などの条件で働かないことがあります。またオートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道情報を必ず使用するとは限りません。

抜け道について

本製品に収録されている抜け道データは、株式会社昭文社提供のものを使用しています。細街路の抜け道は、ルート探索時に優先して使用されることはありません。

VICIS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICISセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- 有料道路の高架下の一般道を走行中に、有料道路のビーコンを受信することがあります。
- ビーコンアンテナの前に金属などの遮蔽物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどに、ビーコンを受信できないことがあります。

VICISセンターのお問い合わせ先

VICISの概念、計画、または表示された情報に関することは、(財)VICISセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）

電話番号：0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3562-1719（全国）

また、VICISの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

予報に関する注意事項

予報は、(株)ライフビジネスウェザー発表によるものです。

天気予報、季節予報（紫外線、杉花粉）の発表時刻は、4:00と16:00です。週間天気予報の発表時刻は、11:00と17:00です。最新の予報をご利用ください。

天気予報および週間天気予報は、全国を20キロメッシュの格子状に分割し、分割されたエリアの天気と気温の予報を表示します。

天気予報 約2日先までの予報が3時間おきに表示されます。

週間天気予報 1週間先までの予報が1日おきに表示されます。

地面の色は、天気を20キロメッシュごとに塗り分けたものです。

雨、大雨、雪、大雪は、以下の降水量を意味しています。

雨 降水量10mm/h未満

大雨 降水量10mm/h以上

雪 降水量5mm/h未満

大雪 降水量5mm/h以上

メモ

大雨や大雪の表現は、災害との関連を表しているものではありません。ご利用の際は、ご注意ください。

季節予報（紫外線、杉花粉）は、1日分の最大値が表示されます。

ご注意

この予報をもとに遂行された活動において発生したいかなる人物の損傷、死亡、所有物の損失、損害に対して、パイオニア株式会社と株式会社ライフビジネスウェザーでは、すべての求償の責は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

メモ

- (株) ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は予告なく変更される場合があります。
- パイオニア株式会社ならびに株式会社ライフビジネスウェザー社が提供する気象情報は、気象学を中心とした科学技術によって解析したプロダクトです。現状の科学技術では人知の及ばない要素を含んでいるため、局地的な地形などの効果や予想し得ない急激な変化により、現況と予報との差異が現れることがあります。

天気予報のデータ取得エリアについて

●東日本

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、千葉、新潟、群馬の一部、埼玉の一部、東京の一部、神奈川の一部、富山の一部、長野の一部

●中日本

山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫の一部

●西日本

滋賀の一部、京都の一部、奈良の一部、和歌山の一部、大阪、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

メモ

本機では地図表示不可能な諸島やデータ取得エリア範囲外の諸島などは、気象情報の提供範囲外となる場合があります。(一部、地図表示可能な諸島でも、気象情報の提供範囲外となる場合があります。)

アメダス情報について

アメダス情報は、気象庁発表によるものです。

データは毎正時に観測されて発表されます。最新の情報(過去1時間以内のもの)をご利用ください。

全国各地のアメダスポイントごとに、下表に示されるデータが色分けされた四角(2D表示の場合)または棒グラフ(3D表示の場合)で、風向・風速が矢印で表示されます。

メモ

アメダス情報を見るときは、地図を20kmスケール以上にしてください。10kmスケール以下の詳細な地図では、アメダス情報は表示できません。

表示されるデータについて

データの種類	観測地点の数	表示単位
降水量	約1300か所	0.5mm単位
気温	約840か所	0.1℃単位
風向・風速	約840か所	16方位、 1m/s単位
日照時間	約840か所	0~60分、 1分単位
積雪量	約300か所	1cm単位
データ日時	-	毎正時

詳細市街地図収録エリアについて

本ディスクには、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積95%以上（278都市）

多賀城市、玉村町、さいたま市、川越市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、大網白里町、九十九里町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、野々市町、昭和町、羽島市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、北方町、清水町、名古屋市、一宮市、半田市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、

江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、武豊町、幸田町、みよし市、木曽岬町、朝日町、川越町、彦根市、草津市、守山市、向日市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、早島町、松茂町、北島町、春日市、志免町、那覇市、宜野湾市、浦添市、豊見城市

整備面積 80%以上（27都市）

塩竈市、ひたちなか市、五霞町、熊谷市、木更津市、山武市、栄町、白子町、長柄町、相模原市、中央市、春日井市、豊川市、常滑市、愛西市、桑名市、東員町、近江八幡市、野洲市、長岡京市、池田市、御所市、葛城市、和歌山市、府中町、水巻町、南風原町

整備面積50%以上（64都市）

名取市、七ヶ浜町、利府町、富谷町、水戸市、取手市、守谷市、上三川町、前橋市、伊勢崎市、吉岡町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、深谷市、越生町、小川町、成田市、市原市、芝山町、長生村、秦野市、松田町、射水市、岐阜市、各務原市、坂祝町、三島市、焼津市、犬山市、美浜町、四日市市、豊郷町、宇治市、城陽市、岸和田市、高槻市、貝塚市、茨木市、泉佐野市、泉南市、島本町、河南町、加古川市、三木市、猪名川町、高取町、明日香村、和木町、徳島市、藍住町、宇多津町、

松前町、北九州市、福岡市、中間市、大野城市、太宰府市、宇美町、須恵町、新宮町、粕屋町、芦屋町

整備面積50%未満（729都市）

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、新ひだか町、音更町、幕別町、釧路町、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、野辺地町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ケ崎町、大槌町、山田町、仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、大河原町、柴田町、山元町、松島町、大和町、美里町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、仙北市、八郎潟町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上市市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、高畠町、川西町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、鏡石町、会津美里町、矢吹町、石川町、三春町、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎町、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、美浦村、阿見町、八千代町、境町、利根町、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、

大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町、芳賀町、壬生町、野木町、岩舟町、那須町、高崎市、桐生市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、みなかみ町、邑楽町、秩父市、飯能市、本庄市、ときがわ町、横瀬町、長瀨町、小鹿野町、美里町、神川町、上里町、寄居町、銚子市、館山市、旭市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、南房総市、匝瑳市、香取市、いすみ市、多古町、東庄町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長南町、御宿町、鋸南町、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、内灘町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、越前市、坂井市、永平寺町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、富士川町、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大田市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、高森町、豊丘村、池田町、小布施町、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、揖斐川町、大野町、池田町、富加町、川辺町、八百津町、静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、

伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、函南町、長泉町、小山町、吉田町、森町、豊橋市、岡崎市、瀬戸市、豊田市、新城市、田原市、南知多町、津市、伊勢市、松阪市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、明和町、玉城町、紀宝町、大津市、長浜市、栗東市、甲賀市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、木津川市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、和泉市、箕面市、豊能町、能勢町、千早赤阪村、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、小野市、三田市、加西市、篠山市、丹波市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、福崎町、上郡町、奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、湯浅町、有田川町、美浜町、由良町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、東出雲町、岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、浅口市、里庄町、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、平生町、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、美馬市、三好市、石井町、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、多度津町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、砥部町、高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、いの町、大牟田市、

久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、小郡市、筑紫野市、宗像市、糸島市、古賀市、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、那珂川町、岡垣町、遠賀町、鞍手町、桂川町、筑前町、大刀洗町、広川町、糸田町、川崎町、吉富町、築上町、佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、みやき町、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、佐々町、熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、天草市、合志市、大津町、御船町、益城町、芦北町、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、日出町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高鍋町、門川町、鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、さつま町、姪良市、石垣市、名護市、糸満市、沖縄市、うるま市、宮古島市、北谷町、中城村、西原町

オービスポイントについて

別売のオービスROMを利用すると、全国のオービスポイントとねずみ取り目撃ポイントの情報を画面（オービスポイントのみ）と音声の両方で案内させることができます。

■オービスポイントを表示させるには

オービスポイントのマークを画面に表示させるには、「オービスポイント」の設定を「全ポイント」、「有料道のみ」、「一般道のみ」のいずれかにしてください。

→「設定を変更する」(112P)

メモ

- オービスROMには、株式会社三栄書房のSSR委員会が確認したポイントのデータが収録されています。
- ログマーク（123P）の場合とは異なり、オービスポイントの詳細情報を表示させることはできません。

バックカメラを組み合わせる

AVIC-V07MD/V07、TV-W08と組み合わせているときは、市販のバックカメラをVTR1に接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると後方の映像に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

AVIC-XH9/V7MD/V7/V77MD/V77、TV-W8/W88をお使いの方は、各『オーディオブック』または『取扱説明書』をご覧ください。

ご注意

シフトレバーを「R」（リバース）の位置にした時にバックカメラ以外の映像が表示されると危険ですので、バックカメラを接続していないときは、「バックカメラ連動」を「ON」に設定しないでください。

メモ

- バックカメラの映像は、本機のリカビデオ入力（VTR1）に接続してください。詳しくは、『取付説明書』をご覧ください。
- TVモニターの「システム設定」－「AV入力設定」のVTRを「ON」に設定してください。
- バックカメラの接続のしかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- ナビゲーションの3Dハイブリットセンサーの初期学習が終了していないときや、ナビゲーション起動中は、バックカメラには切り替わりません。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの映像はワイドモードの設定に関係なく、常に「フル」で表示されます。
- バックカメラの映像の画質調整値は、「VTR1」として記憶されます。
- バックカメラ中の音声は、「VTR1」になります。

■バックカメラの映像を解除する

バックカメラの映像をナビゲーションの画像に切り替えるには、以下のようになります。

1 [NAVI/AV] を押す

ナビゲーションの画像に切り替わります。

メモ

バックカメラの映像を再度表示させるには、シフトレバーをいったん「R」（リバース）以外の位置にしてから、「R」に入れ直してください。

ナビゲーションの2画面表示

ナビゲーションの画像とテレビの映像を2画面表示させているときでも、ナビゲーションの操作をやすくするため、一時的にナビゲーションの画像だけになることがあります。

メモ

- メニュー操作や音声操作をしたときなどは、ナビゲーションの画像が優先的に表示されます。(一時的に1画面になる場合もあります。)
- 地図の表示方法をツインビューに切り替えたときは、ツインビューの左側の地図がナビゲーションの画像になります。
- 地図の表示方法をドライバズビューに切り替えたときは、ドライバズビューのウィンドウマップ内の地図がナビゲーションの画像になります。
- 地図の表示方法をハイウェイモードに切り替えたときは、サイドマップの地図がナビゲーションの画像になります。
- 「AV画面割り込み表示」(→120P)を設定していると、ソース画面の表示中でも交差点案内表示(ドライバズビューまたは交差点拡大図の表示)が割り込み表示されます。
- AVIC-V07MD/V07をご使用の場合、ピクチャーサイドピクチャー画面の左右を入れ替えた状態で、バックカメラ映像やAV画面割り込み表示を表示すると、表示が解除された際にピクチャーサイドピクチャー画面の左右入れ替えも元に戻ります。

かな漢字変換できる記号

この読みで 変換すると	この記号が入力できます
しかく	□ ■
ひしがた	◇ ◆
まる	○ ◎ ●
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
ほし	☆ ★
てん	・
やじるし	→ ← ↑ ↓
たす	+
ぶらす	+
ぶらすまいなす	±
かける	×
わる	÷
いこーる	=
から	～
きごう	、 ． 〃 ． ； ； ? ! ` ´ ˆ ˇ ˘ ˙ ˚ ˛ ^ _ ˘ ˇ > ゞ // 全々 め ○ — — — ^ ~ … … ヲ ヲ × ㄣ () [] { } > < > 「 」 『 』 【 】 + - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ´ ° ℃ ¥ \$ € £ % # @ § ☆ ○ ◎ ※ 〒

この読みで 変換すると	この記号が入力できます
おなじ	、 ˘ ˙ ˚ // 全 々
こめじるし	※
せくしょん	§
げた	=
ゆうびん	〒
ど	℃
せっし	°C
えん	¥
どる	\$
せんと	¢
ぼんど	£
ぱーせんと	%
ゆえに	∴

機能設定一覧

地図表示

設定内容の太字は、購入直後に選択されている設定です。

設定項目	設定内容
地図色切替	時刻連動
	イルミ連動
	昼色固定
走行軌跡自動消去	自宅周辺
	電源OFF時
	OFF
走行軌跡表示	ON
	OFF
抜け道表示	ON
	OFF
登録地画像表示	ON
	OFF
立体ランド マーク表示	ON
	OFF
天気予報表示	ON
	OFF
スクロール方面表示	ON
	OFF
2D固定スクロール	ON
	OFF

設定項目	設定内容
2D地図の回転	ヘディングアップ
	ノースアップ
ノースアップ フロントワイド	ON
	OFF
シティマップ	ON
	OFF
スカイシティマップ	ON
	OFF
ドライバーズビュー ウィンドウマップ	ON
	OFF
シティハイウェイ ウィンドウマップ	高速マップ
	通常マップ
	OFF
オートハイウェイ マップ	シティハイウェイ マップ/ハイウェイ モード
	ハイウェイモード
	OFF
駐車場マップ	オート
	マニュアル

ルート・案内

設定内容の太字は、購入直後に選択されている設定です。

設定項目	設定内容
オートフリーズーム	ON
	OFF
オートアングルチェンジ	ON
	OFF
車線変更促し表示	ON
	OFF
交差点案内表示	ドライバーズビュー
	拡大図
方面案内表示	ON
	OFF
ルートインフォメーション	ON
	OFF
道のり・到着予想時刻表示	目的地
	立寄地
到着予想時刻速度 (一般道)	20km/h
	30km/h
	40km/h
到着予想時刻速度 (有料道)	60km/h
	80km/h
	100km/h
ルート探索時基準	推奨
	距離優先
	幹線優先
有料道路使用条件	標準
	回避
フェリー航路 使用条件	標準
	優先
	回避

設定項目	設定内容
登録地のルート 探索条件	使う
	使わない
回避エリア	ON
	OFF
学習ルート探索	ON
	OFF
渋滞考慮ルート探索	ON
	OFF
オートリルート	ON
	OFF
ルートアドバイザー	登録道/リルート履 歴/抜け道
	登録道/リルート履歴
	抜け道
	OFF
渋滞考慮オートリ ルート	ON
	OFF

VICS・FM多重

設定内容の太字は、購入直後に選択されている設定です。

設定項目	設定内容
渋滞オートガイド	ON
	OFF
VICS情報表示 対象道路	有料道・一般道
	有料道のみ
	一般道のみ
	表示しない
渋滞情報表示	ON
	OFF
渋滞情報表示の点滅	ON
	OFF
順調表示	ON
	OFF
規制表示	ON
	OFF
駐車場情報マーク表示	ON
	OFF
区間旅行時間表示	ON
	OFF
ビーコン即時表示	文字・図形
	図形
	OFF
ビーコン即時表示 時間	5秒
	10秒
	15秒
FM多重チューナー の設定	VICS
	D-GPS
	FM多重
	VICS/D-GPS ダブル

その他

設定内容の太字は、購入直後に選択されている設定です。

設定項目	設定内容
情報ウィンドウ	市区町村名
	走行道路名
	緯度経度
	AV情報
AV画面割り込み表示	交差点案内表示/ ビーコン
	交差点案内表示
	ビーコン
	OFF
バックカメラ連動	ON
	OFF
ボイスヘルプ	オート
	マニュアル
音声認識話者学習	ON
	OFF
オーディオミュート	ガイド・電話・認識
	電話・認識
	OFF
センサメモリ切替	メモリ1
	メモリ2
TV走査方式	インターレース
	ノンインター レース
有料道注意地点・ 県境案内	ON
	OFF
踏切案内	ON
	OFF
右左折専用レーン案内	ON
	OFF

設定項目	設定内容
リフレッシュ案内	ON
	OFF
ライト点灯案内	ON
	OFF
オービスポイント	全ポイント
	有料道のみ
	一般道のみ
	OFF

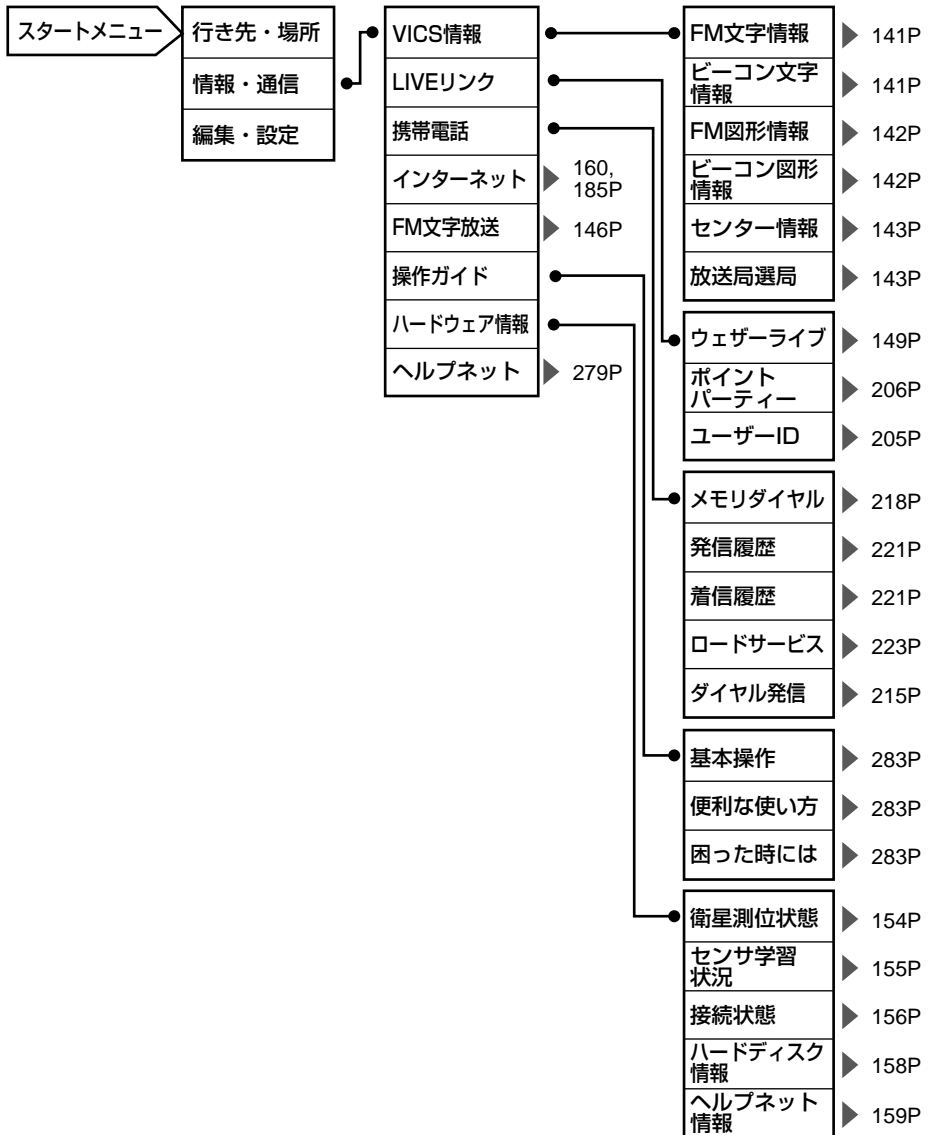
メモ

- 「バックカメラ連動」は、AVIC-V07MD/V07、TV-W08が接続されており、かつVTR1がONのときに設定できます。
バックカメラについては「バックカメラを組み合わせる」(318P)を参照してください。
- オービスポイントを案内させるには、別売のオービスROMが必要です。

索引

メニュー索引

スタートメニュー	行き先・場所	●●	名称で探す	▶ 30P
	情報・通信		ジャンルで探す	▶ 31P
	編集・設定		住所で探す	▶ 32P
			電話番号で探す	▶ 33P
			周辺施設を探す	▶ 35P
			観光エリアから探す	▶ 37P
			マイリストから探す	▶ 38P
			登録地、履歴から探す	▶ 39P



スタートメニュー	行き先・場所	ドライブプラン ▶ 53P	車両メンテナンス ▶ 264P
	情報・通信	ドライブ スケジューラー ▶ 256P	車両設定 ▶ 266P
	編集・設定	車両メンテナンス	ETC情報 ▶ 276P
		ルート編集	ルート確認 ▶ 68P
		データ編集	ルート再探索 ▶ 70P
		ロゴマーク 表示設定 ▶ 123P	詳細ルート設定 ▶ 70P
		各種設定	立寄地送り ▶ 74P
			ルート消去 ▶ 75P
			登録地編集 ▶ 78P
			ロゴマークデータ 編集 ▶ 91P
			回避エリア編集 ▶ 101P
			登録道編集 ▶ 98P
			オートルート 履歴編集 ▶ 107P
			登録りルート 地点編集 ▶ 109P
			マイリスト消去 ▶ 110P
			検索履歴消去 ▶ 106P
			学習ルートデータ 消去 ▶ 105P
			走行軌跡消去 ▶ 106P
			メモリアルダイヤル・ 着発信履歴消去 ▶ 104P
			オービス データ消去 ▶ 111P
			機能設定 ▶ 112P
			カスタマイズ ▶ 124, 133P
			短縮ダイヤル設定 ▶ 130P
			通信接続設定 ▶ 162P
			調整・補正 ▶ 131, 132P
ショート カットメニュー	クイックルート探索 ▶ 52P		
	ここへ行く ▶ 41, 70P		
	詳細情報を見る ▶ 39P		
	ルートを編集する ▶ 68, 70, 73, 74P		
	ここを登録する ▶ 77P		
	周辺施設を探す ▶ 35P		
	ノースアップ ▶ 16P		
	地図スクロール ▶ 40P		

メモ

ショートカットメニューを表示させた状態によって、表示されない項目や選択できない項目があります。

用語索引

■五十音順

あ行

アッテネーター	285
アドレス	
削除する	194
登録する	192
ロックする	193
アドレス帳	190, 192
アドレス帳メニュー	192
アメダス情報	148, 314
見る	152
案内地	62
行き先	
緯度経度	33
観光エリア	37
ジャンル	31
周辺施設	35
住所	32
登録地	39
電話番号	33
マイリスト	38
マップコード	34
名称	30
履歴	39
ルートを探索させる	41
位置情報（ポイントパーティーメンバー）	212
緯度経度で探す（緯度経度検索）	33
イルミネーション	157
インターチェンジ	48, 73
インターネット	160, 183
再読込	173
接続する	169
接続を解除する	182
インターネットとは	160
インターネットサービス	
プロバイダ	160
インテリジェントリルート	66
ウィンドウマップ	17
ウェザーライブ	147
取得エリア設定	149
取得データ設定	149
情報取得	150
情報表示	150

ウェブページ	169
保存する	181
ウォッチ機能	208
右左折専用レーン案内	14, 122
衛星測位状態	154
エラーメッセージ	295
エンジンオイルの交換時期	264
お知らせ金額（ETC）	278
オーディオミュート	121, 252
オートアングルチェンジ	115
オートハイウェイマップ	115
オートフリーズーム	66, 115
オートリルート	66, 117
オートリルート履歴	
消去	108
編集	107
オービスポイント	122, 318
オービスROM	122
オフフック/切替ボタン	5
音声案内	64
音声操作	224
設定を変える	252
音声操作の流れ	225
音声認識語	
基本操作	235
その他の操作	251
電話をかける	240
ルート操作	237
AV操作	243
VICS情報	239
音声認識コントローラー	6, 225
音声認識話者学習	121, 229
オンフック/確定ボタン	5
音量	131

か行

回転（地図）	20
回避エリア	101, 117
消去	103
名称を変更	102
回避エリアを考慮したルート探索	43
回避したい場所	101
学習状態	115
学習ルート探索	43, 117
角度（地図を見る）	21
カスタマイズ	
画面の背景	133
10キー	124

壁紙	133	高精度3Dハイブリッドシステム	304
画面の背景をカスタマイズする	133	合流方向案内	14
画面表示位置補正	132	ここへ行く	41, 70
簡易ハイブリッドシステム	286	ここを登録する	77
観光エリアから探す	37	誤差	306
漢字表	269	困った時には	283
記号	319		
気象情報	147		
音声で操作する	251	さ行	
取得する	149	サイドマップ表示	16
規制情報	140	最終保守点検日	159
規制表示	119	削除（文字）	269
軌跡表示	12	作成	
季節予報	148	ドライブスケジュール	256
見る	151	ドライブプラン	53
機能設定	112	メール	186
その他	120	サーチバック検索	39
地図表示	113	サービスエリア	23
ルート・案内	115	紫外線予報	148
VICS・FM多重	118	市街地図	19
基本操作	283	次回保守点検予定日	159
キャラクタ（音声操作）	225	シグネチャー	
距離/方位/傾斜(3D)の学習度	155	登録する	197
キーワード検索	30	自車位置修正	132
緊急情報の自動表示	140	自車マーク	12
緊急通報発呼	159	施設情報（有料道路）	22
禁止マーク	291	自宅に帰るルート	51
クイックルート探索	52	音声操作で探す	234
区間旅行時間表示	119	自宅に変更する	88
クリックابلマップ	171	自宅ボタン	5
グループ分け（登録地）	86	自宅を登録する	76
傾斜計	155	シティハイウェイマップ	17, 24
携帯電話	214	シティハイウェイウィンドウマップ	114
携帯電話情報	104	シティマップ	17, 19, 114
警報・注意報	148	自動保守点検	280
見る	153	車検の期日	265
県境案内	14	車載機ID	159
現在地画面	12	車線変更促し表示	63, 115
表示させる	13	車速パルス	157
現在地の地名	12	車両情報	264
現在地ボタン	5	設定する	266
現在地を登録する	77	車両メンテナンス	264
検索できるジャンル	253	ジャンクションの分岐先	23
検索履歴を消去する	106	ジャンルで探す	31
効果音	84	音声操作で探す	253
交差点案内表示	116	手動保守点検	281
拡大図	116	週間天気予報	148
ドライブスビュー	116	見る	151
		十字カーソル	15

さ行(つづき)

住所で探す	32
音声操作で探す	232
渋滞オートガイド	67, 118
渋滞・規制情報	75
渋滞考慮オートリルート	68, 118
渋滞考慮ルート探索	43, 117
渋滞情報表示	118
渋滞情報表示の点滅	118
渋滞チェック	239
渋滞ボタン	5
周辺施設を探す	35
音声操作で探す	231
受信(メール)	198
受信メールメニュー	198
出発地指定	50
順調表示	119
ジョイスティック/決定ボタン	5
消去	
オートリルート履歴	108
オービスデータ	111
回避エリア	103
携帯電話情報	104
検索履歴	106
走行軌跡	106
登録地	88
登録道	101
登録リルート地点	110
ドライブスケジュール	262
ドライブプラン	60
登録したロゴマーク	97
ヘルプネット機能	282
マイリスト	110
ルートの学習内容	105
PCカード	274
詳細市街地図収録エリア	315
詳細情報を見る(検索した場所)	39
詳細ルート設定	49
情報ウィンドウ	12, 120
緯度経度	120
市区町村名	120
走行道路名	120
AV情報	120
初期登録番号	205
ショートカットダイヤル	216
ショートカットメニュー	27

署名

登録する	197
自立航法	303
スカイアングル	21, 24, 63
スカイシティマップ	17, 20, 114
スカイビュー	17
杉花粉予報	148
スクロール	18
スクロール画面	15, 40
スクロール方面表示	114
図形情報(VICS情報)	142
スケジュールリスト	261
スケール	19
スケールコントローラー	5
スケール表示	12
スタートメニュー	26
スペース	269
接続状態	156
接続設定(インターネット)	162, 164
接続パスワード	160
接続ID	160
設定地点リスト	69
セーフティインフォメーション	14
全角	268
前後G/回転速度計	155
センサ学習状況	155
センサメモリ切替	122
センサメモリのリセット	302
センター情報(VICSセンター)	143
前納料金(ETC)	277
全ルート再探索	74
走行軌跡自動消去	113
走行軌跡表示	113
走行軌跡を消去する	106
走行道路名	12, 120
走行道路名称表示	12
操作ガイド	283
操作ボタン	6
送信(メール)	186
送信メールメニュー	186
挿入(文字)	270
測位状態	155
速度/トリップ/パルス数	156

た行

ダイヤル発信	215	転送（メール）	189, 200
ダイレクトキー	28	添付（ファイル）	188
タウンページデータ	310	添付ファイル	
立寄地	47	削除する	204
位置を修正	72	操作する	203
先送り	74	並べ替える	204
削除	72	開く	202
追加	70	電話番号で探す	33
並べ替え	71	音声操作で探す	232
立寄地指定	47	電話をかける	215
他のルート	46	音声操作で	240
探索条件	42, 86	通話の履歴から	221
短縮ダイヤル	130	登録された電話番号へ	217
地図色切替	113	メモリダイヤルから	218
地図画面		到着予想時刻速度（一般道）	116
表示方法を変える	16	到着予想時刻速度（有料道）	116
地図スクロール	40	登録	
地図で探す	29	アドレス	192
着信履歴	221	回避したい場所	101
駐車場情報マーク表示	119	現在地	77
駐車場マップ	13, 115	現在地地図の見えかた	21
調整・補正		探した場所	77
音声認識話者学習	229	シグネチャー	197
音量調整	131	自宅	76
画面表示位置補正	132	署名	197
自車位置修正	132	定型文	195
PCカードフォーマット	275	通りたい道路	98
ツインビュー	18	ポイントパーティーのメンバー	209
通信接続設定	162	ロゴマーク	94
通報する（ヘルプネット）	279	登録地画像表示	113
定型文		登録地から探す	39
削除する	196	登録地の画像	82
登録する	195	登録地の効果音	84
編集する	196	登録地の名称	79
入力する	270	登録地のよみ	80
訂正ボタン	6	登録地のルート探索条件	117
デジカメリンク	82	登録地リスト	78
データ編集	78	登録地を消去する	88
テーマ別検索	31	登録道	49, 73, 98
デモ走行	69	消去	101
テレビ	243	編集	99
音声で操作する	243	登録道指定	73
天気予報	147	登録リルート地点	107
見る	150	都市高速の入口	62
天気予報表示	113	トップ画面	184
電源電圧	157	ドメインネーム	184
		ドライバーズアングル	21, 24

た行(つづき)

ドライバースビュー	17
ドライバースビューウィンドウマップ	114
ドライブスケジューラ	256
ドライブスケジュール	256
一括消去する	263
確認する	259
作成する	256
実行時の確認画面	259
実行を場所で指定する	260
消去する	262
日時または場所を変更する	262
ドライブプラン	53
確認する	59
作成する	53
実行する	57
実行中	58
消去する	60
編集する	59
取付け位置	157

な行

ナビゲーションのしくみ	303
入力(文字)	267, 268
入力パレット	267
任意保険の期日	265
抜け道情報	13
抜け道表示	113
ノースアップ	16
ノースアップフロントワイド	16, 114
ノーマルビュー	17
乗り降りIC	48, 73

は行

ハイウェイモード	16, 18
ハイパースクロール	18
パーキングエリア	23
パーキングブレーキ	157
パーキングブレーキコード	285
場所ボタン	6
パスワード(ポイントパーティー)	207
バックカメラ	319
バックカメラ連動	121
バック信号	157
発信履歴	221
発話するタイミング	225
ハードウェア情報	154

ハードディスク情報	158
半角	268
ハンズフリー通話	214, 217
ビーコン	136
ビーコン情報の自動表示	140
ビーコン即時表示	119
ビーコン即時表示時間	119
ビーコンユニット	158
ビデオ	243
音声で操作する	243
非表示(ロゴマーク)	91
ヒューズ	284
ビューメモリー	21
ファイルを添付する	188
フェリー航路使用条件	117
フォーマット(PCカード)	275
ブックマーク	174, 184
削除する	178
並べ替える	177
ロックする	177
ブックマークメニュー	174
踏切案内	14, 122
ブラウザ画面	166
ブラウザの操作	170
プロトコル	183
プロバイダ	162, 183
分岐イラスト表示	63
別ルートボタン	5
ヘディングアップ	12, 16
ヘルプネット	279
機能を消去する	282
システムの点検	280
通報する	279
ヘルプネット情報	159
変換	268
変更	
スケジュールの日時または場所	262
ナビゲーションの機能設定	112
自宅に変更	88
登録地の位置	87
登録地のグループ名	90
登録地の探索条件	86
編集	
オートリルート履歴	107
回避エリア	102
定型文	196
登録地	78

登録道	99	削除する	191, 202
登録リルート地点	109	作成する	186
ドライブプラン	59	受信する	198
目的地や立寄地	70	送信する	186
ロゴマーク	91	転送する	189, 200
返信	200	ロックする	190, 201
便利な使い方	283	メールアドレス	184
ボイスヘルプ	121, 252	メール環境	185
ポイントパーティー	205	免許更新の期日	265
開始する	206	目的地	
参加する	210	位置を修正する	72
終了する	213	探す	29
初期登録	205	文字種を切り替える	267
設定を変更する	207	文字情報 (VICS情報)	141
方位表示	12	文字の入力操作	267
放送局 (VICS情報)	143	文字を削除する	269
方向指定	85	文字を入力する	268
方面案内表示	116	戻るボタン	5
他のルート	46		
保存する (PCカード)	271		
ホームページ	173		
		や行	
ま行		有料道注意地点・県境案内	122
マイリスト	38	有料道注意地点	14
消去	110	有料道路使用条件	117
マイリストから探す(マイリスト検索)	38	有料道路の施設情報	22
マーク (登録地)	80	ユーザーID	205
マップコード	34	容量表示	158
マップコードで探す		よみ (登録地)	80
(マップコード検索)	34	読み込む (PCカード)	273
マップマッチング	305		
マルチビューコントローラー	5	ら行	
未送信メール	188	ライト点灯案内	14, 122
道のり・到着予想時刻表示	116	ラジオ	250
ミュージックサーバー	247	音声で操作する	250
音声で操作する	247	ランドマーク音声案内	64
無変換	268	ランドマーククリライタブル	91
名称で探す	30	リスト画面	16
メニュー		リスト表示	26
基本的な操作	25	リセット (センサーメモリー)	302
ショートカットメニュー	27	リセットボタン	284
スタートメニュー	26	リーダー (ポイントパーティー)	206
メモリダイヤル	218	立体ランドマーク	81
詳細情報を見る	220	立体ランドマーク表示	113
並べ替える	220	リフレッシュ案内	14, 122
メール		リモコン	5
		料金所	63
		料金表示	23

ら行(つづき)

履歴(ウェブページ)	178
削除する	180
ロックする	180
履歴から探す	39
リンク先	171
ルートアドバイザー	67, 118
ルート案内	61
中止する	75
ルート案内開始画面	42
ルートインフォメーション	62, 116
ルート確認	44
ルート再探索	70
ルート消去	75
ルートスクロール	44, 69
ルート探索	
回避エリアを考慮したルート探索	43
学習ルート探索	43
渋滞考慮ルート探索	43
ルートを探索させる	41
ルート探索基準	116
ルートプロフィール	44, 69
ルート編集	68, 70, 73, 74
ルートを確認する	44, 68
レーン案内	64
レーン情報	13
録音/削除ボタン	5
ロゴマーク	91
位置を修正	93
消去	97
登録	94
非表示	91
表示	123
表示をON/OFFする	124
マークを変更	97
ロックする	
アドレス	193
ブックマーク	177
メール	190, 201
履歴	180
ロードサービス	223

数字・アルファベット順

数字

10キー	5, 28
カスタマイズ	124
割り当て可能な機能	126
2D固定スクロール	114
2D地図の回転	114
2Dマーク	80
2画面表示	18, 319
3Dハイブリッドセンサー	304
3Dマーク	81

A

AV画面割り込み表示	120
AV情報	12, 120

C

CD	246
音声で操作する	246
cdmaOne™携帯電話	169
CDMA2000 1X	160
CGI	184

D

D-GPS	305
DNS	184
DVD	245
音声で操作する	245

E

ETC	276
お知らせ金額	278
前納料金	277
利用履歴	276
ETCユニット	63, 158
Eメール	185

F

FM多重チューナーの設定	120
FM文字放送	146
FM文字放送のオンエア連動	147

G		VICS情報提供時刻	12
GPS	303	VICS情報の表示形態	137
GPSアンテナ	157	VICS情報表示対象道路	118
		VICS情報マーク	139
H		VICS情報を見る	138
http	183	VICSとは	136
		VICS用ビーコンユニット	68, 140
I		W	
IPアドレス	184	www	183
ISP	183		
J			
JIS第二水準	269		
JPEG形式	82		
M			
MD	249		
音声で操作する	249		
MP3ディスク	246		
音声で操作する	246		
P			
PCカード	271		
消去する	274		
保存する	271		
読み込む	273		
PCカードをフォーマットする	275		
Proxyサーバー	166, 184		
S			
SSL	184		
T			
TV走査方式	122		
U			
URL	173, 183		
V			
VICS/FM多重チューナー	136		
VICS情報	136, 313		
VICS情報受信	24		

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2010財団法人日本デジタル道路地図協会2010年3月発行）を使用しました。（測量法44条に基づく成果使用承認90-063）
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。（承認番号）小田原市指令第52号平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平10.近公.第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。（測量法第44条に基づく成果使用承認平成12年度知都発第170号）
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。（承認番号伊建農発229号平成17年7月14日承認）
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。（承認番号:18東デ共041号）
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。（承認番号）18都市基交第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。（承認番号平成17年津山市使用承認第5号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。（承認番号 平19総使、第24号-10号）
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。（測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号林政19-482号、茨城県林政課長）
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。（承認番号笛まち第12-25号平成19年12月13日承認）
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。（承認番号情企第590号平成20年3月24日承認）
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。（承認番号平成19年2月14日付け18高森推第568号）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号平19 林振第404号）
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。（承認番号）平21樽港事第33号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号平18 林振第497号）
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。（承認番号東建収第8号平成21年5月27日承認）
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号国地企調第180号 平成22年9月28日）

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2010年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2011年4月1日現在（2010年9月調査時点）現在のものです。

VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道（札幌）（旭川）（函館）（北見）（釧路）、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県、富山県、福井県、石川県、愛知県、三重県、岐阜県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

放送局リストのデータについて

放送局リストのデータは2010年11月調査現在のもので、放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

訪問宅（個人宅）電話番号データについて

- 訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売（株）「Bellemax®」（2010年9月現在）のデータを使用しております。訪問宅（個人宅）電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります。（音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。）

抜け道データについて

- 抜け道データは、株式会社昭文社提供の渋滞ゆめみちデータ2006年9月版のデータを使用しています。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社（2010年9月現在のタウンページデータ）
（音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。）
- 財団法人交通事故総合分析センター（1999年度統計による危険地帯データ）
- (株)IMJモバイル（2010年10月現在の駐車場データ）
- 監修：夜景倶楽部 縄手真人（夜景コメント・夜景写真）
- 小黒俊雄（写真撮影、百名山・高原植物）
- 加藤庸二（写真撮影、名滝百選）
- 関係各市区町村観光課・観光協会（写真協力、さくら名所・名水百選）
- 米国特許No.4,558,302および対応外国特許
- 観光エリア検索データは、社団法人日本観光協会提供のデータ（2009年10月調査時点）、および株式会社昭文社提供のデータ（2010年9月時点）を使用しています。
- シティハイウェイマップ時に表示される看板データについては、2002年10月調査時点（東京）、2002年9月調査時点（大阪・名古屋）のデータを使用しています。（実際の看板と異なる場合があります。）

-
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
 - この製品に含まれるGIFモジュールはブラウザとしての使用に限定して米ユニシス社のライセンスを受けています。これ以外の用途でご使用になるには、お客さま自身で別途ライセンスをお取りいただく必要があります。
 - また、米ユニシス社から取得したライセンスが適用されるのはこの製品だけであり、この製品と一緒にご使用になる他の製品のライセンスが付与されるものではありません。

「本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのNetFront®を搭載しています。

Copyright ©1996-2001 ACCESS CO.,LTD












NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。」

株式会社ACCESS

NetFront®

地図記号一覧

記号	意味	記号	意味	記号	意味
 (青)	高速道路・有料道路		空港・飛行場		スポーツ施設
 (赤)	一般国道		ヘリポート		その他スポーツ施設
 (緑)	主要地方道		フェリー乗り場		海水浴場・プール
 (橙)	一般都道府県道		灯台		ヨットハーバー
 (淡灰)	一般道		工場など		自動車学校
 (淡灰)	細街路		警察署		牧場
 (灰/白)	鉄道		消防署		城・城跡
 (白)	県境		病院・保健所		神社
 (水色)	海・川・湖沼		公民館・公共図書館		寺
 (緑)	緑地 (ゴルフ場・公園など)		郵便局		墓地
 (灰ピンク)	施設		NTT		タワー
 (茶)	駅・駅舎・駅ビル		小学校		温泉
 (橙)	インターチェンジ名 (紺) ランプ名 (紺) 交差点名 (黒)		中学校		山岳
	一方通行 (シティマップのみ)		高校・その他教育施設		指示点
	ランプ出入口 (紺: 入口 赤: 出口)		高専		教会
	インターチェンジ (5kmスケールのみ)		大学		キャンプ場
	サービスエリア		デパート・スーパー		テニスコート
	パーキングエリア		DIYショップ		乗馬クラブ
	駐車場		ホテル		ボウリング場
	道の駅		ホール・劇場・文化会館		観光船乗り場
	料金所		公園		マンション (シティマップのみ)
	トンネル出入口		遊園地・テーマパークなど		
			動物園		
			植物園		
			水族館		
			美術館・博物館		
			野球場・スタジアム		
			体育館		
			競馬場		
			ゴルフ場・ゴルフ練習場		
			スキー場		
			モータースポーツ		

※ 地図データの整備上、通常の地図とシティマップでは、道路種別色が異なる場合があります。

※ 地図の回転などにより、文字どうし、あるいは文字と記号とが重なる場合があります。

※ 車の進行方向によって、交差点名が地図上の表記と実際の表記で異なる場合があります。

※ 地図記号は、実際に地図に表示されると記号と若干異なる場合があります。

※ 記号の色は印刷インクの関係上、実際の色とは異なる場合があります。



CRA4495



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる フリーコール および フリーコールは、携帯電話・PHSなどからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口**カスタマーサポートセンター**

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話: **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX: **044-572-8103**インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

●カーナビゲーションのネットワーク接続(携帯電話、Bluetooth接続は除く)

電話: **0120-702-383** 【一般電話】 **044-572-8070** FAX: **044-572-8103****カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口****「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口**

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **0120-817-088****修理窓口のご案内** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合**修理受付窓口(沖縄県を除く全国)**

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100** FAX: **0120-5-81029**インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: 【一般電話】 **098-987-1120** FAX: **098-987-1121****部品のご購入についてのご相談窓口** ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について**部品受注センター**

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX: **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.044B

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

©パイオニア株式会社 2011

< KAMFF > < 11F01001 > < CRA4495-A >